

社会医療法人 **かりゆし会** 年報 第26巻 2019年度  
(2019年4月1日～2020年3月31日)

---

Annual report of Social medical corporation KARIYUSHIKAI  
Vol.26 2019(April 1,2019-March 31,2020)



## 年報発刊によせて



2019年11月に中国武漢市で発症した新型コロナウイルス感染症は瞬く間に世界各国へ感染が拡大し、世界の人々を震撼させました。国内初の感染者が2020年1月16日に確認され、その後、感染者数は拡大、この事態を受けて4月7日に7都府県緊急事態宣言が宣言され、さらに4月16日に全都道府県に拡大されました。国は都道府県内外の移動自粛を含め、外出自粛や3密回避等の行動変容を国民に要請しました。その後、5月21日には東京や大阪などの5都道県を除き緊急事態宣言は解除され、5月25日には全都道府県の緊急事態宣言が解除されました。この間の感染者は17,305人（死者865人）でした。

沖縄県では、感染者は2月4日から2月11日まで3名が確認され、その後、しばらくの間発生は確認されていませんでしたが、3月18日に国外や東京都・大阪府からの渡航者から感染が発生し、瞬く間に全国で14番目にPCR陽性者の多い県になりました。沖縄県知事の来県自粛要請が、ゴールデンウィーク前にマスコミや著名人を通じてアピールされました。また、県民が積極的に行動を自粛した結果5月1日からPCR陽性者の出現は認めず、感染者は142人（死者6人）でした。21の感染指定・協力病院や軽症者療養施設等の医療従事者のご尽力で医療崩壊も無く第1波は乗り越える事ができました。

ハートライフ病院はコロナ患者軽症・中等症と、疑い例の治療と管理を行い、また発熱外来（ドライブスルー形式・PCR検査）を4月16日に設置し、275名が受診、169件のPCR検査を行いました。病棟での院内感染や発熱外来、クリニックそして地域包括ケアセンターでの感染も無かった事に安堵しご奮闘頂いた皆様に心より感謝致します。しかしながら医療資材の不足は大きな課題でした。

県保健医療部は医療計画（2018～2023年度）の中に、医師確保計画を2020年3月に組み入れました。新しい医師偏在指数の算出方法によると、沖縄県は全国5番目に医師多数県で5医療圏とも多数区域となっています。今後、毎年何人の医師を確保し、産婦人科医と小児科医は何人確保するかの計画がありますが、当初、専門医研修を修了（3年で修了）した医師の52%が沖縄県に定着し、また80歳以上の医師は引退するものと仮定し、5年間で249名の確保を計画していました。その中で産婦人科医は5年間で15名の確保（3名/年増）、小児科医は5年間で21名の確保（4.2名/年増）という案の提示がありましたが、県医師会はその数字を適切な目標数でないと考え、産婦人科医・小児科医の関係各位と何度か検討し修正案が出され、医師全体では5年間で300名の確保、産婦人科医は5年間で30名の確保（6名/年増）、小児科医は5年間で41名の確保（8.2名/年増）となりました。この目標には県外で専門医研修を修了し帰沖する医師や、80歳を過ぎても医療に従事する医師数は考慮されていません。今後、5年間の推移を注視したいものです。

社会医療法人かりゆし会  
理事長 安里 哲好

# 目次

年報発刊によせて .....	3	産婦人科 .....	96
ハートライフ病院 2019年度 年次報告 .....	7	皮膚科 .....	98
年報発刊によせての挨拶 .....	9	放射線科 .....	99
病院概要 .....	10	麻酔科 .....	100
組織概要 .....	10	血液浄化部 .....	102
施設概要 .....	10	口腔ケア科 .....	104
診療体制 .....	13	救急総合診療部 .....	107
ハートライフ病院2019年度事業目標 .....	14	看護部 .....	113
患者統計 .....	19	外来 .....	119
外来・救急外来 .....	19	救急外来 .....	123
入院 .....	22	人工透析室 .....	126
医療の質 Quality Indicator (QI) .....	28	手術室・中央材料室 .....	129
地域医療支援病院認定 関連統計情報 .....	32	ICU .....	132
ハートライフ病院 DMAT .....	35	東館 4・5 階病棟 (産科・婦人科・女性混合)、 産婦人科外来 .....	134
ハートライフ病院財務状況推移 .....	37	3 階病棟 (整形外科・脳神経外科・眼科・ 形成外科) .....	137
社会医療法人かりゆし会 財務状況推移 .....	38	HCU .....	139
社会医療法人かりゆし会 2019年度の活動実績 .....	39	4 階病棟 (外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科) .....	141
2019年度 患者満足度調査 .....	42	5 階病棟 (消化器内科・小児科) .....	143
2019年度職員満足度調査 .....	47	6 階病棟 (血液内科・総合内科・腎臓内科) .....	145
部署別業務実績 .....	51	7 階病棟 (呼吸器内科・循環器内科) .....	147
医 局 .....	52	内視鏡センター .....	149
総合内科 .....	62	医療技術部 .....	153
呼吸器内科 .....	66	放射線科 .....	153
循環器内科 .....	67	臨床検査科 .....	161
消化器内科 .....	70	臨床工学科 .....	165
肝臓内科 .....	72	栄養科 .....	173
血液内科 .....	74	薬局 .....	176
小児科 .....	76	リハビリテーション科 .....	178
心療内科 .....	78	医療安全管理室 .....	185
外 科 .....	79	感染対策管理室 .....	189
整形外科 .....	84	栄養サポート室 .....	194
形成外科 .....	86	内視鏡センター .....	197
脳神経外科 .....	89	予防医学センター .....	202
眼 科 .....	91	患者総合支援センター .....	208
耳鼻咽喉科 .....	93	地域医療連携室 .....	209
泌尿器科 .....	94		

入退院支援室 .....	212	ハートライフ地域包括ケアセンター 2019 年度 年次報告 .....	289
医療福祉相談室 .....	215	年報発刊によせての挨拶 .....	291
がん相談支援室 .....	218	施設概要 .....	293
患者サポート窓口 .....	218	はーとらいふ保育園 2019 年度 年次報告 .....	297
事務部 .....	219	年報発刊によせての挨拶 .....	299
法人担当 .....	220	施設概要 .....	300
財務・経理課 .....	220	組織概要 .....	300
人事課 .....	221	かりゆし会の1年 .....	303
診療支援室 .....	222		
附随業務部門 食堂とまと .....	225		
病院担当 .....	228		
医事課 .....	228		
管財課 .....	230		
経営企画室 .....	237		
電算係 .....	241		
広報係 .....	242		
診療情報管理室 .....	243		
総務課 .....	246		
事務部 年度総括 .....	247		
委員会活動 .....	249		
ハートライフクリニック 2019 年度 年次報告 .....	265		
年報発刊によせての挨拶 .....	267		
クリニック概要 .....	268		
組織概要 .....	268		
施設概要 .....	268		
患者統計 .....	270		
部門別業務実績 .....	275		
糖尿病内科 .....	276		
内科 .....	282		
小児科 .....	284		
附属施設 .....	285		
疾病予防運動施設リユーズ .....	285		
ヘルシーカフェ ohana .....	287		



笑顔で親切、  
ハートライフ病院

笑顔だと、  
気持ちいいよね。

# ハートライフ病院 2019年度 年次報告

Annual report of Heartlife hospital 2019



## 理念

わたしたちは心と心をつなぐ信頼される医療をめざします

## 基本方針

1. 急性期医療（質の高いチーム医療）
2. 地域完結型医療（地域保健・医療・福祉施設との連携）
3. 救急医療（24時間二次救急）
4. がんの予防と治療
5. 研修教育病院
6. 健全な医療経営
7. 笑顔で親切

## 年報発刊によせての挨拶



当院は1988年に開院して今年で31年目を迎えました。2018年が30周年となりますが、2019年度は40周年に向けて新たな10年の始まりの年になりました。

私はこの新たな年に奥島憲彦前院長の後任として院長に就任しました。慣れないかじ取りで不安もありましたが、地域の皆さまのご協力と職員の皆様の努力のお陰で2019年度は医業収益の目標を達成することが出来ました。院長として非常に感謝しています。

病院という組織はいろんな専門職が係わっています。それぞれの専門的知識や技能を發揮しながら質の高い医療を提供し、地域の健康長寿に貢献することが求められています。年報には日頃の皆様の努力の結晶がいろんなデータに反映されて、報告書として纏められます。日頃の取り組みを披露する機会であり、各部署のリーダーが一生懸命各々の報告書を作成していることが分かります。

病院長として年報作成に当たって意識して欲しいことがいくつかあります。先ず内容についてですが、○質の高い医療には何が必要か、○努力の成果はどのように数字に反映されているか、○経年的な流れはどうか、○他の同規模急性期病院と比較して自院の成績はどうか、そのようなデータを表示して頂きたいと思えます。よくPDCAサイクルという言葉を目にすると思えます。一年の目標を立て（Plan）、それに向けて業務を進行し（Do）、評価し（Check）、目標に達しなければ、改善点を明らかにし実行する（Action）という流れを意識する必要があると思えます。各部署の責任者はPDCAサイクルを念頭におきながら年報を作成し、次年度の業務に反映させていただきたいと思えます。

2020年度は新型コロナウイルスが蔓延する中でのスタートになりました。非常に厳しい状況と思われれます。先ずは個人々が健康に留意して、感染症と闘いながら、より良い成果を上げるよう最善をつくすしかないと思われれます。患者さんが納得し、満足してもらえる医療を提供するよう、この1年も全職員が力を合わせて頑張りましょう。

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院  
院長 佐久川 廣

# 病院概要

(2019年4月1日時点 / データ作成 総務課 吉川)

## 組織概要

### 施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院

### 所在地

〒901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地

### 連絡先

電話 (098) 895-3255 (代表)

FAX (098) 895-2534

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/>

### 管理者一覧

理事長	安里 哲 好	副院長	普天間 光 彦	事務部長	當 銘 秀 之
院長	佐久川 廣	医局長	秋 元 芳 典		
副院長	久 場 良 也	看護部長	古波倉 美登利		
副院長	西 原 実	医療技術部長	宮 城 竜 也		

## 施設概要

### 許可病床数

308 床 (開放病床 22 床)

### 敷地面積及び建物概要

敷地面積 22,225.09㎡

< 本館・西館 >	構造	鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根地下1階付き9階建
	のべ床面積	23,920.55㎡
< 東館 >	構造	鉄筋コンクリート造地上5階・地下1階
	のべ床面積	7,551.31㎡
< 別館 >	構造	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建
	のべ床面積	542.16㎡
< 立体駐車場 >	構造	鉄骨造陸屋根4階建 (駐車場)
		鉄筋コンクリートブロック造陸屋根平屋建 (機械室)
	のべ床面積	3,365.76㎡ (駐車場)
		34.00㎡ (機械室)

## 職員数

総数 934名

## 職種別

(2019年4月1日時点 / データ作成 総務課 吉川)

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	72	クラーク	24	OMA	0	ソーシャルワーカー	7
研修医	15	臨床工学士	17	視能訓練士	3	施設技術者	6
保健師	8	臨床検査技師	40	診療放射線技師	21	保育士	1
助産師	30	理学療法士	15	管理栄養士	7	その他	46
准看護師	14	言語聴覚士	4	調理師	14		
看護師	386	作業療法士	8	事務	112		
看護補助者	40	薬剤師	19	医師事務作業補助者	25	合計	934

## 指導医・専門医・認定医・その他認定など

(2020年3月末時点 / データ作成 総務課 佐和田)

名称	人数
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の施設認定	1
検診マンモグラフィ読影認定医	5
小児慢性特定疾病指定医	2
身体障害者福祉法指定	21
精神保険指定	1
地域総合小児医療認定医	1
日本アレルギー学会専門医(小児科)	1
日本がん治療認定医機構暫定教育医	4
日本がん治療認定医機構認定医	5
日本がん治療認定機構がん治療認定医	1
日本ペインクリニック学会認定医	1
日本レーザー医学会指導医	1
日本レーザー医学会専門医	1
日本医学放射線学会診断専門医	2
日本医師会認定産業医	4
日本外科学会指導医	2
日本外科学会専門医	6
日本外科学会認定医	2
日本感染症学会インфекションコントロールドクター	2
日本感染症学会指導医	1
日本感染症学会専門医	1
日本肝臓学会指導医	1
日本肝臓学会専門医	2
日本眼科学会専門医	2
日本救急医学会救急科専門医	1
日本形成外科学会専門医	1
日本血液学会指導医	1
日本血液学会専門医	3
日本呼吸器学会インフェクションコントロールドクター	1
日本産婦人科学会専門医	2
日本耳鼻咽喉科学会専門医	1
日本耳鼻咽喉科学会 専門研修暫定指導医	1
日本手外科学会認定手外科専門医	1
日本集中治療医学会専門医	1
日本循環器学会専門医	6
日本小児科学会専門医	2

名称	人数
日本小児外科学会指導医	1
日本小児外科学会専門医	1
日本消化器がん検診学会認定医	4
日本消化器外科学会指導医	2
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医	2
日本消化器外科学会消化器がん治療認定医	2
日本消化器外科学会専門医	1
日本消化器内視鏡学会指導医	4
日本消化器内視鏡学会専門医	9
日本消化器病学会指導医	3
日本消化器病学会専門医	7
日本食道学会認定医	1
日本心血管インターベンション治療学会認定医	1
日本心臓リハビリテーション学会指導士	3
日本人間ドック学会人間ドック検診専門医	1
日本人間ドック学会認定医	1
日本整形外科学会リウマチ認定医	1
日本整形外科学会運動器リハビリテーション医	3
日本整形外科学会脊椎脊髄病認定医	1
日本整形外科学会専門医	5
日本精神神経学会指導医	1
日本精神神経学会専門医	1
日本創傷外科学会専門医	1
日本体育協会公認スポーツドクター	3
日本大腸肛門病学会専門医	1
日本東洋医学会認定医	1
日本透析医学会専門医	2
日本透析医学会認定医	1
日本内科学会指導医	2
日本内科学会総合内科専門医	6
日本内科学会総合内科認定医	1
日本内科学会認定内科医	17
日本内視鏡外科学会技術認定医	2
日本乳癌学会認定医	1
日本熱傷学会専門医	1
日本脳神経外科学会専門医	2
日本脳神経血管内治療学会専門医	1
日本泌尿器科学会指導医	1

名称	人数
日本泌尿器科学会専門医	2
日本病理学会病理専門医	1
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍指導医専門医	1
日本麻酔科学会指導医	2
日本麻酔科学会専門医	3

名称	人数
日本麻酔科学会認定医	1
日本臨床外科学会評議員	1
麻酔科標榜医	5

### 病院機能認定など

1. 医師臨床研修指定病院（基幹型） 厚生労働省発医政第 1030005 号
2. 地域医療支援病院
3. 24 時間二次救急指定病院
4. （財）日本医療機能評価機構 一般病院 2 認定第 GB97-5 号
5. DPC 対象病院（標準病院群）
6. 地域災害拠点病院

### 指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 労働者災害補償保険指定医療機関
3. 妊娠中毒症医療費援護法指定医療機関
4. 母体保護法指定医療機関
5. 結核予防法指定医療機関
6. 生活保護法指定医療機関
7. 戦傷病者特別援護法指定医療機関
8. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）《腎臓に関する医療》
9. 原爆医療法指定医療機関
10. 指定自立支援医療機関（精神通院医療）《てんかん》
11. 母子保健法指定病院医療機関（養育医療）《未熟児医療》
12. 特定疾患治療研究事業指定医療機関
13. 小児特定疾患治療研究事業指定医療機関
14. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）《心臓脈管外科に関する医療》
15. 身体障害者福祉法指定医療機関（更正医療）18 歳以上、肝臓に係わるもの
16. 児童福祉法指定医療機関（育成医療）

### 施設認定一覧

1. 日本脳神経外科学会認定研修施設
2. 日本内科学会認定教育関連病院
3. 日本血液学会血液研修施設
4. 日本がん治療認定医機構認定研修施設
5. 日本感染症学会研修施設
6. 非血縁者間骨髄採取認定施設
7. 非血縁者間骨髄移植認定施設
8. 日本肝臓学会認定施設
9. 日本整形外科学会専門医研修施設
10. 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
11. 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
12. 日本泌尿器科学会専門医教育認定施設
13. 日本乳癌学会関連認定施設
14. 日本眼科学会専門医制度研修施設
15. 日本消化器内視鏡学会指導施設
16. 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
17. 日本救急医学会救急科専門医指定施設
18. 日本周産期・新生児医学会暫定研修施設
19. 日本外科学会外科専門医制度修練施設
20. 日本消化器外科学会専門医修練施設
21. 日本臨床細胞学会施設
22. 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
23. 日本消化器病学会認定施設
24. 日本呼吸器学会関連施設
25. 健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施施設

- |                             |                                   |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 26. 日本透析医学会教育関連施設           | 34. 日本大腸肛門病学会関連施設                 |
| 27. マンモグラフィ検診施設画像認定         | 35. 日本病理学会研修登録施設                  |
| 28. エキスパンダー実施施設（二次再建）       | 36. 日本心血管インターベンション治療学会認定<br>研修施設群 |
| 29. インプラント実施施設（一次二期再建、二次再建） | 37. 日本産婦人科学会専門研修連携施設              |
| 30. 日本形成外科学会教育関連施設          | 38. 人間ドック健診施設機能評価認定施設             |
| 31. 日本食道学会全国登録認定施設          | 39. 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関<br>認定病院  |
| 32. 日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設       |                                   |
| 33. 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施認定施設  |                                   |

## 診療体制

### 標榜診療科目

- |        |         |          |        |                 |      |
|--------|---------|----------|--------|-----------------|------|
| ●内科    | ●リウマチ科  | ●食道外科    | ●脳神経外科 | ●放射線科           | ●歯科  |
| ●呼吸器内科 | ●人工透析内科 | ●血管外科    | ●産婦人科  | ●麻酔科            | ●精神科 |
| ●循環器内科 | ●心療内科   | ●大腸・肛門外科 | ●泌尿器科  | ●リハビリ<br>テーション科 |      |
| ●消化器内科 | ●小児科    | ●膵臓外科    | ●眼科    |                 |      |
| ●肝臓内科  | ●外科     | ●整形外科    | ●耳鼻咽喉科 | ●救急科            |      |
| ●血液内科  | ●乳腺外科   | ●形成外科    | ●皮膚科   | ●病理診断科          |      |

### その他、センター・専門外来など

- |                                     |                   |
|-------------------------------------|-------------------|
| ●予防医学センター<br>(人間ドック・一般健診・生活習慣病予防健診) | ●不整脈外来            |
| ●内視鏡センター                            | ●甲状腺外来            |
| ●人工透析センター（昼間・夜間）                    | ●生活習慣病外来          |
| ●無菌治療センター                           | ●睡眠時無呼吸症候群（SAS）外来 |
| ●ヘルニアセンター                           | ●スポーツ関節鏡センター      |
| ●患者総合支援センター                         | ●通院治療室（外来化学療法）    |
| ●胸やけ外来                              | ●小児アレルギー外来        |
|                                     | ●心臓リハビリテーション      |

24 時間救急指定病院【内科・循環器内科外科・整形外科・脳神経外科】

### 受付時間

- |         |               |                |
|---------|---------------|----------------|
| 月曜日～金曜日 | 午前 8:00～11:30 | 午後 12:00～16:30 |
| 土曜日     | 午前 8:00～11:30 | 午後 休診          |

### 診療時間

- |         |               |                |
|---------|---------------|----------------|
| 月曜日～金曜日 | 午前 9:00～12:00 | 午後 14:00～17:00 |
| 土曜日     | 午前 9:00～12:30 | 午後 休診          |

### 休診日

救急を除き、日曜日・祝日・土曜日の午後

# ハートライフ病院2019度事業目標

## 2018年度（平成30年度）の振り返り

2018年度は5年かけて行ってきた病院の増改築計画の最終年度になりました。2020年の東京オリンピックを控えて建築ラッシュが続く中、計画通りに実行するのは難しいと予想されていました。しかし、事務部の綿密な計画力と松尾建設の実行力により、ほぼ計画通りに進みました。事務部の方々と松尾建設に心から感謝申し上げます。

病床利用率は2017年度の284床（92%）に対し、2018年度は目標を285床に設定しましたが、2月時点で271床（88%）と減少し、目標に達しませんでした。新規入院患者は目標740人/月に対して749人と、目標を上回る結果を得ました。年々、新規入院患者数が増加しています。平均在院日数は10.9日と、2017年度の11.6日から短縮しています。

2018年度の上半期は内科、外科が対前年比で収益が減少しましたが、東館に移った産婦人科は分娩件数50件/月（2015年度35件/月、2016年度27件/月、2017年度35件/月）、手術件数32件/月（2015年度24件/月、2016年度21件/月、2017年度26件/月）と過去最高の成績をあげています。また、整形外科はスポーツ膝関節鏡外科センター開設以来、手術件数が右肩あがりに増えています。

2018年度の総収入は88億5千万円と、事業計画の88億3千万円を上回りました。一方で、増改築により減価償却費が増大し、雑費も増加したため、最終利益は-1,004万円と赤字になりました。これも増改築を同じ敷地内で行いながら診療を継続するという厳しい条件下でしたので、満足すべき成績と考えています。頑張っておくれた全職員に、心より感謝申し上げます。2014年～2017年度は日当額が52,000円台でしたが、2018年度は54,820円と上昇しました。増改築の成果が少しずつ出始めています。

2018年10月18日に、創立30周年記念祝賀会がラグナガーデンホテルで開催されました。日本医師会会長の横倉義武先生による、「日本医師会の医療政策」という記念講演が行われ、院外から233人の参加がありました。また、地域住民への感謝の気持ちを表して、11月17日に「健康祭り」が行われ、616人の参加があり大盛況でした。

## 2019年度事業計画概要

2019年度も当院は急性期医療に主軸をおきながら、一部ある高度急性期機能をできる限り伸ばしていきたいと思えます。そして、地域包括ケアシステムにおける当院の役割を、県の地域医療構想に反映させます。

### ①病棟運営の3指標

2019年度は病棟運営の3指標を病棟診療会議での検討をもとに下記のように設定しました。

指標	2019年度目標	2018年度目標	2018年度実績
新規入院患者数	770人/月	740人/月	750人/月
病床利用率	285床(92%)	285床(92%)	271床(88%)
平均在院日数	11.3日	11.7日	10.9日

この目標を達成することが黒字経営のかぎになりますので、全職員が日々の診療でこの数値を常に意識して努力していきましょう。

## ② 2019 年度ハートライフ病院の目標

各部署の事業計画を参考にハートライフ病院の 2019 年度の目標を下記のように設定しました。全職員でこの目標の達成に向けて努力していききたいと思います。

1. より安全な医療とより質の高い医療の実践。
2. 急性期医療の充実とレベルアップを図る。
3. HCU を新設し、高度急性期機能の強化を図る。
4. 健全な医療経営（増収入と経費節減）を目指す。
5. 5 年後を見すえた人材育成と人材採用を図る。
6. ワークライフバランスのとれた労働環境の整備を行う。
7. 職員の満足度向上を図る。
8. より良い接遇の実践と継続的な接遇教育の実施。
9. 部署横断的な医療の質改善活動の強化
10. 訪問診療の体制づくり

## ③増改築について

2018 年度中に増改築が全て終了しました。これは 10 年後の当院の機能拡張に応じられる、またレベルアップを見越した増改築です。今年度の手術件数の増加、各科の収入増加につなげたいと思います。

機能のレベルアップや拡張に見合った人員確保に努めます。入退院を総合的に支援する「患者総合支援センター」が新たに組織され、地域医療連携室、医療福祉相談室、入退院支援室、ベッドコントロール看護師、薬剤師が一つの部屋に集約されます。それにより質の高い入退院支援が期待できます。入退院支援加算、薬剤指導料はじめ加算の件数増も目指します。立体駐車場の完成により、駐車ができないという患者さんの不満がほぼ解消されました。

## ④財務の視点

2019 年度の医業収入は 9,389,906,000 円、当期利益 253,442,000 円（利益率 2.6%）を目指します。入院は 3 指標の達成と手術件数 + 20 件 / 月の達成、6 月からの HCU 稼働と消費税改定により、対前年で 7.8% 増の 6,514,857,000 円、入院日当額は 56,063 円を目指します。透析を除く外来は紹介率・逆紹介率の増加と消費税改定により、1.7% 増の 1,702,800,000 円を目指します。透析は実患者数を + 5 名増加し、3.8% 増の 584,542,000 円を目指します。透析を含む外来日当額は 14,500 円を目指します。予防医学センターは受診者数と単価の増加により 1.6% 増の 494,045,000 円を目指します。

昨年度までの増改築の影響で減価償却費に 743,568,000 円を計上しています。これから数年は同じ状況が続くと考えられますので、より一層、全職員で収益増と経費節減に努力する必要があります。

2016 年より EVE や Medical Code コードなどのソフトを導入し、各種加算や指導料の未算定を防ぐため多職種ワーキンググループを作って「落穂ひろい活動」を継続しています。2018 年度は前年度比で 1,144 万円の収入増を実現しましたが、今年度も継続予定です。救急医療管理加算ワーキンググループでは算定の基準を作り、国保で査定されても積極的に算定しました。2018 年度は救急医療管理加算の算定件数が 831 件 / 月でした。金額にすると 684 万円 / 月請求し、151 万円 / 月査定され、最終的に 532 万円 / 月、6,384 万円 / 年の収益となっています。この算定実績のため、減少した DPC 機能評価係数 II の中でも救急係数は増加しました。

HCU（12 床）の運用体制を早めにつくり、増収益につなげます。7 対 1 看護入院基本料、小児入院医

療管理料4（年2,300万円の増収益）を維持していきます。

病棟運営の3指標を達成することに病院全体で努力します。また、全職員が各部署での経費節減に努力していきます。

今年度は入退院看護副部長に権限を委譲し、DPCの期間Ⅰ、Ⅱのデータを見ながら退院日を決める方式を導入します。これにより、病床利用率が数%アップすると予想されます。

## ⑤顧客の視点

増改築により患者さんは新しい病室、新しい診察室で快適な診療が受けられるようになり、満足度も高まっています。術後の誤嚥性肺炎の予防や、術後合併症の減少に寄与する「口腔ケア外来」を2017年4月より週2日、開設しました。2018年度は1日平均158人の患者さんが受診し、医療の質の向上につながると期待しています。

昨年度は連携室職員の退職が相次ぎ、あまり実現できませんでしたが、今年度は定期的に市民公開講座、地域の自治会などに積極的に出向いて行って「出前健康講話」を行う予定です。

患者さんの療養環境の向上や、職員の接遇教育の強化を継続的に行います。昨年度（10月）の患者満足度評価では「満足+とても満足」が外来で87%、病棟で92%と年々向上しています。待ち時間の「不満足+大変不満足」は2.1%で、職員の努力で年々減少しています。今年度も患者さんの満足度向上を図る努力を継続します。

大腸がん対策のワーキンググループを今年度も継続し、地域（中城村、西原町、宜野湾市、与那原町、南城市）の大腸がんの死亡率を減らします。市町村とも連携をとり、大腸内視鏡検査の受診者の増加を図ります。

これまで以上に地域のクリニックとの連携を密にし病診連携を強化します。地域医療支援病院の基準要件は、紹介率65%かつ逆紹介率40%です。2018年度は基準はクリアしているものの、紹介率70%、逆紹介率63%と足踏み状態でした。今年度は紹介率80%、逆紹介率73%をめざし、新規入院患者数の増加につなげます。

クリニックの先生方や救急隊員と定期的に行っている消化器症例検討会と救急症例検討会が10年間継続されました。素晴らしいことだと思いますので、今後もこのような会を継続していく必要があります。

「社会医療法人」として今年度も救急医療のより一層の充実を図っていきたいと思います。2018年度は救急搬送件数は230件/月と、この数年間年々増加していた状況（2016年度230件/月、2017年度246件/月）から減少に転じました。断り件数（不応需率）は3%と年々減少しています。数年前から課題でしたが昨年度も、救急部の専従医を増員できなかったのが大きな要因と考えています。今年度は救急総合診療部の専従医師を増員し、夜間や土、日の体制の強化に取り組み、ドクターカーの有効活用、救急搬送件数の増加に対応できるようにします。今年度も24時間「救急車は断らない」体制づくりに努力します。救急部専従医師の確保が緊急の課題です。

地域のニーズも高いためクリニックと相談しながら、新しく訪問診療の体制づくりを行います。

## ⑥内部プロセスの視点

医師を含めた職員がいきいきと健康的に働ける労働環境の整備に取り組みます。2018年度に初めて専従の産業保健師が採用されました。職員の健康を増進することにより健康経営の実現に努力します。職員の満足度調査やストレスチェックの結果も反映させ、各部署の満足度向上に取り組みます。また、離職率（2018年度14%）の低下に努力します。2017年4月より長年の課題であった「はーとらいふ保育園」

を定員 30 人で開園しました。子育てをしながら仕事を継続できる環境が徐々にできてきており、今後も受け入れ人数の増員などを検討する必要があります。

年度はじめの「各科診療実績報告会」を今年度も継続します。そして、職員の頑張りが詰まった「年報」を作製します。経営企画室や医事課や診療情報管理室を中心に医療データが出されます。年々よくなっていますが、まだ DPC データの有効活用ができていない現状があります。EVE や Medical Code などのソフトを医事課職員や診療情報管理士が使いこなせるように、院内での勉強会を定期的に行っています。そして、全国と同規模病院とのベンチマークや県内での各疾患のシェアの現状なども含めて、リアルタイムにデータを提示できるように強化したいと思います。経営陣や各科の医師や各部署のニーズに応じたデータが提供できるようにしたいと思います。電子カルテシステムの統計などに有用な SSIScope の有効活用も図っていきます。

2018 年度に総合内科を新たに開設しました。病院の足りない機能を補い、ホスピタリストとしての役割を果たすべく総合内科の人員増を図ります。今年度も救急総合診療部、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科や神経内科、循環器内科、外科、脳外科など当院に早急に必要な医師の確保に努力します。初期臨床研修医が当院に残れるように、研修医出身の先生方が戻ってこれるように体制を整えます。20 歳代～30 歳代の若手の医師を増やすように努力します。そのためには医師のワークライフバランスには特に努力が必要です。当直明けの休みの確保、代休や年休取得の促進、グループ診療の促進、研修医の労働時間の管理を継続して行っています。

## ⑦学習と成長の視点

病院にとって「人材が宝」です。5 年後を見すえた人材育成を実現するために、より充実した職員研修を行います。人材育成、高度技術の習得、各部署の診療レベルの向上に取り組みます。看護部が行っている認定看護師の育成も、不在な領域に積極的にチャレンジさせサポートしていきます。

整形外科が行っている城東整形外科（秋田）の皆川先生による運動器疾患エコーの指導、消化器内科が行っている神戸大学の豊永先生による ESD 技術指導、外科が行っている東京女子医大山本教授による肝臓外科手術指導や、岩手医大大塚准教授による腹腔鏡下大腸癌手術の技術指導、循環器内科が行っている心臓血管研究所の及川先生による PCI 指導、大塚先生による不整脈の焼灼術指導、脳外科の與那覇先生による脳血管内治療の技術指導や、長嶺先生による頭蓋内内視鏡治療の指導、昭和大学井上教授による POEM の指導など、全国の一流指導医の定期的な技術指導は、今年度も積極的にサポートしていきます。

熊本地震の際にも DMAT チームが迅速に出動しました。今年度も全国的な DMAT 訓練には定期的に参加し研修する必要があります。2017 年に沖縄県から災害拠点病院に認定されましたが、拠点病院としての取り組みがまだ遅れています。食料の備蓄や水の確保など多くの問題点があります。策定されました BCP（BusinessContinuingPlan:災害時に業務を遂行する対策、計画）を再度、見直す必要があります。今年度は災害対策委員会を中心に多くの職員に参加していただき、災害拠点病院にふさわしい災害対策トレーニングを行う必要があります。

2015 年から日本病院協会の「医療の質検討プロジェクト」に参加し、クリニカルインジケーターを年報やホームページに公開しています。今年度も参加を継続し、全国 320 病院とベンチマークを行い、医療の質の改善につなげていきたいと思っています。これまで 5 年に 1 度受審している日本病院機能評価を 2019 年 3 月に受審しました（3 回目）。そこで指摘された点を今年度で一つ一つ改善していきます。病院機能評価は医療の質や医療安全について、第三者から審査を受ける貴重な機会ですので、今後も受審し

ていく必要があります。

また、今年度は部署横断的に医療の質の改善につとめる体制（QCサークル活動など）をつくります。そして、年1回の院内研究発表会と優秀演題の全国学会発表を継続します。また、各部署のリーダー養成も当院の課題です。今年度、部署横断的に役職者、リーダーの教育と養成のシステムづくりを行います。

### ⑧病院の事業計画のたて方

これまでは各部署が部署ごとの次年度の計画と目標を立て、それを集約する形で病院の次年度事業計画を立ててきました。しかし、病院機能評価でも指摘されたように病院がまず、次年度の基礎となる大枠の計画と目標を定め、それを基に各部署が部署の計画をたてるシステムにしていきます。そのために、今年度から12月に理事と病院幹部が一堂に集まり、BSCを基本に討論しあい、次年度の事業計画、病院の目標、数値目標をたてます。それを基に、2020年1月から各部署で目標（必ず数値目標を1項目加える）をたててもらおうようにします。また、2月～3月に数値目標の微調整を行い、最終決定します。

### 結び

今年度の目標を職員一人一人が日々の仕事の中で念頭において、努力していただきたいと思います。特に役職者は、病院の目標を「率先垂範」して行い、職員の模範になっていただきたいと思います。

がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の5疾病の院内体制の強化を図ると同時に、救急医療、災害時における医療、へき地医療、小児医療、周産期医療の5事業にも市町村や県などの行政や医師会と連携して取り組んでまいります。今年度も国の医療政策、県の「地域医療構想」との整合性を図りながらハートライフ病院の地域包括ケアシステムにおける立ち位置を把握し、地域に求められている医療は何か？を常に問い続けながら、2025年に向かって事業計画を実行していきたいと思います。

創立30周年を迎えて感じたことは、これまで病院を利用しサポートしてきてくださった地域住民の方々と病院のために一生懸命働いてきてくださった職員の皆様への感謝の思いです。今年度も厳しい医療環境が予想されますが、私たちは「笑顔で親切、ハートライフ病院」をスローガンに職員が一丸となって「より安全な医療」「より質の高い医療」を実践していきたいと思います。

最後に、患者さんやご家族が病院を出るときに「ハートライフ病院に来て良かった」と言っていただけるように努力します。また、職員が生き生きと働ける労働環境、職員が日々成長を感じることのできる職場環境をつくり、健全な医療経営も実現していきたいと思います。

ハートライフ病院  
院長 奥島 憲彦  
副院長 佐久川 廣

# 患者統計

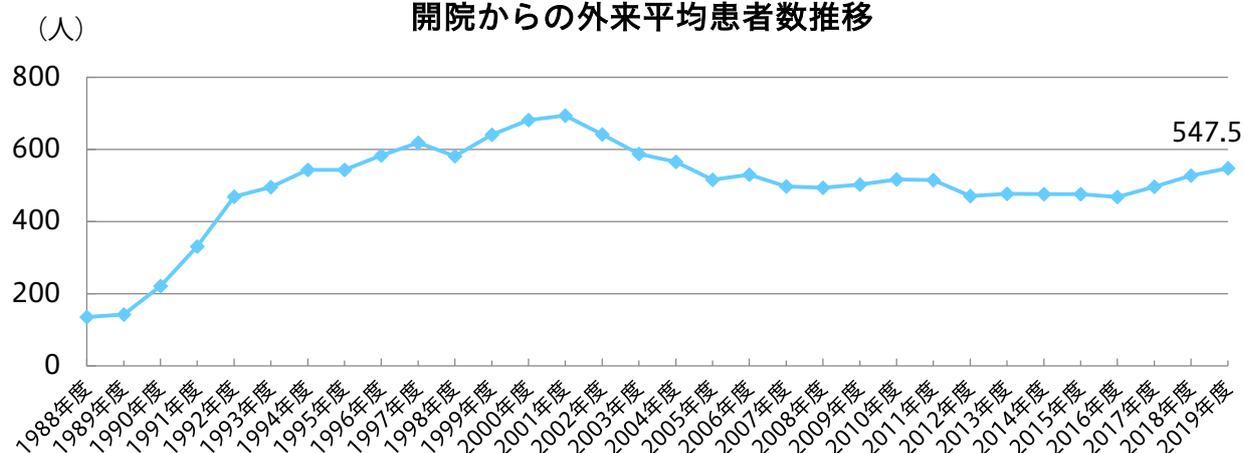
## 外来・救急外来

### 外来 1 日平均患者数推移

(データ作成：医事課 桑江)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2015年度	467.3	468.8	463.9	461.4	443.8	503.8	479.4	502.8	500.7	480.4	475.8	462.1	475.9
2016年度	447.6	469.5	457.7	464.2	453.9	477.1	455.0	487.5	484.1	475.8	473.0	466.0	467.6
2017年度	465.0	498.2	474.9	494.7	492.3	485.1	504.6	505.1	514.6	511.1	505.7	504.7	496.3
2018年度	500.0	525.8	497.5	517.6	514.9	531.2	519.7	533.8	542.3	547.7	546.8	543.0	526.7
2019年度	533.1	542.5	532.0	552.6	531.2	574.8	557.7	540.1	554.3	565.5	540.0	546.6	547.5

### 開院からの外来平均患者数推移



### 救急搬送件数推移と救急患者の入院数

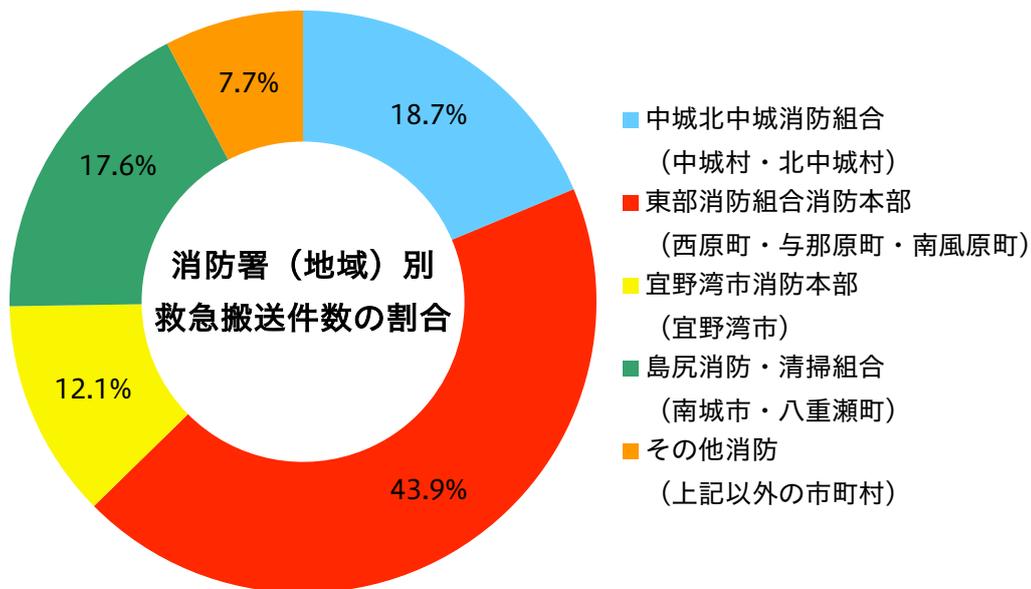
(データ作成：地域医療連携室 金城)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	入院率
2012年度	搬送人数	205	193	184	230	226	204	215	241	234	228	179	204	2,543	211.9	
	うち入院数	97	99	94	108	107	96	107	127	111	118	91	90	1,245	103.8	49.0%
2013年度	搬送人数	188	197	212	259	222	218	174	170	208	210	185	200	2,443	203.6	
	うち入院数	93	104	101	99	106	110	92	91	97	104	82	89	1,168	97.3	47.8%
2014年度	搬送人数	185	188	209	235	204	197	200	193	199	262	187	191	2,450	204.2	
	うち入院数	80	91	95	110	94	98	113	94	106	131	99	97	1,208	100.7	49.3%
2015年度	搬送人数	194	209	206	217	192	222	218	191	196	212	228	222	2,507	208.9	
	うち入院数	98	106	97	122	98	119	119	90	88	104	101	108	1,250	104.2	49.9%
2016年度	搬送人数	201	221	225	239	226	219	238	200	241	265	224	266	2,765	230.4	
	うち入院数	104	116	119	105	107	116	120	92	122	130	100	136	1,367	113.9	49.4%
2017年度	搬送人数	228	229	246	258	286	221	217	216	287	260	269	235	2,952	246.0	
	うち入院数	131	105	113	112	114	92	88	94	129	122	131	129	1,360	113.3	46.1%
2018年度	搬送人数	222	240	208	265	232	209	221	198	231	273	230	236	2,765	230.4	
	うち入院数	98	110	109	117	109	100	99	102	98	136	100	95	1,273	106.1	46.0%
2019年度	搬送人数	239	219	252	315	287	255	268	219	280	274	234	224	3,066	255.5	
	うち入院数	108	116	124	144	127	127	125	89	129	138	99	105	1,431	119.3	46.7%

## 消防署（地域）別救急搬送件数

(地域医療支援病院運営委員会資料より / データ作成：地域医療連携室 新垣)

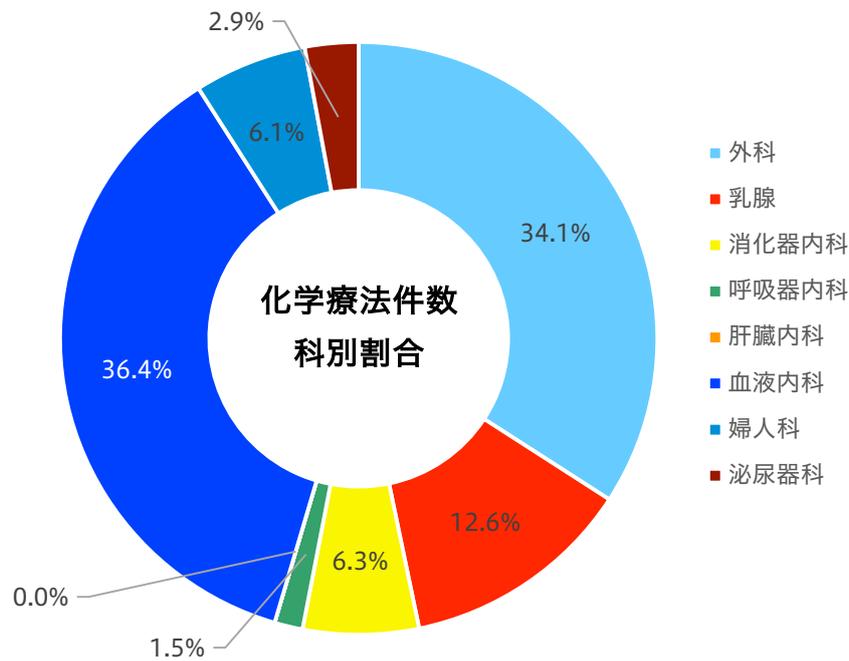
	当院救急搬送件数	うち、時間外救急搬送件数	時間外の比率
中城北中城消防組合（中城村・北中城村）	573	349	60.9%
東部消防組合消防本部（西原町・与那原町・南風原町）	1,347	890	66.1%
宜野湾市消防本部（宜野湾市）	372	238	64.0%
島尻消防・清掃組合（南城市・八重瀬町）	539	363	67.3%
その他消防（上記以外の市町村）	235	86	36.6%
合計	3,066	1,926	62.8%



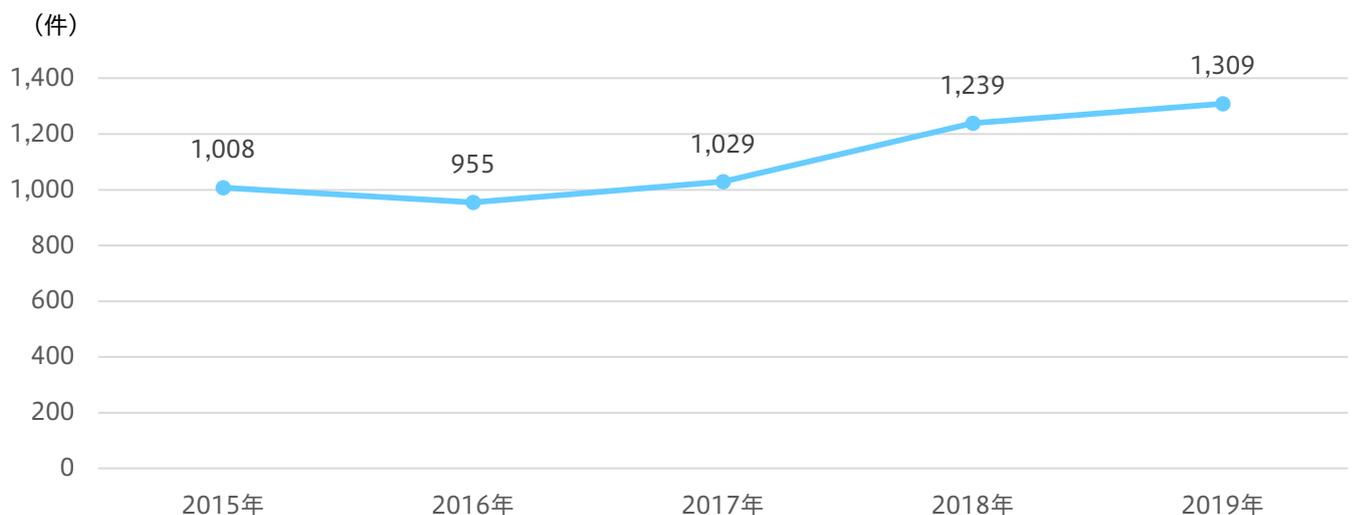
## 外来化学療法室施行数内訳

(データ作成：看護部 外来 山内)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	43	46	40	41	41	27	35	35	31	40	32	36	447
乳腺	17	12	14	15	13	10	16	10	10	16	16	16	165
消化器内科	1	4	5	9	6	8	9	10	7	7	7	9	82
呼吸器内科	2	3	2	3	1	2	0	0	0	3	2	2	20
肝臓内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液内科	40	43	36	37	45	42	45	30	38	36	41	44	477
婦人科	14	7	6	6	5	5	6	7	4	9	6	5	80
泌尿器科	3	2	3	2	2	2	4	3	4	4	5	4	38
合計	120	117	106	113	113	96	115	95	94	115	109	116	1,309



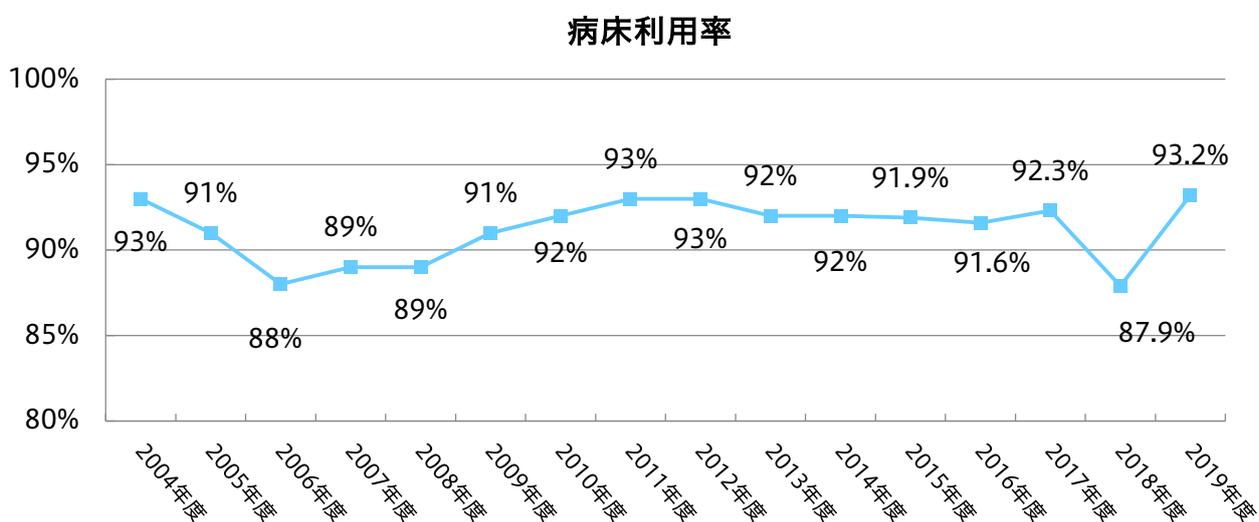
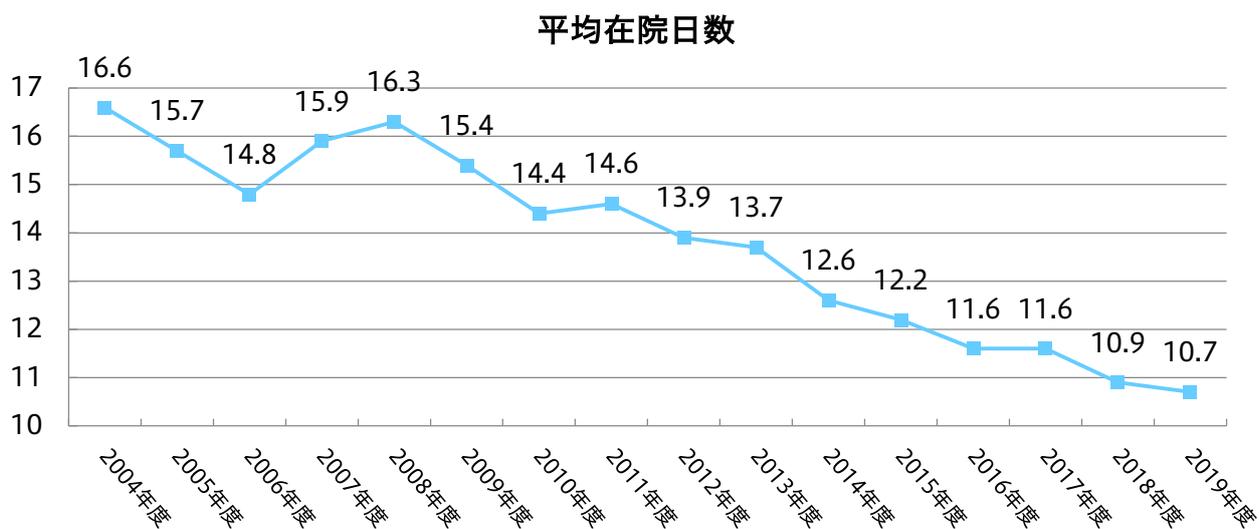
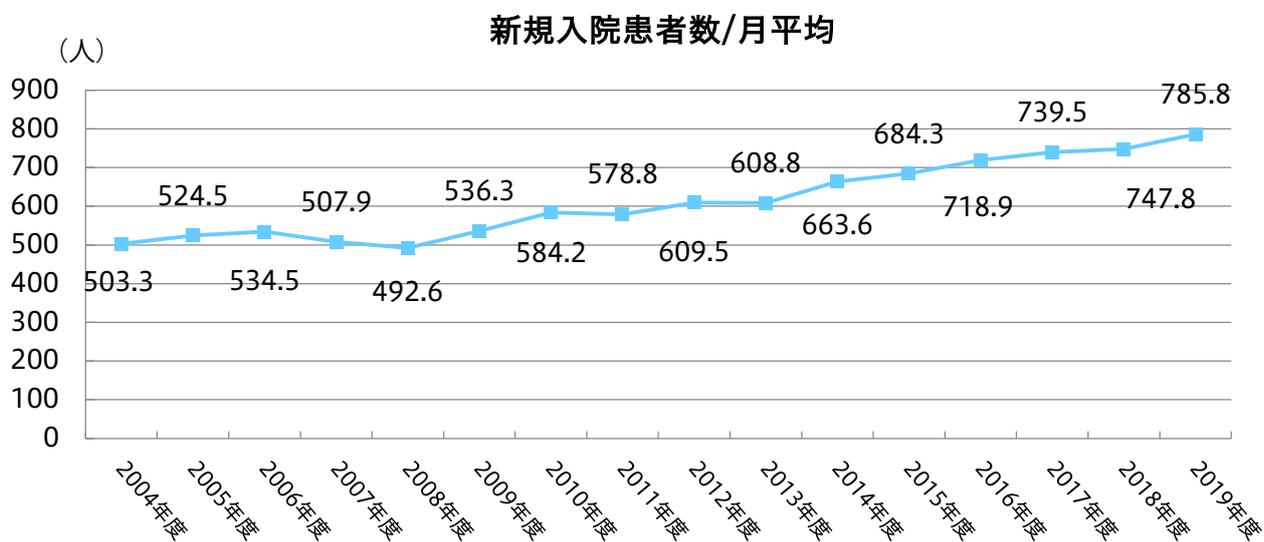
## 外来化学療法加算の件数年次推移



# 入院

## 3 指標

(データ作成：地域医療連携室 新垣)

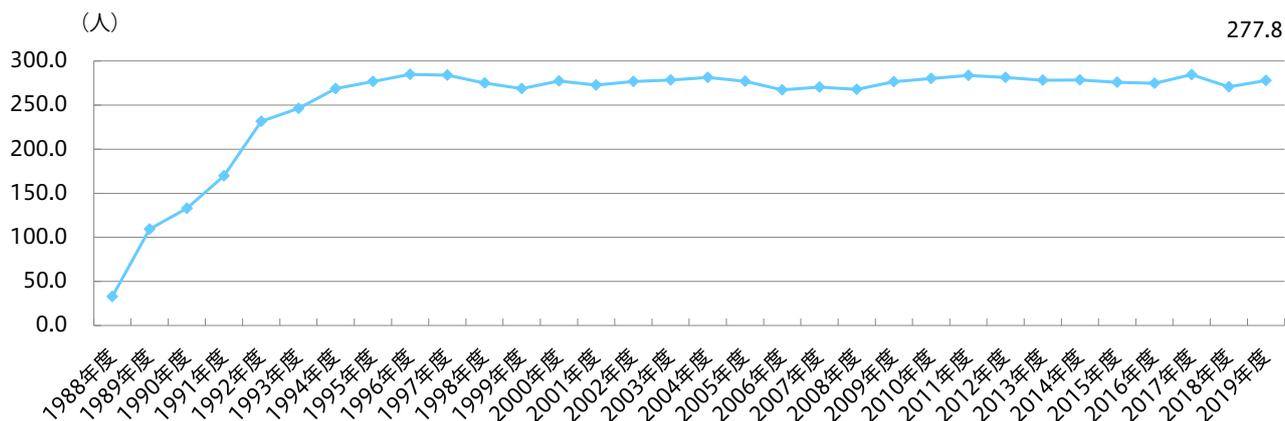


## 入院 1 日平均患者数推移 (稼働)

(データ作成: 医事課 宮城)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
2015年度	281.3	268.9	283.3	278.5	272.7	272.1	270.8	272.8	266.8	277.4	291.7	274.8	3,311.1	275.9
2016年度	264.8	285.0	274.7	276.7	268.7	278.4	269.8	256.4	258.9	283.1	290.1	290.9	3,297.5	274.8
2017年度	291.7	288.9	291.5	288.3	289.9	280.1	266.9	272.8	272.0	278.9	298.8	294.1	3,414.0	284.5
2018年度	280.0	252.7	260.8	279.1	279.6	270.0	270.2	275.0	262.5	273.0	281.2	264.3	3,248.5	270.7
2019年度	265.1	274.3	272.8	297.4	290.2	288.6	272.6	252.4	264.4	276.3	295.9	283.6	3,333.5	277.8

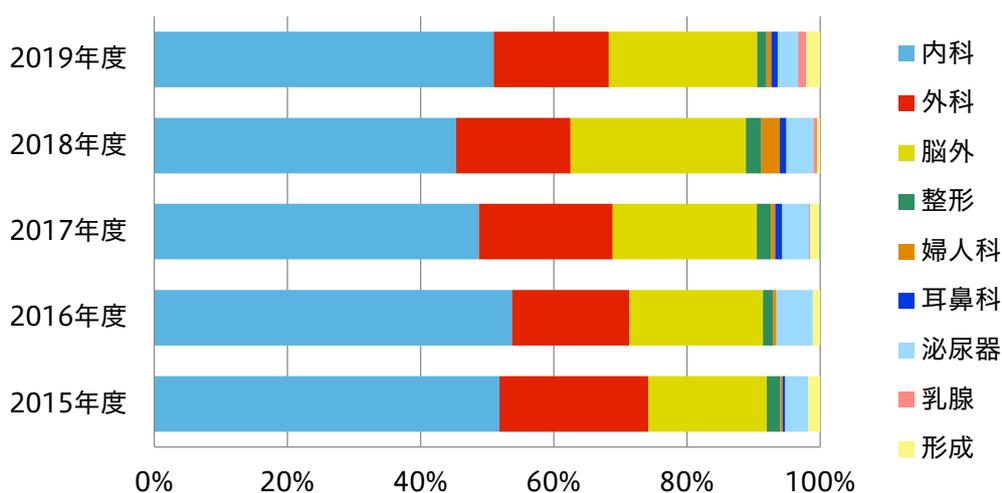
開院からの入院平均患者数推移



## ICU 患者統計

(データ作成 ICU 洲鎌)

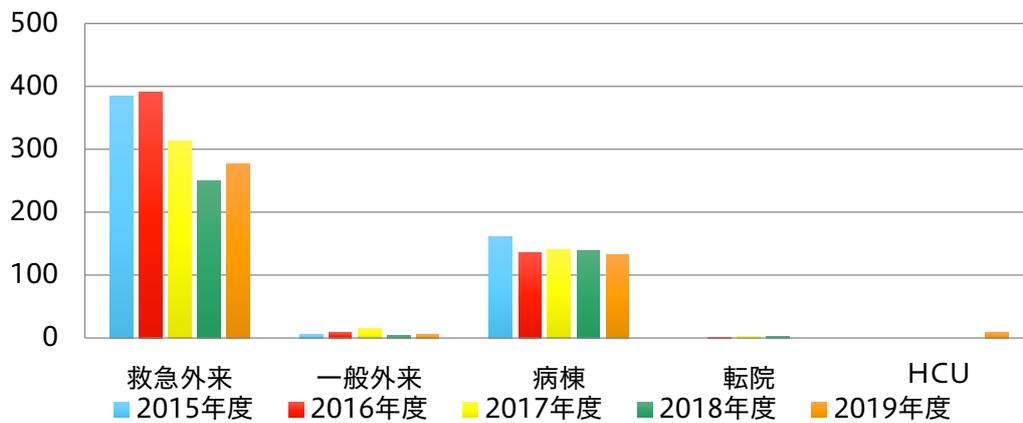
科別入院患者数



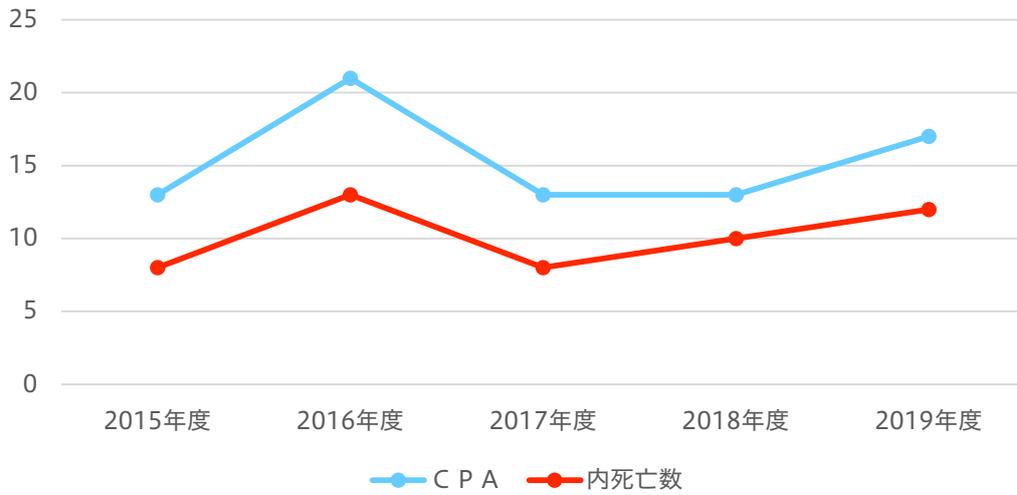
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
内科	285	287	230	179	215
外科	123	94	95	68	73
脳外	98	107	102	104	94
整形	11	8	10	9	6
婦人科	2	3	3	11	3
耳鼻科	2	0	5	4	4
泌尿器	19	29	19	16	13
乳腺	-	-	1	2	5
形成	10	6	6	2	9
心療内科	-	-	1	0	0
総数	550	534	472	395	422

※収容のルール変更により ICU に収容された外科の患者数は減少傾向にあります。

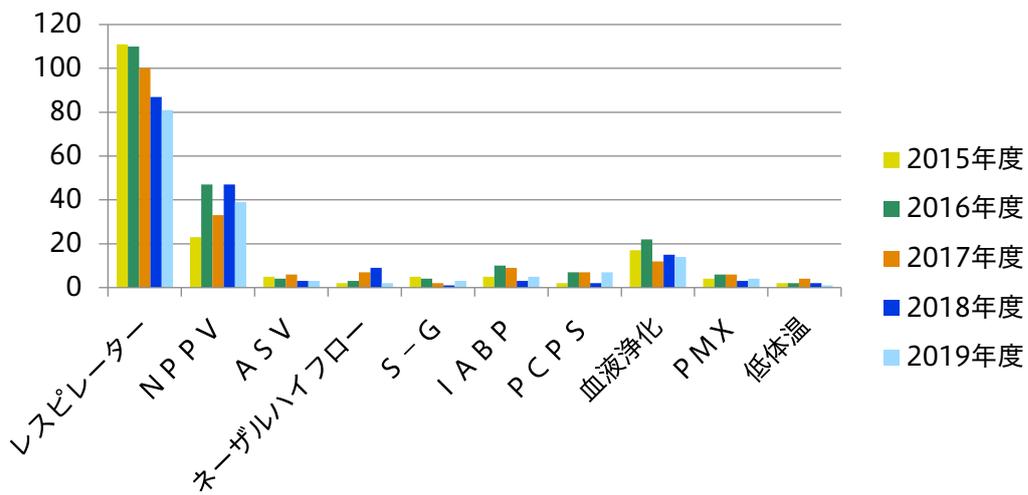
### 入室経路



CPA 件数（死亡数）動向



特殊治療の動向



### 退院患者疾患別（病態）分類

(データ作成：診療情報管理室 田河)

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	形成外科	脳外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	総計
I. 感染症および寄生虫症 (A00-B99)	男	57	14	3	0	0	0	0	1	15	0	0	4	94
	女	62	9	2	0	0	1	0	1	21	0	3	5	104
	計	119	23	5	0	0	1	0	2	36	0	3	9	198
II. 新生物 (C00-D48)	男	302	188	50	7	18	1	0	9	0	0	0	0	575
	女	158	161	6	7	20	0	1	5	0	0	77	0	435
	計	460	349	56	14	38	1	1	14	0	0	77	0	1,010
III. 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50-D89)	男	9	4	3	0	0	0	0	0	5	0	0	0	21
	女	22	7	0	0	0	0	0	0	4	0	2	0	35
	計	31	11	3	0	0	0	0	0	9	0	2	0	56
IV. 内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	男	42	2	1	0	0	0	0	0	5	0	0	5	55
	女	41	2	1	0	0	0	0	0	4	0	1	9	58
	計	83	4	2	0	0	0	0	0	9	0	1	14	113
V. 精神および行動の障害 (F00-F99)	男	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	女	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	5
	計	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	11
VI. 神経系の疾患 (G00-G99)	男	37	1	1	11	0	26	0	6	0	0	0	5	87
	女	31	9	0	9	0	8	0	4	1	0	0	1	63
	計	68	10	1	20	0	34	0	10	1	0	0	6	150
VII. 眼及び付属器の疾患 (H00-H59)	男	1	0	0	0	8	0	301	0	1	0	0	0	311
	女	0	0	0	0	13	0	323	0	0	0	0	0	336
	計	1	0	0	0	21	0	624	0	1	0	0	0	647
VIII. 耳および乳様突起の疾患 (H60-H95)	男	4	0	0	0	0	0	0	8	4	0	0	1	17
	女	12	0	0	0	0	0	0	12	0	0	1	1	26
	計	16	0	0	0	0	0	0	20	4	0	1	2	43
IX. 循環器系の疾患 (I00-I99)	男	315	6	9	0	9	92	0	0	0	0	0	54	485
	女	216	5	7	0	23	66	0	0	0	0	0	41	358
	計	531	11	16	0	32	158	0	0	0	0	0	95	843
X. 呼吸器系の疾患 (J00-J99)	男	460	16	6	0	1	1	0	26	157	0	0	17	684
	女	429	5	8	0	0	0	0	29	141	0	1	16	629
	計	889	21	14	0	1	1	0	55	298	0	1	33	1,313
XI. 消化器系の疾患 (K00-K93)	男	455	426	0	0	0	0	0	2	4	0	0	1	888
	女	298	258	0	1	0	1	0	1	2	0	0	3	564
	計	753	684	0	1	0	1	0	3	6	0	0	4	1,452
XII. 皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	男	11	17	1	7	39	0	0	1	7	0	0	0	83
	女	21	17	0	5	34	0	0	0	6	0	0	0	83
	計	32	34	1	12	73	0	0	1	13	0	0	0	166
XIII. 筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	男	23	1	2	138	11	0	0	0	3	0	0	3	181
	女	20	1	0	162	13	1	0	0	1	0	0	1	199
	計	43	2	2	300	24	1	0	0	4	0	0	4	380
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	男	92	3	84	0	10	1	0	0	4	0	0	4	198
	女	199	5	74	0	7	0	0	0	4	4	81	6	380
	計	291	8	158	0	17	1	0	0	8	4	81	10	578
XV. 妊娠、分娩および産じょく < 褥 > (O00-O99)	女	2	1	0	0	0	0	0	0	0	876	0	0	879
	計	2	1	0	0	0	0	0	0	0	876	0	0	879

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	形成外科	脳外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	総計
X VI. 周産期に発生した病態 (P00-P96)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	15
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	25
X VII. 先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	男	0	12	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	16
	女	0	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	9
	計	0	12	0	4	7	1	0	0	1	0	0	0	25
X VIII. 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	男	2	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	6
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
	計	3	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	9
X IX. 損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	男	18	14	2	267	20	49	1	0	120	0	0	6	497
	女	27	11	9	363	15	16	2	1	58	0	4	6	512
	計	45	25	11	630	35	65	3	1	178	0	4	12	1,009
XX I. 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z00-Z99)	男	96	62	3	71	2	0	0	0	372	0	0	0	606
	女	99	72	2	92	0	0	0	0	345	6	25	0	641
	計	195	134	5	163	2	0	0	0	717	6	25	0	1,247
総計		3,571	1,329	274	1,144	250	264	628	107	1,314	887	195	191	10,154

## 医療の質 Quality Indicator (QI)

(データ作成：診療情報管理室 柳)

当院では、2013年4月から日本病院会主催の「QIプロジェクト」へ参加しています。「QIプロジェクト2019」では、日本病院会が指定する40の指標について、全国の参加病院355病院がデータを提出、ベンチマークすることで、自院の立ち位置を確認することが出来ます。これらの指標を観察・分析し常に医療の質の向上につとめています。これらの指標の一部をここで紹介します。

### 患者満足度調査

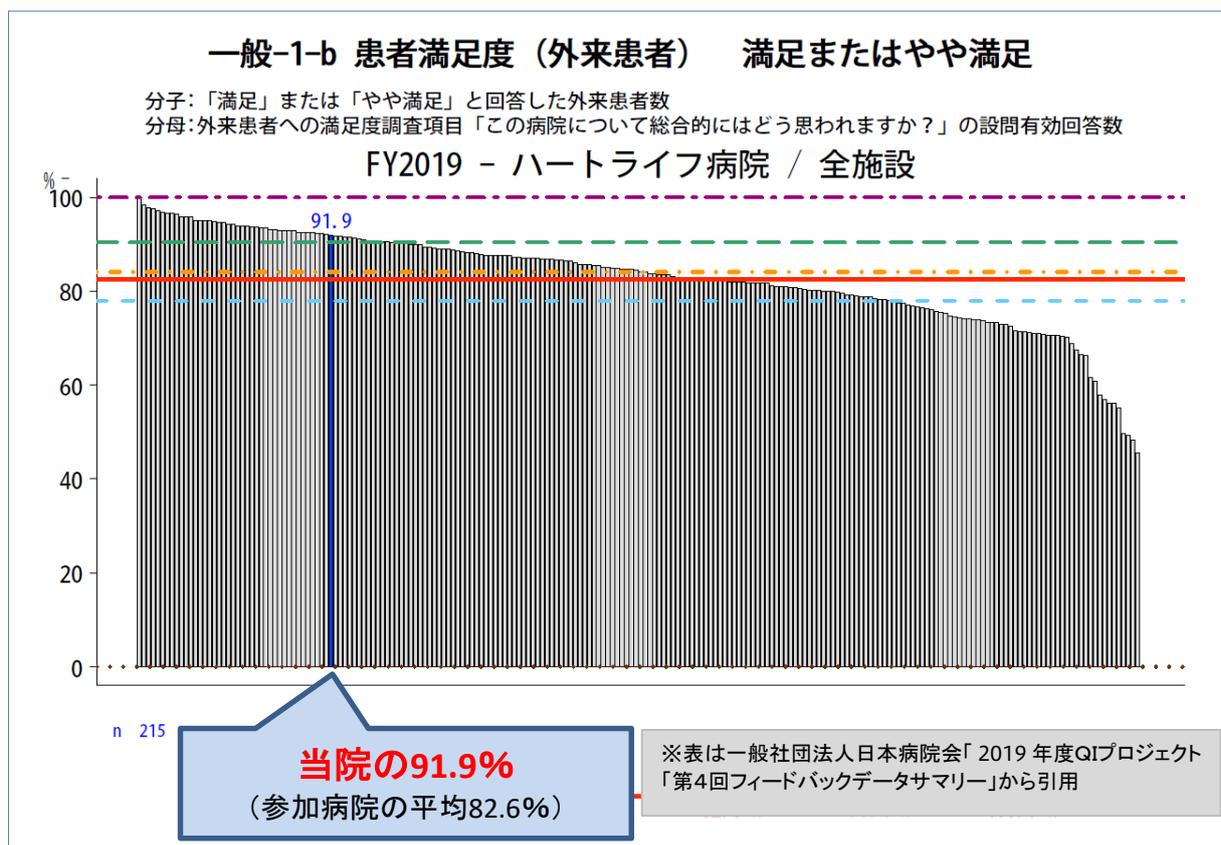
Q.この病院について総合的にはどう思われますか?の設問に、「不満/やや不満/どちらともいえない/やや満足/満足」の5段階評価をして頂きました。

外来調査期間：2019年10月7日～8日の2日間 回答者数：255名

外来における患者満足度の「満足またはやや満足」は、9割を超える高い満足度を頂いております。昨年度と比較し「満足またはやや満足」の割合が僅かではありますが0.4%増加しました。引き続き患者満足度の向上に努めてまいります。

#### 外来

	2015	2016	2017	2018	2019
満足のみ	32.5%	36.8%	36.0%	35.6%	37.6%
満足+やや満足	84.6%	88.3%	93.0%	91.5%	91.9%
どちらともいえない	14.5%	10.0%	6.57%	7.7%	7.7%
やや不満	0.9%	1.3%	0.43%	0.4%	0.4%
不満	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%



入院されている患者さんに「この病院について総合的にはどう思われますか？」という問いに対し「不満 / やや不満 / どちらともいえない / やや満足 / 満足」の5段階で評価をして頂きました。

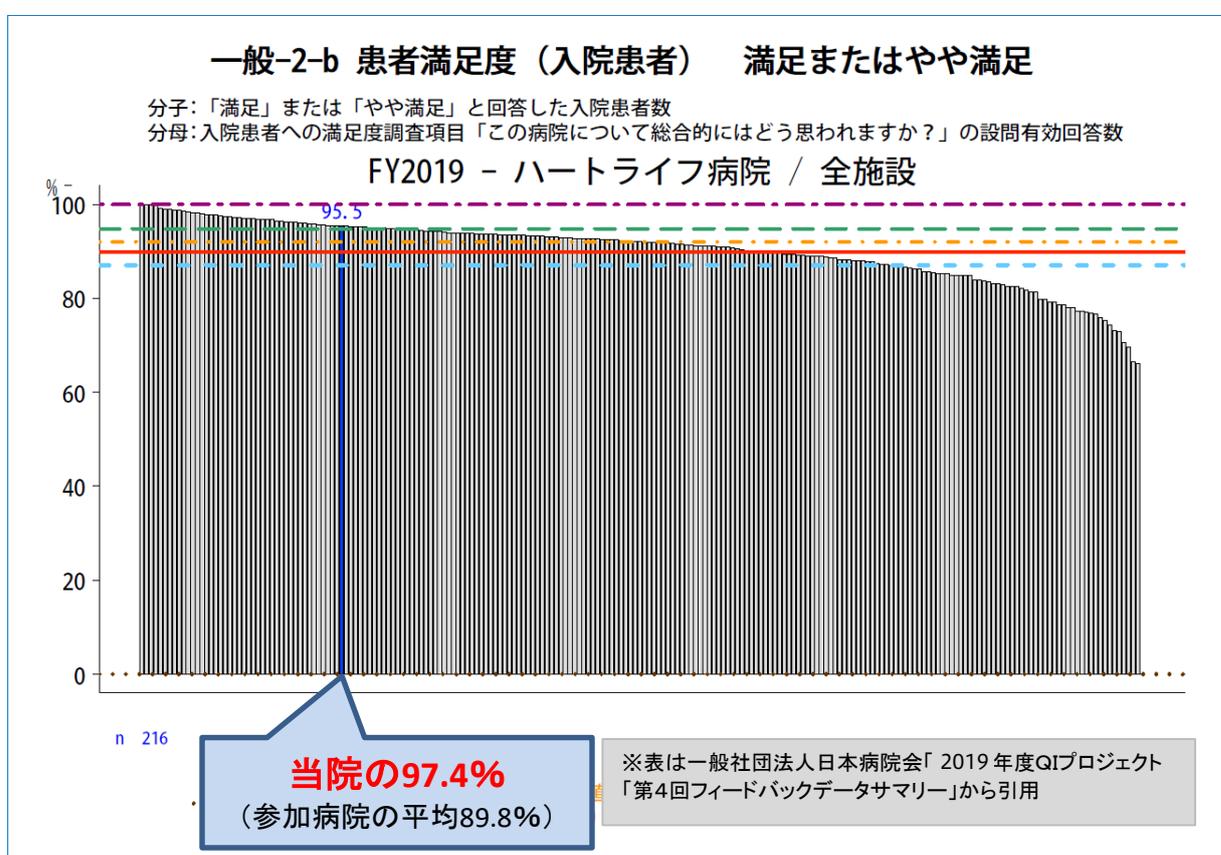
昨年度に比べ「満足またはやや満足」は0.9%アップ、「満足」においては6.9%の高い伸び率でした。

入院における患者満足度は、年々上昇傾向にあります。引き続き患者満足度の向上に努めてまいります。

※入院入院調査期間：2019年10月7日～12日の6日間 回答者数：117名

## 入院

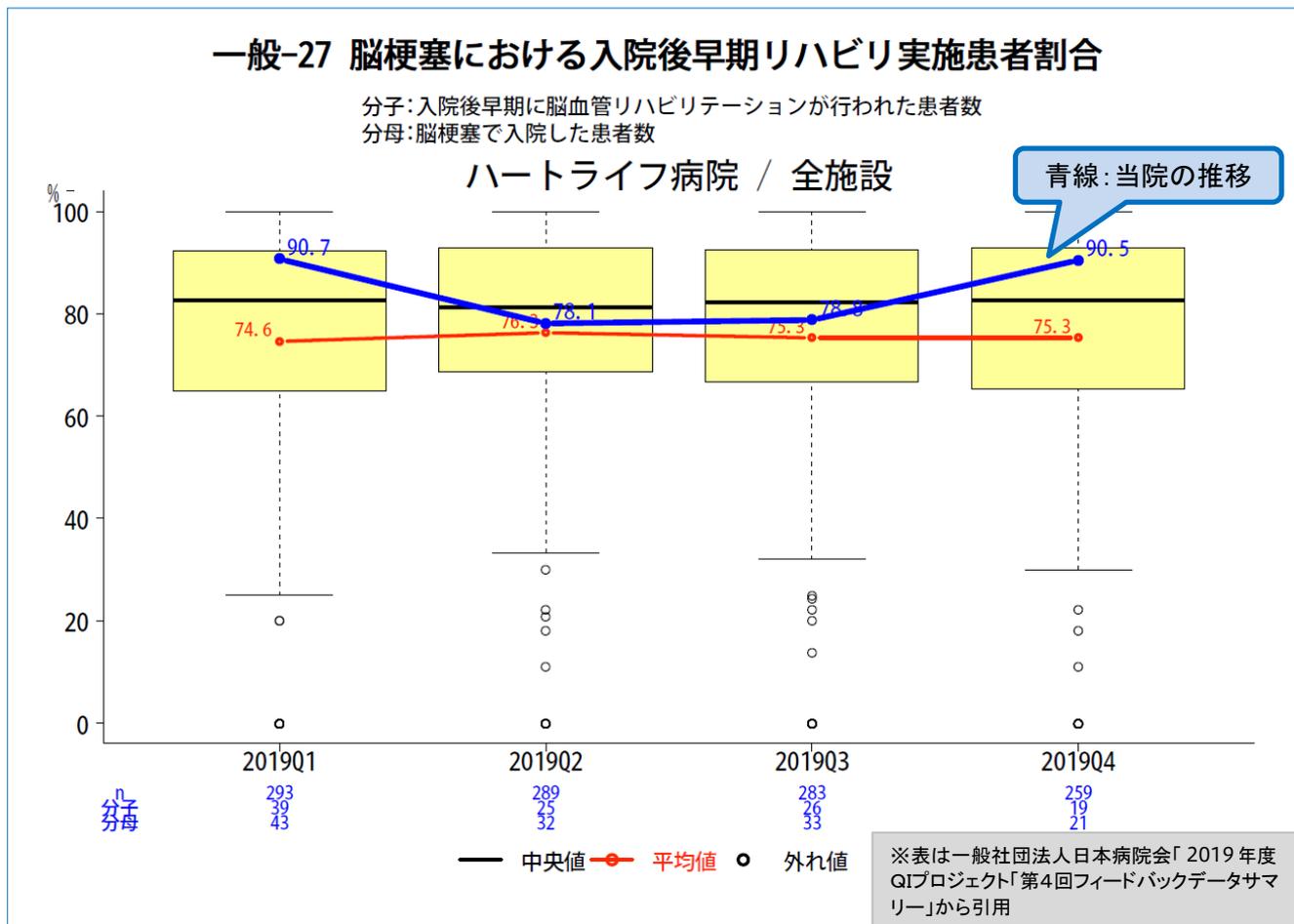
	2015	2016	2017	2018	2019
満足のみ	42.2%	46.8%	53.0%	44.4%	51.3%
満足 + やや満足	94.1%	94.9%	92.5%	96.5%	97.4%
どちらともいえない	4.9%	5.1%	7.5%	3.5%	2.6%
やや不満	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



### 脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者の割合

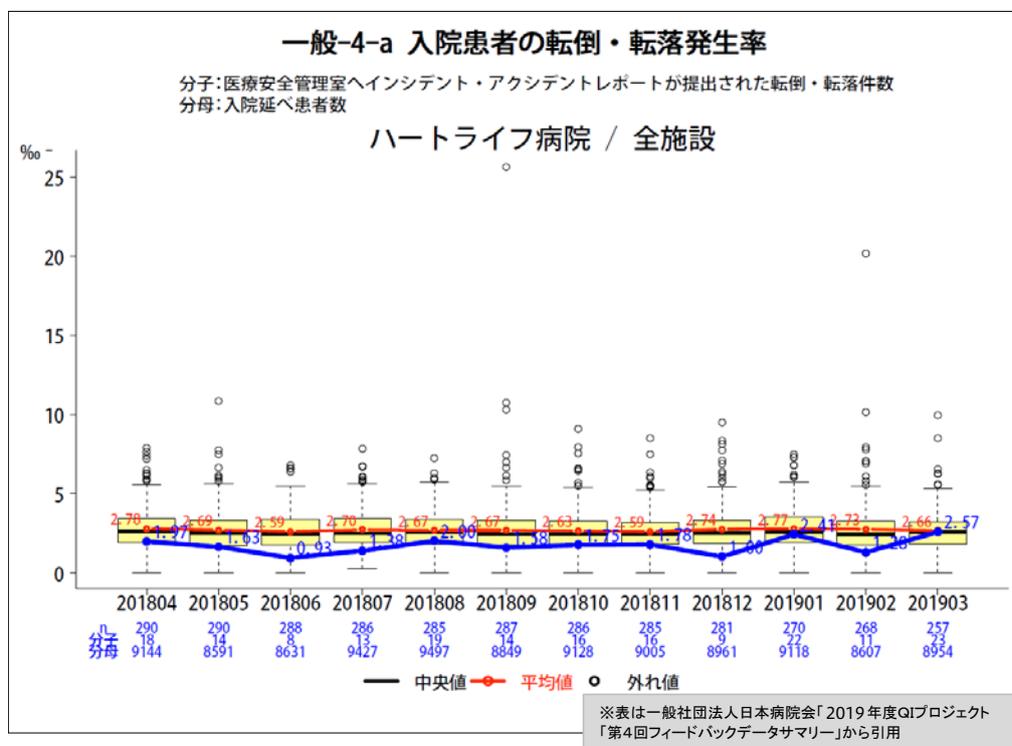
この図は脳梗塞の診断で入院し、入院後3日以内に脳血管疾患等リハビリテーションを受けた症例の割合を示しております。脳卒中の診断後できるだけ早期にリハビリを開始することが、機能の早期回復と低下抑制につながります。

近年、脳卒中患者における急性期リハビリテーションの有効性が明らかになっています。急性脳梗塞では、急性期治療を行いつつ、出来る限り早くリハビリテーションを開始する必要があります。「脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者の割合」は、QIプロジェクト参加病院に対し、当院は84.5%で参加病院の平均値を大きく上回っていました。(診療情報管理室)

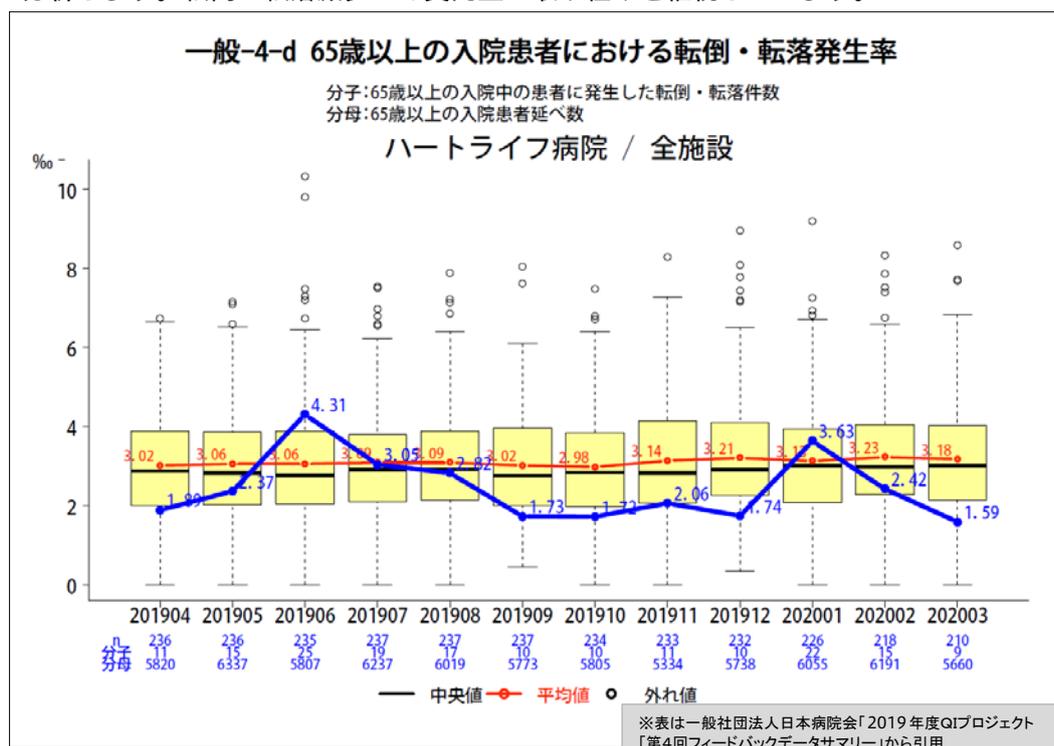


## 入院患者の転倒・転落発生率

転倒、転落に関しては、発生時間など細かな分析を継続しています。事象ごとに発生部署と要因分析と対策評価・見直しを行なっています。その中で、患者行動から事前のトイレ誘導や環境管理などの有用性について、高齢化に伴う履物の選択などを指導しています。高齢化に伴い患者要因の増大も予測される為、継続して転倒転落防止における教育を行なっていきます。



高齢化に伴い患者要因の事象増大も予測される為、継続して転倒転落防止における教育を行なっていきます。また、患者のADL評価、それに伴う対策に関し病棟と連携します。事象発生時は適正を含めて原因分析します。転倒・転落減少への質向上へ取り組みを継続しています。



## 地域医療支援病院認定 関連統計情報

### 紹介率・逆紹介率

地域医療支援病院承認条件：紹介率 65%以上かつ逆紹介率 40%以上

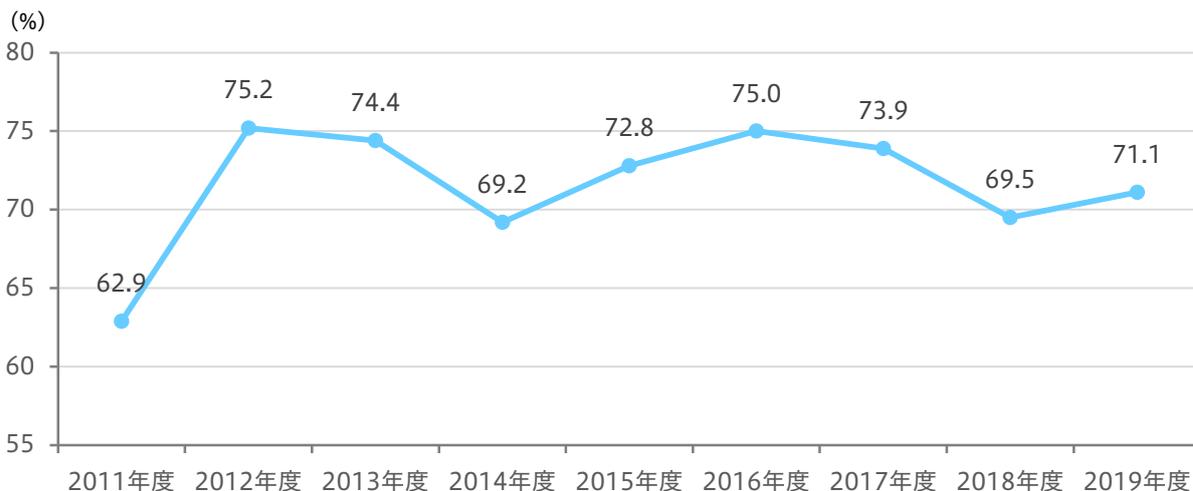
ハートライフ病院目標 紹介率 80% / 逆紹介率 70%

(データ作成 地域医療連携室 金城)

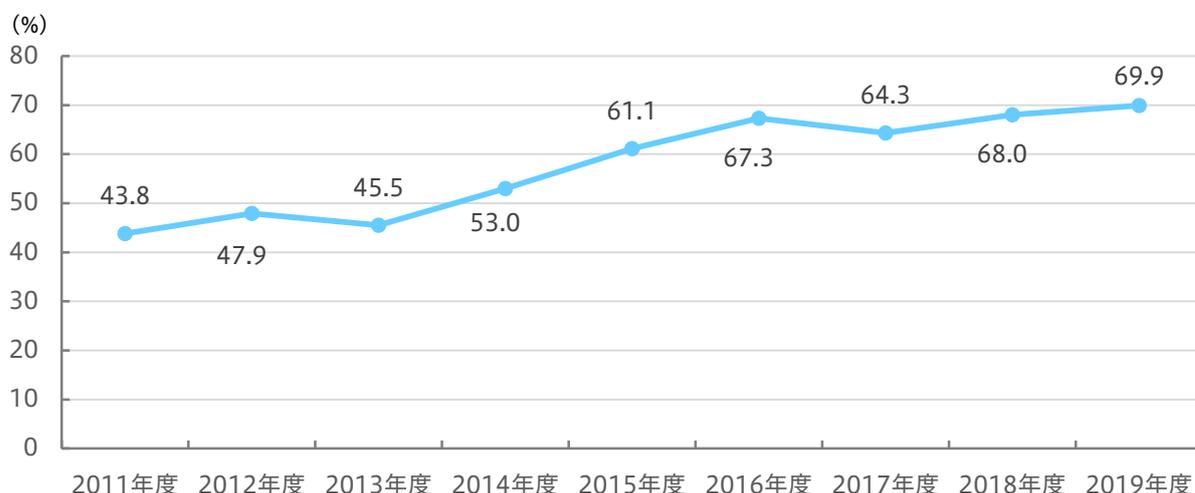
### 紹介患者状況

	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
	患者数(人)	月平均								
紹介患者数	8,280	690	8,596	716	8,645	720	8,402	700	8,872	739
初診患者数	17,791	1,483	18,157	1,513	18,703	1,559	18,816	1,568	19,828	1,652
救急初診患者数	6,512	543	6,761	563	7,149	596	6,506	542	7,032	586
時間内初診救急搬送件数	613	51	623	52	624	52	658	55	772	64
逆紹介患者数	6,949	579	7,716	643	7,528	627	8,214	685	8,711	726
紹介率	72.8%	-	75.0%	-	73.9%	-	69.5%	-	71.1%	-
逆紹介率	61.1%	-	67.3%	-	64.3%	-	68.0%	-	69.9%	-

### 地域医療支援病院紹介率の実績 (月平均紹介率 / 基準値 65% 目標値 80%)



### 地域医療支援病院逆紹介率の実績 (基準値 40% 目標値 70%)



## 共同利用

(データ作成 地域医療連携室 金城)

## 年度別 登録医状況

	登録医数	備考
2009年度3月	292	
2010年度3月	303	
2011年度3月	307	登録医療機関は303
2012年度3月	304	登録医療機関は300
2013年度3月	299	登録医療機関は294
2014年度3月	297	登録医療機関は290

	登録医数	備考
2015年度3月	300	登録医療機関は292
2016年度3月	322	登録医療機関は313
2017年度3月	323	登録医療機関は314
2018年度3月	324	登録医療機関は315
2019年度3月	322	登録医療機関は313

## 2019年度登録施設 診療圏内訳

医療圏	件数
北部医療圏	11
中部医療圏	103
南部医療圏	179

医療圏	件数
宮古医療圏	12
八重山医療圏	7
その他医療圏	1
合計	313

## 開放病床の共同利用状況 (開放病床 22床)

	延べ利用患者数	年間平均利用率
2014年度	8,950	115.1%
2015年度	8,843	110.0%
2016年度	10,521	131.2%

	延べ利用患者数	年間平均利用率
2017年度	9,172	114.4%
2018年度	9,352	117.4%
2019年度	8,919	110.7%

## 医療機器の共同利用状況

		MRI	CT	RI	超音波
2011年度	総件数	3,452	11,775	333	14,533
	紹介件数	626	894	39	1,854
	利用率	18.1%	7.6%	11.7%	12.8%
2012年度	総件数	3,551	11,322	341	12,942
	紹介件数	664	941	42	2,049
	利用率	18.6%	8.3%	12.5%	15.9%
2013年度	総件数	3,964	11,547	307	13,094
	紹介件数	689	1,055	49	2,156
	利用率	17.4%	9.1%	16.0%	16.5%
2014年度	総件数	3,823	12,256	317	13,263
	紹介件数	658	1,093	41	2,250
	利用率	17.2%	8.9%	12.9%	17.0%
2015年度	総件数	3,758	12,147	286	12,884
	紹介件数	667	1,134	46	2,270
	利用率	17.9%	9.4%	15.8%	17.6%
2016年度	総件数	3,780	12,230	202	11,677
	紹介件数	782	1,340	35	2,435
	利用率	20.7%	11.0%	17.3%	20.9%

		MRI	CT	RI	超音波
2017年度	総件数	3,822	12,253	283	11,636
	紹介件数	733	1,306	73	2,595
	利用率	19.2%	10.7%	25.8%	22.3%
2018年度	総件数	4,503	12,397	287	11,887
	紹介件数	939	1,247	42	2,793
	利用率	20.9%	10.1%	14.6%	23.5%
2019年度	総件数	4,758	13,667	285	12,248
	紹介件数	965	1,513	49	2,881
	利用率	20.2%	11.1%	17.1%	23.5%

## 研修

(データ作成 地域医療連携室 新垣)

### 地域医療従事者に対する検討会・勉強会実施状況

内 訳	回数	症例件数	参加人数		
			院内	院外	合計
救急症例検討会	2	6	77	174	251
消化器系症例検討会	1	4	24	3	27
その他講習会・講演会等	4	0	48	93	141
合 計	7	10	149	270	419

### 救急救命士実習実績

(データ作成 地域医療連携室 金城)

#### 気管挿管病院実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	2
沖縄市消防本部	2
中城北中城消防本部	1
合 計	5

#### 気管挿管認定救急救命士の再教育に係る見学・指導実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	9
うるま市消防本部	5
沖縄市消防本部	3
宜野湾市消防本部	4
金武区消防衛生組合消防本部	1
中城北中城消防本部	1
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	5
合 計	28

#### ビデオ喉頭鏡病院実習

消防本部名	人数
沖縄市消防本部	5
宜野湾市消防本部	3
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	3
中城北中城消防本部	2
うるま市消防本部	4
金武区消防衛生組合消防本部	2
合 計	19

#### 就業前病院実習

消防本部名	人数
中城北中城消防本部	3
合 計	3

## ハートライフ病院 DMAT

### 概要

DMATとは、大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの急性期の現場で活動できる専門的な訓練を受け、通常診療が行えれば避けられた死（防ぎ得た災害死）を減らすため、できるだけ多くの人に根本治療を、そのためにできるだけ多くの人を適切な医療機関へ搬送するための安定化処置を施し、最大多数の最大幸福をめざして活動をする厚生労働省の認めた専門研修・訓練を受けた災害派遣医療チームです。

ハートライフ病院はこれまで、救急・災害医療面で多くの会議・協議会・実働訓練・学会、講習会等に参加し、実績を残してきましたが、なかなかDMAT 隊員養成研修の沖縄県の受講枠を得ることができず、DMAT 指定医療機関として災害急性期に活動することができませんでした。

地道な努力と辛抱強く申請を続け、平成26年にDMAT 隊員養成研修に5名の職員が受講することができ、正式にハートライフ病院がDMAT 指定医療機関となり、ハートライフDMAT が設立されました。設立後も、各種訓練、講習会に参加しつつ、薬局・臨床工学科・管財課用度係・企画室・救急総合診療部・災害対策委員会と連携しながら、DMAT 派遣・災害医療の体制作りを進め、平成28年に起きた熊本地震では沖縄からの最先着隊として被災地に入り、活動をしてきました。

これからも引き続き、院内の各種委員会との連携を進め、DMAT 活動体制を更に前進させます。

### メンバー構成

氏名	所属・役職	職種
三戸 正人	救急総合診療部 副部長 兼 循環器内科 医長	医師（内科系）
国吉 史雄	外科 医長	医師（外科系）
竹本 健太	透析室	看護師
兼本 愛美	救急外来 主任（救急看護認定看護師）	看護師
山田 義長	救急外来	看護師
野原 剛	臨床工学科 副技師長	ロジスティクス（事務・調整役）
安里 健二	事務部企画室電算係 副主任	ロジスティクス（事務・調整役）
森元 一晟	救急外来 ER-Aide	ロジスティクス（事務・調整役）

### 活動報告

種別	名称・参加者
訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度 沖縄県災害対策本部設置運営訓練（7月・沖縄県那覇市） 参加者：三戸正人、兼本愛美、山田義長、野原剛、安里健二</li> <li>令和元年度 沖縄県総合防災訓練（9月・沖縄県宮古島市） 参加者：三戸正人、国吉史雄、兼本愛美、山田義長、野原剛、安里健二</li> <li>令和元年度 総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練（9月・静岡県） 参加者：三戸正人、国吉史雄、兼本愛美、山田義長、野原剛、安里健二</li> <li>令和元年度 九州・沖縄ブロックDMAT 実働訓練（11月・宮崎県） 参加者：三戸正人（コントローラー）、国吉史雄、兼本愛美、山田義長、野原剛、安里健二、森元一晟</li> <li>テロ対応総合訓練（11月・沖縄県北中城村） 参加者：三戸正人、国吉史雄、兼本愛美、山田義長、安里健二</li> <li>美ら島レスキュー2019（12月・沖縄県 陸上自衛隊那覇駐屯地） 参加者：三戸正人、国吉史雄、兼本愛美、山田義長、野原剛、森元一晟</li> </ul>
会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>第17回九州・沖縄災害拠点病院実務者会議</li> <li>第9回九州・沖縄ブロックDMAT 実務者会議</li> <li>令和元年度 沖縄県総合防災訓練全体会議・医療部会</li> <li>那覇空港緊急計画連絡協議会</li> <li>沖縄DMAT・災害拠点病院等連絡会議</li> </ul>

種別	名称・参加者
研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度第1回統括DMAT研修(5月・東京都) 参加者:国吉史雄</li> <li>令和元年度第1回九州・沖縄ブロックDMAT技能維持研修(6月・福岡県) 参加者:三戸正人(インストラクターとして参加)</li> <li>令和元年度災害派遣医療チーム(DMAT)研修【西第6回】(10月・兵庫県) 参加者:森元一晟</li> <li>令和元年度第2回九州・沖縄ブロックDMAT技能維持研修(12月・大分県) 参加者:三戸正人(インストラクターとして参加)</li> <li>令和元年度NBC災害・テロ対策研修【第2回】(12月・大阪府) 参加者:三戸正人、兼本愛美、山田義長、野原剛、安里健二</li> <li>令和元年度DMATロジスティックチーム隊員養成研修(12月・東京都) 参加者:三戸正人</li> <li>令和元年度第1回九州・沖縄ブロック統括DMAT登録者技能維持・ロジスティック研修(1月・鹿児島県) 参加者:三戸正人(インストラクターとして参加)、兼本愛美、山田義長、野原剛、森元一晟</li> </ul>
事務局活動	ハートライフDMAT委員会(DMAT隊員、企画室、臨床工学科、管財課)

2019/09/01 (沖縄県宮古島市)  
沖縄県総合防災訓練



2019/09/06 (静岡県、神奈川県)  
大規模地震時医療活動訓練



2019/11/10 (宮崎県)  
九州・沖縄ブロックDMAT実動訓練



2019/11/30 (沖縄県北中城村)  
テロ対応訓練

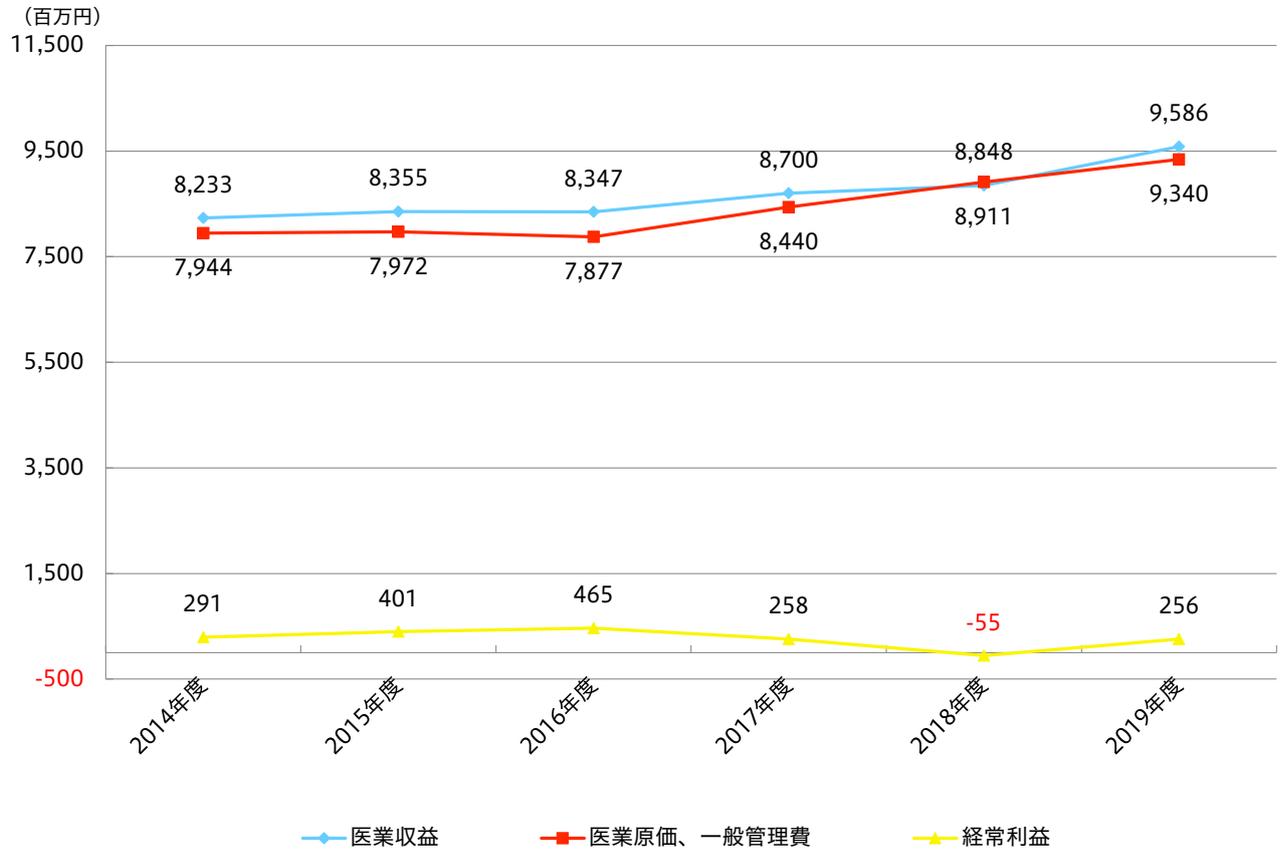


2019/12/18 (沖縄県那覇市)  
美ら島レスキュー2019



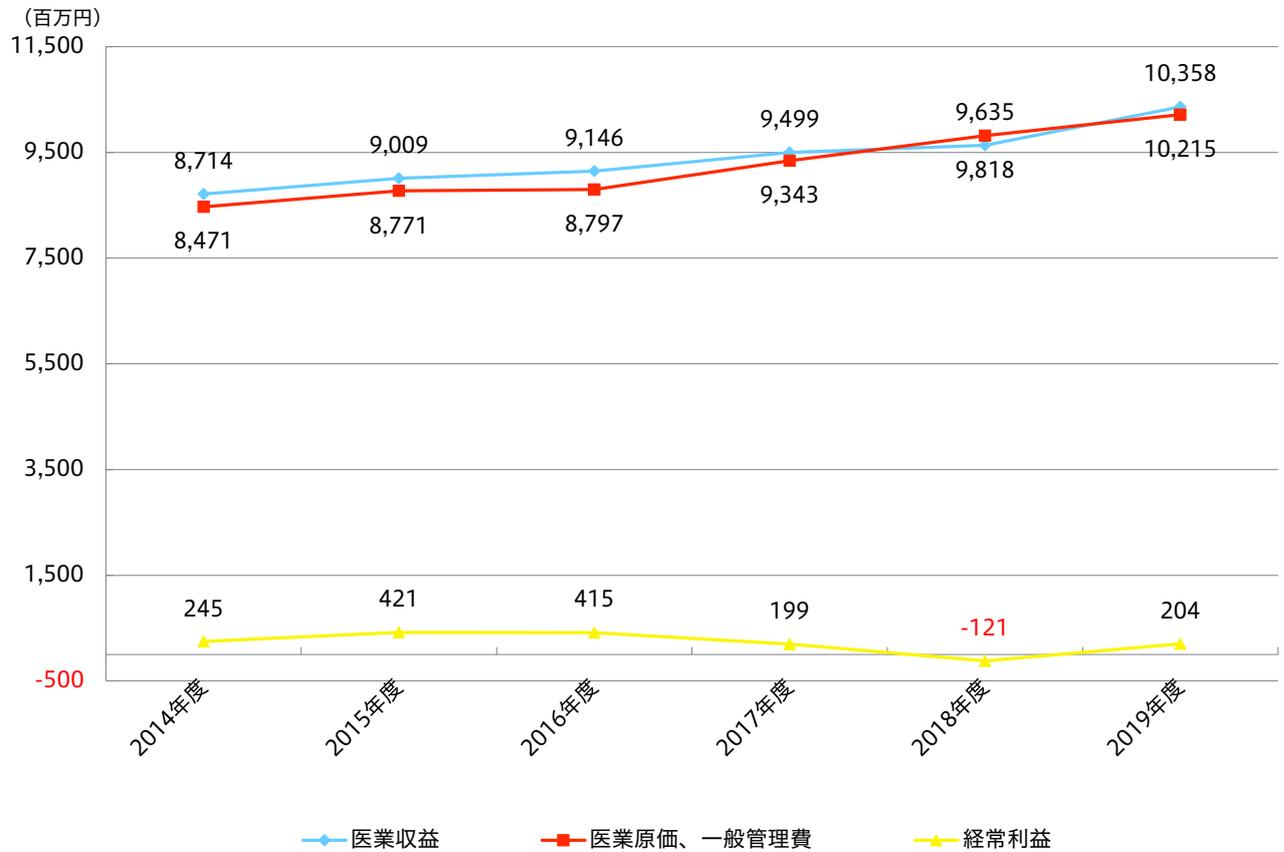
## ハートライフ病院財務状況推移

(データ作成 財務経理課 大山)



# 社会医療法人かりゆし会 財務状況推移

(データ作成 財務経理課 大山)



## 社会医療法人かりゆし会 2019年度の活動実績

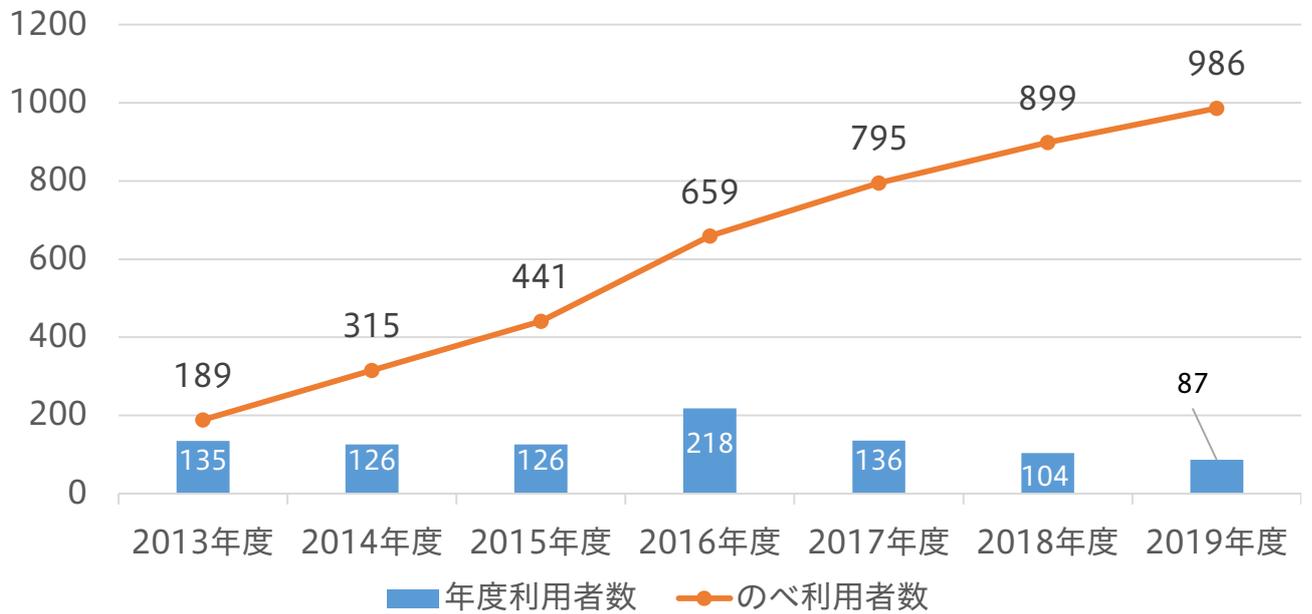
(データ作成 総務課 吉川)

年月日	名称
2019年4月1日	佐久川 廣がハートライフ病院 院長に就任 前任の奥島憲彦がハートライフ病院 名誉院長に就任
2019年4月1日	2019年度 入職式・新入職員オリエンテーション(1日目)
2019年4月1日	新入職者歓迎会
2019年4月1日	春季 職員健診(35歳未満:4/1~11、35歳以上:4/1~30)
2019年4月2日	新入職員オリエンテーション(2日目)
2019年4月12日	勉強会「入退院支援センターの取り組み」 講師:照屋りつ子(那覇市立病院 副看護部長)
2019年4月19日	勉強会「これからの在宅医療の方向について」 講師:中村哲生(医療法人社団 永生会 特別顧問)
2019年5月8日	勉強会「足と傷のセンターの概要、センターにおける看護師の役割」 講師:形成外科 東盛真光 先生
2019年5月19日	新入職員歓迎 沖縄本島縦断駅伝大会
2019年5月27日	院内合同慰霊祭
2019年5月29日	2019年度 事業計画説明会<役職者対象>
2019年5月29日	足と傷のセンターを開設
2019年6月1日	ハイケアユニット開設(東館2階病棟12床からHCU12床へ転換)
2019年6月4日	2019年度 科別実績報告会(1日目)
2019年6月5日	2019年度 科別実績報告会(2日目)
2019年6月20日	乳がん講演会「がん研乳腺外科の研修について」・「乳がんの診断と治療の進歩」 講師:照屋なつき先生(がん研有明病院 乳腺センター副医長) 講師:上野貴之先生(がん研有明病院 乳腺センター副医長)
2019年6月24日	勉強会「食道アカラシアの類縁疾患の診断と治療」 講師:塩飽 洋生 先生(福岡大学病院 消化器外科 医局長)
2019年7月4日	講演会「緩和救急～緩和なのに救急とは?…いかに?～」 講師:林 寛之 先生(福井大学医学部附属病院 総合診療部教授)
2019年7月8日	院内献血
2019年7月9日	九州厚生局による適時調査
2019年7月16日	職員交流 卓球大会(1日目)
2019年7月17日	職員交流 卓球大会(2日目)
2019年7月18日	職員交流 卓球大会(3日目)
2019年7月20日	かりゆし会互助会新人(2018年度・2019年度入職者) 歓迎 ボウリング大会
2019年7月26日	クリニカルパス大会 特別講演「四国がんセンター パス活動の紹介と電子パスの今後」 講師:河村 進 先生(四国がんセンター 特命副院長・病院情報管理部長・クリニカルパス管理委員会委員長・日本クリニカルパス学会理事)
2019年8月7日	2019年度 火災避難訓練
2019年8月7日	感染対策講演会「知ろう 守ろう 抗菌薬」 講師:総合内科 佐藤 直行 先生
2019年8月20日	中部合同カンファレンス
2019年8月22日	ハートライフ病院 開院31周年
2019年9月4日	医療安全講演会「医療安全の現状と対応」 講師:久場 良也 副院長 「医療安全におけるAIの必要性」 講師:高良 誠 放射線科部長
2019年9月13日	講演会「意外に知らない 胸壁症候群」 講師:上田 剛士 先生(洛和会丸太町病院 救急・総合診療科部長)
2019年10月10日	第16回「地域医療連携懇談会」 エリスリーナ西原ヒルズガーデン
2019年10月15日	院内研究発表会 事務部予選会
2019年10月16日	院内研究発表会 医療技術部予選会
2019年10月18日	院内研究発表会 看護部予選会
2019年10月26日	かりゆし会スポーツレクリエーション「部署交流ソフトバレーボール大会」 西原町民体育館
2019年11月8日	かりゆし会 院内研究発表会 本選
2019年11月11日	メンタルヘルス研修会(全職員対象)
2019年11月12日	メンタルヘルス研修会(全職員対象)
2019年11月13日	メンタルヘルス研修会(全職員対象)

年月日	名称
2019年11月22日	講演会「ドクターカーで劇的救命」 講師：今明秀先生(八戸市立市民病院 院長)
2019年11月26日	医療監視(中部保健所による立入検査)
2019年12月10日	講演会「当院における中心静脈カテーテル感染の現状について」 講師：薬局 山下翔一
2019年12月14日	「かりゆし会互助会 忘年会」 ダブルツリー by ヒルトン那覇
2019年12月16日	「認定看護師 実践報告会」
2019年12月17日	「2020年度 診療報酬改定 WEB セミナー」
2019年12月19日	医療費あと払いシステム導入説明会
2019年12月27日	講演会「安全な中心静脈カテーテル留置のための基礎と実践：べし・べからず！」 講師：徳嶺 譲芳先生(杏林大学医学部麻酔科教授)
2019年12月28日	セミナー「超音波中心静脈穿刺：初心者からエキスパートへ！」 講師：徳嶺 譲芳先生(杏林大学医学部麻酔科教授)
2019年12月30日	納会
2020年1月6日	かりゆし会成人式
2020年1月6日	医療費あと払いサービスを開始
2020年1月10日	新春もちつき大会
2020年1月17日	院内献血
2020年1月17日	講演会『人生100年』令和新時代を健康に生き抜くための変形性膝関節症に対する新しい治療戦略 講師：中村 立一先生(医療法人博俊会 春江病院 整形外科センター長)
2020年1月22日	講習会「ポリファーマシーって何？ メリットは？」 講師：総合内科 佐藤直行先生、薬局 田中泉
2020年1月31日	「知って得する看護の掟 ～最新の針刺しトラブル解決法～」 講師：皆川 洋至先生 城東整形外科 副院長
2020年2月1日	エコーセミナー「脊椎疾患に対する超音波ガイド下ハイドロリリース」 講師：皆川 洋至先生 城東整形外科 副院長
2020年2月10日	感染対策講演会「薬剤耐性菌よもやま話 ～耐性菌誕生秘話～」 講師：呼吸器内科 仲吉 博亮先生
2020年3月2日	人間ドック機能評価更新 <訪問審査>
2020年3月24日	「2020年度 診療報酬改定説明会」
2020年3月25日	医療安全研修会「カルテ記載と情報共有の重要性 - 今後 重要となるケア移行について学ぼう -」 講師：総合内科 佐藤直行先生
2020年3月27日	2019年度 災害対策研修・対応訓練(NBC 災害化学防護服着脱訓練)

## かりゆし会病児保育室 利用実績推移

かりゆし会では職員の働きやすさ実現のために平成24年8月より、ハートライフクリニック内に職員向け病児保育室を設置しています。



# 2019年度 患者満足度調査

(データ作成 患者満足度向上委員会 富里)

当院では、患者サービス向上を目的に「患者満足度調査」を実施しております。アンケートにご協力して下さった皆様に心より感謝を申し上げます。皆様からいただいた貴重なご意見を病院内の全部署で共有し、より良い医療環境の提供・サービス向上に取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

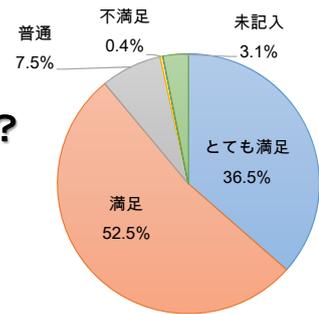
調査日時:2019年10月7日(月)から10月8日(火)の2日間(病棟のみ6日間)

※調査場所:ハートライフ病院 外来・各病棟・透析室・人間ドック・内視鏡センター

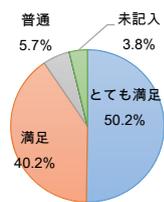
**外来**  
アンケート回答数  
255件

## 【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

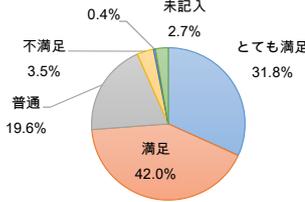
満足以上が89.0%と  
概ね良い評価と  
なっています。



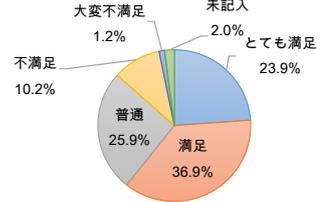
医師による診察内容は分かり易かったですか？



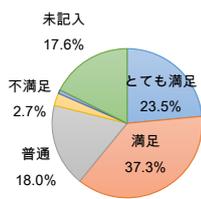
受付の待ち時間はいかがでしたか？



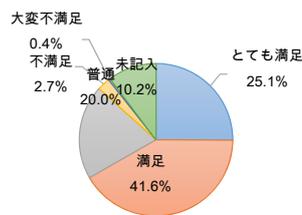
診察の待ち時間はいかがでしたか？



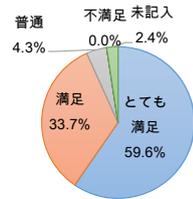
検査の待ち時間はいかがでしたか？



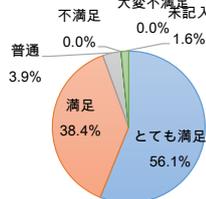
会計の待ち時間はいかがでしたか？



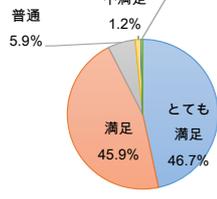
医師の言葉遣いや態度は良かったですか？



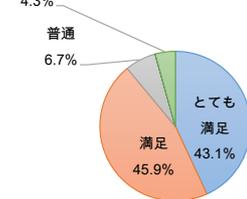
看護師の言葉遣いや態度は良かったですか？



受付事務の言葉遣いや態度は良かったですか？



その他職員の言葉遣いや態度は良かったですか？



### <コメント>

ちゃんと親身になって話聞いてくれて、いろんな検査してしらべてくれるので良かったです。中には同じ事しか検査しない病院もあったので、みなさんとても親切に対応してくれるので毎回安心して受診できます。ありがとうございます。

総合病院のため、待ち時間はかかりましたが医師やスタッフの対応が良かったので不満な気持ちにはなりません。リフォーム後に初めて受診し、きれいさにびっくりしました。

予約しても…4~50分待つのは何故？

入院初日ぐらい、トイレトペーパー、スリッパを病院で準備してほしい。また、テレビカードの購入料金が高いと感じる。

医師の診察が終わって、看護師からファイルをもらうのが時間がかかったので、改善してほしい。

手すり希望。外来までの距離が長い。

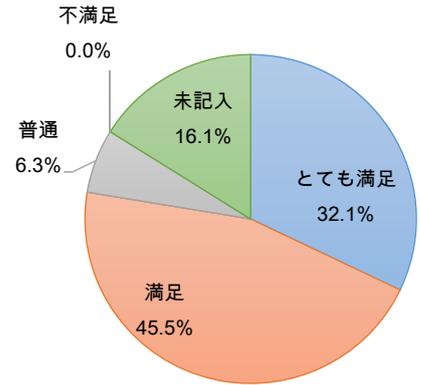
診察の呼び出しに、アナウンスだけでなく、表示されると助かります。(耳が不自由なので)

# 予防医学 センター

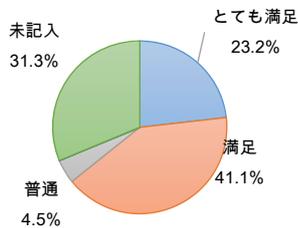
アンケート回答数  
122件

## 【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

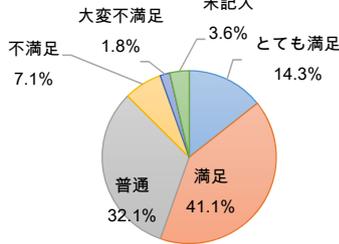
77.6%が満足以上の  
評価となっています。



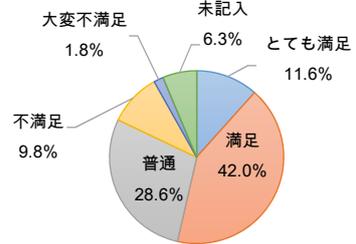
医師による診察内容は分かり易かったですか？



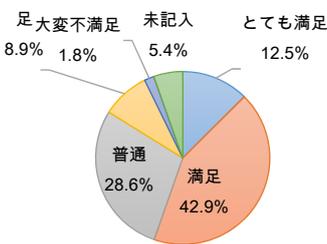
受付の待ち時間はいかがでしたか？



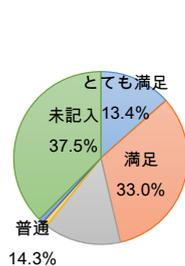
診察の待ち時間はいかがでしたか？



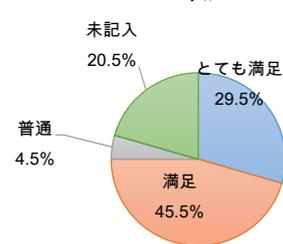
検査の待ち時間はいかがでしたか？



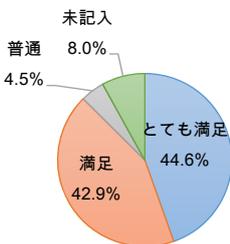
会計の待ち時間はいかがでしたか？



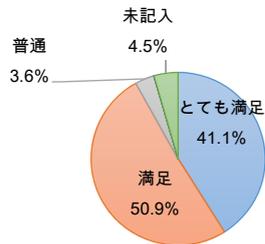
医師の言葉遣いや態度は良かったですか？



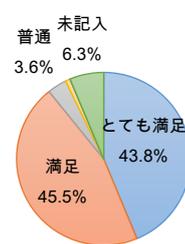
看護師の言葉遣いや態度は良かったですか？



受付事務の言葉遣いや態度は良かったですか？



その他職員の言葉遣いや態度は良かったですか？



### <コメント>

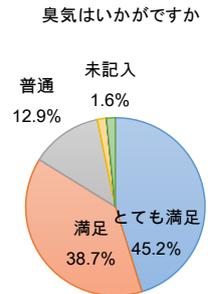
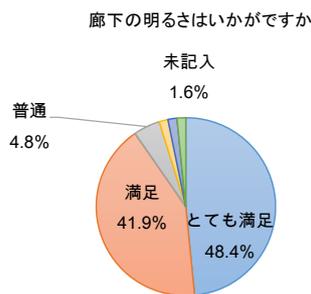
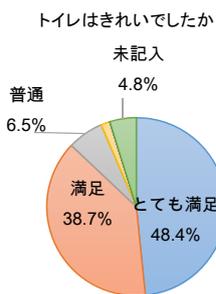
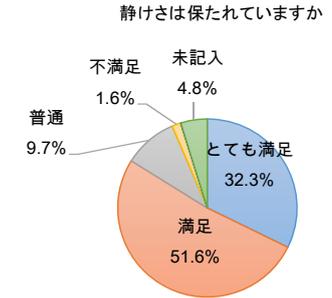
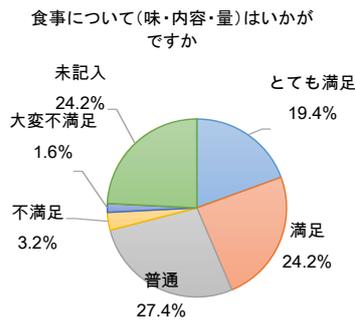
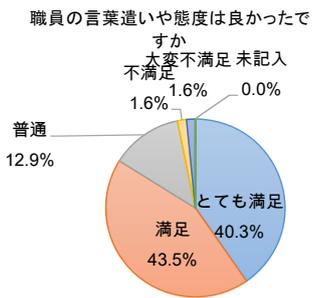
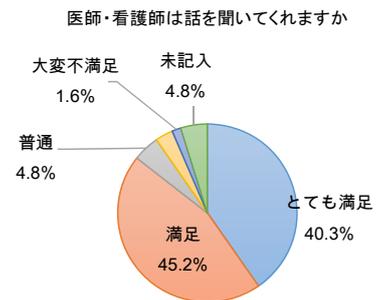
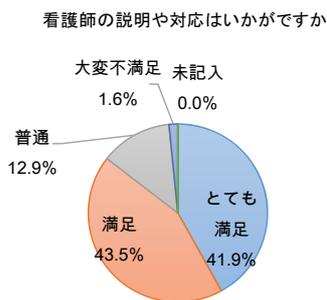
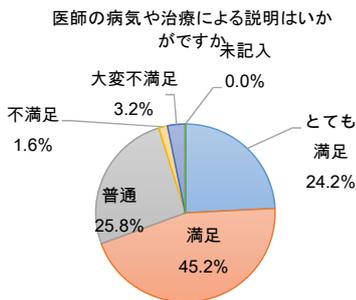
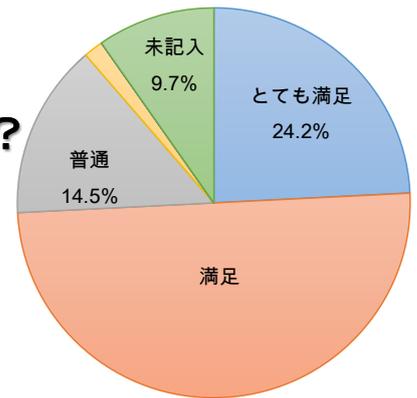
毎年人間ドックを受診していますが、毎年良くなって来ています。OKです。
更衣室も同じ階にリフォームされていて良かったです。
病衣を改善してほしい(素材の肌ざわり、胸や体のラインがわからない等)。
1日目の昼食(15時頃)と夕食(19時頃)の間の時間が短いのでスケジュールの調整等で長くできませんか？
番号呼び出しで、聞きづらい時があります。マイクか液晶パネル等あればわかりやすいと思います。
テレビ前までいくと、呼ぶ声が遠くて聞こえづらい。胸元が気になったのでストールをおかりしましたが、布が厚くて暑かった。

# 透析室

アンケート回答数  
62件

## 【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

74.2%が満足以上の  
評価となっています。



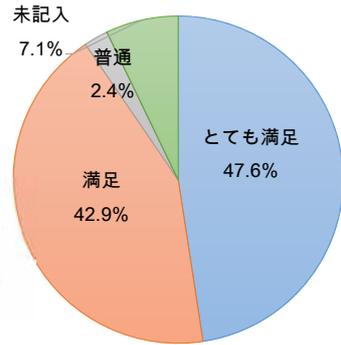
<コメント>

スタッフの皆さん、良くてくれます！
毎日の対応ありがとうございます。
入室が込みあった場合のスタートを早めてほしい。血圧測定の際、確認を忘れる場合が多々あります。
トイレが少ない。
天気によってクーラーの調整してもらいたい。

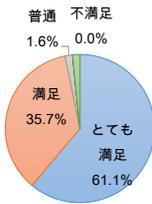
# 病棟

アンケート回答数  
126件

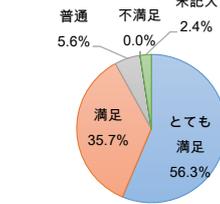
**【総合評価】**  
この病院での診療に満足していますか  
満足以上が90.5%と概ね良い評価となっています。



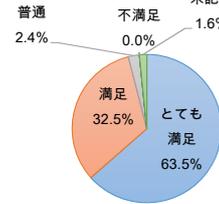
医師の病気や治療による説明はいかがですか



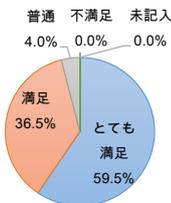
看護師の説明や対応はいかがですか



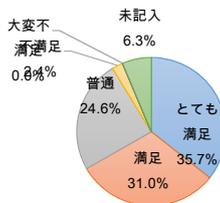
医師・看護師は話を聞いてくれますか



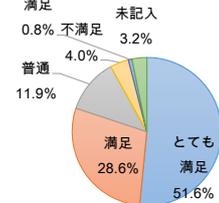
職員の言葉遣いや態度は良かったですか



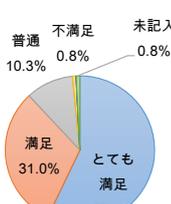
食事について(味・内容・量)はいかがですか



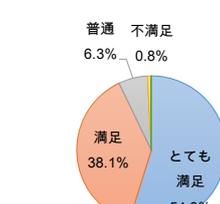
大変静けさは保たれていますか



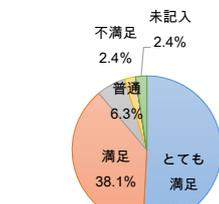
病棟・病室・トイレはきれいでしたか



病室・廊下の明るさはいかがですか



室内の温度調整はいかがですか



<コメント>

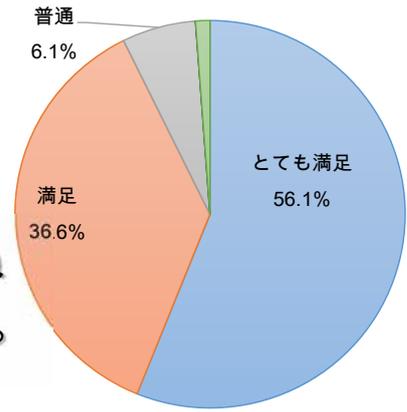
病院となるとなかなか就寝しにくいので、消灯時間など過ぎたら巡回などした時にテレビ、ラジオなどボリュームが大き い事がよくあるので注意するか消すなどをしてくれたら助かる。
病棟で車イスの患者が多いのに車イス用のトイレが少ない。看護師の数が少なくナースコールをしてもなかなか来てく れない事があった。ナースコールをしたらとりあえず顔を見せて話を聞いてほしい。
別の病院に3回入院しましたがここの病院はとても私自身安心して治療がうけられ全スタッフの対応がとても良かったで す。ありがとうございます。
医師はじめ看護師さんの対応がとてもよくてとても満足しています。
私自身の中ではほとんどの評価がとても満足に近いほど過ごさせてもらっています。先生方、並びに看護師の方々、そ の他スタッフの方々、連携を取り合って問題にすぐに対応してくれる患者一人一人に対する思いやり、声かけが直に伝 わって、それぞれの個性をもって患者と関わってる姿に感心致します。
就寝の時電気消すと真っ暗になり、トイレ行くとき足元灯があればいいかなと思いました。
先生のお話がわかりやすい。主治医の新垣先生は気さくで話がしやすいです。病気の説明もわかりやすい。信頼して おります。看護師の皆さんも優しく接してくれ安心してます。
婦人科の手術で入院しました。病棟スタッフのみなさん、言葉遣いも対応も良かったです。不安な中、スタッフのみなさん も、視力の悪い私に配慮して下さり、ベッドに上がる前まで眼鏡をかけさせてくれたり、体位を整えたりするときの羞恥心 に対する配慮もすばらしかったです。患者になって初めて気づくこともあり、私も同業者として皆さんのように良い看護を 提供していこうと思いました。ありがとうございました。
初めての出産で分らないことばかりでしたが、24時間常に親身になって相談にのっていただいた看護師さんたちのおか げで快適に過ごせました。ありがとうございました。

# 内視鏡 センター

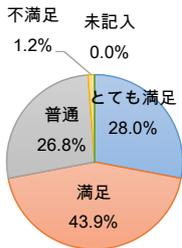
アンケート回答数  
82件

## 【総合評価】 内視鏡での検査に 満足できましたか？

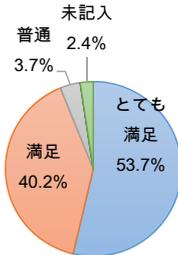
満足以上が92.7%と概ね  
良い評価となっています。



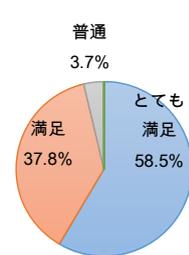
内視鏡での待ち時間



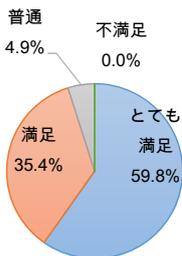
医師の言葉遣いや態度



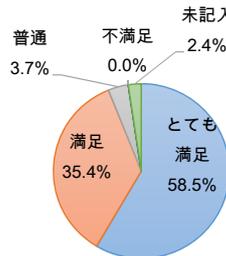
看護師の言葉遣いや態度



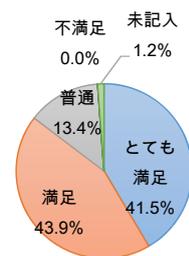
受付事務の言葉遣いや態度



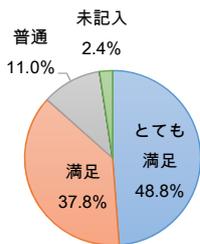
看護師の対応



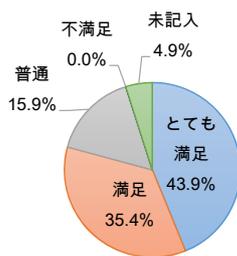
待合室の設備はいかがでしたか



検査室・麻酔部屋の雰囲気



検査後は十分に休めたか



### <コメント>

優しい声掛け嬉しかったです。有難うございます。

外来とドックとの客を分けたのは良かった。

急な要望に対しても、嫌な顔せずこころよく対応して頂きありがとうございました。安心して検査することができました。

皆さんの対応がとても優しくて緊張が少しほぐれました。ありがとうございました。

検査結果についてもう少しどうしたら良いか説明が欲しいです。

順番が分らずトイレに行くタイミングがわからなかった。案内されて麻酔前にいったので、できれば早めに順番や案内される時間を教えてほしい。

## 2019 年度職員満足度調査

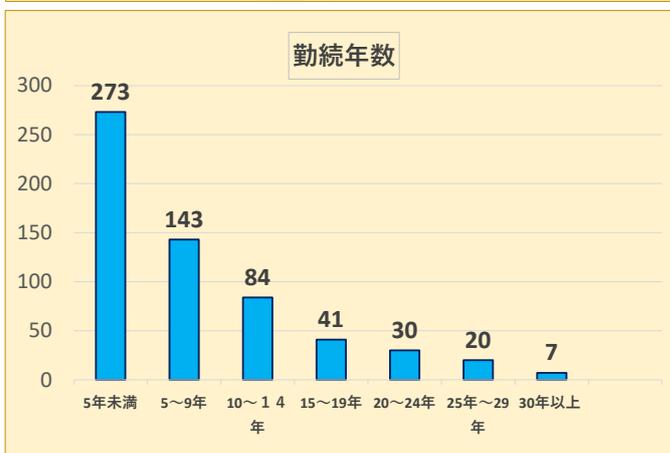
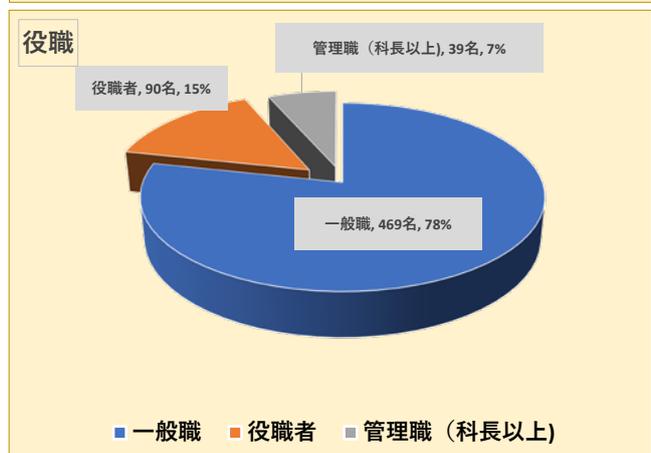
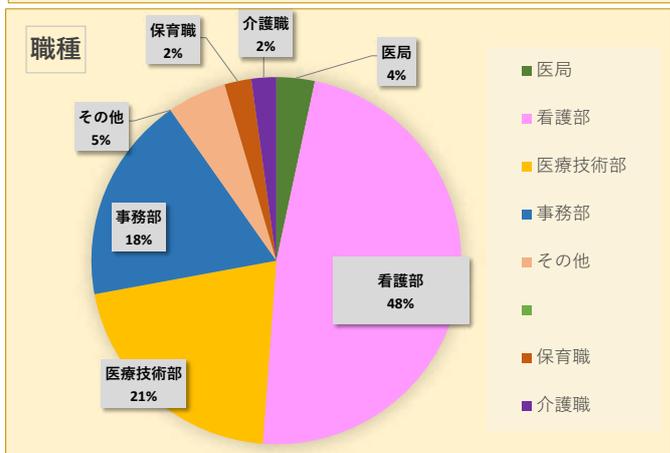
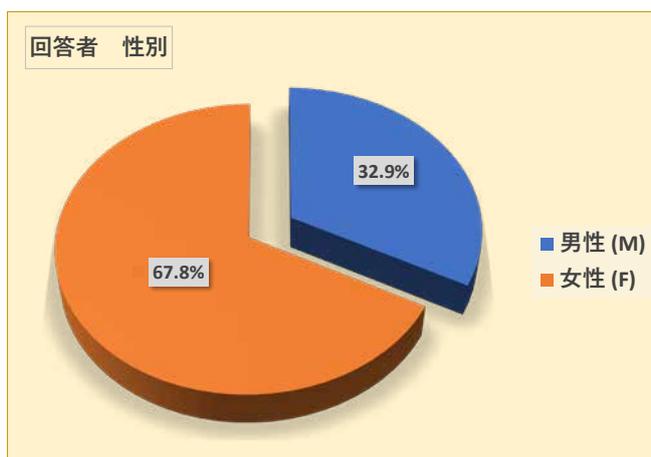
(データ作成 人事課 河上)

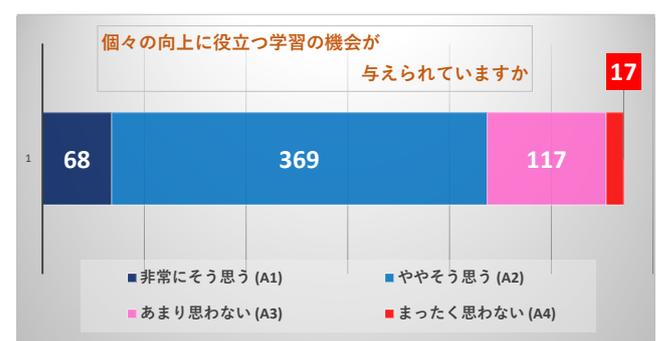
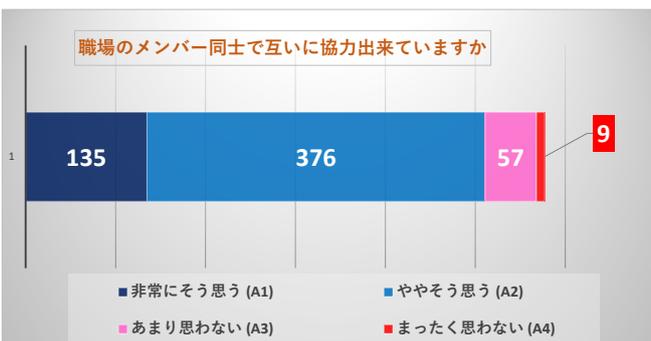
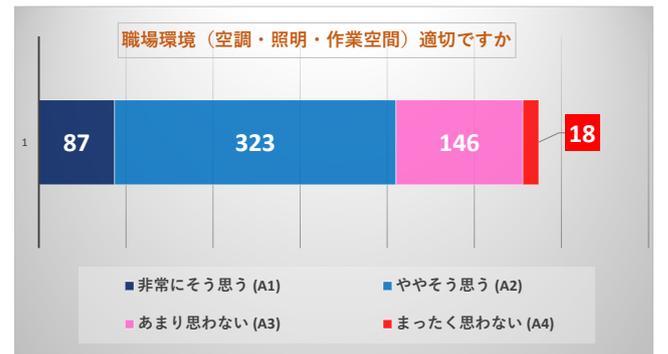
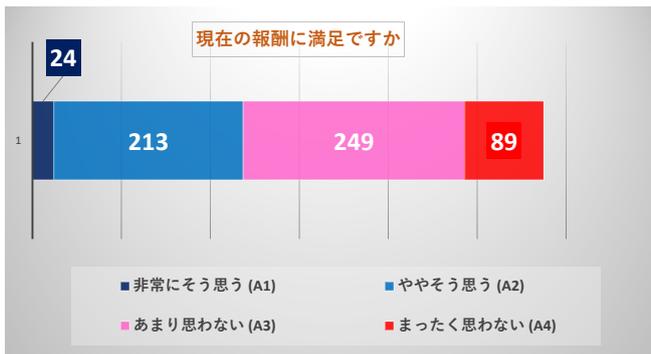
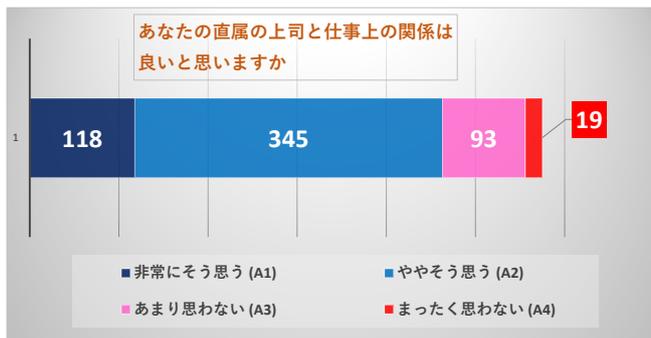
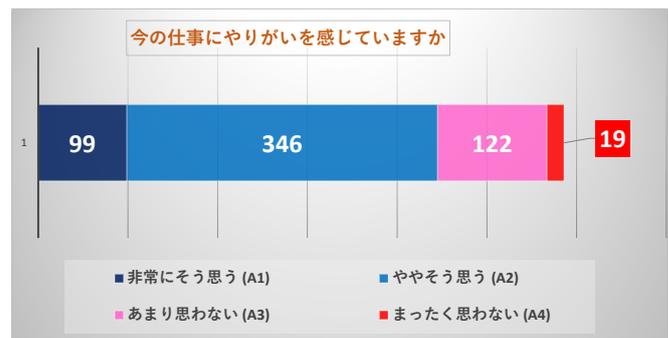
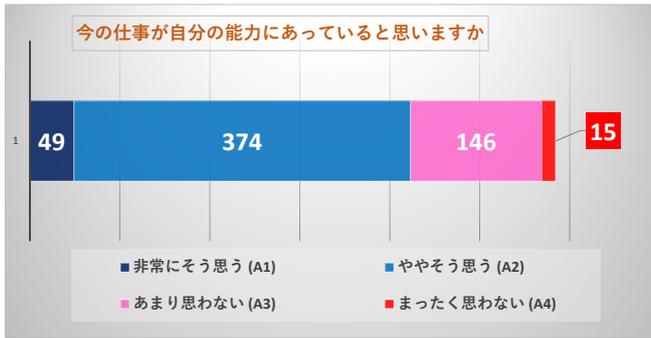
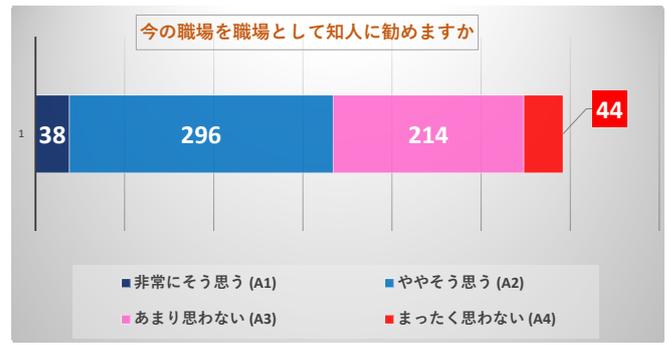
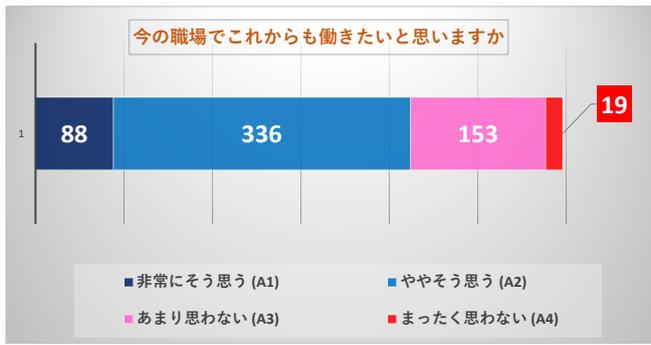
かりゆし会では職員満足度調査を毎年行い、このアンケートの結果を職場改善の材料として、職員が働きやすく働きがいのある組織運営の実現に取り組んでおります。

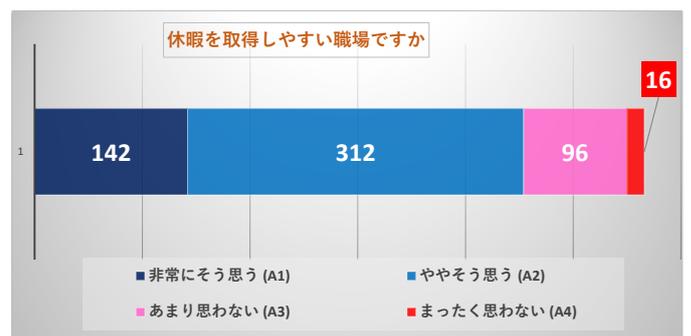
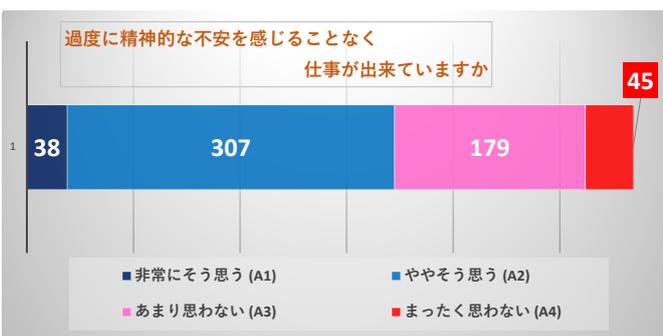
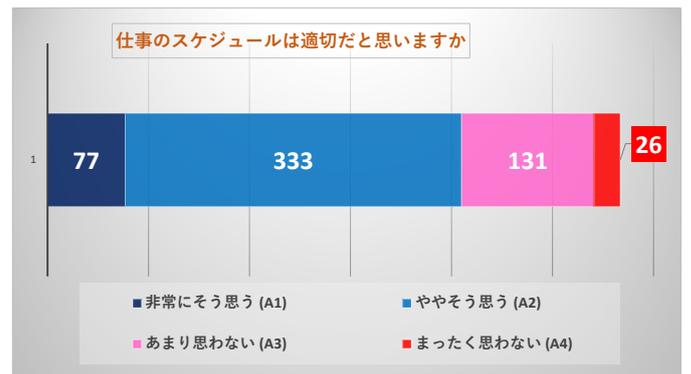
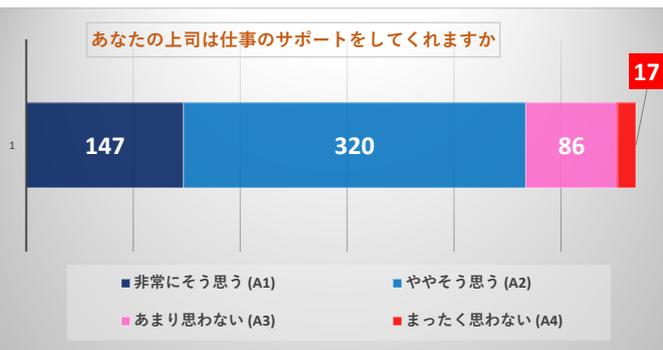
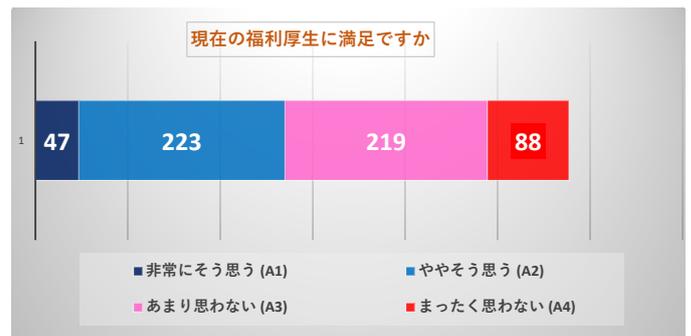
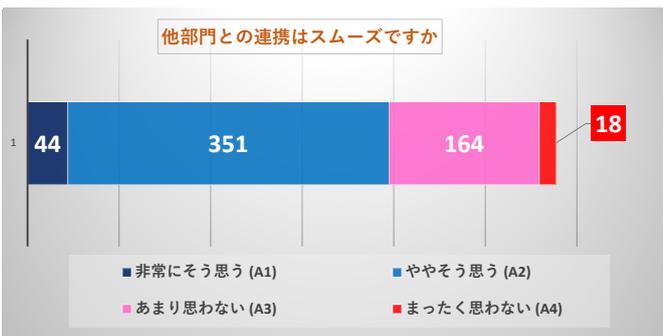
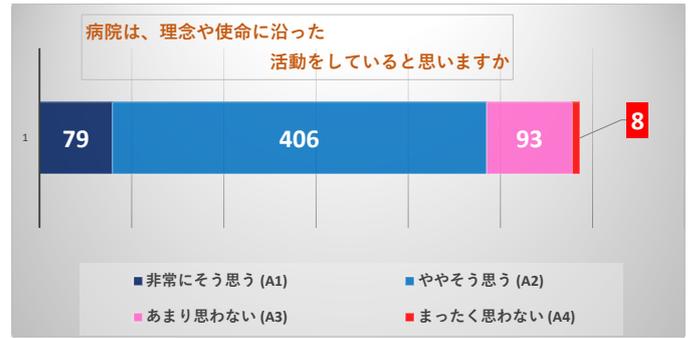
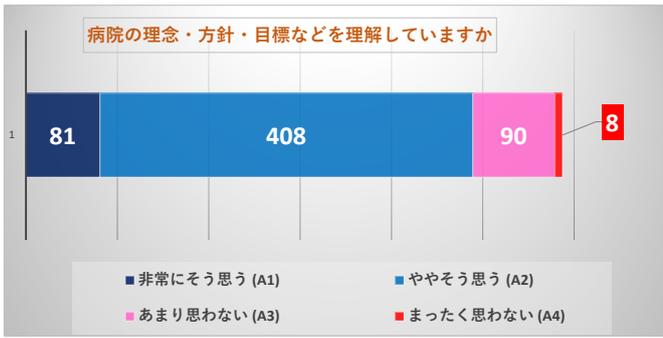
調査概要：職員数 1,073 名 (2019.12.1 時点) 回答数 593 回答率 55.27%

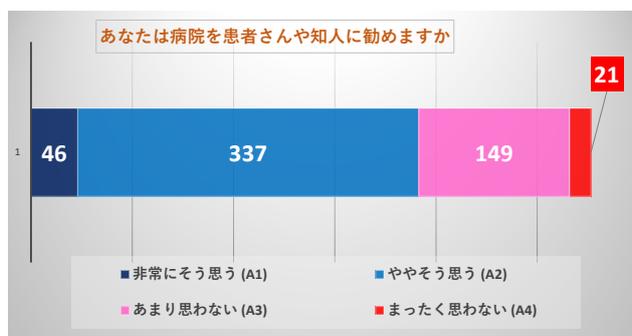
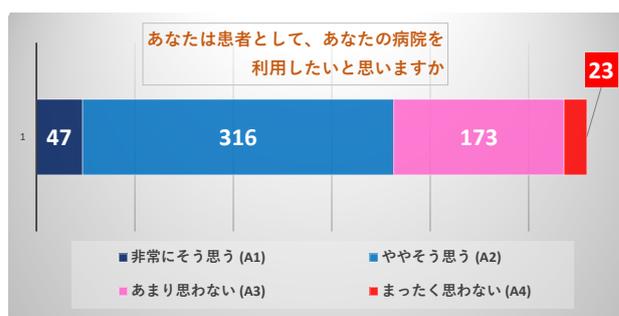
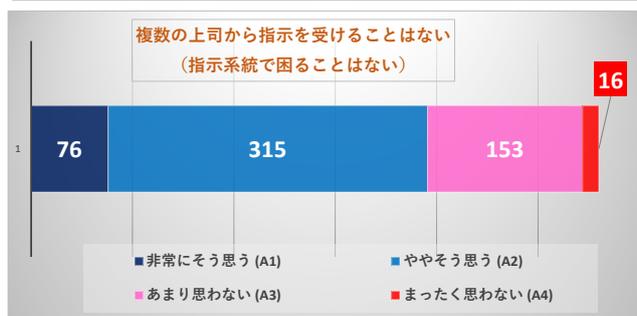
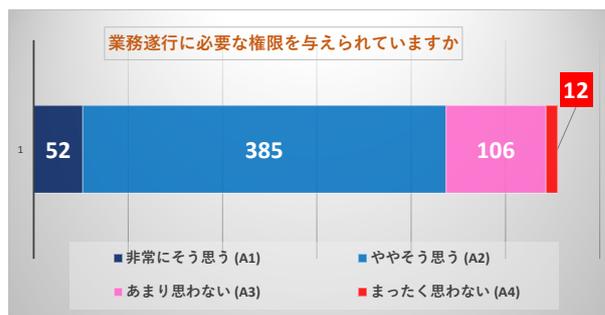
調査日時：2019 年 12 月 11 日 (水) ～ 2020 年 1 月 10 日 (金)

調査方法：グループセッション (グループウェア) を利用した調査票への入力









今回の職員満足度調査の結果いくつかの項目で不満足という回答があり、特に「現在の福利厚生」や「現在の報酬」については顕著でした。福利厚生については、かりゆし会の福利厚生の項目（内容）と互助会の福利厚生（内容）について説明を行い、職員へ周知していきたいと思ひます。報酬については「残業手当」や「評価制度」など多数のご意見があり、今年度は役職者研修の教育研修（労務管理）を行い、職員の労務管理向上を図っていきたく思ひます。また、人事評価制度については、数年後に昇進昇格と連動した人事評価や、給与（賞与）と連動した人事評価制度の導入を目指します。また今年度は各部署の職務分掌明確化と評価導入に向けた取り組みを行っていきたく思ひます。今後も職員満足度調査へのご協力をお願いいたします。

# 部署別業務実績

# 医 局

## 部門紹介

2019年度の医局は病院の中心部署として頑張ってきました。その構成は内科25名(内科初診担当1名、総合内科1名、呼吸器3名、循環器5名、消化器11名、血液4名)、外科9名、麻酔科5名、整形外科5名、産婦人科5名、小児科4名、脳神経外科2名、泌尿器科2名、眼科2名、形成外科3名、耳鼻咽喉科1名、放射線科2名、救急科2名(1名は兼任)、心療内科1名、人間ドック3名、病理診断1名、初期研修医13名の計85名となっていました。

また、初期研修医13名、後期研修医3名の指導に加え、年間60名程のクリニカルクラークシップ(琉球大学医学部生)に対応しています。

## 医師数(常勤)

(2020年3月1日現在)

	内科	外科	救急科	小児科	産婦人科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	放射線科	心療内科	麻酔科	予防医学	人工透析	形成外科	病理診断科	合計
全医師数(研修医除く)	24	9	2	4	5	5	2	2	1	2	2	1	5	3	0	3	1	71
うち各種学会認定・専門医数	56	36	7	6	4	12	3	4	1	2	3	2	11	7	0	5	3	162
うち臨床研修指導医数	9	6	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0	0	1	0	22
後期専門研修医	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
初期研修医	1年目:8名 2年目:5名																	13

## 医局方針

1. 患者の安全・QOLを第一とし、インフォームドコンセントによる良好な信頼関係を確立する。
2. 自己の専門性の確立のため学会活動など自己研鑽に励み、専門性の提供によりチーム医療を行う。
3. 地域の医療機関、保健、福祉施設との連携を積極的に行う。
4. 他部署との交流・院内行事への参加を積極的に行う。
5. 健全な医療経営の意識を持ち、院内各会議に積極的に参加する。

## 活動実績

## Journal Club (抄読会 / 毎週水曜日 8:00 ~ 8:30)

年	月日	担当者	演題名
2019年 (H31)	4月3日	東盛 貴光	「足と傷のセンター」外来設立
	4月10日	菅谷 明子	tacmeda 事態対処医療について
	4月17日	久場 良也	インシデント報告のお願い
	4月24日	西原 実	TAPPの遂行が困難となりAdvanced LPECで対応した1例
2019年 (R1)	5月1日	佐藤 直行	総合内科について
	5月8日	堀本 直幹	分娩の周期性とその同調因子に関する検討
	5月22日	上笹 航	静注血栓溶解(rt-PA)療法 適正治療指針 第三版
	5月29日	仲舛 拓	食道静脈瘤の内視鏡的治療 一当院におけるEISとEISLの比較検討一
	6月5日	金城 優美	熱性けいれん
	6月12日	仲吉 博亮	ゲンタマイシンのススメ
	6月19日	菅野 善一郎	～脳のバランスが崩れるとき～ 火病って知っていますか
	6月26日	石嶺 伝羽	慢性創傷
	7月10日	石川 樹	大腿骨近位骨折
	7月17日	奥島 憲彦	食道癌について
	7月24日	島袋 泰	局所麻酔薬中毒の1症例
	7月31日	国島 知子	風疹 rubella
	8月7日	宮城 敬	微小残存病変 Minimal residual disease(MRD)
	8月14日	大濱 昌代	ホジキンリンパ腫
	8月21日	末吉 健次	入浴関連頭痛(マイナー一過性頭痛)の1症例
	8月28日	花城 直次	非外傷性前下腓十二指腸動脈出血の2例
	9月4日	仲村 義一	PADについて
	9月7日	渡慶次 学	手根管症候群
	9月18日	秋元 芳典	REBOAについて
	9月25日	高良 誠	Ai(死亡時画像診断)について
	10月2日	池邊 翔平	足外科のすゝめ
	10月9日	泉家 匠	手術方式の時代による変遷
	10月16日	古謝 将之	右水腎症について
	10月23日	新垣 珠代	結核
	10月30日	新垣 勝男	脊椎手術
	11月6日	宮城 泰雅	S-Bチューブ
	11月13日	佐久川 廣	肝炎ウイルス感染者の拾い上げと専門医との連携
	11月20日	武田 理	増えてきたな～子宮体癌
11月27日	比嘉 章子	スマートミール 健康寿命を延ばすために	
12月4日	比嘉 博香	産科危機的出血	
12月11日	嘉手苺 由梨	超緊急帝王切開 -全身麻酔-	
12月18日	折田 均	消化器内視鏡検査における抗血栓薬の取扱い変更後の現状	
12月25日	柴田 大介	新しい閉塞性黄疸の治療、肝道ドレナージ	
2020年 (R2)	1月8日	仲村 義一	東京ベイ・浦安市川医療センターのEVT研修(PADについて)
	1月15日	安次嶺 寿乃	インフルエンザ
	1月22日	岡本 卓磨	小児の軽症頭部外傷～頭部CTの適応～
	1月29日	金城 朋弥	SALT トリアージ
	2月5日	玉城 頼人	褥瘡について
	2月12日	石原 昌平	ECMOについて
	2月19日	豊里 駿	AIと医療
	2月26日	渡邊 豊治	婦人科腫瘍と腫瘍随伴症候群
	3月4日	阿部 仁美	NCPR
	3月11日	當山 磨貴子	溶連菌感染症
	3月18日	太田 沙也加	酒と煙草と麻酔
	3月25日	仲本 正哉	ハートライフ病院における専攻医の腹腔鏡下手術

院内CPC（臨床病理検討会）

日付	症例	発表者	参加者
2019年5月30日	原因不明の低ALB血症剖検を施行した1例	山城 正一郎	山城正一郎、仲舛拓、玉城剛一、青山肇、宮城純、佐久川廣、普天間光彦、折田均、宮平工、狩俣かおり、柴田大介、兼元萌実、安次嶺寿乃、玉城頼人 計14名
2019年7月5日	急速に進行した肺小細胞癌の一例	玉城 頼人	玉城頼人、秋元芳典、石井朗子、青山肇、宮城純、普天間光彦、折田均、仲吉博亮、岡本卓磨、金城朋弥、當山磨貴子 計11名
2019年7月30日	肝細胞癌に解離性大動脈瘤を合併した一例	安次嶺 寿乃	安次嶺寿乃、佐久川廣、玉城剛一、青山肇、宮城純、普天間光彦、普久原亜紀、山城正一郎 計8名
2019年9月25日	進行性肺がん疑いとして紹介された原発不明癌の1剖検例	當山 磨貴子	當山磨貴子、新垣珠代、松本裕文、青山肇、宮城純、佐久川廣、普天間光彦、宮平工、宮城敬、秋元芳典、折田均、仲舛拓、金城朋弥 計12名
2019年11月12日	骨髄線維症に真菌性肺炎を合併した一例	金城 朋弥	金城朋弥、狩俣かおり、安富由衣子、小山寛文、宮城純、佐久川廣、普天間光彦、久場良也、宮平工、銘苅正、石川樹、安次嶺寿乃、岡本卓磨、當山磨貴子、豊里駿 計15名
2020年1月15日	原因不明の肝硬変から肝性脳症に至った1剖検例	豊里 駿	豊里駿、佐久川廣、石井朗子、青山肇、宮城純、普天間光彦、宮平工、宮城敬、柴田大介、新垣珠代、當山磨貴子、兼元萌実 計12名
2020年3月18日	再生不良性貧血に心不全を合併した1例	岡本 卓磨	岡本卓磨、石原昌平、石井朗子、狩俣かおり、宮城純、宮城敬、三戸正人、普天間光彦、新垣珠代、當山磨貴子 計10名
2020年3月18日	骨髄異形成症候群に気管支炎を合併した一例	石原 昌平	石原昌平、岡本卓磨、石井朗子、狩俣かおり、宮城純、宮城敬、三戸正人、普天間光彦、新垣珠代、當山磨貴子 計10名

研修医向け教育

研修医向けに、毎週下表のスケジュールで各種ミニレクチャーを開催しています。また、外部講師を招聘した講習会も行っています。

	時間・内容	時間・内容
月曜日	8:00～8:15 ミニ救急症例検討会	
火曜日	8:00～8:15 ミニ救急症例検討会	8:15～8:45 画像診断ミニレクチャー
水曜日	8:00～8:15 ミニ救急症例検討会	8:15～8:45 Journal Clab (全医師対象)
木曜日	8:00～8:15 ミニ救急症例検討会	8:15～8:45 基礎の手技
金曜日	8:00～8:15 ミニ救急症例検討会	8:15～8:45 ケースカンファレンス

画像診断ミニレクチャー

(毎週火曜日 午前8:15～8:45 医局にて)

呼吸器内科					
胸写	正常	気胸	肺炎	腫瘍	胸水
日付	4月9日	4月16日	4月23日	4月30日	5月7日
担当医	普天間光彦	普天間光彦	普天間光彦	普天間光彦	普天間光彦
循環器					
心電図	正常	虚血性心疾患	除脈性不整脈	頻脈性不整脈	心不全
日付	5月14日	5月21日	5月28日	6月4日	6月11日
担当医	三戸正人	三戸正人	三戸正人	三戸正人	三戸正人
放射線科					
腹部画像	診断学	診断学	診断学	診断学	診断学
日付	6月18日	6月25日	7月2日	7月9日	7月16日
担当医	高良誠	高良誠	高良誠	高良誠	高良誠

整形外科					
骨単純(骨折・脱臼)	上肢	下肢	大腿骨	椎体	骨盤
日付	9月3日	9月10日	9月17日	9月24日	10月1日
担当医	渡慶次学	新垣和伸	上原史成	新垣勝男	石川樹
放射線科					
診断学	診断学	診断学	診断学	診断学	診断学
日付	10月8日	10月15日	10月22日	10月29日	11月5日
担当医	高良誠	高良誠	高良誠	高良誠	高良誠
脳神経外科					
頭部画像	正常	SAH・脳出血	外傷	脳梗塞	脳腫瘍
日付	11月12日	11月19日	11月26日	12月3日	12月10日
担当医	末吉健次	上笹航	末吉健次	上笹航	末吉健次
呼吸器内科					
胸部CT	正常	気胸	肺炎	肺腫瘍	縦隔腫瘍
日付	1月7日	1月14日	1月21日	1月28日	2月4日
担当医	新垣珠代	仲吉博亮	新垣珠代	新垣珠代	新垣珠代
放射線科					
シンチ	骨シンチ	Gaシンチ	心筋シンチ	出血シンチ	肺血流シンチ
日付	2月11日	2月18日	2月25日	3月3日	3月10日
担当医	高良誠	高良誠	高良誠	高良誠	高良誠

### 基礎的手技(毎週木曜日 午前 8:15 ~ 8:45 医局にて)

内容	日付	担当
夜間当直の流れ	2019年4月11日	研修医
A採血、Aライン	2019年4月18日	研修医
発熱、SPO2低下	2019年4月25日	研修医
Common disease(頭部外傷)	2019年6月13日	研修医
Common disease(シーネ固定)	2019年6月20日	研修医
JATEC	2019年6月27日	救急
心エコー・RUSHプロトコール	2019年7月4日	循環器内科
大動脈解離	2019年7月11日	循環器内科
グラム染色の検鏡所見	2019年7月18日	呼吸器内科
導尿・尿道カテーテルの挿入方法	2019年7月25日	泌尿器科
消毒と縫合	2019年8月1日	形成外科
外来における緊急止血方法	2019年8月8日	外科
耳鏡の見方と異物除去(鼻腔・耳腔・咽頭・気管)	2019年8月29日	耳鼻科
中心静脈カテーテルの挿入方法・中心静脈圧の測定方法	2019年9月5日	麻酔科
腰椎穿刺の実際	2019年9月12日	麻酔科
形成外科的縫合	2019年9月19日	形成外科
輸血の適応	2019年9月26日	血液内科
救急外来における鼻出血止血方法	2019年10月3日	耳鼻科
経鼻・経口胃管・イレウスチューブ挿入方法と胃洗浄	2019年10月10日	外科
骨折と福木固定	2019年10月24日	整形外科
直腸診・肛門鏡の取り扱い	2019年10月31日	外科
機械的人工呼吸方法	2019年11月7日	呼吸器内科
動脈ラインのとり方と圧測定の方法	2019年11月14日	麻酔科
顔面外傷	2019年11月21日	形成外科
骨髄穿刺および生検方法	2019年12月5日	血液内科
眼底の見方とその所見	2019年12月12日	眼科
熱傷	2019年12月26日	形成外科
緊急ペースメーカー挿入と設定の仕方	2020年1月9日	循環器内科
腹腔臓器破裂・損傷	2020年1月16日	外科
Common disease	2020年1月23日	研修医

内容	日付	担当
胸腔穿刺とトロッカーカテーテルの挿入方法	2020年1月30日	呼吸器内科
切開とドレナージ	2020年2月6日	外科
気管切開法と輪状甲状間膜穿刺法	2020年2月13日	救急
眼内異物と眼外傷	2020年2月20日	眼科
内視鏡(GF・CF)の適応とその前処置(緊急内視鏡)	2020年2月27日	消化器内科
スワガソツカテーテルの適応とその解釈	2020年3月5日	循環器内科
気管支鏡の適応とその前処置	2020年3月12日	呼吸器内科

ケースカンファレンス (毎週金曜日 午前 8:15 ~ 8:45 医局にて)

内容	日付	担当
Common disease (インフルエンザ)	2019年4月12日	研修医
Common disease (発熱・倦怠感)	2019年4月19日	研修医
抗生剤の使い方①	2019年6月7日	呼吸器内科
抗生剤の使い方②	2019年6月14日	呼吸器内科
頭痛	2019年6月21日	脳外科
風邪診療①	2019年6月28日	総合内科
風邪診療②	2019年7月5日	総合内科
裂傷・刺傷・挫創	2019年7月12日	外科
気胸	2019年7月19日	呼吸器内科
めまい・救急でみる耳鼻咽喉科	2019年7月26日	耳鼻科
小児科疾患	2019年8月2日	小児科
漢方治療	2019年8月23日	呼吸器内科
子宮外妊娠・卵巣捻転・救急で見る産婦人科疾患	2019年8月30日	産婦人科
脊髄損傷について	2019年9月6日	整形外科
急性腹症・消化管穿孔	2019年9月13日	外科
多発骨折	2019年9月20日	整形外科
認知症①	2019年10月4日	心療内科
認知症②	2019年10月11日	心療内科
肺血栓塞栓症	2019年10月18日	循環器内科
尿管結石の救急	2019年10月25日	泌尿器科
急性肝炎	2019年11月1日	消化器内科
出血傾向・DIC	2019年11月8日	血液内科
急性膵炎	2019年11月15日	消化器内科
肺炎	2019年11月22日	呼吸器内科
救急でみる眼科疾患	2019年12月6日	眼科
喀血	2019年12月13日	呼吸器内科
多発性外傷	2020年1月10日	外科
せん妄	2020年1月17日	心療内科
高カルシウム血症	2020年1月24日	血液内科
見落としやすい骨折	2020年1月31日	整形外科
腰痛	2020年2月7日	整形外科
胆石・胆嚢炎・胆管炎	2020年2月14日	消化器内科
アレルギー	2020年2月21日	小児科
卵巣捻転	2020年2月28日	産婦人科
痛風発作	2020年3月6日	整形外科
予防医療	2020年3月13日	総合内科

## 外部講師による教育回診

教育回診	内容(主訴)	主催	実施日	参加者
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(36歳女性 動悸、呼吸困難)	群星沖縄プロジェクト	2019年4月18日	勝連伸一郎、安次嶺寿乃、石原昌平、岡本卓磨、金城朋弥、玉城頼人、當山磨貴子、豊里駿、東江拓海、兼元萌実、普久原亜紀、看護師1名、医学生4名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(64歳女性 腹痛、嘔吐)	群星沖縄プロジェクト	2019年5月2日	石原昌平、金城朋弥、豊里駿、兼元萌実、普久原亜紀、山城正一郎、医学生4名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(98歳女性 発熱)	群星沖縄プロジェクト	2019年5月16日	金城朋弥、安次嶺寿乃、石原昌平、岡本卓磨、玉城頼人、當山磨貴子、東江拓海、兼元萌実、普久原亜紀、山城正一郎、医学生2名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(33歳女性 左側腹部痛)	群星沖縄プロジェクト	2019年6月6日	豊里駿、金城朋弥、安次嶺寿乃、岡本卓磨、玉城頼人、當山磨貴子、東江拓海、看護師1名、医学生2名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(18歳男性 腹痛)	群星沖縄プロジェクト	2019年6月20日	安次嶺寿乃、豊里駿、金城朋弥、岡本卓磨、玉城頼人、當山磨貴子、東江拓海、看護師1名、医学生2名
ミシガン大学総合内科教授 Dr.Houchens 【Assistant Professor of Medicine,Hospitalist Area of Practice:Communication skills,empathy,resilienc e,patient safety,medical education,mindfulness】による教育回診	症例提示(78歳女性 震え)	群星沖縄プロジェクト	2019年7月10日	安次嶺寿乃、石原昌平、岡本卓磨、金城朋弥、玉城頼人、當山磨貴子、豊里駿、本居祐二(琉大)、普久原亜紀、山城正一郎、院外研修医1名、医学生5名、徳田安春センター長(群星)、宮里達哉事務局長(群星)、指導医1名、看護師1名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(25歳男性 腹痛)	群星沖縄プロジェクト	2019年7月18日	當山磨貴子、安次嶺寿乃、石原昌平、岡本卓磨、金城朋弥、玉城頼人、豊里駿、普久原亜紀、山城正一郎、医学生7名、看護師1名
福井大学医学部附属病院 地域医療推進講座教授 兼 群星沖縄臨床研修センター副センター長 寺澤秀一先生による ER 教育回診	症例提示(22歳男性 腹痛、心窩部痛、下痢)	群星沖縄プロジェクト	2019年8月1日	安次嶺寿乃、石原昌平、岡本卓磨、金城朋弥、當山磨貴子、豊里駿、本居祐二、勝連伸一郎、兼元萌実、普久原亜紀、山城正一郎、院外研修医1名、県内医学生3名、県外医学生1名、指導医1名、看護師2名、救急救命士3名
ミシガン大学総合内科教授 Dr.Patel 【Assistant Professor Division of Internal Medicine The University of Michigan Health System Ann Arbor VA Healthcare,ID Division III】による教育回診	症例提示(28歳女性 右足首の痛み)	群星沖縄プロジェクト	2019年8月6日	安次嶺寿乃、石原昌平、岡本卓磨、金城朋弥、玉城頼人、當山磨貴子、豊里駿、本居祐二、勝連伸一郎、兼元萌実、普久原亜紀、山城正一郎、院外研修医1名、医学生3名、徳田安春センター長、宮里達哉事務局長(群星)、指導医1名、看護師1名

教育回診	内容(主訴)	主催	実施日	参加者
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(59歳男性 転倒、体動困難)	群星沖縄プロジェクト	2019年9月5日	岡本卓磨、安次嶺寿乃、石原昌平、金城朋弥、玉城頼人、當山磨貴子、豊里駿、普久原亜紀、兼元萌実、東江拓海、看護師1名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(85歳女性 心窩部痛、嘔吐)	群星沖縄プロジェクト	2019年9月19日	安次嶺寿乃、岡本卓磨、金城朋弥、玉城頼人、豊里駿、本居祐二、東江拓海、兼元萌実、普久原亜紀、医学生2名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(61歳女性 気分不良、嘔吐)	群星沖縄プロジェクト	2019年10月3日	當山磨貴子、石原昌平、岡本卓磨、玉城頼人、東江拓海、勝連伸一郎、指導医1名、看護師1名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(61歳男性 呼吸困難感)	群星沖縄プロジェクト	2019年10月25日	金城朋弥、當山磨貴子、石原昌平、岡本卓磨、玉城頼人、東江拓海、勝連伸一郎、指導医1名、看護師1名
元・米国ニューメキシコ州立 ニューメキシコ大学医学部准教授 Dr.Peter Barnett M.D による教育回診	症例提示(63歳男性 発熱、筋肉痛、体動困難)	群星沖縄プロジェクト	2019年11月18日	安次嶺寿乃、石原昌平、岡本卓磨、金城朋弥、玉城頼人、當山磨貴子、豊里駿、又吉宏紀、普久原亜紀、山城正一郎、医学生5名、徳田安春センター長、宮里達哉事務局長(群星)、指導医1名
群星沖縄臨床研修センター 名誉センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討(70歳男性 1週間前から続く吐血)	群星沖縄プロジェクト	2019年12月5日	豊里駿、安次嶺寿乃、石原昌平、岡本卓磨、金城朋弥、岡本卓磨、玉城頼人、當山磨貴子、普久原亜紀、山城正一郎、看護師1名、医学生6名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(40歳男性 けいれん発作)	群星沖縄プロジェクト	2019年12月19日	岡本卓磨、豊里駿、安次嶺寿乃、石原昌平、金城朋弥、玉城頼人、當山磨貴子、普久原亜紀、山城正一郎、看護師1名、指導医1名、医学生6名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(89歳女性 意識障害、嘔吐)	群星沖縄プロジェクト	2020年1月16日	玉城頼人、豊里駿、安次嶺寿乃、石原昌平、金城朋弥、岡本卓磨、當山磨貴子、下門裕弥、兼元萌実、山城正一郎、院外研修医1名、看護師1名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診 (宮城征四郎先生代理回診)	症例検討(70歳女性 肩から後頭部にかけての痛み)	群星沖縄プロジェクト	2020年1月30日	當山磨貴子、安次嶺寿乃、岡本卓磨、金城朋弥、玉城頼人、豊里駿、兼元萌実、山城正一郎、院外研修医、看護師2名、医学生6名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(29歳男性 発熱)	群星沖縄プロジェクト	2020年2月6日	豊里駿、岡本卓磨、金城朋弥、玉城頼人、石原昌平、兼元萌実、普久原亜紀、山城正一郎、医学生6名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(54歳女性 発熱、皮疹)	群星沖縄プロジェクト	2020年2月20日	玉城頼人、豊里駿、安次嶺寿乃、石原昌平、金城朋弥、岡本卓磨、當山磨貴子、兼元萌実、山城正一郎、医学生4名

教育回診	内容(主訴)	主催	実施日	参加者
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(67歳男性 腹痛)	群星沖縄プロジェクト	2020年3月19日	岡本卓磨、金城朋弥、安次嶺寿乃、玉城頼人、古澤亜紀、山城正一郎、下門裕弥、医学生1名、指導医1名、看護師1名

### 外部講師による講演会

講演会名	名称	主催	実施日	参加者
福井大学医学部附属病院総合診療部長・教授 林寛之先生による講演会	「緩和救急～緩和なのに救急とは…いかに?～」	ハートライフ病院	令和元年7月4日	参加者113名【院内職員(研修医含む)87名、院外26名】
洛和会丸太町病院救急・総合診療科 部長 上田剛士先生による講演会	「あなたはどこまで知っている?意外に知らない胸壁症候群」	ハートライフ病院	令和元年9月13日	参加者26名【院内職員(研修医含む)24名、院外2名】
八戸市立市民病院 院長 今明秀先生による講演会	「ドクターカーで劇的救命」	ハートライフ病院	令和元年11月22日	参加者65名【院内職員(研修医含む)42名、院外23名】
杏林大学医学部麻酔科 教授 徳嶺讓芳先生による講演会	「安全な中心静脈カテーテル留置のための基礎と実践:べし・べからず!」	ハートライフ病院	令和元年12月27日	参加者24名【院内職員(研修医含む)24名】
杏林大学医学部麻酔科 教授 徳嶺讓芳先生によるハンズオンセミナー	「超音波中心静脈穿刺:初心者からエキスパートへ!」	ハートライフ病院	令和元年12月28日	参加者20名【院内職員(研修医含む)19名、院外1名】

### 研修医学会発表

#### 2年目研修医(15期生)

学会名(開催場所)	タイトル	日時	発表者と研究者
日本内科学会第325回九州地方大会(長崎)	乳がんによるがん性心タンポナーデに対して心嚢ドレナージを施行した一例	2019年5月18日	山城正一郎、仲村義一、金城太貴、三戸正人、秋元芳典、與座一
第113回日本消化器病学会九州支部例会(福岡)	非アルコール性脂肪肝炎(NASH)との鑑別に難渋した原発性胆汁性胆管炎(PBC)-自己免疫性肝炎(AIH)オーバーラップ症候群の1例	2019年5月24日	兼元萌実、林貴徳、仲舛拓、柴田大介、仲本学、折田均、宮城純、佐久川廣
第127回沖縄県医師会医学会総会(研修医部門推薦)	貧血を原因とする若年女性の脳梗塞の一例	2019年6月9日	東江拓海、仲舛拓
第127回沖縄県医師会医学会総会	診断に難渋した腸管型ベーチェット病の1例	2019年6月9日	勝連伸一郎、折田均、宮城純、佐久川廣、仲本学、柴田大介、仲舛拓、林貴徳
第127回沖縄県医師会医学会総会	慢性腎不全患者に合併したPPFEの一例	2019年6月9日	普久原亜紀、新垣珠代、普天間光彦
日本内科学会第326回九州地方大会(福岡)	進行性肺癌疑いとして紹介された後腹膜平滑筋肉腫の一部検例	2019年8月17日	兼元萌実、新垣珠代、仲吉博亮、普天間光彦、松本裕文
第128回沖縄県医師会医学会総会(研修医部門推薦)	変形性関節症に対する骨切り術後に生じたプレート露出に対する筋皮弁再建	2019年12月8日	勝連伸一郎、東盛貴光、石嶺伝羽、池邊翔平
第20回日本病院総合診療医学会学術総会	結核性と自己免疫性の鑑別を要し中枢性塩類喪失症候群を合併した無菌性髄膜炎の一例	2020年2月21日～22日	兼元萌実、佐藤直行

#### 1年目研修医(16期)

学会名(開催場所)	タイトル	日時	発表者と研究者
第108回日本消化器内視鏡学会九州支部例会(宮崎)	食道アカラシア術後食道癌が生じた一例	2019年11月8日～9日	玉城頼人、奥島憲彦、泉家匠、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、西原実、嵩原裕夫

学会名(開催場所)	タイトル	日時	発表者と研究者
第108回日本消化器内視鏡学会九州支部例会(宮崎)	肺炎が契機となり診断された食道アカシアの一例	2019年11月8日～9日	石原昌平、奥島憲彦、泉家匠、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、西原実、嵩原裕夫
第128回沖縄県医師会医学会総会	腹壁癒痕ヘルニア修復後に遅発性メッシュ感染を来した1例	2019年12月8日	岡本卓磨、宮平工、仲本正哉、泉家匠、国吉史雄、阿嘉裕之、花城直次、西原実、嵩原裕夫、奥島憲彦
第128回沖縄県医師会医学会総会	消化管穿孔を疑い緊急開腹術を施行した腸管気腫症の一例	2019年12月8日	玉城頼人、西原実、泉家匠、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、奥島憲彦
第128回沖縄県医師会医学会総会	心房細動カテーテルアブレーション後に生じた肺静脈狭窄症の2例	2019年12月8日	當山磨貴子、仲吉博亮、新垣珠代、普天間光彦
第120回日本外科学会定期学術集会	治療に難渋した腹壁癒痕ヘルニアの一例	2020年4月16日～18日	玉城頼人、宮平工、泉家匠、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、西原実、嵩原裕夫、奥島憲彦

※各科より初期研修医のみ再掲。後期研修医の実績については、各診療科ページをご覧ください。

### 医師卒後臨床研修 第15期生(2018年4月1日～)

(左より)

- 兼元 萌実(琉球大学卒)
- 普久原 亜紀(琉球大学卒)
- 勝連 伸一郎(琉球大学卒)
- 東江 拓海(琉球大学卒)
- 山城 正一郎(琉球大学卒)



### 医師卒後臨床研修 第16期生(2019年4月1日～)

(左より)

- 豊里 駿(琉球大学卒)
- 岡本 卓磨(琉球大学卒)
- 當山 磨貴子(琉球大学卒)
- 安次嶺 寿乃(秋田大学卒)
- 金城 朋弥(琉球大学卒)
- 石原 昌平(琉球大学卒)
- 玉城 頼人(琉球大学卒)



## 研修風景

Dr.Houchens 教育回診



ICLS



ハロウィン回診（呼吸器内科）



外科研修



採血レクチャー



第15期修了式



## 各科概要・実績

### 総合内科

総合内科は平成31年1月に開設され、外来および入院診療を行っています。医師1人体制ではありませんが、感染症全般、閉塞性肺疾患、心不全、電解質異常、腎不全、脳梗塞、リウマチ膠原病、消化管出血、膵炎など幅広い疾患を診療しています。精査や全身管理の依頼など、院内各科からのコンサルトにも対応しています。今年度は初期研修医の当科ローテーションが開始となり、日々の研修医教育も担うようになりました。5つの委員会に所属しており、ICT、AST、Polypharmacy対策委員会（2018年度当科で立ち上げ）、研修管理委員会、臨床倫理委員会で活動しています。令和1年8月からはICU管理の相談役を室長より拝命し、診療支援と看護師教育にも関わっています。

### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
医長	佐藤 直行	総合内科、Hospital medicine、感染症、リウマチ膠原病、医学教育	日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター POCUS (Point Of Care Ultrasound) コースインストラクター 米国内科学会 医学博士

### 検査・治療件数

- ・ 入院症例数：75例（当科への転入10例，転院1例）
- ・ 平均年齢：75.7歳（施設入所者36%）
- ・ 平均在院日数：14.1日（検査入院なし）
- ・ 外来コンサルト：35件（内科系49%，外科系51%）
- ・ 病棟コンサルト：53件（内科系40%，外科系60%）

### 主な経験疾患

循環器	うっ血性心不全，心房細動，高血圧，胸部大動脈瘤
呼吸器	気管支喘息発作，COPD急性増悪，化学性肺臓炎，気胸，CO2ナルコーシス，2型呼吸不全，間質性肺疾患
消化器	消化管出血（上下部），ウイルス性腸炎，重症急性膵炎，胃癌，肝性脳症
感染症	細菌性肺炎，誤嚥性肺炎，腎盂腎炎（閉塞性含む），菌血症，敗血症性ショック，椎間板炎/椎体炎，皮膚軟部組織感染症，インフルエンザウイルス，伝染性単核球症，パルボウイルス感染症，帯状疱疹，結核性髄膜炎，HIV
腎臓	急性腎障害，高ナトリウム血症，低ナトリウム血症，SIAD，中枢性塩類喪失症候群，低カリウム血症，高カリウム血症，高カルシウム血症
内分泌	糖尿病，脂質異常症，甲状腺機能亢進症，偽性アルドステロン症
神経	脳梗塞，くも膜下出血，痙攣重積発作，パーキンソン病，パーキンソン症候群，視神経周囲炎（感染症による），頸椎症
リウマチ性疾患	痛風，偽痛風，関節リウマチ，リウマチ性多発筋痛症，成人Still病，Sjögren症候群，顕微鏡的多発血管炎，巨細胞性動脈炎，皮膚筋炎，ぶどう膜炎，線維筋痛症，Focal myositis
血液	血球貪食症候群，DIC，骨髄壊死，リンパ腫
その他	乳癌，癌性胸膜炎，癌性リンパ管症，薬剤有害事象，妊娠悪阻，絨毛膜羊膜炎，更年期障害による関節痛，蘇生に成功した心停止，横紋筋融解症，褥瘡，中枢熱，周術期管理，ビタミンB12欠乏症

## 研究業績

### 学会発表

タイトル	学会名	開催地	日時	発表者と研究者
成人のヒトパルボウイルス B19 感染症 一流行期 5 例の検討ー	第 89 回日本感染症学会西日本地方会学術集会	静岡県	2019 年 11 月 7 日～9 日	佐藤直行
結核性と自己免疫性の鑑別を要し中枢性塩類喪失症候群を合併した無菌性髄膜炎の一例	第 20 回日本病院総合診療医学会学術総会	福岡県	2020 年 2 月 21 日～22 日	兼元萌実, 佐藤直行

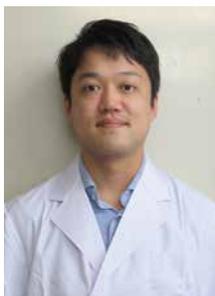
### その他業績

- ・公益財団法人日米医学医療交流財団日本版ホスピタリスト助成を受けての米国短期留学。2019 年 10 月 5 日～14 日, University of Michigan および VA Ann Arbor Healthcare System.
- ・ハワイー沖縄医学教育フェロースhip: 令和元年度第 8 期フェローとして受講中.

### 院内研修講師

- ・院内感染対策必修研修「知ろう、守ろう 抗菌薬」2019 年 8 月 7 日
- ・ポリファーマシー研修「Polypharmacy ークスリもリスクー」2020 年 1 月 22 日
- ・医療安全必修研修「カルテ記載と情報共有の重要性 ー今後重要となる“ケア移行”の概念についても学ぼうー」2020 年 3 月 25 日

## 年度総括



総合内科医長  
佐藤 直行

平成31年1月の開設から1年以上が経過しました。今年度は常に初期研修医1年目の先生が当科をローテートする体制となり、研修医教育も大きな軸となりました。時に研修医2年目の先生のローテートもあったため、1年のうち5ヶ月間はいわゆる「屋根瓦式」に近い教育体制を敷くこともでき、先輩・後輩相互に良い影響があったようでした。琉球大学医学部生のクリニカルクラークシップの受け入れも開始し、学生にも他の実習とは一味違った「現場で働くことを意識できる実習」を経験してもらいおおむね好評な印象です（他科実習生が当科での実習を希望して先の実習予定を変更する例もありました）。初期研修医には日々の疑問の解決の仕方といった勉強の仕方や、担当医としての在り方、自分で考える姿勢などを、日々の診療を通じて教育するよう努めています。また、研修医のワークライフバランスも意識して研修を組むようにしています。2020年1月に育児休暇を取得させていただいたこともあり、今後の当院医師の働き方についても考えていきたいと思えます。

診療面では、昨年度に引き続き多様な疾患に対応しつつ、8月からはICUの相談役を拝命することとなり、重症患者様の血糖管理マニュアルなどを導入するなどしてICUへの貢献も少しずつできるようになってきました。院内に末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）を導入したため、他科からの挿入依頼にも対応しています。病棟では外科系診療科の先生方からのコンサルトを頂く機会が多いですが、多くの診療科の先生方からコンサルトを頂いています。専門診療科の先生方のご協力もあり、稀な疾患も診断することができています。一方で、早期の安全な退院を意識してはいますが、入院症例は平均年齢75.7歳で退院困難となるケースもしばしばあり、検査入院がないとはいえ平均在院日数が14.1日となっていることは課題です。多職種の連携をより深めて改善に努めます。当科の直接的な収益としては約7,500万円/年ほどと多くはありませんでしたが、非常に光栄なことに、収益以外の部分を評価していただき、2019年10月より医長の役職を拝任しました。今後は当科医師を増やして主に入院患者数を増やし、収益増を図りたいと思えます。

学術活動としては、初期研修医への発表指導も含め2題の学会発表を行うことができました。また、米国ミシガン大学に短期留学させていただき、本場のHospital medicineを学ぶことができました（医局会で報告済み）。ハワイ大学と沖縄県が共同で行っている医学教育フェロシップも受講しており、これらの経験を研修医教育にも活かしています。

院内の研修医オリエンテーションや各種レクチャー、徳田安春先生の教育回診のスーパーバイズ以外にも、群星沖縄研修病院群の新年度全体オリ

エンターションの教育講演（当院医師としては初）や群星沖縄企画の勉強会、群星沖縄忘年会での TED presentation など院外での教育活動も積極的に行っています。さらに、院内職員向けの講演会講師も年度内に3つ担当し、院内職員への教育にも微力ながら貢献させていただきました。

今年度は非常に幅広く活動させていただきましたが、他科の先生方や看護部はじめ他職種のみならず、また初期研修医の先生方の支えあってこそその1年間でした。来年度は当院の初期研修出身としては5年ぶりの内科後期研修医の先生に（琉大プログラム所属ですが）、1年近く当科で専攻研修を行っていただく予定です。初期研修医の先生方のローテーションもあるため、来年度はより一層活気をもって当院内科研修を盛り上げ、診療面でも他科の先生方の負担が取れるよう努めたいと思います。教育を通じて院内職種全体のスキルアップや院外からの人材確保に努め、患者様によりよい医療を提供できるよう、医療の質の改善に尽力していきたいと考えています。引き続きのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 呼吸器内科

呼吸器内科は現在、医師3名体制で毎日の外来診療と入院診療を行っています。対象となる疾患は肺炎、気管支炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、気管支拡張症、慢性呼吸不全、間質性肺炎、気胸、肺癌、縦隔腫瘍等と多岐に渡っており、他疾患を合併した患者さんも多く診療しています。当科のスケジュールとしては、金曜日の午後1時より7階病棟で呼吸器内科回診を行っており、医師に加え、研修医・病棟師長・病棟リーダー・薬剤師・リハビリ・MSW・MCと一緒に部屋を回診しています。各部署と回診する事により共通した患者認識を持ち、より良いグループ診療が出来るように目指しています。また、画像カンファレンスとして月曜日の13時から胸写カンファレンスを行い、水曜日17時から放射線科との合同画像カンファレンスを行う事で胸写や胸部CTの読影力向上に努めています。火曜日の午後は気管支鏡検査を施行し、呼吸器疾患の診断率向上に努めています。水曜日の午後は医師・看護師・リハビリ・臨床工学士等の各職種と連携したRSTラウンドを行っています。

### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
副院長・呼吸器内科部長・7階病棟医長 <専門外来>睡眠時無呼吸症候群(SAS)外来	普天間 光彦	肺炎、気管支喘息、肺気腫、肺癌、肺結核	日本呼吸器学会インフェクションコントロールドクター
呼吸器内科医長	新垣 珠代	呼吸器内科一般	
	仲吉 博亮	呼吸器内科一般	日本内科学会認定内科医

### 検査・治療件数

検査・治療	件数
気管支鏡検査	65

検査・治療	件数
睡眠時無呼吸外来のべ患者数	992名

### 年度総括



呼吸器内科部長  
普天間 光彦

2019年度は年間916名の入院患者の診療を行い、65名の気管支鏡検査を実施しました。学会活動としては呼吸器学会に参加して見聞を広め、県医学会や日本内科学会九州地方会で演題発表を行いました。また、呼吸気同好会や胸部レントゲン勉強会等の県内での研究会へ参加し他医療機関との連携や診療の向上に努めています。教育活動として初期研修医の指導、学生への指導も積極的に行っており、ほとんどの初期研修医は当科での研修を修了しています。来年度は学会参加や県内の研究会等の院外活動をさらに活発にしていく予定です。

## 循環器内科

循環器内科は現在5名の医師が循環器全般の診療を行っております。急性心筋梗塞、狭心症に対するカテーテル治療はもちろん、不整脈に対するカテーテルアブレーション、PM移植術の治療を行うと同時に、それら疾患に対する予防についても力を入れて診療を行っております。

また、致命的な救急患者さんに対する、緊急のカテーテル治療に加え、V-AECMOなどの機器も十分に揃えており、スタッフのトレーニングも行っているため、短い時間で導入可能となっております。

最近では閉塞性動脈硬化症による、下肢の潰瘍や壊疽などで下肢の切断に至る患者も目立ちます。そのような患者さんに対する、血管内治療にも力を入れ治療を開始しております。今後も患者さんの予後やADLの改善を目指し、より良い医療を提供していきたいと考えております。

### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
循環器内科統括部長	與座 一	一般循環器内科	
内科部長・循環器内科部長・医局長	秋元 芳典	一般循環器内科、動脈硬化症	日本循環器学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本医師会認定産業医 日本内科学会指導医
救急総合診療部副部長 循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急、地域医療、スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
循環器内科医長	仲村 義一	一般循環器内科	日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会認定内科医
循環器内科医長	金城 太貴	不整脈、一般循環器、総合内科、集中治療	日本内科学会認定内科医
<専門外来>不整脈外来	石垣 清子 (非常勤)		

### 検査・治療・手術件数

#### 検査件数一覧

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
冠動脈CT	508	515	443	450	371	420
トレッドミル	82	52	36	48	52	58
ホルター心電図	232	236	203	225	206	200
心筋シンチ	140	110	57	59	74	84
経胸壁心エコー	2,796	2,605	2,516	2,508	2,800	2847
経食道心エコー	24	28	29	48	54	38

#### 治療件数一覧

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
経皮的冠血行再建術(PCI)	158	116	127	133	125	125
ペースメーカー植込み術	9	25	21	26	20	14
電池交換	2	2	3	2	7	7

	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
一時的ペースメーカー	9	16	11	9	15	12
IABP	9	6	9	9	11	8
PCPS	2	6	8	4	8	7
下大静脈フィルター	7	2	2	2	1	0
末梢血管拡張術 (PPI)	17	57	103	116	110	120
カテーテルアブレーション					10	24

## 研究業績

### 学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 127 回沖縄県医師会医学会総会集会	当院の 2 年間における VAIVT を施行した 207 例の検討	沖縄県	2019 年 6 月 9 日	仲村 義一、金城 太貴、三戸 正人、秋元 芳典、與座 一
第 30 回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会	急性心筋梗塞 3 ヶ月後に発症した後天性冠動脈 - 心室瘻の一例	福岡県	2020 年 1 月 18 日	仲村 義一、金城 太貴、三戸 正人、秋元 芳典、與座 一

### 論文著書

論題名	雑誌名	掲載・年・号・頁	著者
当院の 2 年間における Vascular Access Inter Vention Therapy (以下 VAIVT と略す) を施行した 207 例の検討	沖縄医学会雑誌 (0911-5897)	58 巻 2 号 Page37-39(2020.01)	仲村 義一、金城 太貴、三戸 正人、秋元 芳典、與座 一

## 年度総括

循環器内科副部長  
秋元 芳典

2019年度は、與座一、秋元芳典、三戸正人、仲村義一、金城太貴の5名で診察を行っています。ここ数年の動向を見ていますと、急性心筋梗塞や狭心症にて経皮的冠動脈形成術（PCI）を受ける患者さんは横ばいの状態です。周りに同治療を行う施設があることや、最近のステント、バルーンの開発で再狭窄がほとんど見られなくなりました。また、薬剤の進歩やエビデンスの蓄積もあり、二次予防が確立されてきたこともあります。

そんな中で今後治療として増えることが期待できるものの中に、カテーテルアブレーションがあります。PSVTと言われる上室性の不整脈に加え、心房細動のアブレーションが盛んに施行されるようになりました。治療法も確立されてきており、安全に治療ができるようになっております。今後、期待できる治療法と考えます。

また、閉塞性動脈硬化症により下肢動脈の狭窄や、閉塞に対する経皮的動脈形成術も増えております。下肢動脈の治療については、仲村先生を中心に研修に行ってください治療を行っております。足の救済は予後に関わることであり、形成外科の先生とともに協力しながらさらに治療を進めていきたいと思っております。

今後、高齢化が進むにつれて心不全が増えると考えられます。また、糖尿病も増えており色々な病気を持った心不全患者さんが増加します。薬剤の進化もあり治療方法が増えてきていますが、それ以上に心不全に対してはリハビリテーションが重要と考えております。

スタッフの充実や教育の成果もあり、現在当院の心臓リハビリテーションに患者さんが増えてきております。それに伴い再入院は減っているデータもあります。今後はさらにリハビリ患者さんの背景を考えた治療を行い、患者さんのADLを考えた治療を行っていきたくと考えております。

## 消化器内科

消化器内科が扱う臓器は幅広く、腹部の臓器のほとんど（腎臓、副腎など一部臓器を除く）が守備範囲となります。そのため対象となる患者は多く多岐にわたります。また、人間は精神的ストレスが掛ると身体的には消化管に影響が出る事が多く、心身医療とも密接な関わりがあります。さらにはメタボリックシンドロームと関連する消化器疾患もあり、おそらく病院を受診する患者さんのかなりの部分を消化器系の疾患が占めているものと思われます。

### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
消化器内科部長 5階病棟医長	宮城 純	上部・下部消化管疾患の診断・治療	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医
内視鏡センター長 <専門外来>胸やけ外来	折田 均	胸やけ外来（機能的消化管疾患）、胃癌・大腸癌の内視鏡的治療	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会指導医
消化器内視鏡部長	仲本 学	消化管内視鏡診断・治療（ESD）	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 日本内科学会指導医
消化器内科医長	柴田 大介	肝癌の治療、肝・胆道系疾患の治療	日本内科学会認定内科医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医
	小橋川 ちはる	消化管疾患の診断・治療	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
	仲舩 拓	消化器内科全般	日本内科学会認定内科医
	林 貴徳	消化器内科全般	日本内科学会認定内科医
	宮城 泰雅		
	大里 健作		

### 検査・治療・手術件数

#### 1. 検査内視鏡実績

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
胃内視鏡	9,586	9,971	10,316	10,932	11,583
大腸内視鏡	3,052	3,020	2,969	2,938	3,170
ERCP	134	115	122	145	168

※外科症例を含みます。

## 2. 治療内視鏡実績

上部消化管 (内訳)	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
EMR	4	11	11	6	12
ESD	27	27	17	13	18
EVL	23	53	53	23	21
EIS	10	11	11	6	13
止血術	44	45	43	22	29
焼灼術	43	43	42	13	7
異物摘出術	16	10	6	13	11

下部消化管 (内訳)	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
EMR	355	409	310	319	397
ESD		9	3	5	4
止血術	23	18	17	27	18

## 研究業績

## 学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 105 回日本消化器病学会総会	頸部食道狭窄を伴う早期食道癌に対する経皮経胃的逆行性食道 ESD の治療経験	石川県	2019 年 5 月 9 日	仲本学、林貴徳、仲舛拓、柴田大介、小橋川ちはる、宮城純、折田均、佐久川廣、花城直次 (外科)
第 328 回日本内科学会九州地方会	血球貪食症候群を伴ったレプトスピラ感染症の 1 例	福岡県	2020 年 1 月 24 日	宮城泰雅、柴田大介、林貴徳、仲舛拓、仲本学、折田均、宮城純、佐久川廣、宮城敬

## 年度総括



消化器内科部長  
宮城 純

上部消化管内視鏡検査件数は徐々に増加してきており、2017 年度にはじめて 1 万件を突破しました。2018 年度には内視鏡室の拡張を行いました。これまで上部消化管内視鏡検査は 5 診体制でしたが、2019 年 6 月から 6 診体制を開始しました。これにより 2019 年度の上部消化管内視鏡検査件数は 11,583 件となりました。今後も増加が見込まれます。

下部消化管内視鏡検査は徐々に増加していましたが 2015 年度に 3,000 件を突破した後は頭打ちとなりました。残念ながら 2017 年度、2018 年度とも 3,000 件を下回りましたが、2019 年度は 3,170 件となり過去最高となっています。2016 年度から開始した「大腸がん早期発見プロジェクト」の効果が表れてきたと思われます。今後さらに啓蒙が必要です。

## 2020 年度目標

1. 消化器疾患の診断能・治療技術の更なる向上を目指します。
2. 消化器病内科関連専門医、内視鏡専門医の確保を目指します。
3. 消化器内科志望の後期研修医の確保を目指します。
4. 近隣の病院、医院等からの紹介患者の積極的な受け入れ。
5. 外科とも緊密に連携し診断・治療を行います。
6. 外科とも連携し、近隣の病院、医院等との症例検討会等を継続します。
7. 消化器病関連の学会や研究会に更に活発に参加及び発表します。
8. 長期の目標として、胃検診の全件を内視鏡で行える体制を目指します。

## 肝臓内科

肝臓内科は肝臓の病気、さらに当院では胆道、膵臓疾患の検査治療を担当しています。具体的にはC型肝炎、B型肝炎などのウイルス性肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎などの自己免疫に関与した肝炎、さらに近年増加傾向にあるメタボリックシンドロームの肝臓への表現型である非アルコール性脂肪肝炎（NASH）、またアルコール性肝障害といった生活習慣に起因した肝障害も肝臓内科で診療しています。また肝臓癌の治療である経皮的ラジオ波焼灼術、肝硬変の様々な合併症（肝性腹水、食道胃静脈瘤、特発性細菌性腹膜炎等）の治療も当科で行っています。胆道、膵臓疾患としては総胆管結石、胆道・膵臓腫瘍による閉塞性黄疸に対する内視鏡的治療も当科で行っています。

### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
院長	佐久川 廣	肝炎、肝硬変、肝癌、B型およびC型慢性肝炎の治療	日本肝臓学会指導医 日本感染症学会指導医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会指導医
消化器内科医長	柴田 大介	肝癌の治療、肝・胆道系疾患の治療	日本内科学会認定内科医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医

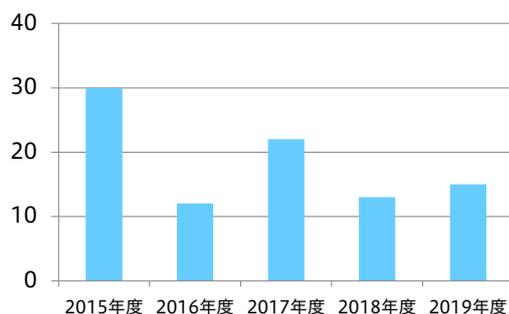
### 研究業績

#### 論文著書

論題名	雑誌名	掲載・年・号・頁	著者
肝炎ウイルス感染者の掘り起こし及び専門医との連携	沖縄県医師会報 (0917-1428)	55 巻 7 号 Page746-747(2019.07)	佐久川 廣

## 検査・治療件数

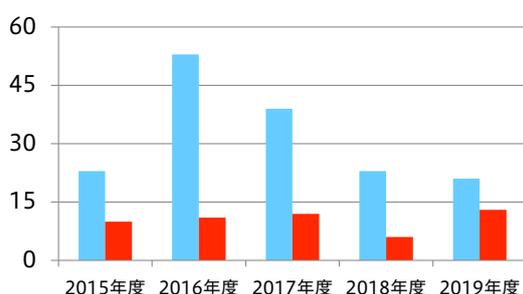
### 経皮的ラジオ波術症例数の推移



### 内視鏡的胆管膵管造影（ERCP）の推移



### 食道静脈瘤に対する予防的内視鏡的結紮術（EVL）、硬化療法（EIS）の推移



## 年度総括



肝臓内科副部長  
柴田 大介

昨年度より肝細胞癌に対する経皮的ラジオ波焼灼術は少し増加しましたが、以前よりは減少しています。これはC型肝炎に起因した肝細胞癌が減少傾向にあるためと思われます。この傾向はしばらく続くものと思われます。その一方で、今後 NASH 肝硬変やアルコール性肝硬変に起因した肝細胞癌は相対的に増加することが予想されます。今後も早期発見・早期治療を目指し診療していきたいと思えます。

また胆道膵臓疾患に関する内視鏡的検査・治療は昨年よりも増加傾向にありました。ERCPも増加しました。また今年度より琉球大学第一内科の宮里公也先生に水曜日に来院していただき胆膵領域の超音波内視鏡をして頂いています。同領域のさらなるレベルアップに繋がるものと思われ、膵臓癌の早期発見治療に尽力したいと思います。

さらに2020年度より肝臓内科である圓若先生が常勤医としてこられました。一致協力して診療したいと考えています。

## 血液内科

血液内科は造血器腫瘍や貧血性疾患、血友病を除く出血・血栓性疾患などほとんどの血液疾患の診療を行っています。本年度のスタッフは宮城 敬、狩俣 かおり、大瀧 昌代、山入端 敦の4人です。同種造血幹細胞移植は主に宮城、山入端、狩俣が行い、ドナーの診療は狩俣、大瀧が担当しています。当院の特徴としては、完全無菌室を10床有し、血縁者間・非血縁者間の造血幹細胞移植（骨髄移植、臍帯血移植、末梢血幹細胞移植）を行っています。沖縄県内の血液内科で造血幹細胞移植を行っているのは琉球大学附属病院と当院のみで、沖縄県の造血器移植医療、血液診療を支えているという自負があります。週1回、琉球大学保健学科の福島卓也先生も参加してグループカンファレンスを行い、最善の診断・治療ができるよう心がけています。

### 医師プロフィール

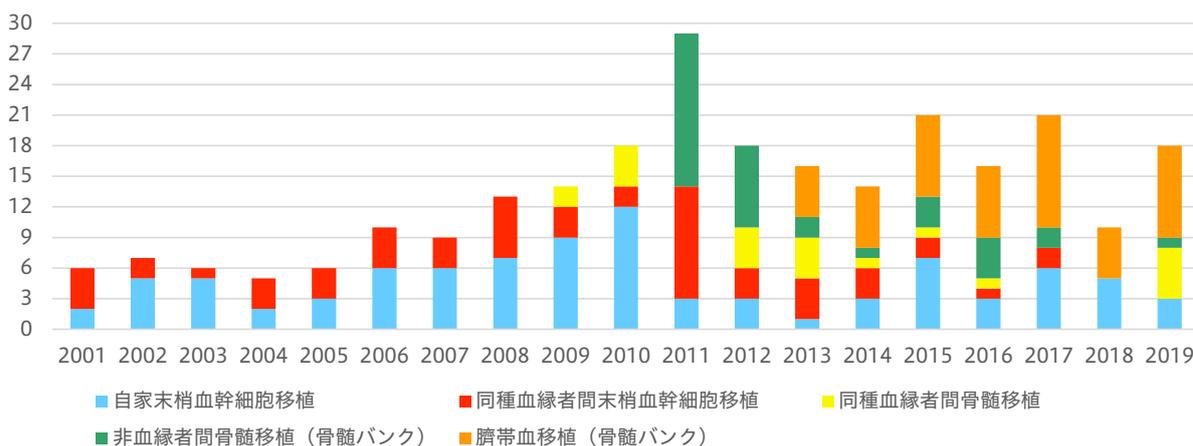
役職	氏名	専門分野	学会認定
血液内科部長 6階病棟医長	宮城 敬	一般血液内科	日本血液学会指導医 日本血液学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医
血液内科副部長	山入端 敦	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医
血液内科医長	狩俣 かおり	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医
	大瀧 昌代	一般血液内科	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医

### 検査・治療・手術件数

#### 骨髄移植術実施一覧

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
自家末梢血幹細胞移植	3	7	3	6	5	3
同種血縁者間末梢血幹細胞移植	3	2	1	2	0	0
同種血縁者間骨髄移植	1	1	1	0	0	5
非血縁者間骨髄移植（骨髄バンク）	1	3	4	2	0	1
臍帯血移植（臍帯血バンク）	6	8	7	11	5	9
計	14	21	16	21	10	18

ハートライフ病院の造血幹細胞移植数（年次推移）



## 研究業績

### 学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 327 回日本内科学会九州地方会	Carfilzomib 投与後に Thrombotic microangiopathy を認めた多発性骨髄腫の一例	佐賀県	2019 年 11 月 17 日	宮城敬、山入端敦、大濱昌代、狩俣かおり、佐久川廣
第 42 回日本造血細胞移植学会	当院の Ph 白血病に対する同種造血幹細胞移植の成績	東京都	2020 年 3 月 7 日 開催中止 誌面発表のみ	山入端敦、大濱昌代、狩俣かおり、宮城敬
第 42 回日本造血細胞移植学会	ST 合剤併用臍帯血移植が奏効した播種性 Stenotrophomonas maltophilia 感染症合併 MDS	東京都	2020 年 3 月 7 日 開催中止 誌面発表のみ	狩俣かおり、大濱昌代、山入端敦、宮城敬

## 年度総括



血液内科部長  
宮城 敬

当科は主に成人対象の造血幹細胞移植を行っており、骨髄バンク・さい帯血バンクの認定施設です。疾患特性から平均入院患者数、延べ入院患者数が多く、在院日数が長い傾向は変わらず、医師の負担が懸念されるところです。継続できる医療、安全で質の高い医療を提供できるような人、システムの環境づくりに努力する所存です。今後ともご協力、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 小児科

当院小児科では地域医療支援病院として紹介患者を中心に診療を行い、外来部門であるハートライフクリニックからの入院を含め、病院小児科常勤医として3名の医師が感染症などの一般的な疾患、予防接種、小児の手術の術前診察、術後管理を行っています。また、当院で出生する新生児の管理や1ヶ月健診を行っています。

中城村や西原町、与那原町などの近隣市町村の乳幼児健診や中城小学校および西原小学校の学校医、近隣保育園の園医の活動を通して地域の小児の健康管理への貢献も目標として活動しています。

平成28年度からは小児アレルギー外来を開設しており、アレルギー専門医、看護師、栄養士、薬剤師と連携しながら食物アレルギーに対する食物経口負荷試験や食事療法指導、アトピー性皮膚炎に対するスキンケア指導などを行っています。

### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
小児科部長	国島知子	一般小児科	日本小児科学会指導医 日本小児科学会専門医
小児科副部長	崎原徹裕	一般小児科、小児アレルギー	日本小児科学会指導医 日本小児科学会専門医 日本アレルギー学会専門医
小児科医員	阿部仁美	一般小児科	
小児科後期研修医	金城 優美	一般小児科	

### 研究業績

#### 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ピーナッツアレルギーの有病率とピーナッツ製品の摂取状況に関する調査	第68回日本アレルギー学会学術集会	東京都	2019年6月14日	崎原徹裕、金城優美、川満豊、国島知子
加熱卵0.2gの早期摂取を行った卵白感作陽性例における乳児期後期の加熱卵1/4個経口負荷試験結果の検討	第68回日本アレルギー学会学術集会	東京都	2019年6月14日	金城優美、崎原徹裕、川満豊、国島知子
0～2歳児における卵白経口負荷試験の負荷ステップ選択基準の検討	第56回日本小児アレルギー学会	千葉県	2019年11月2日	崎原徹裕、金城優美、国島知子

#### 論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
地域医療支援病院における鶏卵 Prediction model の有用性の検討	日本小児臨床アレルギー学会誌	2019 ; 17:316-321	崎原徹裕、金城優美、川満豊、国島知子

## 年度総括



小児科副部長  
崎原 徹裕

令和元年度の新生児を除いた小児科の総入院患者数は、在院日数の短さや治癒退院率の高さを維持しながら 576 名でした。入院患者の 36% は紹介患者で、多くは 3 歳未満の乳幼児が占めています。感染性疾患が大半を占めますが、食物アレルギーの経口負荷試験の入院数も 175 名で約 1/3 を占めています。

今年度は 720 名の新生児の出生があり、前年度の 586 名から大幅な増加となっています。小児科医は全出生児の出生時診察と退院時診察を行っており、産科医からの要請に応じてハイリスク分娩の立会いや 24 時間オンコール体制で新生児蘇生を行っております。新生児室での病児管理も行っており、今年度は 323 名を管理しました。

外来業務では前年度から病院とクリニック小児科との役割分担を明確にし、病院小児科は慢性患者の定期フォローや予防接種および紹介患者の受け入れを、クリニック小児科は発熱などの急性期患者の対応を行っております。今年度は病院小児科の外来患者数は一般外来 6,924 名、アレルギー外来 1,328 名、予防接種 3,224 名でした。

臨床研究にも注力しており、平成 28 年度からは毎年の論文執筆を行っております。現在は当科主導での多施設共同研究を進めております。地域医療支援病院ならではの観点から、臨床の現場へ情報を発信していくことを目標としています。

## 心療内科

当科は医師一名体制で、専属スタッフの配置はありません。そのため、待ち時間が長くなることもありご迷惑をおかけすることもしばしばです。また外来診療のほか、身体疾患のため入院中の方のメンタルヘルストラブルの対応や相談なども行っています。なお、当科での入院治療はやっておりません。

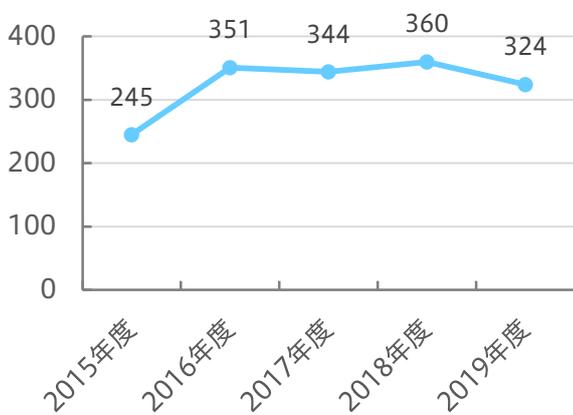
よく言われる心療内科と精神科の違いですが、精神科は精神疾患の治療をする科で、心療内科は自律神経の治療を専門とする科ということになります。

自律神経の機能がうまく調整できなくなる理由は、老化や体質、ホルモン機能のほか、ストレスや過労などさまざまです。近年は熱中症の後遺症としての自律神経失調症も増えている印象です。うつ病などの精神疾患や認知症が原因のこともあります。そのため、厳密にわけることが難しい分野でもあります。検査しても病気じゃないといわれたけど体調が悪いというかたは、自律神経の治療を受けることで楽になることがあるかもしれません。

### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
心療内科医長	菅野 善一郎	リエゾン精神医学・心身医療	精神保健指定医 日本精神神経学会専門医 日本精神神経学会指導医

心療内科への院内コンサルト件数



外来患者数推移



### 年度総括



心療内科  
菅野 善一郎

心療内科を立ち上げて10年が経ちました。これまで、外来診療および他科と連携した診療を続けていましたが、院内・院外ともに紹介をいただくことが増え、それなりに役立っているようで嬉しく思っています。

認知症やせん妄への対応も増えており、高齢化社会での精神科医療のニーズを実感しております。

## 外科

## 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
名誉院長	奥島 憲彦	消化器外科、食道外科、食道癌の内視鏡的治療、食道アカラシアのPOEM治療	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会専門医
副院長 外科系統括部長 外来診療部長 地域医療連携部長	西原 実	一般消化器外科、肝胆膵外科、内視鏡外科、抗がん剤治療、ヘルニア	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器外科学会専門医
外科部長	宮平 工	胃癌・大腸癌に対する手術治療、薬物療法(殺細胞性抗がん薬、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬)、各種消化器疾患に対する腹腔鏡手術	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医
消化器外科部長 4階病棟医長	花城 直次	一般外科、腹腔鏡下大腸切除術	日本外科学会認定医 日本外科学会専門医
ヘルニアセンター長	高原 裕夫	小児・成人の鼠径ヘルニア、腹壁ヘルニア(癪痕ヘルニア・膺ヘルニア)	日本内視鏡外科学会技術認定医 日本小児外科学会専門医 日本小児外科学会指導医 日本外科学会専門医 日本外科学会指導医
大腸・肛門外科部長	阿嘉 裕之	肛門科・消化器外科、各種肛門疾患(痔核・痔瘻・裂肛・直腸脱・尖圭コンジロームなど)、便通異常などに対して注射療法	日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本外科学会専門医
乳腺外科部長	野村 寛徳	乳癌、甲状腺外科、一般外科	日本外科学会専門医 日本乳癌学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 検診乳腺エコー読影認定医
外科医長	国吉 史雄	一般外科	日本外科学会専門医
	仲本 正哉	一般外科	
	泉家 匠	一般外科	
	仲栄真 盛保 (非常勤)	血管外科	
	永野 貴昭 (非常勤)	心臓血管外科	
	久田 正昭 (非常勤)	一般・小児外科	
	梁 英樹 (非常勤)	膵・胆道外科、消化器外科全般	

## 検査・治療・手術実績

### 術式別一覧

手技	件数
<b>食道</b>	<b>21</b>
食道悪性腫瘍手術	6
POEM手術	9
食道癌ESD	2
APC焼灼術	2
食道良性腫瘍摘出術(POET)	1
腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術	1
<b>甲状腺</b>	<b>10</b>
甲状腺良性腫瘍手術	5
甲状腺悪性腫瘍手術	5
<b>乳腺</b>	<b>51</b>
乳腺悪性腫瘍切除術	41
乳腺腫瘍摘出術	10
<b>胃</b>	<b>14</b>
腹腔鏡下胃切除術(悪性)	2
胃悪性腫瘍手術(開腹)	3
腹腔鏡下胃全摘術(悪性)	1
胃悪性全摘術(開腹)	6
胃・十二指腸縫合術(大網充填術又は被覆術)	2
<b>胆嚢・胆管</b>	<b>113</b>
腹腔鏡下胆嚢摘出術	104
開腹胆嚢摘出術	7
胆嚢悪性腫瘍手術	1
胆管悪性腫瘍手術	1
<b>肝臓</b>	<b>4</b>
肝切除術	3
開腹ラジオ波焼灼術	1
<b>脾臓</b>	<b>9</b>
脾頭部十二指腸腫瘍切除術	6
脾体尾部腫瘍切除術	2
脾腸離断術	1
<b>小腸</b>	<b>17</b>
小腸切除術(悪性)	3
小腸切除術(悪性以外)	8
腸閉塞症手術	6
<b>虫垂</b>	<b>59</b>
腹腔鏡下虫垂切除術	59
<b>結腸</b>	<b>49</b>
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	29
開腹結腸悪性腫瘍切除術	17
腹腔鏡下結腸良性腫瘍切除術	1
開腹結腸切除術(良性)	2
<b>直腸</b>	<b>33</b>
腹腔鏡下直腸悪性腫瘍切除術	9
開腹直腸悪性腫瘍切除術	9
直腸ポリープ切除術	1
直腸脱手術	2
人工肛門造設術・人工肛門閉鎖術	12

手技	件数
<b>肛門</b>	<b>91</b>
痔核硬化療法	51
痔核根治手術	12
痔瘻根治手術	16
肛門形成手術	1
肛門尖圭コンジローマ	3
肛門皮膚剥離切除術	1
膿皮症	4
肛門周囲膿瘍切除術	1
肛門ポリープ切除術	1
肛門潰瘍根治術	1
<b>ヘルニア</b>	<b>177</b>
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(成人)	103
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(小児)	39
鼠径ヘルニア手術	2
臍ヘルニア手術(成人)	6
臍ヘルニア手術(小児)	3
腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア手術	3
腹壁癒痕ヘルニア手術	9
大腿ヘルニア手術	1
白線ヘルニア手術	1
停留精巣固定術	10
<b>胃瘻</b>	<b>36</b>
内視鏡的胃瘻造設術	36
<b>その他部位</b>	<b>241</b>
気管切開術	5
大網、腸間膜、後腹膜手術	1
大網、腸間膜、後腹膜手術(腹腔鏡)	4
リンパ節生検	15
リンパ節郭清術	2
体表の手術	160
CVポート	35
腹腔静脈シャントパプルス挿入術	3
腹腔鏡下尿管管切除術	2
急性汎発性腹膜炎手術	8
試験開腹術	1
ストーマヘルニア	1
腹腔鏡下腸管癒着症手術	1
その他	3
計	925

## 研究業績

## 学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 17 回日本ヘルニア学会学術集会	巨大臍ヘルニアに非還納性鼠径ヘルニアを合併した生後 51 日目女児に対する LPEC 法	三重県	2019 年 5 月 24 日	仲本正哉、髙原裕夫、西原実、国吉史雄、花城直次、阿嘉裕之、宮平工、奥島憲彦
	AYA 世代・前立腺癌術後・超高齢者鼠径ヘルニアへの LPEC 法の適応拡大 - 第 2 報 -			髙原裕夫、西原実、国吉史雄、仲本正哉、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、奥島憲彦
	座長、支部推薦演題評価者			西原実
第 127 回沖縄県医師会医学会総会集会	傍ストーマ皮膚瘻に瘻孔切除、憩室縫合閉鎖した一例	沖縄県	2019 年 6 月 9 日	阿嘉裕之、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、宮平工、花城直次、西原実、奥島憲彦
	POEM 施行時に出血をきたした食道アカラシアの一例			奥島 憲彦、仲本 正哉、国吉史雄、野村 寛徳、阿嘉 裕之、花城 直次、宮平 工、西原 実、髙原 裕夫
	憩室を伴う嚢胞様形態を呈した小腸 GIST の 1 例			花城 直次、仲本 正哉、国吉史雄、阿嘉 裕之、野村 寛徳、宮平 工、西原 実、奥島 憲彦、青山 肇
	大腸がんの早期発見を目指した当院の取り組み			宮平 工、仲本 正哉、国吉 史雄、阿嘉 裕之、花城 直次、西原 実、奥島 憲彦
	サイトメガロウイルス腸炎による小腸穿孔が疑われた一例			国吉 史雄、仲本 正哉、阿嘉 裕之、花城 直次、宮平 工、西原 実、奥島 憲彦
	TAPP の遂行が困難であり、advanced LPEC を施行した 1 例			西原 実、仲本 正哉、国吉 史雄、野村 寛徳、阿嘉 裕之、宮平 工、花城 直次、髙原 裕夫、奥島 憲彦
	RyuCOS Home Hospital カリキュラムにおける外科専攻医の腹腔鏡下胆嚢摘出術の経験			仲本 正哉、宮平 工、国吉 史雄、野村 寛徳、阿嘉 裕之、花城 直次、西原 実、奥島 憲彦
第 44 回日本外科系連合学会学術集会	化学療法が奏功した後腹膜脂肪肉腫の 1 例	石川県	2019 年 6 月 20 日	宮平工、仲本正哉、国吉史雄、阿嘉裕之、花城直次、西原実、奥島憲彦
第 27 回日本乳癌学会学術総会	沖縄県離島（八重山地方）出身の若年性乳癌の一症例	東京都	2019 年 7 月 11 日	野村寛徳
第 8 回 Reduced Port Surgery Forum	特別発言 前立腺癌術後の鼠径ヘルニアに対する LPEC 変法・座長	東京都	2019 年 8 月 2 日	髙原裕夫 西原実、髙原裕夫、国吉史雄、仲本正哉、泉家匠、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、奥島憲彦
第 78 回沖縄県外科会	当番世話人 極めて稀な乳腺腺様嚢胞癌の一例	沖縄県	2019 年 9 月 1 日	宮平工 野村寛徳、仲本正哉、国吉史雄、泉家 匠、阿嘉裕之、花城直次、宮平 工、西原 実、奥島憲彦、仲地里織、青山 肇
第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会	傍ストーマ皮膚瘻に瘻孔切除、憩室縫合閉鎖した一例	東京都	2019 年 10 月 10 日	阿嘉裕之、仲本正哉、国吉史雄、宮平工、花城直次、西原実、奥島憲彦
第 24 回日本外科病理学会学術集会	座長	栃木県	2019 年 10 月 11 日	西原実
	術前診断に十二指腸嚢胞から術後病理により十二指腸重複嚢胞との診断に至った 1 例			泉家匠、西原実
第 81 回日本臨床外科学会総会	座長	高知県	2019 年 11 月 14 日	宮平 工

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 81 回日本臨床外科学会総会	小児にみられる "de novo type" の直接型・外鼠径ヘルニアに対する LPEC 法のノウハウ - 再発を起こさないために -	高知県	2019 年 11 月 14 日	髙原裕夫、西原実、国吉史雄、宮平工、花城直次、阿嘉裕之、泉家匠、仲本正哉、奥島憲彦
	Advanced LPEC 法の tip s & gist			髙原裕夫、西原実、国吉史雄、宮平工、花城直次、阿嘉裕之、泉家匠、仲本正哉、奥島憲彦
	LPEC 法の適応拡大			西原実、髙原裕夫、国吉史雄、仲本正哉、泉家匠、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、奥島憲彦
第 32 回日本内視鏡外科学会総会	外科専門研修医に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の教育	神奈川県	2019 年 12 月 5 日	宮平工、国吉史雄、花城直次、西原実、髙原裕夫
第 128 回沖縄県医師会医学会総会集会	食道アカラシアおよび類縁疾患に対する POEM 手術 50 例の治療成績の検討	沖縄県	2019 年 12 月 8 日	奥島 憲彦、泉家 匠、仲本 正哉、国吉 史雄、野村 寛徳、阿嘉 裕之、花城 直次、宮平 工、西原 実、髙原 裕夫
日本緩和医療学会第 2 回九州支部学術大会	当院独自の院内緩和ケア研修会の開催	長崎県	2019 年 12 月 13 日	西原実、花城直次、菅野善一郎、田中健嗣、本田由佳里、山内美咲、成田明日香、佐藤友美、仲田ひろ子、兼濱亜紀、宮平奈美子
第 19 回日本 LPEC 研究会	手術ライブ (Advanced LPEC)	沖縄県	2020 月 1 月 11 日	西原実
第 51 回消化器病センター例会	食道アカラシアの再手術に際し、POEM 手術が有用だった 3 例	東京都	2020 月 1 月 18 日	泉家匠、奥島憲彦
第 22 回 Needlescopic Surgery Meeting	座長	高知県	2020 月 2 月 1 日	髙原裕夫
	LPEC 法の適応拡大・座長			西原実、髙原裕夫、国吉史雄、仲本正哉、泉家匠、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、奥島憲彦
第 79 回沖縄県外科会	食道癌に対する縦隔鏡下食道切除術の経験	沖縄県	2020 月 2 月 9 日	花城 直次、奥島憲彦、仲本 正哉、泉家 匠、国吉 史雄、阿嘉 裕之、宮平 工、西原 実、髙藤 育 ( 京都府立医大消化器外科 )

論文著書

論題名	雑誌名	掲載・年・号・頁	著者
ESD を行った食道癌 72 例の治療成績の検討について	沖縄県医師会報 (0917-1428)	55 巻 12 号 Page1199-1202(2019.12)	奥島 憲彦、花城 直次
経口内視鏡的筋層切開術施行時に突然出血をきたした食道アカラシアの 1 例	沖縄医学会雑誌 (0911-5897)	58 巻 2 号 Page44-46(2020.01)	奥島 憲彦、石原 昌平、玉城 頼人、泉家 匠、仲本 正哉、国吉 史雄、野村 寛徳、阿嘉 裕之、花城 直次、宮平 工、西原 実、髙原 裕夫
憩室を伴う嚢胞様形態を呈した空腸 Gastrointestinal stromal tumor の 1 例	沖縄医学会雑誌 (0911-5897)	58 巻 2 号 Page47-50(2020.01)	花城 直次、仲本 正哉、泉家 匠、国吉 史雄、野村 寛徳、阿嘉 裕之、宮平 工、西原 実、奥島 憲彦、青山 肇
大腸がんの早期発見を目指した当院の取り組み	沖縄医学会雑誌 (0911-5897)	58 巻 2 号 Page51-54(2020.01)	宮平 工、仲本 正哉、泉家 匠、国吉 史雄、阿嘉 裕之、花城 直次、西原 実、髙原 裕夫、奥島 憲彦

## 年度総括



外科部長  
宮平 工

令和元年度は名誉院長の奥島 憲彦（食道）、外科系統括部長兼副院長の西原 実（ヘルニア・肝）、ヘルニアセンター長の嵩原 裕夫（ヘルニア）、外科部長の宮平 工（胃・大腸）、消化器外科部長の花城 直次（胃・大腸）、大腸肛門科部長の阿嘉 裕之（大腸・肛門）、乳腺外科部長の野村 寛徳（乳腺）、外科医長の国吉 史雄（胆・膵）、仲本 正哉、泉家 匠（外科専修医）の10名の常勤医と、非常勤の仲栄真 盛保（血管）、永野 貴昭（心臓、大血管）、久田 正昭（一般、小児外科）、梁 英樹（肝胆膵）の各先生方のご尽力を頂き、運営してまいりました。（カッコ内は専門領域）

手術件数は925件（外来小手術も含む）と前年度と比較して若干の減少でした。日本専門医機構の外科専門研修システムで琉球大学及び東京女子医大外科専修プログラムから外科専修医をそれぞれ1名受け入れており、これら2名の若手外科医の指導をしつつ上記のような体制で診療にあたっています。術式別には良性疾患では鼠径ヘルニアや胆石症、急性虫垂炎が多く、ほとんどの症例で腹腔鏡手術で完遂されています。肛門疾患では痔核の手術が多く、大部分は痛みの少ないジオン硬化療法で行われています。悪性疾患では乳癌、大腸癌が多く、大腸癌は早期癌はもちろん進行癌を含めて腹腔鏡手術の割合が増加しつつあります。食道癌の手術に関しては胸腔鏡下手術の適応拡大に努めています。

外科は手術だけでなく、消化器癌、乳癌の化学療法や終末期の緩和医療も担当しています。初期研修医の指導はもちろん、琉球大学医学部学生の臨床実習も受け入れており、外科の魅力を伝えることで、外科医減少の歯止めを微力ながらも貢献できればと考えています。臨床や教育の合間には県内外での学会発表や論文投稿も積極的に行っています。さらに指導医クラスの医師は緩和ケアチーム、感染対策チーム、NST（栄養サポートチーム）、クリニカルパス委員会などの中心メンバーとして病院全体の診療を影から支えています。

今後もより安全で質の高い医療を目指すだけでなく、最新の医療も提供すべく邁進してまいります。皆様方のますますのご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

## 整形外科

スタッフは、松元悟・新垣勝男・渡慶次学・新垣和伸・川越得弘・琉球大学からのローテーター上原史成・石川樹の7人です。琉球大学整形外科講座より、木曜日は関節リウマチ・金曜日は関節外科非常勤医師の応援を得ています。また、水曜日はじのん整形外科副院長新垣薫先生に股関節専門外来および手術指導など御協力いただいています。パークレー整形外科院長新城宏隆先生には週1日膝関節手術を御執刀いただいています。松元悟は関節疾患を中心に外来を行っていましたが療養に専念するため休診中です。新垣勝男は脊椎外科を担当し、椎弓拡大・椎体固定等の手術を行っています。渡慶次学と川越得弘は手の外科を担当し、上肢外傷・末梢神経絞扼障害等の手術を行っています。新垣和伸と上原史成は膝関節を担当し、変形性膝関節症に対する骨切り術・人工膝関節置換術および関節鏡を用いた前十字靭帯再建・半月板縫合術等の手術を行っています。石川樹は一般外傷を担当し、整形外科医としての研鑽を積んでいます。

### 医師プロフィール

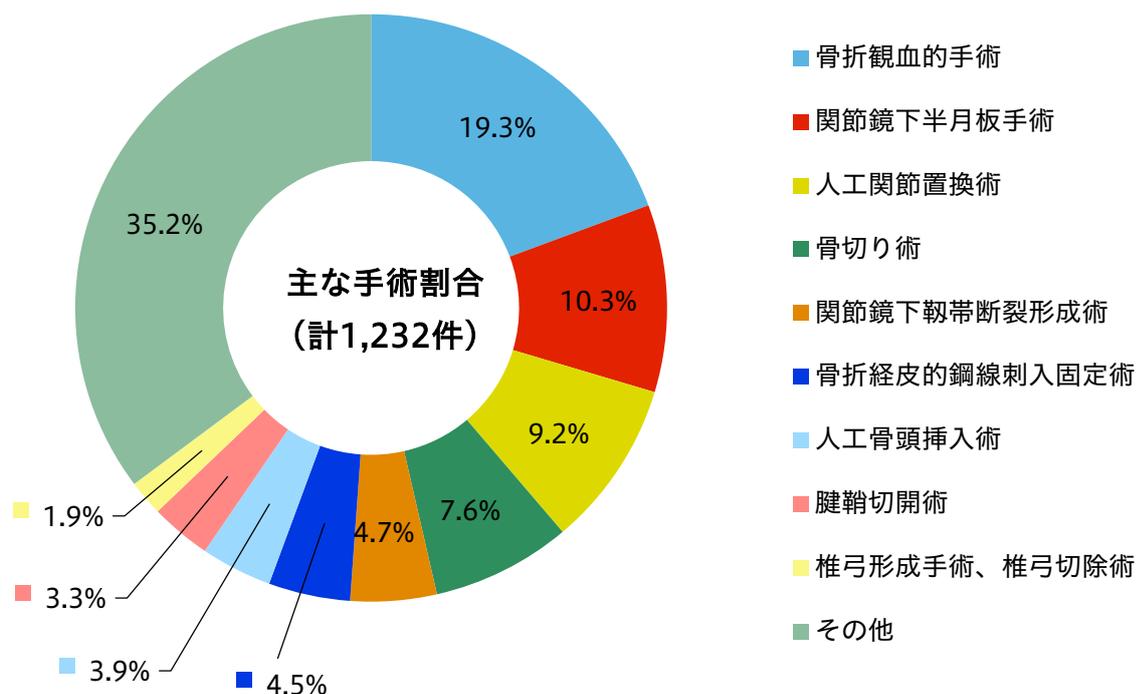
役職	氏名	専門分野	学会認定
	松元 悟	一般整形外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本医師会認定健康スポーツ医
整形外科部長	渡慶次 学	手外科	日本整形外科学会専門医 日本手外科学会認定手外科専門医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
脊椎外科部長	新垣 勝男	脊椎外科	日本整形外科学会専門医
膝関節外科部長	新垣 和伸	関節外科(膝関節)	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
整形外科副部長	川越 得弘	手外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
	上原 史成	関節外科(膝関節)	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本整形外科学会認定スポーツ医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
	石川 樹		
<専門外来>膝関節スポーツ外来	松田英敏	関節外科(膝関節)	日本整形外科学会専門医
<専門外来>股関節外来	新垣 薫	関節外科(股関節)	日本整形外科学会専門医
<専門外来>リウマチ科	東 千夏	整形外科、関節リウマチ	日本整形外科学会指導医 日本整形外科学会専門医 日本リウマチ学会指導医 日本リウマチ学会専門医
<専門外来>脊椎外来	金城 英雄	脊髄脊椎外科	日本整形外科学会専門医

### 検査・治療・手術件数

#### 主な手術一覧

部位・行為	件数
骨折観血的手術	238
関節鏡下半月板手術	127
人工関節置換術	113
骨切り術	94
関節鏡下靭帯断裂形成術	58
骨折経皮的鋼線刺入固定術	55

部位・行為	件数
人工骨頭挿入術	48
腱鞘切開術	41
椎弓形成手術、椎弓切除術	24
その他	434
総計	1,232



## 研究業績

### 学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS)	近位脛腓関節不安定症に伴う総腓骨神経絞扼性障害に対して手術を行った1症例	北海道	2019年6月14日	新垣和伸、上原史成
第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS)	反復性膝蓋骨脱臼に対し吸収性アンカーと人工テープを用いて治療した5例6膝	北海道	2019年6月14日	上原史成、新垣和伸
第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会	サーフィンにおける外傷後に椎間板嚢腫を来した1例	神奈川県	2019年11月17日	上原史成

## 年度総括



整形外科部長  
渡慶次 学

2019年度は嶺井第一病院より新垣勝男医師を当院へ迎え脊椎専門外来を再開し、新規入院患者数・手術件数ともに増加しました。手術内訳では脊椎外科・関節外科領域（特に変形性膝関節症に対する骨切り術）が増加し、四肢軟部腫瘍・手外科疾患・骨折は昨年度と変化ありませんでした。2020年度も適切なスポーツ外傷手術（膝前十字靭帯再建術・半月板縫合術）・変形性膝関節症手術（骨切り術・人工膝関節置換術）を行い、脊椎外科・手外科疾患を含めた幅広い領域で満足いただける医療を目指していく予定です。今後も安全で健全な診療を継続していただけるよう努力致します。

## 形成外科

当科は、2011年4月に非常勤として診療を開始し、2014年4月から常勤となって6年目を迎えました。当科の特徴は、県内に少ない形成外科専門施設として、難治性皮膚潰瘍、皮膚軟部組織腫瘍摘出術、巻き爪などの爪のトラブル、眼瞼下垂症やわきがなどの美容的手術のみならず、悪性腫瘍切除後の再建手術や四肢のリンパ浮腫、重度顔面外傷、重症熱傷などオールラウンドに形成外科的疾患に対応できるよう心がけていることです。最近では、近年急増する下肢難治性皮膚潰瘍に対する予防を含めた総合的な治療に力を入れております。今後も、ニーズに応じてますます発展させて形成外科治療で県民に広く貢献して参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

### 施設認定など

日本形成外科学会専門医研修 教育関連施設（施設番号 15-3030-009）

日本乳房オンコプラステックサージャリー学会認定エキスパンダー実地施設（二次再建）（実地施設認定番号第 H10414 号）

日本乳房オンコプラステックサージャリー学会認定インプラント実地施設（一次二期再建・二次再建）（実地施設認定番号第 H10414 号）

日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設（認定番号第 NS-17003 号）

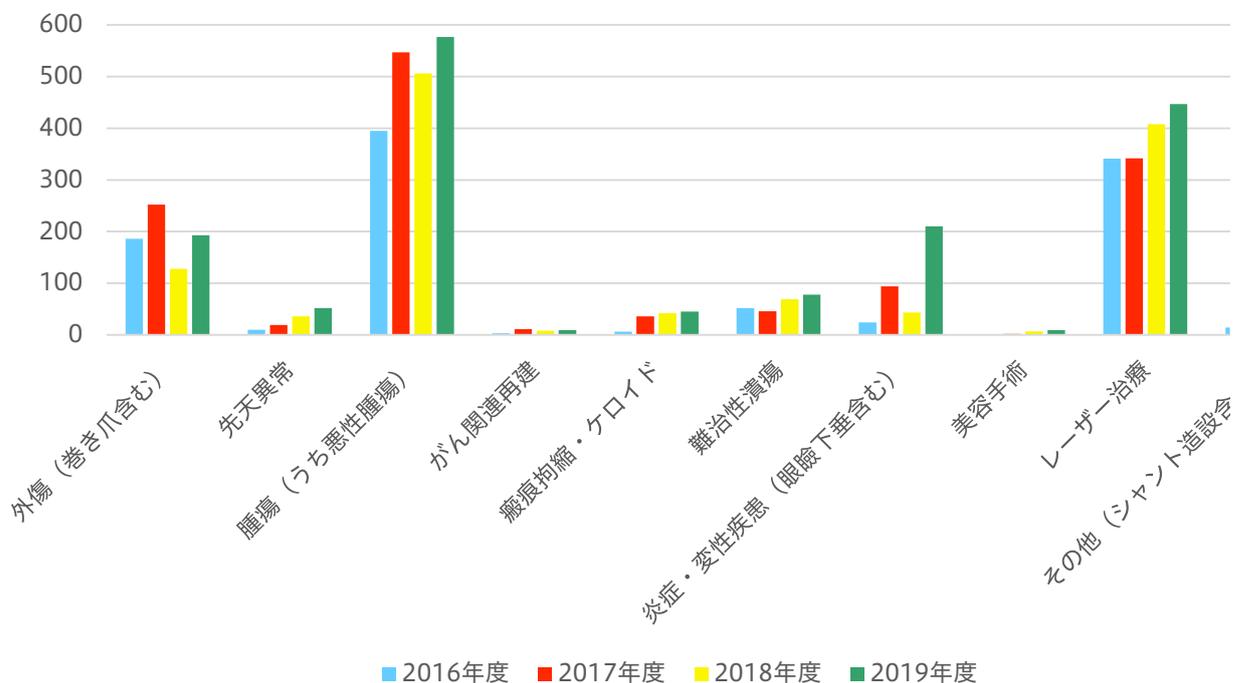
### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
形成外科部長	東盛貴光	創傷外科、フットケア（下肢難治性皮膚潰瘍に対する治療）、美容外科、レーザー治療、広範囲重症熱傷、マイクロサージャリーを用いた頭頸部がん術後の再建・乳がん術後の乳房再建、下肢静脈瘤	日本形成外科学会専門医 日本熱傷学会専門医 日本レーザー医学会専門医 日本レーザー医学会指導医 日本創傷外科学会専門医 日本乳房オンコプラステックサージャリー学会認定エキスパンダー・インプラント治療責任医師 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施医認定 臨床研修指導医 難病指定医 日本下肢救済・足病学会九州・沖縄地方会 評議員 日本褥瘡学会九州・沖縄地方会 世話人 沖縄実践フットケア研究会 副代表世話人 琉球大学医学部医学科 形成外科学 非常勤講師 身体障害者福祉法指定医（肢体不自由）
医師	池邊 翔平	形成外科一般	
	石嶺 伝羽	形成外科一般	危険物取扱者資格
非常勤	川上 沙織	形成外科一般、皮膚悪性腫瘍、下肢潰瘍	

## 検査・治療・手術件数

### 検査・治療実績

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
外傷（巻き爪含む）	186	252	128	193
先天異常	10	19	36	52
腫瘍（うち悪性腫瘍）	395(10)	547(26)	506(18)	577(24)
がん関連再建	3	11	8	9
瘢痕拘縮・ケロイド	6	36	42	45
難治性潰瘍	52	46	69	78
炎症・変性疾患（眼瞼下垂含む）	24	94	43	210
美容手術	0	2	7	9
レーザー治療	341	342	408	447
その他（シャント造設含む）	14	590	553	629
合計	636	1,392	1,294	1,672



## 研究業績

### 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当科に紹介された医療機器関連圧迫創傷の検討	第16回日本褥瘡学会九州・沖縄地方会	北九州	2019年5月11日	◎東盛貴光
手指熱傷後瘢痕拘縮に対するイリザロファミニ創外固定器を用いた治療経験	第45回日本熱傷学会総会・学術集会	北九州	2019年5月24日	◎東盛貴光、櫻井裕之
糖尿病性神経障害を伴う難治性足潰瘍にもかかわらず乗用車を運転し交通事故を契機として大切断に至った一例	第127回沖縄県医師会医学総会	那覇	2019年6月9日	◎石嶺伝羽、東盛貴光
ブタ小腸粘膜下組織由来コラーゲンシート(OASIS細胞マトリックス)による治療が奏功した骨露出を伴う難治性潰瘍2例の治療経験	第127回沖縄県医師会医学総会	那覇	2019年6月9日	◎東盛貴光
Maggot Therapyが奏功した住所下肢虚血による難治性潰瘍の1例	第11回日本下肢救済・足病医学会	神戸	2019年6月29日	◎東盛貴光、石嶺伝羽、池邊翔平
術前診断が困難であった医原性異物残留による難治性瘻孔の2症例	第128回沖縄県医師会医学総会	那覇	2019年12月8日	◎東盛貴光

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
重症下肢虚血に対して経皮的血管形成術を行うも造影剤アレルギーのため積極的な結核再建ができず切断に至った症例	第128回沖縄県医師会医学 会総会	那覇	2019年12月8日	◎池邊翔平、東盛貴光

### 論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
Maggot Therapy が奏功した重症下肢虚血による難治性潰瘍の1例	沖縄医学会雑誌	57巻(4).p51-54,2019	東盛貴光

### 次年度目標

- ・ 手術件数増
- ・ 学会発表（1人あたり2回 / 年以上）
- ・ 論文執筆（診療科で1編 / 年以上）

### 年度総括



形成外科  
東盛 貴光

常勤となり大きな問題なく6年目を終えました。今年は昨年よりさらに入院患者数、外来患者数、そして手術件数増となりました。特に、2019年5月29日から創傷ケアセンターを立ちあげ、足の包括的な診療を開始し、患者数も増加傾向にあります。当科としての学会発表を7回行い、研究論文を1編執筆しました。また、初期研修医は院内から2名が研修されました。後期研修医は形成外科の基礎的な手術を多く執刀経験し、次年度はさらに高度な手術研修に入ります。さらに1名の後期研修医はこの春から当科の連携施設である琉球大学附属病院で形成外科後期研修医（専攻医）として研修を開始します。以前当院で初期研修を終え、東京の大学病院で研修した県出身の後期研修医が来年度戻ってくる予定となっており、貴重な形成外科専門医となって県民に貢献する日がすぐ近くまで来ています。来年度もますます手術実績、研究業績を上げていきたいと思っておりますので、今後とも御指導の程よろしくお願いたします。

## 脳神経外科

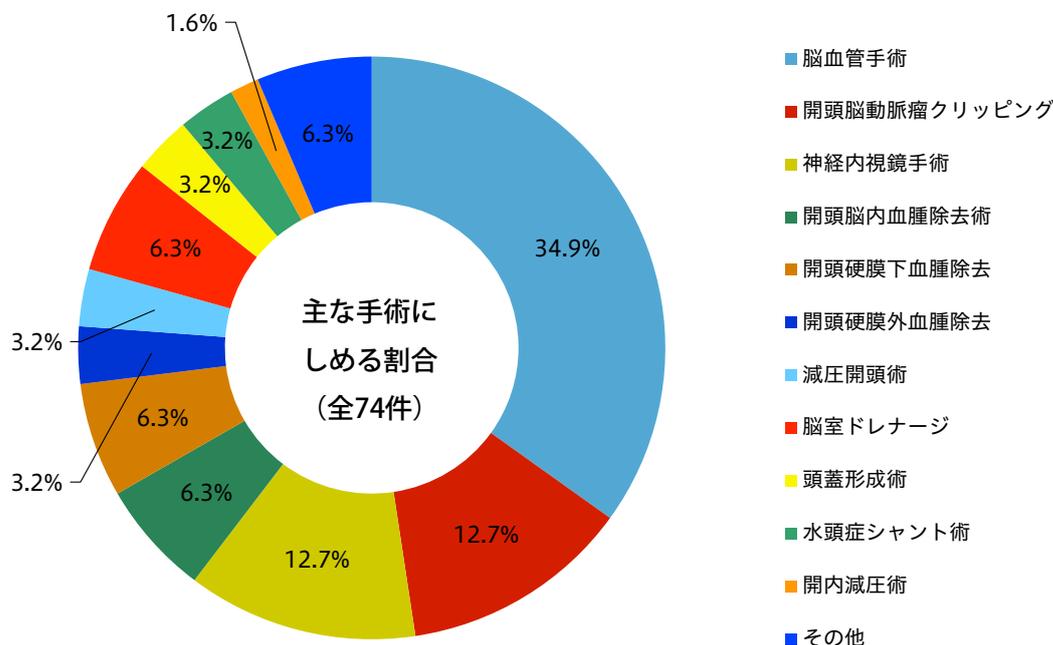
主に脳卒中、外傷を中心に診療しております。発症早期の脳梗塞に対してはt-PA、血管内血栓除去術を行い患者さんの日常生活が保てるように努めております。脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血に対しては低侵襲な血管内治療をfirst choiceとしております。また、脳内出血に対しても神経内視鏡手術を導入して侵襲の少ない手術が可能となりました。今後も安全、安心の医療を提供できるようにスタッフと協力していく所存です。

### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
脳神経外科部長	末吉健次	脳外科一般	日本脳神経外科学会専門医
脳神経外科副部長 3階病棟医長	上笹航	脳血管障害、血管内治療	日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医

### 検査・治療・手術件数

名称	件数
脳血管手術 ・脳動脈瘤コイル塞栓術 9 ・頸動脈ステント術 9 ・血栓回収術 4	22
開頭脳動脈瘤クリッピング	8
神経内視鏡手術 ・脳内血腫除去術 7 ・第3脳室底開放術 1	8
開頭脳内血腫除去術	4
開頭硬膜下血腫除去	4
開頭硬膜外血腫除去	2
減圧開頭術	2
脳室ドレナージ	4
頭蓋形成術	2
水頭症シャント術	2
開内減圧術	1
その他	4
総数	74



## 年度総括



脳神経外科部長  
末吉 健次

今年度は脳動脈瘤治療に対する開頭クリッピングの割合が昨年度に比べて増加しております。これは患者さんの状態により血管内治療、開頭クリッピングを選択してより安全な手術を行っている結果です。また、脳出血に対しても神経内視鏡手術、開頭血腫除去術をそれぞれの症例に応じて施行しております。

早期脳梗塞に対してのt-PA、カテーテル血栓回収術等の治療もERスタッフ、放射線科と協力してより迅速にできるようになりました。今後も地域医療に貢献できるように努めていく所存です。

## 眼 科

当科の特徴は、前眼部（角膜・結膜）疾患に力を入れて診療を行っていることで、外来では一般的な眼科診療はもとより、アトピー性角結膜炎や春季カタルといった重症アレルギー性疾患や、細菌・真菌性角膜炎などの前眼部感染症の症例経験も豊富です。また円錐角膜や角膜移植後に用いる特殊なハードコンタクトレンズ処方も行っています（注：通常のコンタクトレンズは取り扱っておりません）。

その他、糖尿病性網膜症などの網膜疾患や、緑内障に対する治療も行っています。緑内障や網膜疾患に関しては、必要に応じて琉大附属病院の専門外来と連携しており、患者さんにとって最適な医療を提供できるよう工夫しています。

手術は、白内障手術や翼状片手術をはじめ、年間約 30 件の角膜移植手術を行っており、表層角膜移植や角膜内皮移植といった角膜部分移植（パーツ移植）は、県内では当科のみが行っています。当科での手術は白内障や翼状片手術も含め、基本的に入院手術となりますが、それにより病院スタッフによるしっかりとした周術期の管理を行うことが可能です。近隣の眼科クリニックからも多数の患者さんをご紹介いただいております。皆様安心して手術を受けていただけるものと思っています。

### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
眼科部長	親川 格	一般眼科・角膜移植（移植、特に角膜内皮移植）	日本眼科学会専門医 AMO Advanced Femtosecond Laser iEK certification
	山崎梨沙	一般眼科・角膜疾患	日本眼科学会専門医 医学博士

## 研究業績

### 学会発表及び研究発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
硝子体手術後水疱性角膜症に対する Double Bubble Technique を用いた DMEK 治療の検討	九州角膜研究会（第 6 回）：世話人会	大分	2019 年 5 月 30 日	親川 格
硝子体手術後水疱性角膜症に対する Double Bubble Technique を用いた DMEK 治療の検討	九州眼科学会	大分	2019 年 5 月 31 日	親川 格、山崎 梨沙 他
感染性角膜潰瘍・穿孔の保存的治療時にデスメ膜剥離を生じた 1 例	沖縄県眼科集談会	那覇	2019 年 6 月 9 日	親川 格、山崎 梨沙 他
DMEK: Double Bubble Technique 治療	九州角膜フォーラム（第 5 回）	福岡	2019 年 10 月 19 日	親川 格、山崎 梨沙 他
眼内レンズ逢着および硝子体切除術後水疱性角膜症への新しい移植片展開法を用いた DMEK	日本臨床眼科学会	京都	2019 年 10 月 24 日	親川 格、山崎 梨沙 他
DMEK を始めよう（総会長企画講演）	日本眼科手術学会	東京	2020 年 1 月 25 日	親川 格、島崎 潤、 稲富 勉、林 孝彦、 小林 顕
SR_H を用いた DMEK 術後の角膜前後面形状評価【一般講演座長賞】	角膜カンファランス	Web 講演	2020 年 2 月 27 日	親川 格、山崎 梨沙 他

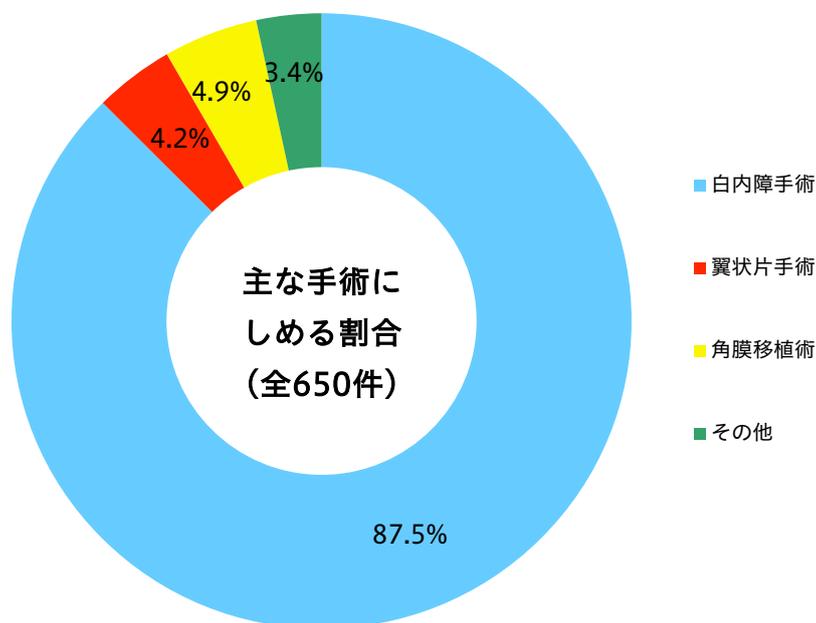
論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者等
Risk Factors for Cystoid Macular Edema After Descemet Membrane Endothelial Keratoplasty.	Cornea	2019 Jul 38(7):820-4.	Inoda S, Hayashi T, Oyakawa I, et al.
Effect of Graft Shift Direction on Graft Detachment and Endothelial Survival After DMEK.	Cornea	2019 Aug 38(8):970-5.	Yuda K, Kato N, Oyakawa I, et al.
A Deep Learning Approach in Rebubbleing After DMEK.	Cornea	2020Mar 46(2):121-6.	Hayashi T, Tabuchi H, Oyakawa I, et al.
A Modified Technique Using Disposable Soft Contact Lens for Penetrating Keratoplasty Combined With Cataract Extraction and Intraocular Lens Implantation.	Cornea	2019 Nov 38(11):e50.	Hayashi T, Matsuzawa A, Oyakawa I, et al.
Reply: comment on “Risk Factors for Cystoid Macular Edema After Descemet Membrane Endothelial Keratoplasty”	Cornea	2019 Dec 38(12):e58-9.	Inoda S, Hayashi T, Oyakawa I, et al.

検査・治療・手術件数

手術件数一覧

名称	件数
白内障手術	569
翼状片手術	27
角膜移植術	32
その他	22
合計	650



年度総括



眼科部長  
親川 格

平成 25 年度より、角膜内皮移植術を導入することができ、より専門性を活かした眼科診療が可能になっています。

近隣の眼科クリニックを中心として沖縄県全域の眼科施設から多くの紹介患者さんの診療・治療をさせて頂いているため、今年度は年間手術総数 650 件、角膜移植 32 件の治療を行う事ができました。また、患者さんの負担軽減のため手術待機期間を 2 ヶ月以内に短縮することができております。外来での待ち時間は依然として長く、待ち時間の短縮は今後の大きな課題と考えています。

現在、常勤医 2 名体制で、さらなる眼科診療のクオリティー向上を目標に掲げ、外来での待ち時間対策にも取り組んで参ります。

これからも患者さん一人一人に最も適した、質の高い医療を提供できるよう、スタッフ一同精進していきたいと考えています。

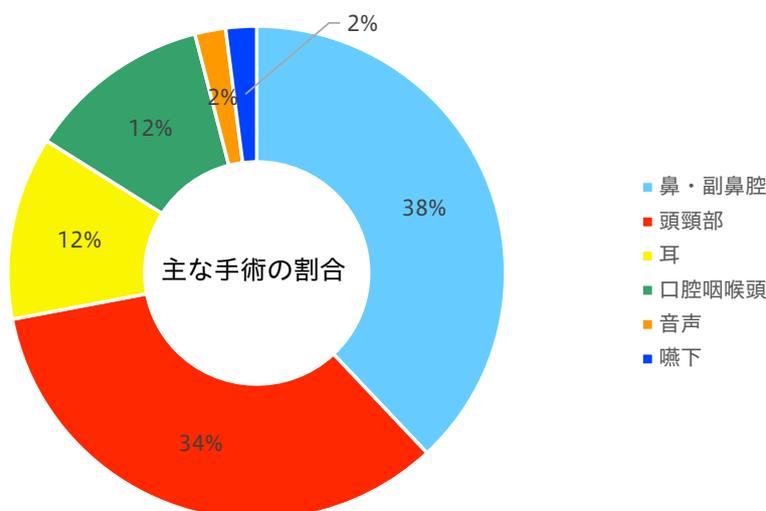
## 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科は文字どおり、耳や鼻、咽頭、咽喉の手術、頭頸部腫瘍などを扱っている診療科ですが、その範囲は広く、のどの先の気管や食道の病気や機能異常も取り扱います。

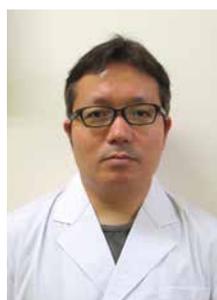
### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
	比嘉麻乃		日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門研修暫定指導医

### 診療実績



### 年度総括



耳鼻咽喉科  
赤澤 幸則

比嘉 麻乃 医師が平成 29 年度より診療にあたらせていただいておりますが、今年度で退職となりました。これまで、地域の各先生方には多くの症例をご紹介頂き誠にありがとうございました。

令和元年度の手術件数は 50 件となり、前年度と同じくらいの件数となっております。現在は鼻・副鼻腔疾患や頭頸部良性腫瘍に対する手術症例が多い傾向にありますが、令和 2 年度より私、赤澤（耳科領域専門）、島袋 拓也 医師（耳鼻咽喉科一般）の 2 人体制となりますので、今後は耳科領域含め各領域ともより多くの症例に対応できるよう努めます。

平成 30 年度より、嚥下チーム（医師・言語聴覚士・看護師・栄養士・歯科衛生士）を立ち上げ、嚥下障害患者の回診などチームでの活動を開始いたしております。他科よりコンサルトされた入院患者を中心に、正確な嚥下機能評価及びそれに基づく適切な対応策や介入方法の提案を心がけております。

当科はこれまでのように大学病院医師と連携し診療を行ってまいります。一般外来のほか専門外来（頭頸部腫瘍、鼻科、音声・嚥下障害など）を設けております。また、地域医療支援病院として、他院ならびに他科の先生方からも患者さんをご紹介いただけるよう病診連携の維持を継続いたします。できるだけわかりやすい説明を心がけ、それぞれの患者さんに合った医療を提供できることをモットーにし、本年度も入院患者数・手術症例数の増加を目指し、引き続き努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

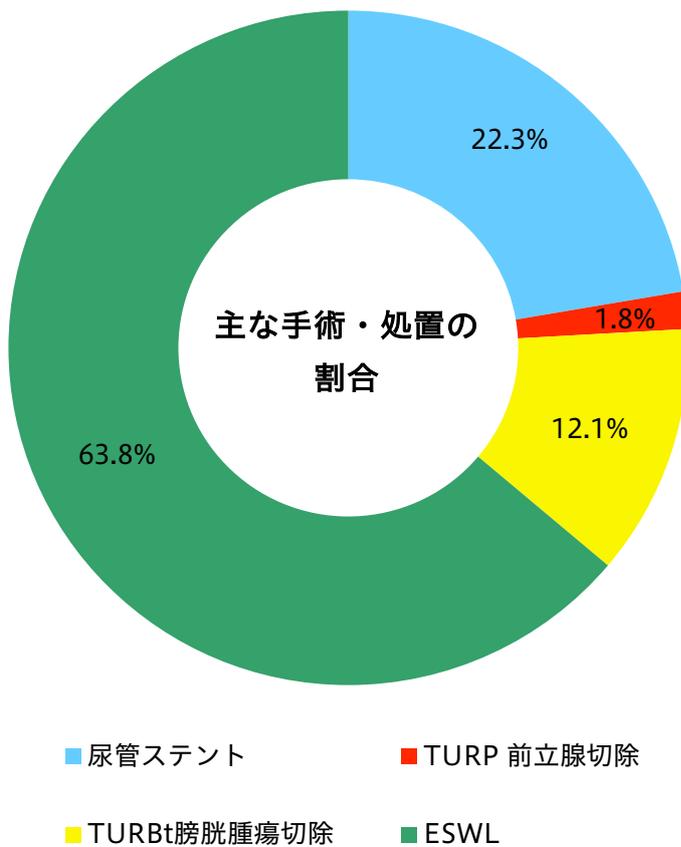
## 泌尿器科

当科は、平成8年度琉球大学泌尿器科からの常勤医師1人体制でスタートしました。異動などで体制に変更がありましたが、2019年度からは2人体制で診療に当たっています。

### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会認定医 日本泌尿器科学会専門医
泌尿器科医長	古謝将之	一般泌尿器	日本泌尿器科学会専門医
	宮里 実 (非常勤)		
	木村 隆 (非常勤)		
	仲西 昌太郎 (非常勤)		
	芦刈 明日香 (非常勤)		
	泉 恵一朗 (非常勤)		

### 検査・治療・手術件数



## 年度総括



泌尿器科部長  
嘉川 春生

当科の特徴としては、診療圏が広いことがあげられます。北中城村、宜野湾市、中城村、西原町、与那原町、南城市、浦添市と那覇市の辺縁部をカバーし、人口は約 20 万人です。この広い地域で泌尿器科は、琉球大学附属病院と与那原中央病院のみです。病診連携の浸透でクリニックや施設からの紹介の増加とともに、患者さんが年々増加しています。主な疾患ですが、前立腺癌は PSA 検査が普及し経直腸針生検は、約 50 件施行し毎年 30 から 40 人の前立腺癌の患者さんが見つかっています。前立腺全摘術は、琉球大学附属病院や中部徳洲会病院に紹介しています。放射線治療は、琉球大学附属病院、南部徳洲会病院、南部医療センターに紹介しています。抗男性ホルモン療法を継続している患者さんは約 100 人です。

当院で施行している手術は、経尿道的前立腺切除術、経尿道的膀胱腫瘍切除術、尿管ステント留置術等です。尿路結石破碎治療として体外衝撃波腎尿管結石破碎術は 30 から 40 件新規で施行しています。

次年度は常勤医 2 人体制で効率の良い診療、琉球大学泌尿器科との連携の継続、外来の待ち時間対策、外来検査の拡充、膀胱ファイバー 2 台目導入を目標に診療を行って参ります。

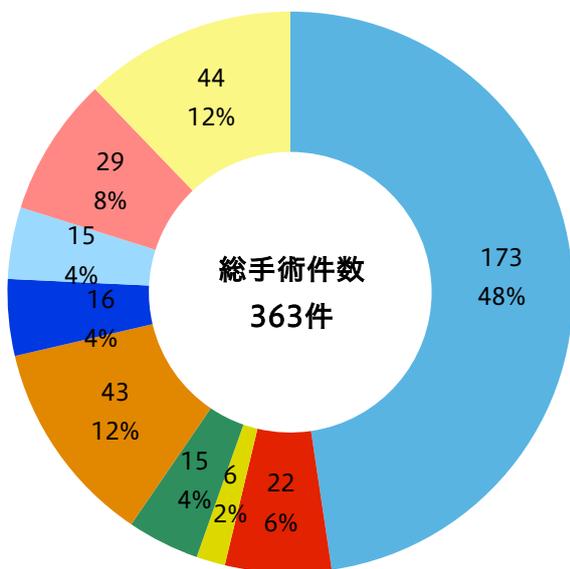
## 産婦人科

常勤医師 6 名、助産師 23 名、看護師 12 名、看護助手 4 名、クラーク 2 名の体制でした。産科領域では 35 週以降の分娩、無痛分娩、婦人科領域では良性、悪性腫瘍の開腹、経膈、腹腔鏡手術 / 化学療法や緩和医療、不妊内分泌ホルモン療法、更年期の薬物療法等を行い、放射線及び体外受精以外の治療を幅広く行なっています。

### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
産婦人科センター長 婦人科部長	武田 理	産婦人科全般、婦人科腫瘍、腹腔鏡下手術	日本産婦人科学会専門医 / 指導医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 / 指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医
産科部長	大西 勉	産婦人科全般	日本産婦人科学会専門医 / 指導医 母体保護法指定医
産婦人科副部長	渡邊 豊治		日本産婦人科学会専門医 / 指導医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 / 指導医 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
産婦人科医長 東館 4・5 階病棟医長	堀本 直幹	一般産婦人科	
	上原 博香	一般産婦人科	日本産婦人科学会専門医
	宮崎優樹	一般産婦人科	日本産婦人科専攻医

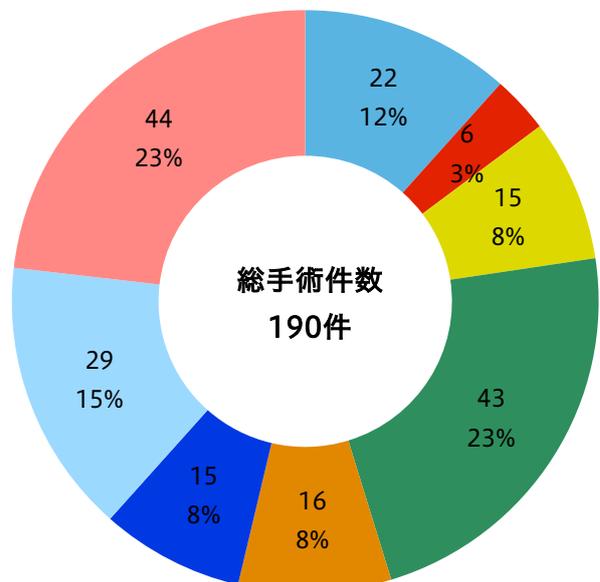
### 産婦人科統計



- 帝王切開
- 開腹子宮手術
- 開腹付属器手術
- 子宮付属器悪性腫瘍
- 腹腔鏡下手術
- 子宮鏡
- 経膈子宮手術
- 腰麻下経膈
- 静麻麻酔下手術

■ 総分娩件：723 件

### 婦人科部門



- 開腹子宮手術
- 開腹付属器手術
- 子宮付属器悪性腫瘍
- 腹腔鏡下手術
- 子宮鏡
- 経膈子宮手術
- 腰麻下経膈
- 静麻麻酔下手術

## 研究業績

### 学会発表及び研究発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 71 回日本産婦人科学会	子宮内膜症性嚢胞から発生した卵巣明細胞癌の 1 例	愛知県	2019 年 4 月 11 日～14 日	武田理、宮崎優樹、上原博香、喜久本藍、大西勉
第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	子宮体癌・卵巣癌の重複癌の 1 例	新潟県	2019 年 7 月 4 日～6 日	武田理、宮崎優樹、上原博香、喜久本藍、大西勉、堀本直幹、青山肇
第 49 回沖縄産科婦人科学会 学術集会	悪性腫瘍との鑑別に苦慮した富細胞性平滑筋腫の 1 例	沖縄県	2019 年 9 月 29 日	武田理、上原博香、堀本直幹、渡邊豊治、大西勉、青山肇
第 41 回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会	子宮内腔に発生した嚢胞性腺筋症の 1 例	山口県	2020 年 1 月 18 日～19 日	武田理、比嘉博香、渡邊豊治、堀本直幹、大西勉、青山肇

### 論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者等
虫垂炎合併妊娠の一例	沖縄医学会雑誌 (0911-5897)	2019 年 7 月 57 巻 4 号 Page45-47	宮崎優樹、武田理、上原博香、喜久本藍、大西勉、青山肇
子宮腺筋症から発生したと考えられた子宮内膜癌の 1 例	日本エンドメトリオーシス学会会誌	2019 年 7 月 40 巻 Page136-138	武田理、上原博香、宮崎優樹、堀本直幹、大西勉、青山肇
悪性腫瘍との鑑別に苦慮した富細胞性平滑筋腫の 1 例	沖縄産科婦人科学会雑誌	2020 年 3 月 第 41 巻 p 81-85	武田理、上原博香、堀本直幹、渡邊豊治、大西勉、青山肇
タモキシフェン内服中に発症した子宮体癌の 1 例	沖縄産科婦人科学会雑誌	2020 年 3 月 第 42 巻 p 87-91	上原博香、武田理、堀本直幹、大西勉、青山肇

### 年度総括



産婦人科  
センター長 兼  
婦人科部長  
武田 理

分娩件数は前年度から 140 件あまり増加、帝王切開数が増加し全体の手術件数の増加に繋がっています。

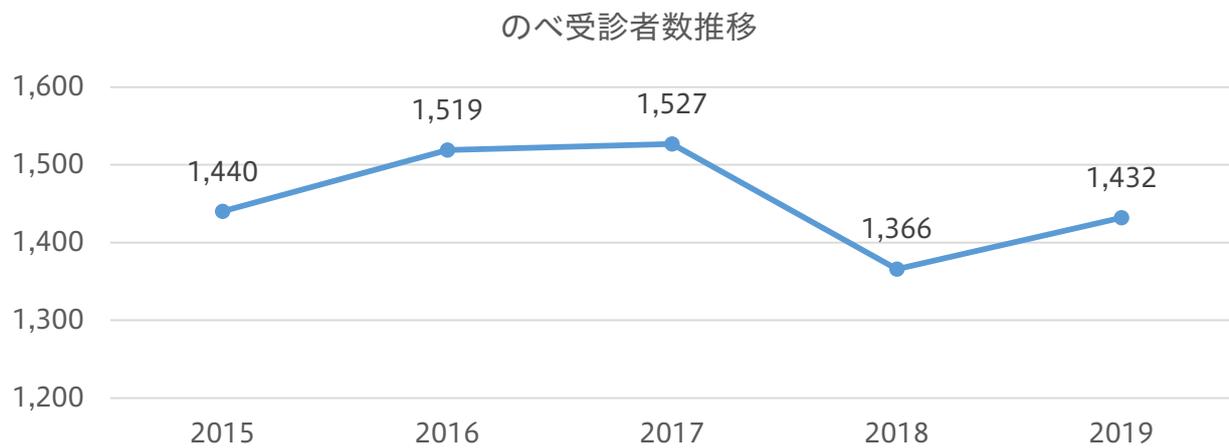
増加の予想されるハイリスク妊婦や分娩中の急変等への対応が出来るよう十分な体制作りを行っています。

婦人科手術件数は例年通りでしたが、内視鏡手術は開腹手術件数を超えており、今後もスキル向上と症例数の獲得に向けて努力する所存です。

## 皮膚科

皮膚科は、毎週火曜日と木曜日の午後の外来診療を行っています。  
診療は琉球大学医学部附属病院の皮膚科医師が非常勤で対応しております。

### 診療実績



## 放射線科

放射線科の診療はCT、MRI、RI(ラジオアイソトープ)、マンモグラフィー、IVR(血管内治療)の適用判断、検査内容の指示、診断、読影が主な業務内容になっております。画像のみを扱う画像診断と画像支援で治療を行うIVRに大きく分かれます。IVRには肝動脈化学塞栓療法などの待機的治療から、出血に対する血管塞栓術など緊急を要する治療も他科と連携しながら行っています。さらに外科、内科とのカンファレンスを行います。夜間、休日の遠隔診断も受け付けています。

### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
放射線科部長	高良 誠	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医 検診マンモグラフィー読影認定医
	東江 ゆりか	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医 日本核医学会核医学専門医 日本核医学会 PET 核医学認定医 マンモグラフィー読影認定医

### 各種検査・治療件数と推移一覧

医療技術部 放射線科のページに業務実績を掲載しております。

### 年度総括



放射線科部長  
高良 誠

2019年度はMRI二台、CT二台が効率よく稼働し、検査件数が増加しました。それに伴って読影件数も増加してきています。またマンモグラフィーも増加傾向にあります。

IVRは減少しています。TACEの件数が減少したためです。ただその他の手技に関しては例年どおりで、緊急性の高い止血術も例年通り行っています。

令和1年度は常勤二名体制で、ダブルチェック体制、カンファレンス、研修医教育、至急読影など、放射線科業務に対応しました。読影加算2の規定もクリアーしています。今後とも放射線技師、検査技師と放射線科医が連携しながらより良い診断に取り組んでいきます。

近年、RIの検査が減少していますが、次年度に新しい装置に交換予定で、画質の向上が期待されます。他に代用のきかない検査なのでこれからも放射線科として適応のある症例は積極的にお勧めしていくようにします。

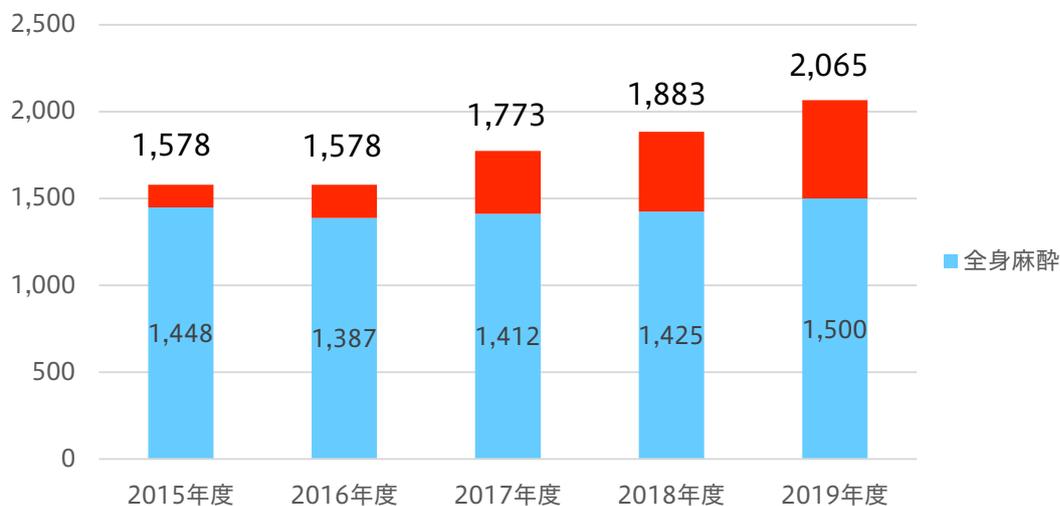
夜間、休日の検査で判断に迷う症例では遠隔読影の依頼をお受けしています。

## 麻酔科

### 医師プロフィール

麻酔科			
副院長 手術室部長	久場 良也	集中治療・麻酔	日本麻酔科学会指導医 日本集中治療医学会専門医 日本ペインクリニック学会認定医
麻酔科部長	島袋 泰	一般麻酔	日本麻酔科学会指導医
麻酔科副部長	釜野 武志	一般麻酔	日本麻酔科学会指導医
	嘉手苺 由梨	一般麻酔	日本麻酔科学会認定医
	太田 沙也加	一般麻酔	
	平良 志子	一般麻酔	

### 麻酔件数推移



### 研究業績

#### 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
スティフパーソン症候群患者の麻酔経験	第 57 回九州麻酔学会	福岡県	2019 年 9 月 14 日	太田 沙也加、島袋 泰、平良 志子、嘉手苺 由梨、釜野 武志、久場 良也
末梢神経ブロック併用全身麻酔で管理した HTLV-1 関連脊髄症患者の大腿骨骨折手術症例	第 39 回日本臨床麻酔学会	群馬県	2019 年 11 月 9 日	平良 志子、釜野 武志、島袋 泰、久場 良也
診断・治療開始が遅れたが PMX-DHP と CHDF の併用が有効であった縫合不全による敗血症性ショックの 1 例	第 24 回エンドトキシン血症救命治療研究会	福岡県	2020 年 1 月 31 日	久場 良也、島袋 泰、釜野 武志、嘉手苺 由梨、太田 沙也加、平良 志子
気管内挿管患者におけるマウスジェルを用いた口腔内ケアの検証	第 47 回日本集中治療医学会学術集会	福岡県	2020 年 3 月 8 日	正野 孝則、阿部 誠、仲里 寛、洲鎌 正子、久場 良也、浦崎 洋子

## 論文著書

論文名	雑誌名	号	
エンドトキシン値の再上昇を認めたが2回のPMX-DHPとCHDFにより救命できた敗血症性ショックの2症例	エンドトキシン血症救命治療研究会誌	第23巻1号 2019:118-122	久場 良也、島袋 泰、釜野 武志、嘉手苺 由梨、太田 沙也加、平良 志子

## 年度総括



麻酔科副部長  
釜野 武志

2019年4月に高橋 友里恵 医師が他院へ異動となりましたが、平良 志子 医師が加わり、副院長の久場 良也、麻酔科部長の島袋 泰、釜野、嘉手苺 由梨 医師、太田 沙也加 医師と合わせ、昨年同様6人の常勤医師で麻酔科運営を行っています。手術室3床増床に伴う手術件数増加に対応できる人数にはもう少し必要かと考えております。

当科の主な業務は手術麻酔で、一部集中治療室管理も行っております。外科、整形外科、産婦人科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科など各外科系手術および内科経口内視鏡的手術、さらに放射線科の血管塞栓術などの麻酔を幅広く行っております。変形性膝関節症に対する骨切り術が当院で積極的に行われており、麻酔法も検討し術後痛に対応できるようになってきております。100歳代の骨折手術の麻酔から乳児の腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術、また帝王切開妊婦の麻酔管理まで幅広く行っていることは例年同様です。患者負担が少ないといわれるアカラシアに対するPOEMを含めた経口内視鏡的手術、関節鏡下手術、脳神経外科領域の神経内視鏡下手術は右肩上がりが増えており、多岐にわたる麻酔管理は当院の特徴といえるでしょう。集中治療室管理として、術後の呼吸管理、鎮痛管理や血液浄化の管理を中心に行っておりますが、集中治療室の対応は後手に回っている現状は変わっていません。

2019年度の麻酔管理件数は2,065件(前年9.4%増)、全身麻酔管理件数1,500件(同5.3%増)でした。研究業績に挙げたとおり、久場副院長を筆頭に全員が可能な限り各学会に参加・発表を行い、レベルの高い周術期管理を実践できるよう日々研鑽しております。また新専門医習得条件である学会参加を可能な限り全員で行うために、手術制限で各科の先生方にはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

今後とも安全で効率的な手術室管理へのご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。



副院長  
久場 良也



麻酔科部長  
島袋 泰



嘉手苺 由梨



太田 沙也加



平良 志子

## 血液浄化部

月水金は夜間透析、火木土は午後透析施行し、午前とあわせて毎日2クール体制で透析業務を施行しています。また、他院から形成外科での足の治療や外科での手術目的等で一時的に入院透析受けられる患者が年間約50人おり、維持透析以外にもICU等での血漿交換療法、血液吸着療法 CHDF、腹水濾過濃縮療法、PMX等の血液浄化に対応しています。

VA委員会では臨床工学技士が中心となり、シャントトラブルを未然に防ぐために定期的なシャントPTA（経皮的血管拡張術）の依頼やシャント手術が依頼できるシステムを構築しています。

### 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川 春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会認定医 日本泌尿器科学会専門医

### 業務実績

#### 透析患者数推移



## 年度総括



血液浄化部長  
嘉川春生

2019年度の血液浄化部は常勤医師1人、看護師18人、看護補助者2人、臨床工学技師8人、医事課1人で診療に当たりました。透析コンソールは57台全自動プライミング装置です。透析のデータ管理はFUTURE NETで院内電子カルテとリンクしており日常業務の効率化が進んでいます。

透析の患者数は2011年の133人から2015年には108人まで減少しましたが、徐々に増加し2019年度は135人でした。

### 【次年度目標】

1. 安全な透析医療、血液浄化療法の推進。
2. フットケア、バスキュラーアクセス（VA）管理の強化。
3. 患者、家族の透析療法への理解の浸透。
4. 人材育成の強化。（フットケア、VA、腹膜透析等）
5. 腎臓リハビリテーションの推進。

次年度も患者さんにとって安心安全な透析医療を提供できるよう努めて参ります。

## 口腔ケア科

### 概要・実績

口腔ケア科は、2017年（平成29年）4月から非常勤歯科医師3名・歯科衛生士2名体制で月曜日・火曜日の午後、木曜日の午前・午後に周術期患者・化学療法患者を対象に外来診療を開始しました。診療日以外の曜日は歯科衛生士が入院患者を対象に口腔ケアを行っています。

### 職員数

歯科医師	3名	歯科衛生士	2名
メディカルクラーク	1名	看護クラーク	1名

### 医師

役職	氏名	専門分野	学会認定
非常勤（火曜日 午後）	加藤大貴	口腔外科一般	日本口腔外科学会専門医 日本障害者歯科学界認定医・指導医 インфекションコントロールドクター
非常勤（木曜日）	野澤彩江	訪問歯科	

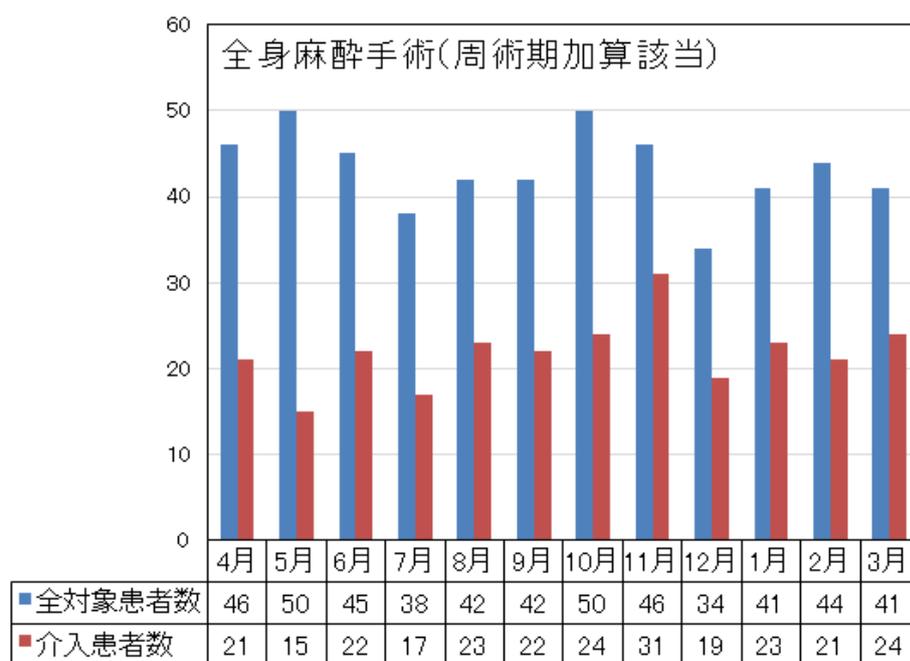
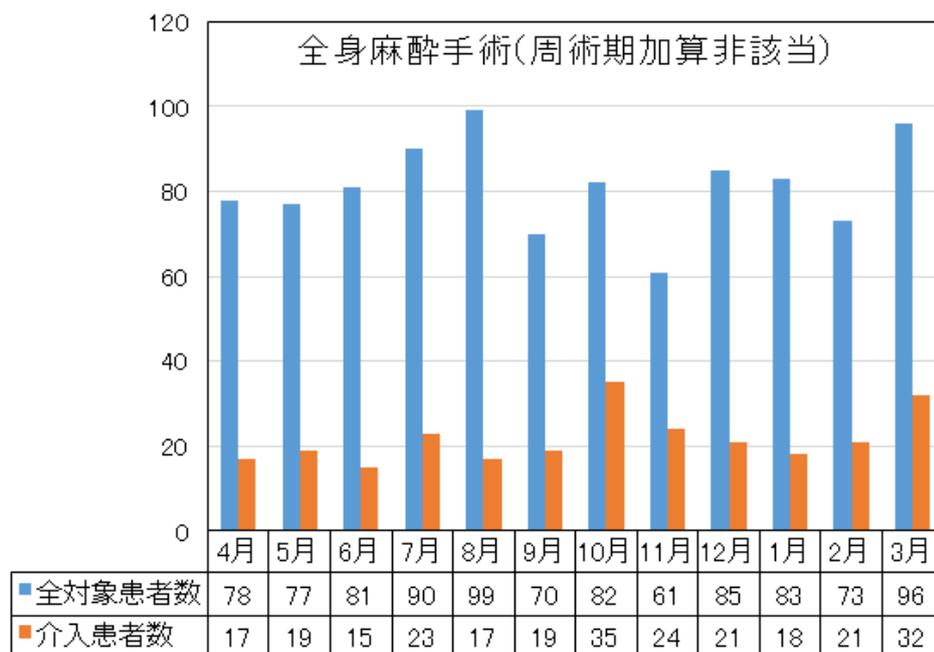
### 歯科衛生士

氏名	専門分野	認定
浦崎 洋子	歯科衛生士	口腔ケア4級 NPO法人 口から食べる幸せを守る会 食事サポーター
喜舎場鈴子	歯科衛生士	

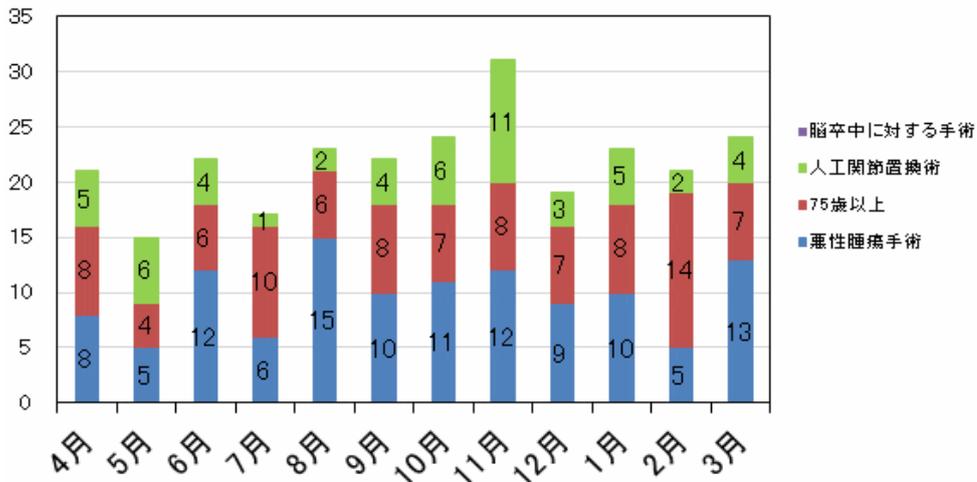
### 診療実績

#### 診療科別患者数

年度	延患者数	延患者数（一日平均）	逆紹介件数
2017年度	96	12	5
2018年度	156	20	8
2019年度	126	16	7



周術期加算該当症例(詳細)



年度総括

外来師長 安谷屋 佳子

口腔ケア科は2017年4月に周術期患者や化学療法患者を対象に口腔内管理を目的に開設されました。開設2年目を迎え、一日平均16人の患者に対応しています。

今年度は、日当点は目標の506点を達成しました。徐々に他科と連携もスムーズに行われるようになり、周術期患者に関しては挿管時の歯の欠損、動揺歯の欠落等のトラブル減少、化学療法中の口腔内トラブルを抱えた患者の症状改善がみられ、よい結果へつなげることができています。

また、対象患者のみならず誤嚥性肺炎予防、義歯の調整、造血幹細胞移植前の齲歯のチェックなど患者のQOL向上を目指し、他科からの依頼に関しても可能な限り対応していけるように努めています。

来年度も医科と連携しながら患者が安心して、治療に専念できる医療を目指し、チームで取り組んでいきたいと思ひます

## 救急総合診療部

「ちゃんと助ける救急室」「地域に開かれた救急室」「専門診療科との高度な連携を取る救急室」「充実した研修のできる救急室」を目標に業務の改善を図っています。平成31年度から令和元年度は、救急室増築後の本格的運用開始や完成やドクターカーの2台体制による院外活動の充実で、救急搬送数が長期目標としていた3,000件を達成しました。

### 研究業績

#### 学会発表

今年度も院内救命士を含め、研究発表を積極的に勤めてきましたが、年度後半の新型コロナ肺炎による学会中止や、年下に渡り東京オリンピック・パラリンピック関連の対テロ・災害訓練にかなり人員を派遣したため、課題の残る1年となりました。

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第22回日本臨床救急医学会総会	救急車型ドクターカー導入の初期成績	和歌山県	2019年5月30日	太田沙也加、三戸正人、銘苅正
第22回日本臨床救急医学会総会	施設間搬送を安全に行うために病院救命士は重要である	和歌山県	2019年5月31日	森本一晟 (ER-Aide)、三戸正人
第47回日本救急医学会総会	消防・救助・救急隊と連携したドクターカー訓練の経験	東京都	2019年10月2日	三戸正人、銘苅正、金城太貴

※医師以外の実績については各部署のページをご覧ください。

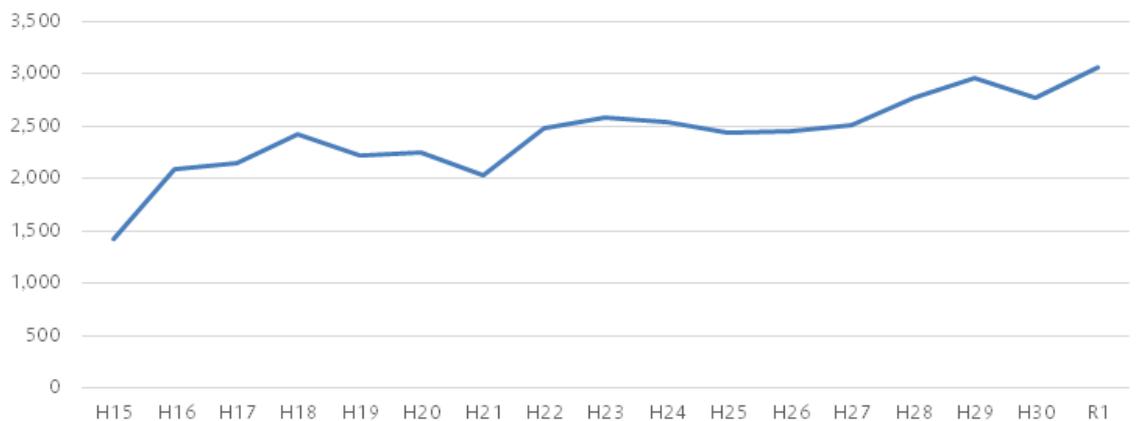
### 医師プロフィール

今年度は医師の体制に変化はありません。医師の増員に向けて今後も努力します。

役職	氏名	専門分野	学会認定
救急総合診療部長	銘苅 正	一般外科、外傷外科	日本医師会認定産業医
救急総合診療部副部長 循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急、地域医療、 スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本 DMAT インストラクター 統括 DMAT 登録者 JMECC インストラクター ICLS インストラクター MCLS インストラクター 日本心臓核医学会評議員 心臓リハビリテーション指導士

## 実績

救急搬送受入れ患者の推移 受け入れ患者



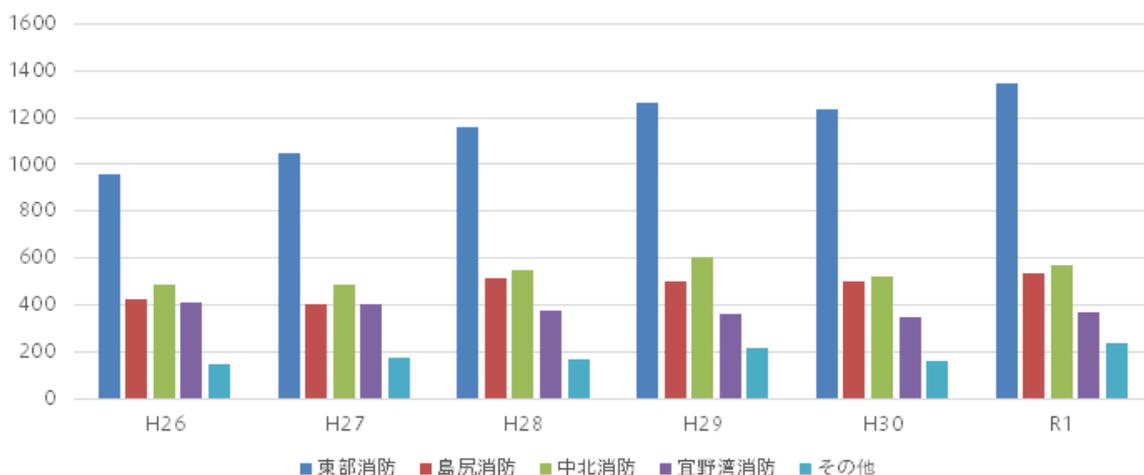
救急搬送患者数は目標としていた3,000件を超えることができました。年間3,000件の救急搬送数は、現在の救急室の専属医師の数などから、当院の最大受け入れ数としてこれまで掲載してきました。看護師の業務改善や病院救命士の採用などで、受け入れ体制を維持していますが、担当医師1名の定年が近いこともあり、これ以上の救急搬送を目指すためには、早急な医師補充が必要となります。

### 消防別搬送数

消防別の搬送数は以下のグラフのとおりですが、各消防とも増加しています。他病院のドクターカー出動の増加で懸念された患者搬送数の減少はありませんでした。

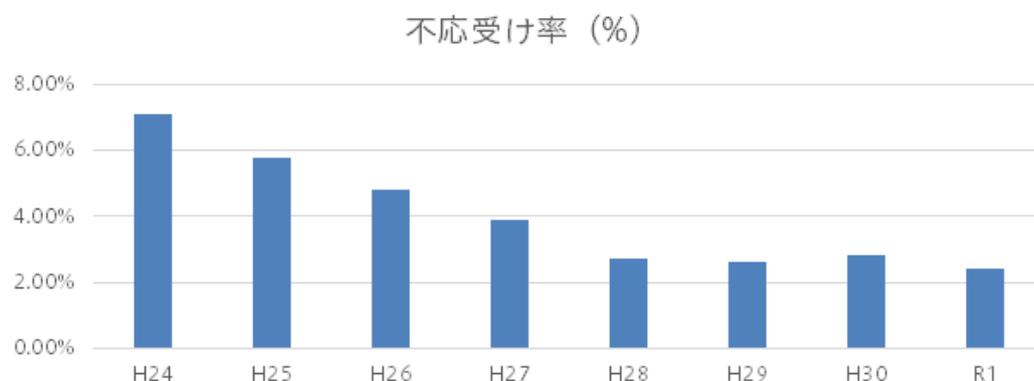
当院ドクターカーでの「お迎え」件数が大幅に増えており、地域医療に定着しつつあると考察します。(グラフではその他に含まれています)

消防別搬送数



## 不応受率

不応受率は（救急車の断り件数）低下傾向にあります。受け入れ規則はほとんど守られており、当直を担当してくれている他科の先生方の協力の賜物です。



## その他の実績

2020年オリンピック・パラリンピックに向けて、多くのDMAT隊その他の訓練・教育があり、積極的に参加しました。三戸医師のインストラクターとしての他県を含む出張件数も増加しています。

近隣消防との協定を結び、消防指令からの直接的なドクターカー出動要請が増加しています。それにつれて出動後に要請中止の連絡が入ることが目立ってきましたが、救急医療の性格上、止む終えないことと考えており、今後も積極的に対応していきます。

救命救急士資格を持つ職員を2名確保し、救急室での業務だけでなく、転院搬送にも大きな役割を担ってもらっています。令和2年度には1名増員が決定しています。

病院救命士制度の法的整備の準備が進んでおり、当院でも病院救命士の教育病院としての要件を満たすよう準備を進めています。

近隣クリニックからの搬送依頼も増加しています。クリニックからの搬送患者は入院率が高く、地域への貢献度も高いと自負しています。しかし昨年度と同様に特定のクリニックからの依頼に偏る傾向があり、もっとひろく地域の先生方に認知していただけるよう努力が必要と感じています。

地域担当の西原副院長にも協力をお願いし、救急車型ドクターカーによる「お迎え」業務のご理解が広がっていますので、今後とも充実させたいと考えています。

救急室の大幅な拡張・改装工事が行われました。広さはこれまでの3倍近くになり、県内有数の施設となりました。新型コロナ肺炎の対策において、この広いスペースが、救急室でのしっかりとした感染症対策の力となりました。改めてお礼を申し上げます。新型コロナ肺炎対策で得たノウハウを今後の感染症救急の充実に活かしたいと考えています。

## 来年度の目標

今年度は、予定していた豚を使用したトレーニングが豚熱のため中止になるなど、予定していたシュミレーション教育が十分できませんでした。

来年度は今年度同様の症例数を確保しつつ、シュミレーション教育の充実や、新型コロナ肺炎で経験した、感染症予防に力を入れていきたいと思っています。

## 年度総括



救急総合診療部長  
銘苅 正

### 1：診療体制

救急車の受けれが3,000件を超えました。専属医師の確保が今後の受け入れ患者数増加の必須要項になります。

### 2：地域支援

地域消防指令から直接ドクターカーの出動要請が順調に増加しています。救急車型ドクターカーの「お迎え」業務も増加していますが、利用してくださる地域の先生方に偏りがあるのが課題です。

### 3：専門診療科との連携

専門診療科との連携を今後も深めていく方針です。

### 4：研修・教育

今年度も救急室で研修した研修医には、救急や循環器の学会にいくつかの演題を出すことができました。これは副部長の三戸先生の頑張りが大きいところです。

救急や総合診療の専門家に講演をお願いしました。令和2年度も積極的に魅力的な講師をお呼びして、講演会を計画したいと思います。

当院で行っている救急隊との症例検討会は、院外からの関心も高く評価されています。研修医の教育や学会発表の訓練の場としても有効と感じています。

新型コロナ肺炎の影響で現在中止していますが、なるべく早く再開したいと考えています。

## 医局総括



循環器内科副部長

兼 医局長

秋元 芳典

日々の診療に関しましてはプライマリーケアから専門的な医療までエビデンスに基づき、患者さんに寄り添った医療に取り組んでまいりました。また、病院の理念である、心と心を結ぶ信頼される医療を目指し、日頃の診療を行っております。

医局行事としては、月2回の医局会、週1回の全体での勉強会等行い、風通しのよい医局を実現しております。患者さんのことについて、気軽に相談できコンサルトしながら、もしくは併診にて診療を行っております。また、研修医に対する教育も医局全体であたり、偏らない教育を行っております。

歓送迎会や研修終了パーティー、忘年会などを行い、まとまりのある医局であることを自認しておりますが、次年度は更なる努力を重ね刺激しあえる医局にしていきたいと思っております。



# 看護部

## 部門紹介

職員数 (2019年4月1日現在)

総数	506名	保育士	1名
保健師	6名	栄養士	1名
助産師	30名	クラーク	26名
正看護師	386名	歯科衛生士	2名
准看護師	14名		
看護補助者	40名		

## 認定看護師・認定看護管理者

名称	氏名
集中ケア	内間幸人
感染管理	大城美那
感染管理	石川由希
感染管理	城間克也
慢性心不全	島袋すが子
がん化学療法	本田由佳理
乳がん看護	砂川克子
救急看護・特定行為研修修了	兼本愛美
緩和ケア	高宮里沙
手術看護	富田賢一
診療看護師	諸喜田睦子
医療安全管理者	安村公均
	外間真紀子
	安谷屋佳子
	屋宜鮎美

名称	氏名
認定看護管理者	仲地ますみ
認定看護管理者セカンドレベル履修	外間真紀子
	比嘉憲貴
認定看護管理者ファーストレベル履修	安谷屋佳子
	東恩納小百合
	宮城つかさ
	崎山久美
	屋宜鮎美
	米須智子
	島袋すが子

## 看護部理念

わたくしたちは、患者さんの信頼に応え、感性豊かな心ふれあう看護を提供いたします。

## 看護部運営方針

1. 患者さんに満足していただける環境ときめ細やかな看護サービスを提供する
2. 専門職として看護の基本を大切にされた質の高い看護を実践する
3. 温かい心のふれあう看護ができる豊かな感性を培う
4. 地域住民のニーズに応える医療・保健・福祉を総合的にとらえ、地域医療に貢献する
5. 医療チーム内の情報交換を密にし、よいチームワークを図り、業務を円滑にする

## 看護体制

入院基本料 7:1看護

勤務体制 二交替制

看護方式 固定チーム+デイパートナー方式

### 【看護単位】

- 一般病棟 7階病棟（呼吸器内科・循環器内科・糖尿病）  
6階病棟（血液内科：クリーンルーム10床）  
5階病棟（消化器内科・小児科）  
4階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）  
3階病棟（整形外科・脳外科・形成外科・眼科）  
東4・5病棟（産婦人科・外来併設・乳腺外科）  
東2階病棟（混合病棟）※6月よりHCU
- ICU 8床
- HCU 12床（6月～稼働）
- 外来 一般外来  
救急外来  
透析室
- 手術室、中央材料室
- 内視鏡センター
- 予防医学センター

## 症例・研究発表・活動実績

名称	主催	開催地	年月日	担当・参加者
当院口腔ケア科の取り組み	日本口腔ケア学会	福岡	2019年4月26～29日	幸喜奈緒子
当院におけるコンチネンスケアチームの活動報告	日本創傷オストミー失禁管理学会	奈良	2019年5月24～26日	嘉数智子
上部内視鏡検査における咽頭麻酔法の工夫	九州消化器内視鏡技師研究会	福岡	2019年5月26日	大城敦、足立聖子
アドヒアランスが不十分な患者に対する退院支援	日本下肢救済・足病学会	兵庫	2019年6月27～29日	嘉数智子
ステレオガイドマンモトーム生検結果の検討	日本乳がん学会学術総会	東京	2019年7月11～13日	砂川克子（共同演者）
心不全終末期患者の意思表示から見たより良い最期について	日本心臓リハビリテーション学会	大阪	2019年7月13日、14日	宮城梨乃、島袋すが子
小児アトピー性皮膚炎へのスキンケア指導 寛解維持への影響因子の検討	日本小児臨床アレルギー学会	和歌山	2019年7月26～28日	玉那覇久美子、大城祥子、城田琴美
認定看護師・特定看護師実践活動の現状と課題について	日本救急看護学会	千葉	2019年10月4日、5日	兼本愛実
ドクターカー同乗看護師の不安に対する取組について	日本救急看護学会	千葉	2019年10月4日、5日	大宜見宗史、篠原香織
パニックを起こして支援困難な30代女性とどう向き合うか	日本糖尿病医療学会	京都	2019年10月12日、13日	堀江恭子
業務改善報告会	看護部	院内	2019年10月18日	各部署担当者
中断と足病変を繰り返す1型糖尿病のビジネスマン	日本糖尿病学会九州地方会	佐賀	2019年10月25日、26日	比嘉由布香、堀江恭子
台風による停電に伴う支援透析の実際と課題	日本腎不全看護学会	北海道	2019年11月9日、10日	田下茜

名称	主催	開催地	年月日	担当・参加者
中堅研修Ⅰ⑦ 実践報告会	看護部教育委員会	院内	2019年11月29日	中堅看護師13名
クリニカルパス活用に向けての活動報告	日本クリニカルパス学会	熊本	2019年1月17、18日	知念隼軌
患者の希望にそえる看護を目指して独自のハートシートの活用	日本緩和医療学会九州支部学術集会	長崎	2019年12月14日	高宮理沙、上里音彩
2年目症例発表会	看護部	院内	2019年12月20日	2年目看護師
認定看護師活動報告会	CN会 看護部	院内	2019年12月16日	富田賢一、城間克也、兼本愛美、
化学療法患者に提供している口腔ケアの実態と課題	日本造血細胞移植学会	東京	2020年3月5～7日	木村有希、金城隆也

## 研修実績

研修名	主催	開催地	年月日	担当・参加者
新入職者オリエンテーション	病院	院内	2019年4月1日、2日	総務課、看護部
新人看護師基礎看護技術研修	看護部	院内	2019年4月3～19日、23日、26日	奥間有太郎、大城祥子、呉屋友美、比嘉憲貴
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2019年4月22日	奥間有太郎、大城祥子、呉屋友美、比嘉憲貴
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	県内	2019年5月15日、22日、29日	新人看護師24人
看護補助者の活用推進のための管理者研修	沖縄県看護協会	県内	2019年5月17日	洲鎌正子外11名
急性期病院で実現した身体抑制のない看護に取り組んで	沖縄県看護協会	県内	2019年5月23日	新城依里外11名
中堅研修Ⅰ①	看護部教育委員会	院内	2019年5月23日	小橋川広美、比嘉憲貴、仲地ますみ
助手研修①②	看護部教育委員会	院内	2019年5月24日、2019年6月14日	島袋すが子、米須智子、洲鎌正子
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2019年5月27日	奥間有太郎、大城祥子、呉屋友美、比嘉憲貴
中堅研修Ⅱ医療安全①	看護部教育委員会	院内	2019年5月31日	安村公均
ふれあい看護体験	看護部	院内	2019年5月18日	受け入れ12名
中堅研修Ⅱ感染①	看護部教育委員会	院内	2019年6月4日	石川由希、宮城美那、城間克也
小児救急看護～急変予測と対応～	沖縄県看護協会	県内	2019年6月4日	金城こずえ、仲松裕香、金城竜弥、富里理恵
領域研修(DM①)	看護部教育委員会	院内	2019年6月21日	堀江恭子
認定看護師研鑽	日本緩和ケア医療学会	神奈川	2019年6月21日、22日	高宮理沙
看護実践能力を育てる	沖縄県看護協会	県内	2019年6月22日	山城敏裕、本田由佳理、与那覇亜紀子
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2019年6月24日	奥間有太郎、大城祥子、呉屋友美、比嘉憲貴
地域包括ケアシステム推進の取り組み	沖縄県看護協会	県内	2019年6月12日	上原沙織外7名
基礎から学ぶ救急看護	沖縄県看護協会	県内	2019年6月25日	羽鳥恵、山川七七女
中堅研修Ⅰ②	看護部教育委員会	院内	2019年6月27日	小橋川広美、比嘉憲貴、仲地ますみ
新人看護師3か月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2019年6月28日	奥間有太郎、大城祥子、呉屋友美、比嘉憲貴
2019重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修	S-Q研究会	県内	2019年6月30日	大見謝、川崎、大城、呉屋、湊川、伊佐、与那覇、玉木、世嘉良
産科医療補償制度講演会	名桜大学看護実践教育研究センター	県内	2019年6月30日	栄奈々子
効果的なプレゼンテーション技法	沖縄県看護協会	県内	2019年7月1日	足立聖子、名波唯奈外4名
看護職と倫理	沖縄県看護協会	県内	2019年7月3日	呉屋真由美、高宮江利子
がん看護Ⅰ	沖縄県看護協会	県内	2019年7月6日	仲田ひろ子、真境名美鈴

研修名	主催	開催地	年月日	担当・参加者
認定看護管理者教育課程ファーストレベル	沖縄県看護協会	県内	2019年7月4日～2019年8月2日	仲里寛、勝連しのぶ
裁判例から考える看護職と看護記録	沖縄県看護協会	県内	2019年7月9日	仲真菜都美、具志堅理沙
新人リフレッシュ研修	看護部教育委員会	県内	2019年7月10日	主任会、プリセプター
高次機能障害を持つ患者の看護	看護部教育委員会	県内	2019年7月11日	屋宜鮎美、永村麻衣子
中堅研修Ⅱ必要度①	看護部教育委員会	院内	2019年7月12日	宮城つかさ
外来看護	看護部教育委員会	院内	2019年7月12日	仲村なおみ
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	看護部教育委員会	院内	2019年7月18日、19日 2019年8月6日、7日	各5名
領域研修(化学療法)	看護部教育委員会	院内	2019年7月19日	本田由佳理、
リーダーシップ研修Ⅱ	沖縄県看護協会	県内	2019年7月23日	上原直樹、山城由衣、金城裕太
中堅研修Ⅰ③	看護部教育委員会	院内	2019年7月25日	小橋川広美、比嘉憲貴、仲地ますみ
領域研修(緩和ケア①)	看護部教育委員会	院内	2019年7月26日	高宮里沙
周産期における災害対策	沖縄県看護協会	県内	2019年7月27日	崎山久美
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2019年7月29日	奥間有太郎、大城祥子、呉屋友美、比嘉憲貴
領域研修(慢性心不全看護①)	看護部教育委員会	院内	2019年8月2日	島袋すが子
領域研修(救急看護①)	看護部教育委員会	院内	2019年8月8日	兼本愛美
実習指導者講習会	沖縄県	県内	2019年8月19日～2019年10月18日	宮城辰吏、大見謝奈々
2年目研修	看護部教育委員会	院内	2019年8月9日	内間幸人、比嘉憲貴、安谷屋佳子、屋宜鮎美
領域研修(緩和ケア②)	看護部教育委員会	院内	2019年8月16日	高宮里沙
がん看護Ⅱ	沖縄県看護協会	県内	2019年8月20日	村吉拓馬、宮里夏樹
中堅研修Ⅰ④	看護部教育委員会	院内	2019年8月22日	小橋川広美、比嘉憲貴、仲地ますみ
自己表現が楽になるアサーションスキル	沖縄県看護協会	県内	2019年8月23日	堀江、島袋、宮里早、宮里夏、山田、兼本
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2019年8月26日	奥間有太郎、大城祥子、呉屋友美、比嘉憲貴
災害看護管理者編	沖縄県看護協会	県内	2019年8月29日、30日	外間真紀子、屋宜鮎美
適時調査と病院経営セミナー	株式会社武蔵野プリオ	大分	2019年8月30日	古波倉美登利
医療安全管理者スキルアップ研修	沖縄県看護協会	県内	2019年9月3日	安村公均
中堅研修Ⅱ看護倫理①	看護部教育委員会	院内	2019年9月5日	仲地ますみ
看護部長経営管理コース	医療・病院管理研究協会	東京	2019年9月5日、6日	古波倉美登利
3年目研修	看護部教育委員会	院内	2019年9月6日	内間幸人、比嘉憲貴、安谷屋佳子、屋宜鮎美
看護の本質	沖縄県看護協会	県内	2019年9月7日	比嘉真理、与那嶺果林
領域研修(慢性心不全看護②)	看護部教育委員会	院内	2019年9月13日	島袋すが子
コンピテンシーモデルを活用した看護管理	沖縄県看護協会	県内	2019年9月13日	呉屋友美
ミッションマネジメントと組織開発	沖縄県看護協会	県内	2019年9月14日	金城隆也
中堅研修Ⅱ感染②	看護部教育委員会	院内	2019年9月17日	石川由希、宮城美那、城間克也
新人看護師6か月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2019年9月20日	奥間有太郎、大城祥子、呉屋友美、比嘉憲貴
特定行為研修	自治医科大学看護師特定行為研修センター	東京	2019年9月4日	冨里康太
中堅研修Ⅰ⑤	看護部教育委員会	院内	2019年9月26日	小橋川広美、比嘉憲貴、仲地ますみ
看護部長リーダーシップ講座	NKアカデミー	東京	2019年9月26日	古波倉美登利

研修名	主催	開催地	年月日	担当・参加者
領域研修(呼吸ケア①)	看護部教育委員会	院内	2019年9月27日	内間幸人
心不全看護	沖縄県看護協会	県内	2019年10月2日	島袋麻衣
領域研修(DM②)	院内認定看護師会	院内	2019年10月4日	堀江恭子
がん看護Ⅲ	沖縄県看護協会	県内	2019年10月4日	比嘉アノナ
師長・主任合同研修	看護部	院内	2019年10月1日	古波I倉美登利、外間真紀子、仲地ますみ
プリセプター研修(上半期)	看護部教育委員会	院内	2019年10月11日	奥間有太郎、大城祥子、呉屋友美、比嘉憲貴
認定スキルアップセミナー	日本乳がん看護研究会	鹿児島	2019年10月11日	砂川克子
認定看護師研鑽	日本手術看護学会	岡山	2019年10月11日、12日	富田賢一
領域研修(救急看護②)	看護部教育委員会	院内	2019年10月17日	兼本愛美
リーダーシップ研修I	沖縄県看護協会	県内	2019年10月17日	新垣博人 城間ゆずき、知念美樹、仲村渠恵理子
中堅研修I⑥	看護部教育委員会	院内	2019年10月24日	小橋川広美、比嘉憲貴、仲地ますみ
領域研修(呼吸ケア②)	看護部教育委員会	院内	2019年10月25日	内間幸人
家族看護の理解と実際	沖縄県看護協会	県内	2019年10月26日	詰田千沙都、金城優
ケアの受け手と周囲の人への意志決定支援	沖縄県看護協会	県内	2019年10月31日	城田英里菜
フィジカルアセスメント	沖縄県看護協会	県内	2019年11月8日、9日	島袋美帆、山城初音
看護必要度ステップアップ研修	S-Q研究会	福岡	2019年11月10日	屋宜鮎美、宮城つかさ
領域研修(乳がん看護②)	看護部教育委員会	院内	2019年11月15日	砂川克子
NP研鑽	日本NP学会	東京	2019年11月15日、16日	諸喜田睦子
領域研修(呼吸ケア③)	看護部教育委員会	院内	2019年11月22日	内間幸人
看護管理者のための看護情報活用とマネジメント	沖縄県看護協会	県内	2019年11月22日	洲鎌正子、喜屋武香織
新人看護職員研修実地指導者研修	沖縄県看護協会	県内	2019年11月26日～28日	伊佐友美
ストマケア	沖縄県看護協会	県内	2019年11月29日	前川ゆり、重麻依、座覇智晴
フットケア研修会	沖縄県看護協会	県内	2019年12月3日	呉屋清美、内間千春
心電図セミナー(基礎・応用)	日本光電	院内	2019年12月3日、4日	具志亮太、志喜屋幸子他17名
中堅研修I⑧ 修了式	看護部教育委員会	院内	2019年12月5日	小橋川広美、比嘉憲貴、仲地ますみ
思考力を伸ばす指導法	沖縄の看護実践力を育む研究会	県内	2019年12月8日	玉木紀光、大見謝奈々、呉屋友美
中堅研修II医療安全②	看護部教育委員会	院内	2019年12月13日	安村公均
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2019年12月16日	奥間有太郎、大城祥子、呉屋友美、比嘉憲貴
2年目症例発表会	看護部教育委員会	院内	2019年12月20日	比嘉憲貴、小橋川広美、崎山久美
医療コンフリクトマネジメント	沖縄県看護協会	県内	2019年12月21日	木村有希
中堅研修II看護倫理②	看護部教育委員会	院内	2019年12月19日	仲地ますみ
領域研修(救急看護②)	看護部教育委員会	院内	2019年12月26日	兼本愛美、
中堅研修II必要度②	看護部教育委員会	院内	2020年1月17日	宮城つかさ
適時調査対策・地域医療構想対策セミナー	ニチイ学館	福岡	2020年1月17日	古波倉美登利
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2020年1月20日	奥間有太郎、大城祥子、呉屋友美、比嘉憲貴
学会参加	日本クリニカルパス学会	熊本	2020年1月17日、18日	与那覇亜紀子
医療安全管理者養成研修公開講座	沖縄県看護協会	県内	2020年1月17日、24日	内間、高宮、田下、山内、奥間、渡久山
手術室看護師研修	日本手術看護学会	東京	2020年1月18日	東恩納小百合

研修名	主催	開催地	年月日	担当・参加者
中堅研修Ⅱ感染③	看護部教育委員会	院内	2020年1月10日	石川由希、宮城美那、城間克也
中堅研修Ⅱ医療安全③	看護部教育委員会	院内	2020年1月24日	安村公均
看護必要度ステップアップ研修	S-Q研究会	福岡	2020年1月26日	屋宜鮎美、宮城つかさ
1年目体験発表会	看護部教育委員会	院内	2020年1月31日	奥間有太郎、大城祥子、呉屋友美、比嘉憲貴
新人看護職員研修教育担当者研修	沖縄県看護協会	県内	2020年1月31日～2月4日	玉木紀光、大身謝奈々
プリセプター研修(31年度向)	看護部教育委員会	院内	2020年2月14日	仲里寛、花城優子、大城祥子、我那覇美帆、奥間有太郎、仲地ますみ
沖縄県看護研究学会学術集会	沖縄県看護協会	県内	2020年2月15日	詰田千沙都、山田希、山城由衣、知念真奈美
領域研修(DM③)	院内認定看護師会	院内	2020年2月21日	堀江恭子
弾性ストッキングコンダクター講習会	アスリート株式会社	県内	2020年2月23日	山川七七女他3名
プリセプター研修(下半期)	看護部教育委員会	院内	2020年2月28日	奥間有太郎、大城祥子、呉屋友美、比嘉憲貴
師長・主任合同研修	看護部	院内	2020年3月3日	古波倉美登利、仲地ますみ
1年目フォローアップ研修・修了式	看護部教育委員会	院内	2020年3月13日	奥間有太郎、大城祥子、呉屋友美、比嘉憲貴
令和2年度診療報酬改訂説明と解説	S-Q研究会	県内	2020年3月21日	東恩納、本田、米須、兼本、宮城幸、古波倉

## 各部署概要・実績

### 外来

外来師長 安谷屋 佳子

#### 職員数

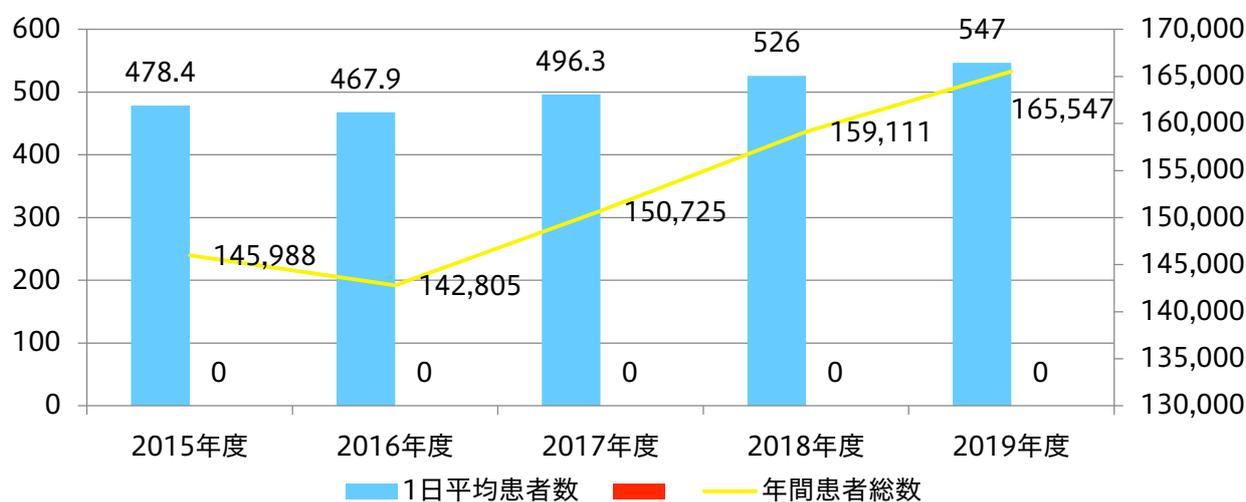
総数	38名
看護師	25名
准看護師	1名
看護補助者	2名
クラーク	11名

#### 資格・認定など

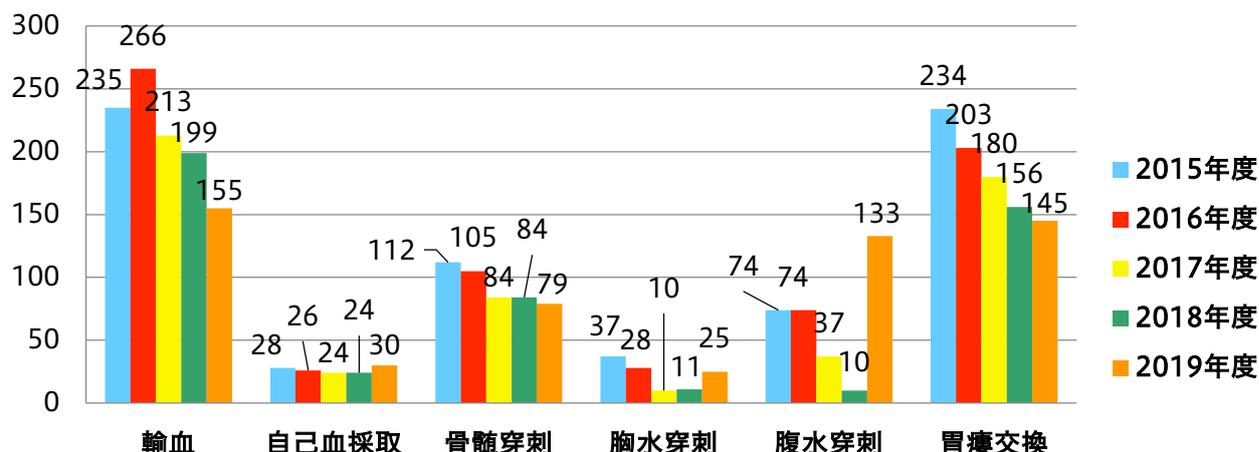
氏名	資格・認定
安谷屋 佳子	認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了 医療安全管理者養成研修修了
玉城 秀美	実習指導者研修修了
山内美咲	ELNEC-J、肝炎コーディネーター資格
新垣薫	排尿機能検査士 リンパ浮腫複合的治療技術者 認定排尿ケア専門員コンチネンスリーダー 排尿自立指導専任ナース 快適CIC指導士
国仲 トモ子	内視鏡技師資格
志喜屋 幸子	肝炎コーディネーター資格
大滝 正美	肝炎コーディネーター資格
砂川 敦子	肝炎コーディネーター資格

#### 業務実績

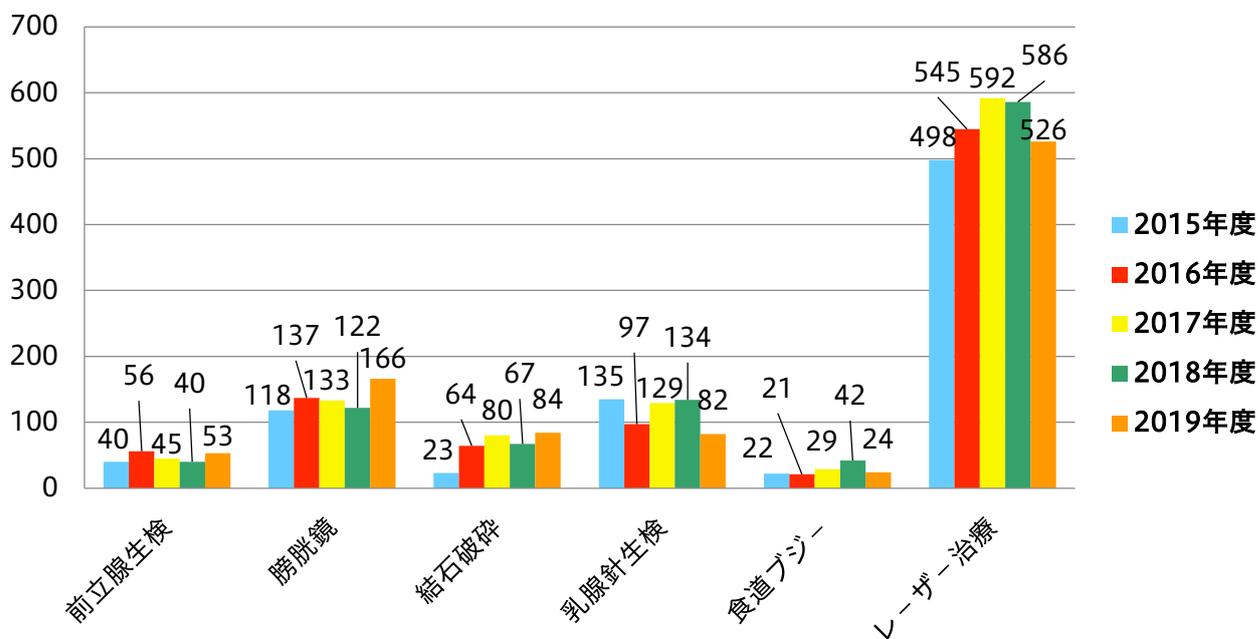
年間外来患者数と1日平均患者数（人）



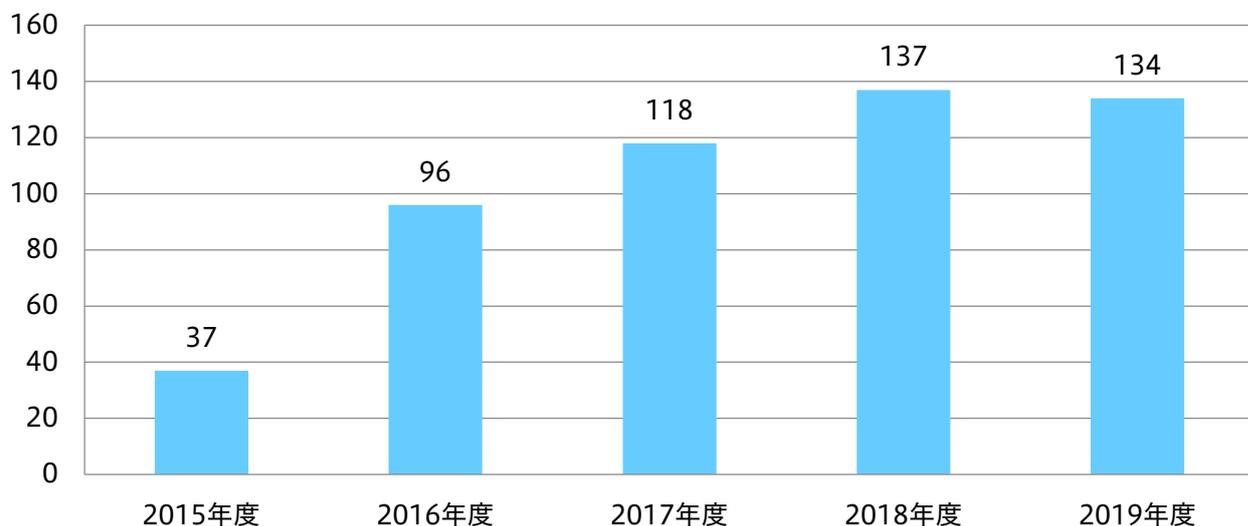
外来で行われる主な処置件数の推移 (件)



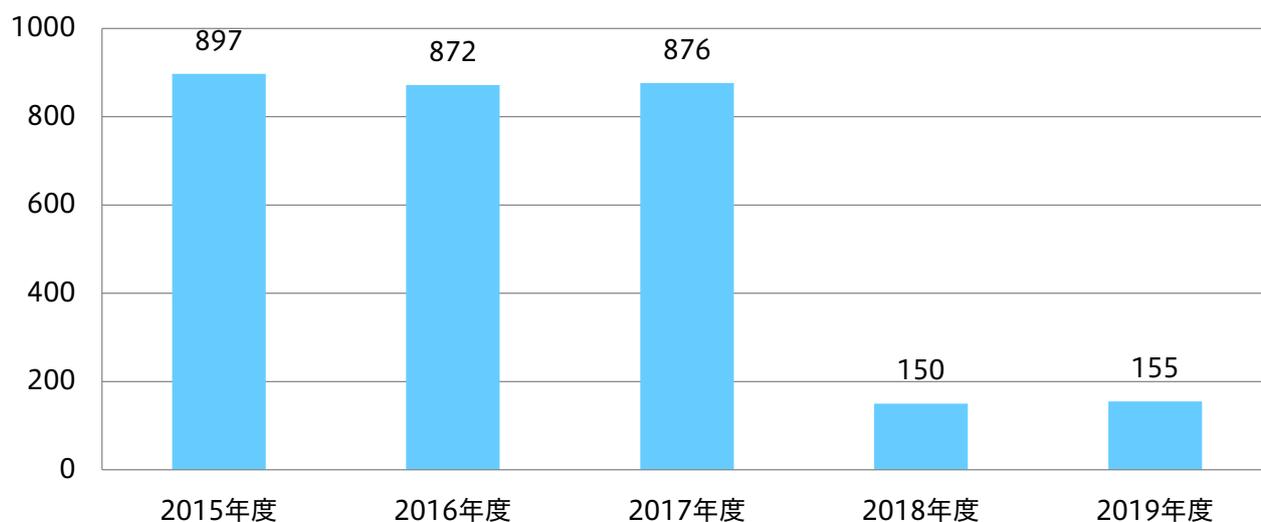
外来で行われる検査・治療件数の推移 (件)



リンパ浮腫外来患者数 (人)



## 無呼吸外来患者数（人）



## 活動実績

## 院内・院外研修実績

研修名	開催地	日付	参加者
BLS プロバイダーコース	院内	2019年4月6日	山内美咲
チームで取り組む排泄ケア	県内	2019年4月25日	新垣薫
尿失禁・頻尿に役立つ骨盤底筋訓練	県内	2019年4月28日	新垣薫
HCTC 見学研修	北海道	2019年5月10日	仲田ひろ子
小児救急看護	看護協会	2019年6月4日	仲松裕香、金城こずえ
基礎から学ぶ救急看護	看護協会	2019年6月25日	羽鳥恵、山川七七女
リスクを管理して安心・安全な医療の提供しよう	沖縄赤十字病院	2019年10月25日	安谷屋佳子
形成外科学会	院外	2019年11月30日	安谷屋佳子、大滝正美
足の疾患地域医療連携セミナー	中部地区医師会	2019年12月13日	大滝正美、東リナ
緩和ケア研修	院内	2020年1月18日	石原桂子
泌尿器科学会	院外	2020年1月25日	新垣薫
医療安全講習会	看護協会	2020年1月27日	山内美咲
看護マネジメントリフレクションの活用と実践	看護協会	2020年1月28日	山内美咲、安谷屋佳子
地域肝炎コーディネーター養成講座	沖縄県自治会	2020年1月29日	山内美咲、志喜屋幸子
PEA（小児アレルギー）九州ブロック研修会	豊見城中央病院	2020年2月1日	玉那覇久美子
リンパ浮腫講習会	院外	2020年2月15日	新垣薫
多職種に知ってほしい感染対策	院外	2020年3月14日	新垣薫

## 年度総括

2017年（H29年）以降外来患者数は全診療科で増加しています。外来では、多くの専門外来の診療に伴い数多くの処置が行われています。限られた時間の中で安心・安全に医療が行われることが常に求められ、業務がスムーズに行われるような工夫が必要になってきます。そのため各科の業務の見直し、問題点はその都度、担当看護師で話し合う場をもうけ業務改善に努めています。

幅広い専門分野の知識を必要とするため、2年前から朝の時間を活用し1ヶ月に1回定期的に勉強会を継続して行ってきました。症例から学ぶ学習を中心に継続した取り組みはスタッフ間の情報共有の場として大切な時間であると同時にアセスメント能力向上にもつながっています。

また、外来の大きな役割の一つとして、これまでも課題であった慢性疾患患者に対し、逆紹介を推進していくことが挙げられます。2019年度は逆紹介、紹介患者の件数増加を重点目標に、取り組みを始めました。当初、現場からは「かかりつけ医について説明する時間がない」などの意見が聞かれ、思うように進まない状況がありましたが、説明書の作成、配布を実行、受付部門のスタッフと連携し窓口での説明担当者を配置することで解消されました。取り組み開始後より徐々に逆紹介件数の増加がみられチームとして連携し取り組むことの大切さを痛感した1年でもありました。来年度に向け、現取り組みを評価し問題点を見出し解決に向けチームで取り組める体制作りを計画しているところです。

2020年度は、安心・安全な医療の提供、人材育成と教育、地域支援病院としての取り組み強化はもとより、急性期病院としての役割を担うために急変前の対応強化を目標に掲げチームでより良い医療を目指し取り組んでいきたいと思えます。

## 救急外来

救急外来師長 内間 幸人

### 職員数

総数 23 名  
 看護師 21 名  
 救急救命士 2 名

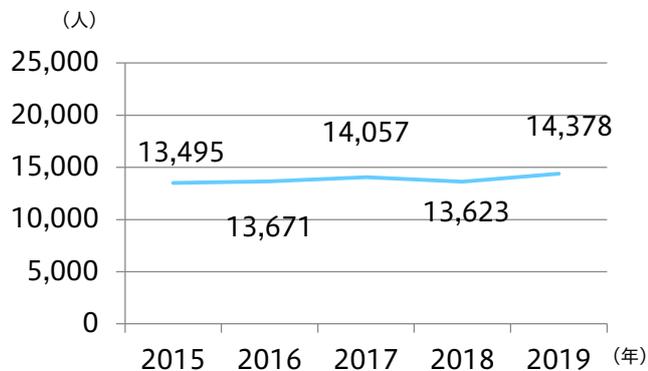
### 認定・資格など

名称	氏名
特定行為研修修了	兼本愛美
集中ケア認定看護師	内間幸人
救急看護認定看護師	兼本愛美
AHA BLS インストラクタ	内間幸人 兼本愛美 知花満津子 有銘千佳
ICLS インストラクタ	兼本愛美

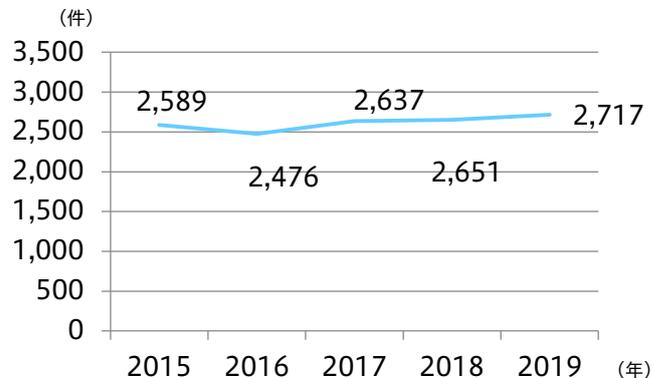
名称	氏名
MCLS インストラクタ	山田義長
JPTEC インストラクタ	兼本愛美 兼次翔太 大宜見宗史
DMAT 隊員	兼本愛美 山田義長

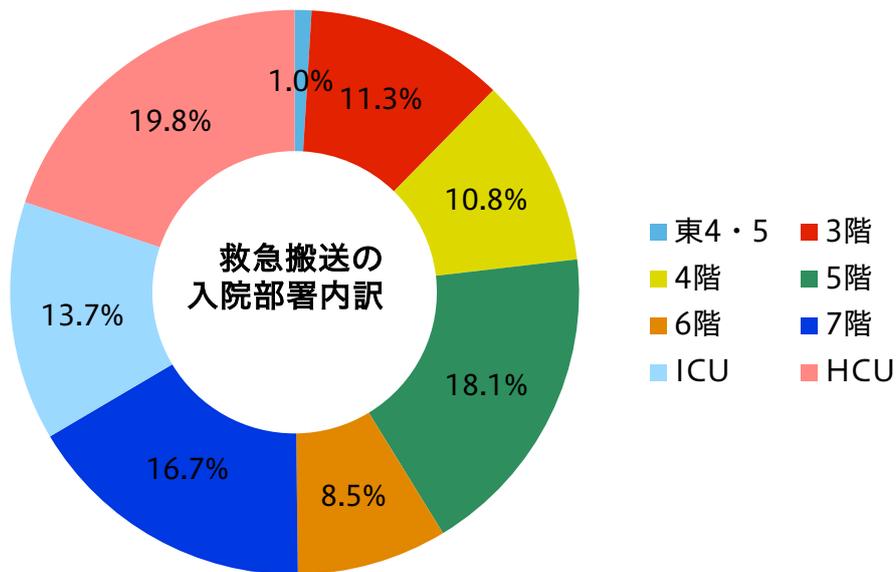
### 業務実績

救急受付患者数年次推移



救急受付患者の入院数年次推移





### 活動実績

#### 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ドクターカー同乗看護師が抱く不安への取り組み結果そして今後の課題	第 21 回救急看護学術集会	千葉県	2019 年 10 月 4 日～ 5 日	大宜見宗史・篠原花織

#### 研修実績

研修名	開催地	開催日	参加者
JPTEC プロバイダーコース	県内	2019 年 6 月 29 日	照屋杏奈
JPTEC プロバイダーコース	県内	2019 年 6 月 30 日	東山亜梨佳
MCLS 標準コース	県内	2020 年 7 月 3 日	照屋杏奈
MCLS 標準コース	県内	2020 年 7 月 4 日	東山亜梨佳
MCLS 標準コース	県内	2020 年 7 月 4 日	宮里伸也
MCLS-CBRNE	県内	2020 年 10 月 20 日	兼本愛美
MCLS-CBRNE	県内	2020 年 10 月 20 日	篠原花織
JPTEC プロバイダーコース	県内	2020 年 12 月 7 日	我那霸美帆
JPTEC プロバイダーコース	県内	2020 年 12 月 7 日	田中優希菜
ISLS/PSLS	県内	2020 年 1 月 11 日	東山亜梨佳

#### その他

名称	開催日	担当者
基礎から学ぶ救急看護	2019 年 6 月 25 日～ 26 日	兼本愛美

## 年度総括

安全な医療の提供について、インシデント・アクシデント発生が148件と前年度より若干減少しました。内訳はレベル0と1が約77%を占め、3b以上のアクシデント発生が1件です。前年度、3b以上のアクシデント発生はなかったので、今年度の1件については、部署全体でふりかえり、内容について関連する職種のスタッフと共有、対策を検討し取り組みを継続しています。今後も3b以上のアクシデント再発防止に努め、スタッフの安全に対する意識の醸成を図りたいと思います。

専門性の高い看護の提供については、蘇生関連や外傷対応など各種講習会の受講や日々の業務の中で実際に対応した症例を振り返り、次の対応につなげていく事をこころがけています。救急看護認定看護師や集中ケア認定看護師、救急専門医などからの指導・助言を踏まえ、部署の教育プログラムを計画、実施しました。今後も症例を重ね、救急看護の質向上に努めます。

救急搬送件数の増加については、過去最多を更新する3,066件でした。不応受率も2.4%で前年度に比べ0.4%減少しています。毎月の委員会で不応受事例の理由や受け入れ体制について分析、検討する機会を設けていることが減少につながったと考えます。今後も不応受事例の減少を維持するよう継続して取り組みます。

多職種との連携では、ドクターカーの本格稼働やアンギオ室増設など業務拡大により、その連携・協力は一層重要かつ不可欠な要素です。今後も円滑な連携・協力を図りながら安全かつ迅速な医療の提供の一助を看護が担えるよう努めます。

ドクターカーの導入にあたっては、本格運用を開始して2年目となり、ドクターカーナースの育成を重点課題として進めてきました。看護師の育成は順調に進んでいますが、今後も維持・増員していくために現育成システムを評価・修正し業務の確立を目指します。

また、今年度は2年連続で2ヶ所の救急隊との合同訓練も実施しましたが、新たに訓練を調整していた所轄消防は、台風の影響により開催中止となってしまいました。改めて次年度の開催を検討します。今後も症例の検証やスタッフのスキルアップのための講習会の受講、症例検討会、救急隊との合同訓練などさらなる連携強化に努め、安全で効果的な救急の対応に繋げていきます。

# 人工透析室

人工透析室師長 宮城 幸江

## 職員数

総数 20名

正看護師 18名

看護補助者 2名

## 認定・資格取得状況

氏名	認定・資格・終了
宮城 幸江	透析技術認定士 フットケア指導士
瀬底 真由美	透析技術認定士 フットケア指導士
田下 茜	透析技術認定士 CAPD 認定指導看護師

氏名	認定・資格・終了
赤嶺 美智江	透析技術認定士
新里 恭子	透析技術認定士
伊保 和加子	透析技術認定士
呉屋 久子	透析技術認定士
上原 千晶	フットケア指導士
竹本 健太	日本 DMAT 隊員

## 業務実績

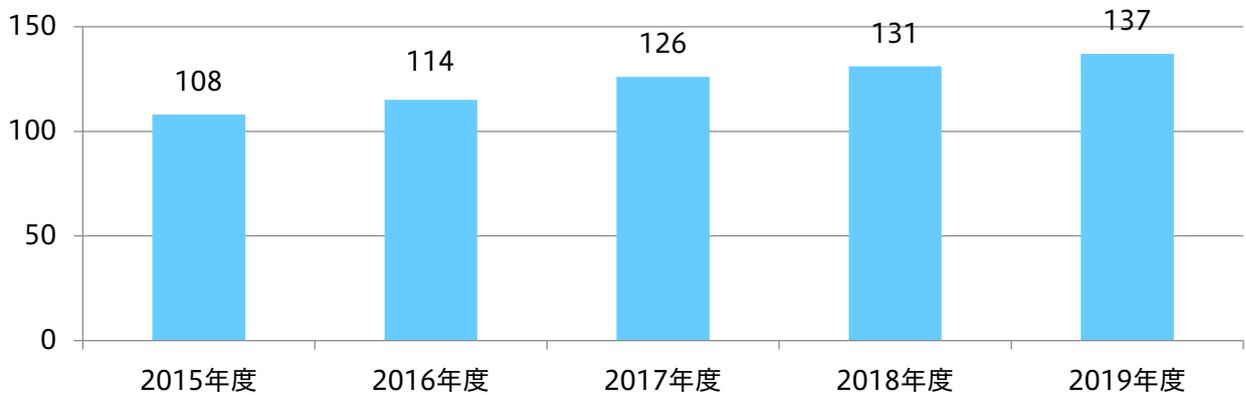
新規導入患者数 7名

腹膜透析患者数 2名

血液透析患者数 135名

## 患者数推移

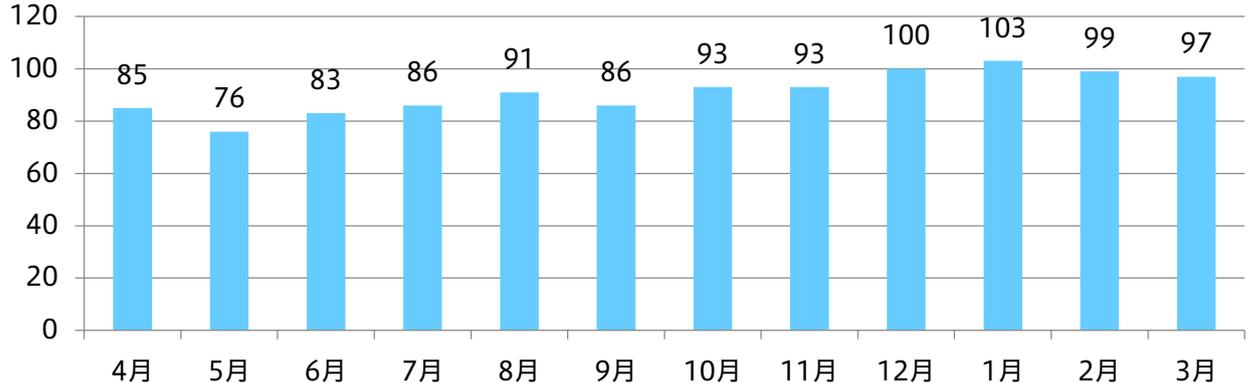
(人)



## 下肢末梢動脈疾患指導管理

(フットチェック) 1,092件 (月平均 91件)

(件)



## 研究業績

### 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
台風による停電に伴う支援透析の実際と課題	第22回日本腎不全看護学会学術集会・総会	北海道	2019年11月9日	田下 茜

## 活動実績

### 院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
沖縄県透析医会学術講習会	沖縄県透析医会	南風原	2019年5月16日	赤嶺美智江、田下茜
補助者管理者研修	看護協会	南風原	2019年5月17日	宮城 幸江
急性期病院で実現した身体抑制のない看護に取り組んで	看護協会	南風原	2019年5月23日	瀬底 真由美
看護協会総会	看護協会	南風原	2019年6月16日	宮城 幸江
看護連盟総会	看護連盟		2019年6月30日	宮城 幸江
沖縄県PDセミナー	テルモ株式会社	那覇市	2019年8月10日	瀬底真由美、田下茜宮城幸江
看護連盟新人幹事者研修	看護連盟	南風原	2019年8月17日	宮城 幸江
透析フレイル研究会	沖縄県透析フレイル研究会	那覇市	2019年11月14日	赤嶺美智江、平良美幸
ミレニア研究会	ミレニア	恩納村	2019年11月30日	上原千晶、宮城幸江
足の疾患地域医療連携セミナー	エーザイ株式会社	南風原	2019年12月13日	上原千晶、赤嶺美智江、宮城幸江
フットケア	看護協会	南風原	2019年12月3日	呉屋清美、内間千春
医療安全管理者養成研修(公開講座)	看護協会	南風原	2020年1月17日	田下茜
沖縄腎不全研究会	沖縄腎不全研究会	宜野湾	2020年2月6日	田下茜、赤嶺美智江
COVID-19透析関連勉強会	県立中部病院	沖縄市	2020年3月4日	田下茜

## 年度総括

2019年度は・安全な医療の提供・専門的ケア、サービスの提供・患者、家族の教育指導・人材育成を柱に部署運営を進めてきました。

安全についてはインシデント総数は79件で、内訳は除水計算や入力ミス、それに伴う体重誤差が16件、抗凝固剤の接続ミスが3件で、確認不足や思い込みがその主な原因です。インシデント発生は透析開始前の時間帯に多く、治療開始を急ぐ心理から注意散漫になりがちなこととも要因としてあげられます。対策としてマニュアルの周知および遵守を徹底し、「早さよりも安全に」「声だし指さし呼称で確実に」を実践していくことでインシデントの低減を図りました。

専門的サービスの提供では下枝末梢動脈疾患指導管理について月平均50件の目標に対し91件/月の実績を上げることができました。全透析患者をリスク分類しフットチェックを行うことで足病変を早期に発見し、専門外来(形成外科、循環器内科、血管外科、皮膚科、整形外科)へつなげています。外来では足と傷のセンターが開設されたこともあり患者さんにとってよいサービスを提供できる環境が整ったと感じています。

また、経皮的血管シャント形成術(シャントPTA)123件に対し、バスキュラアクセスの評価を行い異常の早期発見に努めシャント閉塞の低減につなげました。

患者、家族への教育指導では災害対策の一環で患者参加型避難訓練を実施しました。災害拠点病院としての当院の役割や災害時の透析室の役割、日頃から取り組む災害への備えについて学び、実際に避難経路、避難口を患者さんと一緒に確認することで、安心につながり災害への関心も高まったと評価しています。今後も見直しを加えつつ定期的な学習を継続していきます。

人材育成については スタッフを VA（バスキュラアクセス）、フットケア、CAPD のチームに分け、知識を高め、専門的な看護ケアの提供に注力しました。また「足と傷のセンター」開設に伴い、フットケア指導士1名を派遣し、外来看護師や理学療法士、創傷ケア担当看護師など多職種と連携し、ケアを実践、その中で専門的知識・技術の習得、資格認定習得に向けて育成を行うことができました。次年度も取り組みを継続し安全・安心な医療の提供、専門的サービスの提供に努めます。

## 手術室・中央材料室

手術室・中央材料室師長 東恩納 小百合

### 職員数

総数 28 名

正看護師 21 名

准看護師 1 名

看護補助者 5 名

メディカルクラーク 1 名

### 認定・資格取得状況

氏名	認定・資格・修了
大城 美那	感染管理認定看護師 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
富田 賢一	周術期管理チーム認定看護師 手術看護認定看護師
呉屋 真由美	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者
久手堅 緑	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者 普通第一種圧力容器取扱作業主任者
米田 梓	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者 普通第一種圧力容器取扱作業主任者
東恩納 小百合	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
豊永 涼子	消化器内視鏡技師
池根 悠太	呼吸療法認定士
渡久山 すえの	消化器内視鏡技師

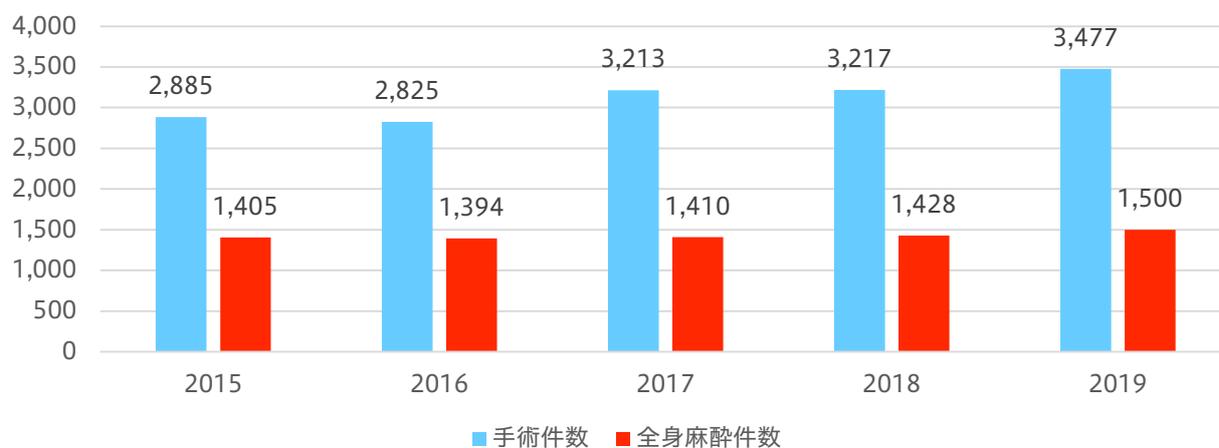
### 業務実績

#### 手術実績

月平均手術件数 289 件

1日平均手術件数 13 件

#### 手術件数推移 (件)



## 活動実績

### 院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
ポリナビワークショップ	沖縄県看護連盟	那覇	2019年5月19日	呉屋真由美、東恩納小百合
リフレッシュマン研修	沖縄看護協会	南風原	2019年5月15日	安里樹乃
日本消化器内視鏡技術学会	日本消化器内視鏡技師会	東京都	2019年6月1日	渡久山すえの
日本手術看護学会九州地区沖縄分会総会	沖縄県分会	浦添市	2019年6月8日	長嶺厚子、安里樹乃、米田梓、 <input checked="" type="checkbox"/> 平、久志周子、神里歩、豊永涼子、久手堅緑、内間亜綾、玉城和香菜、呉屋真由美、大城美那、東恩納小百合
沖縄県看護協会職能集会	沖縄県看護協会	南風原	2019年6月15日	東恩納小百合
沖縄県看護協会総会	沖縄県看護協会	南風原	2019年6月15日	豊永涼子
ハクゾウ感染対策セミナー	ハクゾウメディカル	那覇市	2019年6月29日	久手堅緑、大城美那
効果的なプレゼンテーション	沖縄看護協会	南風原	2019年7月1日	名波唯奈
看護職と倫理(管理者編)	沖縄看護協会	南風原	2019年7月3日	呉屋真由美
リーダーシップ研修	沖縄看護協会	南風原	2019年7月23日	上原直樹
看護の専門性と他職種連携	看護師教育セミナー	浦添市	2019年8月3日	富田賢一、渡久山すえの
職員のメンタルヘルスマネジメント	沖縄看護協会	浦添市	2019年8月29日	渡久山すえの、東恩納小百合
日本手術看護学会年次大会	日本手術看護学会	岡山	2019年10月11日、10月12日	久志周子、富田賢一
体位シミュレーション	沖縄県分会	沖縄市	2019年10月26日	玉城和香菜、内間亜綾、上原直樹、名波唯奈、富田賢一、東恩納小百合
手術看護師長研修	日本手術看護学会	東京都	2020年1月18日	東恩納小百合
医療事故と倫理・法	沖縄看護協会	南風原	2020年1月24日	渡久山すえの
外回り、器械出しの視点からのエネルギーデバイスの管理を学ぼう	アムコジャパン	那覇市	2020年1月25日	富田賢一、久志周子、大城美那
看護マネジメントリフレクションの活用と実践	沖縄看護協会	南風原	2020年1月28日	東恩納小百合
整形外科ナースセミナー	第一医療器	豊見城	2020年2月8日	内間亜綾、玉城和香菜、豊永涼子、安里樹乃、前田佳乃

## 年度総括

部署目標は、1) 安全な医療の提供 2) 人材育成 3) 手術件数の増加 4) コスト削減をあげました。

### 1. 安全な医療の提供

0レベルのインシデントの報告、徹底した5Rやタイムアウトの遵守で誤薬、患者確認、手術部位誤認は0件でした。一方針刺しについては上半期時点で13件と前年度より8件多く発生したため、要因分析や対策を強化し下半期には4件に減少しました。取り組みを継続し針刺し0をめざします。

年度末には、新型コロナウイルス患者の手術対応を想定し入室から退室までのシミュレーションを実施しました。同時に挿管・抜管時の対応を含め感染防止策を部署全体で共有、安全な手術の遂行に備えています。

### 2. 人材育成

手術室認定看護師と主任を中心に、10診療科全てに対応できる看護師の育成に取り組んでいる最中です。またスタッフは学会に参加することで県内各施設の情報共有や情報交換、施設間の連携が図られ、手術看護にやりがいを見出し、モチベーションの向上にも繋がっています。

### 3. 手術件数の増加

今年度の手術件数は3,477件でした。年度目標の3,500件には至りませんが前年度と比較し206件の増加でした。8室を有効活用し、手術間のタイムロス（退室待ち、清掃、次症例準備）を解消することでスムーズな入退室を図ることができ、7月には344件/月と過去最多の実績を上げました。

### 4. コスト削減

手術室で使用する材料は、診療科や術式によって数千種類とも言われ、在庫の把握や定数の見直しが課題です。管財課の協力を得ながら期限や定数の管理、診療側と調整しコスト削減を図りました。デッドストックを処理、定数の見直し、同等品で安価な物品への変更案を提案し、約53万円削減できました。取り組みを継続し成果をあげるために次年度は専任担当者の配置を予定しており更なるコスト削減計画中です。

今年度はスタッフの退職や産休などが重なり人員調整に追われる中でも、手術件数は前年度比200件増の実績を上げることができました。部屋の効率活用はもちろん、看護補助者の業務配置の工夫によって看護師の業務負担が図られ予定手術を就業時間内に終えることができ、時間外の緊急手術もスムーズに受け入れることができました。チームの協力、頑張りに感謝です。

次年度は全室稼働に向けての取り組みに着手します。臨床工学技師、ORテクニシャンといった多職種体制を構築し、安全な医療の提供を担保しつつ手術件数増をめざします。

# ICU

ICU 師長 洲鎌 正子

## 職員数

総数 23 名

正看護師 22 名

看護補助者 1 名

## 認定・資格取得状況

認定資格者	
呼吸療法士認定	洲鎌正子、阿部誠、富里康太・石戸谷也寸志、山城奈保子、森下佳美、仲村和土、太田尾祐太
臨床工学技士	阿部誠
沖縄県保健師・助産師・看護師実習指導者講習会修了	山城奈保子、仲里 寛

## 業務実績

### 月平均入院患者状況

新規入院患者数 24.0 名

病床利用数 4.5 床

在院日数 9.3 日

その他の ICU の業務実績は患者統計のページをご覧ください。

## 研究業績

### 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
気管内挿管患者における、マウスジェルを用いた、口腔ケアの有効性の検証	日本集中治療学会	名古屋	2020年3月6日 ～8日	正野貴則・阿部誠

## 活動実績

### 院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
2019年新人看護師 応援プログラム	沖縄クリテカルシミュレーション	沖縄	2019年6月30日	泉川志穂
2019年新人看護師 応援プログラム	沖縄クリテカルシミュレーション	沖縄	2019年10月27日	泉川志穂
2019年新人看護師 応援プログラム	沖縄クリテカルシミュレーション	沖縄	2019年12月8日	泉川志穂
2019年新人看護師 応援プログラム	沖縄クリテカルシミュレーション	沖縄	2020年1月19日	泉川志穂
重症度、医療、看護必要度評価者院内指導者研修	日本臨床看護マネジメント学会	沖縄	2019年6月30日	玉木紀光
地域包括ケアシステム推進の取り組み	看護協会	沖縄	2019年6月12日	洲鎌正子
急性期病院で実現した身体抑制のない看護に取り組んで	看護協会	沖縄	2019年5月17日	太田尾祐太
認定管理者教育課程（ファーストレベル）	看護協会	沖縄	2019年7月4日～8月2日	仲里 寛
心臓カテーテル業務に必要な基礎を1日で学べる	沖縄コメディカル向上委員会	沖縄	2019年5月25日	富里康太、正野貴則、大城笑子、平川 陽稀

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
うふんいちセミナー	沖縄呼吸療法士ネットワーク	沖縄	2019年5月26日	太田尾 祐太
認知症ケア(加算2)	看護協会	沖縄	2019年7月18～19	石戸谷也寸志
急変対応セミナー	中部徳洲会認定看護師	沖縄	2019年7月19日	平川陽稀、兼本春奈、崎濱彩菜、太田尾祐太
危機発生時の対応	看護協会	沖縄	2019年7月26日	洲鎌正子
第34回呼吸セミナー	沖縄呼吸ケア研究会	沖縄	2019年9月7日	洲鎌正子
心臓カテーテル業務に必要な基礎を1日で学べる	沖縄コメディカル向上委員会	沖縄	2019年10月27日	崎濱彩菜、兼本春奈
人工呼吸器 HANDS-ON	沖縄クリティカルケア看護研究会	沖縄	2019年11月9日	伊藤諒

## 2019年度目標

- |  |  |
|--|--|
| <p>1) 安全な医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インシデント件数：20件/年以下(0件/月)</li> <li>・レベル2a：3件以下</li> <li>・患者誤認：0件/年</li> <li>・内服・点滴関連：0件</li> </ul> <p>2) 人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックリスト用いて個人のスキルUP</li> <li>・プロジェクトチーム活動の継続・勉強会2回/月</li> </ul> | <p>3) 患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇クレーム：0件/年</li> <li>・感染対策の強化(ICU伝播：0件/年)</li> </ul> <p>4) 病棟稼働率</p> <p>3指標 病床利用数：6床<br/>新規入院患者数：35名<br/>在室日数：5.2日</p> |
|--|--|

## 年度総括

ICUは、急性機能障害に陥った患者の早期回復を目的に、全身管理を集中的に行なう部署です。集中治療において、早期の栄養管理、リハビリテーションの開始は、在室日数短縮、人工呼吸期間短縮、死亡率低下、呼吸機能・ADL低下予防や合併症予防に有用とされており、NSTチームの関わりや多職種カンファレンスを継続することで目標に近づくことができつつあり、他部署との連携の重要性を実感しています。また最近は入室される患者さんの高齢化が進んでいることでせん妄発症リスクが高くなっています。発症する事によって全身状態が重篤化し、在院日数の延長やその後の予後に影響を与えます。せん妄の予防、早期発見、早期離脱は主疾患の治療にも大きく影響することから、部署でもアセスメントの強化、評価システムの運用を高める取り組みを続けています。このように早期のリハビリや高齢患者さんの対応については緊急入院時から退院に向けて計画的に関わることが重要であり今後も重点取り組み課題です。院内の関連チームと連携し、継続して質の高い医療、看護ケアの提供を目指します。

安全管理に関しては、52件のインシデントが発生しました。内容はせん妄によると思われるドレーン、薬剤投与ライン関連のトラブルが多数を占めます。部署の特性上、治療が優先されるために身体拘束を余儀なくされることに起因するものです。発生の都度、部署全体で共有、要因分析、対策を重ね安全な医療が提供出来るよう取り組んでいます。

人材育成では、呼吸療法士2名が合格しました。現場の呼吸ケアの向上、スタッフの指導に貢献できます。また現在、特定行為看護師育成研修を1名が受講中で研修終了後には高度な実践能力を発揮し更なる質の高い看護ケアが提供できるものと期待しているところでです。

## 東館 4・5 階病棟（産科・婦人科・女性混合）、産婦人科外来

東館 4・5 階病棟師長 崎山 久美

### 職員数

総数 35 名

助産師 23 名

正看護師 12 名

看護補助者 4 名

クラーク 2 名

### 認定・資格など

氏名	取得資格
崎山 久美	管理者研修ファーストレベル終了 アドバンス助産師 看護必要度研修受講証明取得 NCPR 講習会受講証明取得
平屋敷加代	臨床指導者講習終了 管理者研修ファーストレベル終了 アドバンス助産師 看護必要度研修終了
原順子	アドバンス助産師 NCPR 講習会受講証明取得
具志堅理沙	アドバンス助産師 NCPR 講習会受講証明取得
江島純子	マタニティヨガ
榮奈々子	臨床指導者講習終了 アドバンス助産師 NCPR 講習会受講取得
金城嘉奈子	アドバンス助産師
新城真鶴	アドバンス助産師 NCPR 講習会受講取得
成田明日香	緩和ケア
東初美	緩和ケア
大田ちひろ	マタニティヨガ NCPR 講習会受講取得
世嘉良 裕美	必要度研修受講証明取得

### 業務実績

#### 月平均入院患者状況

新規入院患者数 114.5 名

在院日数 5.7 日

病床利用数 25.2 床

#### 分娩件数

723 件

## 研究業績

### 学会発表

演題	学会名	開催地	発表年月日	発表者
クリニカルパスを見直して	看護部教育委員	当院	2019年7月26日	園原奈津紀
当院における全身麻酔下婦人科腹腔鏡パスの評価	第10回日本医療マネジメント学会沖縄支部学術集会		2020年1月18日	園原奈津紀

## 活動実績

### 院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2019年5月22日	砂川智菜津、吉崎秀美
沖縄県看護協会総会	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2019年6月16日	崎山久美
看護連盟総会			2019年6月30日	崎山久美
県立看護大 助産メンター会議	県立看護大学	県立看護大学	2019年7月12日	多和田ちひろ
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	日本看護協会	沖縄県看護協会	2019年7月18日 ～19日	池村智子
看護必要度研修	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2019年8月26日	崎山久美、世嘉良裕美
県立看護大 助産実習報告会	県立看護大学	県立看護大学	2019年9月27日	多和田ちひろ
看護連盟 リーダー研修	看護連盟	ハーバービューホテル	2019年10月27日	崎山久美
ケアの受け手や周囲の人への意志決定支援	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2019年10月31日	崎山久美
いいお産の日	沖縄県助産師会	沖縄こどもの国	2019年11月9日	崎山久美、田中稚都、上地若那
メンタルヘルス事例検討会	中部保健所	中部保健所	2019年11月12日	崎山久美、富里由美子
周産期メンタルヘルス研修会	沖縄県メンタルヘルス研究会	西原町ふじさわホール	2019年11月18日	崎山久美
令和1年助産師職能委員会企画地域母子保健シンポジウム	沖縄県看護協会助産師職能	沖縄県看護協会	2020年1月25日	崎山久美
新生児蘇生講習会	日本周産期・新生児医学学会	南部医療・子ども医療センター	2020年2月8日	崎山久美、具志堅理沙、本村いずみ、多和田ちひろ
沖縄県看護大助産別科事例発表	沖縄県看護大助産別科	沖縄県立看護大学	2020年1月8日	川平明子
宜野湾市近隣産科連絡会	宜野湾市	宜野湾保健所	2020年2月3日	崎山久美

## 年度総括

年間の分娩件数は732件、で前年度と比較して136件の増加となりました。分娩件数の増加に伴い医療の安全と質の向上が大きな課題となり、今年度は「安全な分娩管理」を目標に取り組みました。緊急帝王切開発生時の対応マニュアルが充分でなかったため、発生時に迅速に対応できるようグレードの設定や対応マニュアルを見直しました。部署内での勉強会やシミュレーションを行うことにより、前年度に比べ迅速な対応がとれるようになりました。又、産科危機的出血や肩甲難産、NCPRなどの緊急対応について、妊娠高血圧症候群などの疾患についての勉強会も繰り返し開催しスタッフの知識、技術向上に努めました。まだまだ課題はありますが、次年度も引き続き安全な分娩管理を目指して取り組んでいきたいと思えます。また、今年度注力した取り組みとして、産後健診の開始があります。日本は今、出生率の低下・晩婚化・離婚率の増加・核家族化などが要因となり産後うつを発症する母親が増加しています。その割合は10人中1人と高く大きな社会問題となっています。産後の母親の自殺と子どもへの虐待防止の取り組みが開始されており、その事業の1つに産後健診があります。産後うつのスクリーニングを行い、悩みを聴取し必要時早期に地域へ繋げています。ひとりひとりの母親への対応には時間を要しますが、当院で出産された母児が健やかに過ごすことができるよう引き続き支援していく予定です。

今年度は退院支援も開始されました。東4階には婦人科の他にも他科疾患患者が入院されます。東4階に入院される全ての患者さんが最良の治療を受け生活の場に帰ることができるよう退院支援の充実を目指していきたいと思えます。

### 3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科・形成外科）

3 階病棟師長 屋宜 鮎美

#### 職員数

総数	42 名	
正看護師	36 名	看護補助者 6 名
准看護師	1 名	

#### 認定・資格など

氏名	認定・資格・修了
屋宜鮎美	医療安全管理者養成研修修了 認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講修了 実習指導者研修修了 病院看護師の認知症対応力向上研修修了 対応研修終了 新人看護職員研修実施指導者研修 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
奥間有太郎	実習指導者研修修了 新人職員研修実施指導者研修修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
大見謝奈々	病院看護師の認知症対応力向上研修修了 対応研修終了 実習指導者研修修了
宮里誠	下部尿路機能障害の治療とケア研修修了
嘉数勇人	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 対応研修終了
松村優美	新人職員研修実施指導者研修修了
福末直史	呼吸療法士認定
比嘉由布香	日本糖尿病療養指導士認定
船元恵	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 対応研修終了

#### 月平均入院患者状況

新規入院患者数	104 名
病床利用数	54 床
在院日数	15.2 日

#### 研究業績

##### 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
I 型糖尿病のビジネスマン	日本糖尿病研究学会 九州地方会	佐賀県	2019 年 11 月 25 日	比嘉由布香

#### 活動実績

##### 院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
フレッシュマン研修	看護協会	南風原町	2019 年 5 月 15 日 22 日、29 日	新田真美子、新城香菜子、宮里早代里
急性期病院で実現した身体抑制のない看護に取り組んで	看護協会	南風原町	2019 年 5 月 23 日	與那嶺なぎさ、根間穂奈美
効果的なプレゼンテーション技法を学ぼう	看護協会	南風原町	2019 年 7 月 1 日	屋宜鮎美

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
高次脳機能障害をもつ患者の看護	看護協会	南風原町	2019年7月11日	永村麻衣子
認知症高齢者の看護実践に必要な知識「認知症ケア加算II」対応研修	看護協会	南風原町	2019年8月6日、7日	船元恵
自己表現が楽になるアサーションスキル	看護協会	南風原町	2019年8月23日	宮里早代里
沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会	看護協会	南風原町	2019年8月19日～10月18日	大見謝奈々
災害看護（管理者編）	看護協会	南風原町	2019年8月29日、30日	屋宜鮎美
家族看護の理解と実際	看護協会	南風原町	2019年10月26日	詰田千沙都、金城優日
2020年度診療報酬改定をみすえた看護必要度ステップアップ研修	日本臨床看護マネジメント学会	福岡県	2019年11月10日	屋宜鮎美
病院全体で取り組むDVT	日本ヴェディエン株式会社	那覇市	2019年12月21日	屋宜鮎美
2020年度診療報酬改定をみすえた看護必要度ステップアップ研修	日本臨床看護マネジメント学会	福岡県	2020年1月26日	屋宜鮎美
整形外科セミナー 人工関節手術概論～手術体験まで	沖縄第一医療機	豊見城市	2020年2月8日	奥間有太郎、伊佐奈々美、石橋美奈、屋嘉比千尋

## 年度総括

今年度は整形外科の専門医が1名増員、形成外科では足と傷のセンター開設がありました。予約入院患者は安定的に推移、平均病床利用数54床と維持できました。延べ患者数、手術件数とも前年度と比較し増加しました。日々満床状態の中での入退院のやりくりはスタッフの意識向上にも繋がっています。リーダーを中心にチームが主体となってベッド調整ができるようになり教育的効果も得られたと振り返ることができます。

今年度部署で取り組んだ課題の一つに入退院支援があります。入退院支援看護師が中心となり、多職種カンファレンス、患者家族面談・退院指導、退院前カンファレンス・自宅訪問など積極的に取り組みました。当科の特性上、術後はリハビリ目的で他施設へ転院するケースがほとんどですが、退院支援に取り組むようになり術前からリハビリ、その後を見据えた関わりができるようになりました。並行して取り組んだのが正確な情報収集についてです。多職種カンファレンスでは看護サイドからの正確な情報提供が欠かせないものです。患者さんの支援を考える上で必要な情報、重要な情報を得るために疾患別入院時間診断フォームを作成しました。統一した情報を得ることでスタッフ間の個人差がなくなり、患者さんに合った支援プランを早期から立案することができ、その情報を多職種と共有することで効果的に退院支援に関わることができるようになりました。地域包括ケアが重視される今般、その人らしい生活計画や支援計画を病棟から発信することもこれからの課題と考えます。

スタッフ教育については主任、プリセプターを中心に部署の教育を計画的に実施しました。日々のOJTを通して根拠に基づいた看護ケアを実践するよう心がけていますが、日常業務に追われ専門領域の習得についてはまだ十分とは言えません。今年度効果的に学習を深める目的でスタッフを診療科別のグループに分け、メンバー発信で疾患や事例ごとのシミュレーションを実施してきました。次年度も継続の予定です。

医療安全関連では難治な術後合併症を経験したことから術後管理を強化する必要があり、適切なタイミングでの観察や報告を徹底して実践しました。

今年度から本格稼働した入退院支援業務、スタッフ主体の教育計画をはじめ、チームワークの良さで多職種連携もスムーズです。これからもこの風土を守り発展させたいと思います。

## HCU

HCU 師長 宮城 つかさ

## 職員数

総数 19名

正看護師 17名

看護補助者 2名

## 認定・資格など

氏名	認定・資格・修了
宮城つかさ	認定看護管理教育課程ファーストレベル研修修了 看護必要度データを活用した看護管理及び認知症患者等への入退院支援マネジメント向上研修修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了 新人看護職員研修実施指導者研修修了
與那嶺史子	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了 呼吸療法認定
石川由希	感染管理認定看護師 呼吸療法認定
仲眞菜都美	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
安次嶺徹	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
外間幸代	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
山城敏裕	呼吸療法認定
金城良太	呼吸療法認定 ICLS インストラクター

## 業務実績

## 月平均入院患者状況

新規入院患者数 45.1人 (目標 33)

病床利用数 7.0床 (目標 9.0)

平均在院日数 7.6日 (目標 8.3)

重症度、医療・看護必要度 94.7% (目標 80%以上)

## 活動実績

## 研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
看護補助者の活用推進のための看護管理研修	看護協会	南風原町	2019年5月17日	宮城つかさ
フレッシュマン研修	看護協会	南風原町	2019年5月22日	伊佐香未美
身体抑制のない看護に取り組んで	看護協会	南風原町	2019年5月23日	仲眞菜都美
看護実践能力を育てる	看護協会	南風原町	2019年6月22日	山城敏裕
効果的なプレゼンテーション技法を学ぼう	看護協会	南風原町	2019年7月1日	宮城つかさ
認知症ケア加算2 対応研修	看護協会	南風原町	2019年8月6・7日	外間幸代
2020年度診療報酬改定を見据えた看護必要度ステップアップ研修	一般社団法人日本臨床看護マネジメント学会・日本精神科看護協会	福岡県	2019年11月10日	宮城つかさ

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
2020年度診療報酬改定を見据えた看護必要度ステップアップ研修	一般社団法人日本臨床看護マネジメント学会・日本精神科看護協会	福岡県	2020年1月26日	宮城つかさ

## 年度総括

2019年度 HCU の目標は、1、安全な医療の提供（患者誤認0・内服トラブル0）2、人材育成 3、重症度・医療・看護必要度 80% の維持としました。

安全に関しては、患者誤認0の目標はクリアしました。内服トラブルに関しては、確認不足による内服・注射関連の報告が13件ありルールへの順守を徹底します。

今年度の大きな取組はHCUへの転換でした。4月からシミュレーションを開始して、6月から、HCU12床での運用を開始しました。運用開始にあたり、入室基準の取決めや重症度・医療・看護必要度評価票をHCUの評価票へ変更しました。看護必要度基準の80%以上でコントロールするよう、勉強会を開催し、部署のスタッフを始め、院内全体への周知・徹底を図りました。これまで入室対象とならなかった患者さんも受け入れることに戸惑いもありましたが、関連部署の協力、連携を図り対処しました。

HCU運用開始から1年が経過し、スタッフ全員が、HCUの重症度・医療・看護必要度を意識した病床管理ができるようになりました。2019年度、重症度、医療・看護必要度の平均値は92%と目標の80%をクリアしました。対象の多くは術後HCUを経由し一般病棟へ転床する患者さんで、看護の視点では手術前の関わりが必要と感じており今後の課題の一つです。また入院する内科の症例では80代、90代の高齢者の肺炎や心不全がほとんどで、入院により日常生活動作が低下するケースが少なくありません。HCUは治療がメインとなる部署ではありますが、入院時から退院を見据え一般病棟へつなぐ関わりが重要な役割となります。早期から一般病棟、多職種との連携が重要で、それに向けた取り組みを今後も継続していきます。

今年度は、HCUの立ち上げ、運用に注力する中、産休を含む複数名の中堅看護師が現場を去ることとなり、教育計画等スタッフの育成については思うように進めることが容易ではありませんでしたがチームワークで乗り切った1年でした。部署運営も落ち着いたところで、次年度はOJTの強化を図り、現場で考えて行動できる自律した看護師を育成できる環境づくりに取り組みます。

## 4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）

4 階病棟師長 米須 智子

### 職員数

総数	38 名
正看護師	34 名
准看護師	1 名
看護補助者	2 名
クラーク	1 名

### 認定・資格取得など

氏 名	認定・資格・修了
高宮 里沙	緩和ケア認定看護師
米須 智子	実習指導者研修修了 認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了 看護補助者活動推進のための看護管理者研修修了 18 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了
宮城 辰吏	実習指導者研修修了
與那覇 亜紀子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了
新里 紗希果	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了 呼吸療法認定士
末吉 彩夏	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
与那嶺 美咲	下部尿路機能障害の治療とケア研修修了
平良 勇	日本ストマリハビリテーション学会周手術期ストマ研修修了
喜友名 佳子	新人看護職員研修教育担当者研修修了
足立 有海	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了

### 業務実績

#### 月平均入院患者状況

新規入院患者数	147.6 名
病床利用数	48.2 床
在院日数	9.8 日

### 研究業績

#### 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
患者の希望に添える看護を目指して独自のハートシートの活用	第2回九州支部学術集会	長崎	2019 年 6 月	高宮里沙

## 活動実績

### 院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
フレッシュマン研修	看護協会	南風原町	2019年5月15日、5月22日、5月29日	重栄依、前川ゆり、座覇智晴
急性期病院で実現した抑制のない看護に取り組んで	看護協会	南風原町	2019年5月23日	喜友名佳子、米須智子
地域包括ケアシステム推進に向けた取り組み	看護協会	南風原町	2019年6月12日	上原沙織
看護実践能力を育てる	看護協会	南風原町	2019年6月22日	與那覇亜紀子
日本緩和医療学会	日本医療学会	県外	2019年6月21日～22日	高宮里沙
効果的なプレゼンテーション技法を学ぼう	看護協会	南風原	2019年7月1日	米須智子
第11回がんリハビリテーション研修会	北陸がんのリハビリテーション研究会	県外	2019年7月5日～6日	玉城直美
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	看護協会	南風原町	2019年8月6日～7日	足立有海
コンピテンブシーモデルを活用して看護管理～人材育成のヒントを学ぼう～	看護階階	南風原町	2019年9月13日	米須智子
重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修	看護協会	南風原町	2019年	

## 年度総括

今年度、部署では緩和ケアの向上と入退院支援の確立の2点に注力しました。

4階病棟は消化器外科を主科とする特性上、癌診断の場面に関わることが少なくありません。病棟の強みとしては緩和ケア認定看護師が配置されているので、患者・家族への関わりについて病棟スタッフへ直接指導、アドバイスが受けられることです。専門的な看護ケアの実践を間近に見ることによって、スタッフ一人ひとりが患者・家族へ向き合い、病気を抱えながらもその人らしく生を全うするために自分たちにできることは何かを考えながらケアできるような風土が醸成されています。また「ガンと診断された時から緩和ケアの介入」を実践するため緩和ケア認定看護師が外来診療への関わりを開始したこともスタッフの刺激となっています。認定看護師が外来での告知時に同席し、ICの補足やその後の心理面のサポートとしてカウンセリングを行います。治療の入り口で関わった看護師が、入院後も引き続き介入することで患者さんの疾患、治療に対する不安の軽減につながっています。こうした外来、病棟の連携を強化することで退院後も継続した看護の提供ができるようになりました。

今年度病棟で力を入れたもう一つの取り組みが、入退院支援の一環である多職種参加による退院支援カンファレンスです。「入院前と同じ環境（自宅）へ帰ってもらう」を目標とし、入院時に入院前の自宅での状況を把握、入退院支援看護師を中心にチームで共有、それぞれがセルフケアの維持、向上についてカンファレンスを重ね早期の退院を目指しています。いくつものケースを経験する中で病棟スタッフにも変化がみられるようになりました。入院時点で治療やケア計画だけでなく、主体的に退院を意識した聞き取りをするようになり今後の退院支援が進むことに期待するところです。反面、社会の高齢化に伴い当院で手術を受けられる患者さんも高齢の方が多くおられ、手術後の身体的ケアだけでなく患者さんの生活支援が今後の大きな課題となります。次年度は退院支援看護師を増員し家族面談や家族を含めた多職種カンファレンスを行い高齢者でも安心して手術を受け、ここで入院・手術して良かったと思ってもらえる質の高い看護が提供できるように努力していきたいと思います。

## 5 階病棟（消化器内科・小児科）

5 階病棟師長 比嘉 憲貴

### 職員数

総数	43 名		
正看護師	35 名	看護補助者	6 名
准看護師	2 名	保育士	1 名

### 認定・資格取得など

氏名	認定・資格・終了
比嘉 憲貴	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了 認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了 重症度、医療・看護必要度指導者研修修了 実習指導者研修修了
大城 祥子	実習指導者研修修了 新人職員研修実施指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
金城 竜弥	実習指導者研修受講修了
知念 晶子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
富里 理恵	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
新垣 涼香	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
森下 夏江	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
知念 晶子	重症度、医療・看護必要度指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
我謝 要子	重症度、医療・看護必要度指導者研修修了
港川 蒼志也	重症度、医療・看護必要度指導者研修修了

### 業務実績

#### 月平均入院患者状況

新規入院患者数 76.2 人

病床利用数 47.7 床

平均在院日数 8.3 日

### 活動実績

#### 院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
急性期病院で実現した抑制のない看護に取り組んで	看護協会	南風原町	2019 年 5 月 23 日	知念晶子
小児救急看護 急変予測と対応	看護協会	南風原町	2019 年 6 月 4 日	富里理恵、金城竜弥
地域包括ケアシステム推進に向けた取り組み	看護協会	南風原町	2019 年 6 月 12 日	富里理恵
第 36 回日本小児臨床アレルギー学会	日本小児アレルギー学会		2019 年 7 月 26 日～27 日	大城祥子、城田琴未
認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修終了 認知症ケア加算Ⅱ対象	看護協会	南風原町	2019 年 8 月 6 日～7 日	森下夏江
がん看護Ⅱ	看護協会	南風原町	2019 年 8 月 20 日	宮里夏樹
アサーションスキル	看護協会	南風原町	2019 年 8 月 23 日	宮里夏樹
第 4 回呼吸セミナー	日本光電	南風原町	2019 年 11 月 30 日	與那嶺裕

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
エキスパート PAE 研修	PAE 九州ブロック		2020年2月1日～2日	大城祥子、金城竜弥、城田琴未
うふいちセミナー	沖縄呼吸療法師ネットワークセミナー	那覇市	2020年2月11日	照喜名朝郁、城田琴未、糸数真優、山城由佳

## 年度総括

5階病棟は消化器内科・小児科の混合病棟です。大きな特徴としては、新生児から100歳を超える方まで対象の年齢が幅広いことです。また短期滞在入院患者数も多く、入退院がめまぐるしく変動するのも特徴です。さらに、近年の超高齢化に伴い介護度の高い患者や認知機能に問題を抱える患者も多い一方、重症度、医療・看護必要度の高い患者も混在する病棟です。

2019年度は部署の3指標を全てクリアし、且つ重症度、医療・看護必要度も平均32%を超える数値で推移しました。目標をクリアすることができたのは、部署全体の機動力の高さにあります。反面、多忙さの陰には煩雑な業務に伴う超過勤務やインシデントの発生、チーム活動や入退院支援活動が軌道に乗らない等の問題がありました。対策として、看護師の業務時間を確保するために、看護補助者の増員、業務の見直しを行いました。また、インシデント報告と分析を精力的に実施し、スタッフ1人ひとりの看護実践力の把握と業務上の問題・課題の抽出、その結果を基に教育体制の再構築、業務のスリム化、事例検討等に取り組みました。インシデント発生の低減、人材育成、業務改善の成否は看護実践力を高めることがカギと考えます。2019年度は管理者の異動、新体制となって間もないこともあり、取り組みに対して思うような結果はまだ出ていませんが、2020年度も取り組みを継続し部署の強みである機動力の高さを活かすと同時に実践力を高め、安心・安全な医療の提供と、入院から退院後の生活までを見据えたチーム医療の展開を目指していきたいと思っております。

## 6 階病棟（血液内科・総合内科・腎臓内科）

6 階病棟師長 本田 由佳理

### 職員数

総数 43 名

正看護師 37 名

看護補助者 5 名

准看護師 1 名

### 認定・資格取得など

氏名	認定・資格・終了
本田由佳里	認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講修了 重症度、医療・看護必要度指導者研修修了 がん化学療法看護認定看護師取得 沖縄県緩和ケア研修修了
金城隆也	学会認定アフエレーシスナース 実習指導者研修受講修了 重症度、医療・看護必要度指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 認知症ケア加算II対象
呉屋友美	新人職員研修実施指導者研修受講修了証習得 重症度、医療・看護必要度指導者研修修了 呼吸療法認定士 沖縄県緩和ケア研修修了
山城由衣	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 呼吸療法認定士研修修了
知念真名美	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 呼吸療法士認定士取得
上原拓也	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 認知症ケア加算II対象
平良ゆかり	実習指導者研修修了
玉木夕菜	実習指導者研修修了
宮城杏子	実習指導者研修修了
宮里瀬奈	呼吸療法認定士取得
外間勝貴	沖縄県緩和ケア研修修了

### 業務実績

#### 月平均入院患者状況

新規入院患者数 68.5 名

在院日数 18.2 日

病床利用数 41.8 床

#### 化学療法件数

約 700 件

#### 骨髄移植件数

造血幹細胞移植（臍帯血）： 9 件

末梢血幹細胞移植（自家移植）： 2 件

造血幹細胞採取（同種移植）： 6 件

骨髄バンク採取： 7 名

### 活動実績

#### 院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
リフレッシュ研修	沖縄看護協会	南風原町	2019年5月15日・ 22日・29日	古謝瑞穂、比屋根亜美、 森根美穂
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	沖縄看護協会	南風原町	2019年5月17日	本田由佳理

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
急性期病院で実現した身体抑制のない看護に取り組んで	沖縄看護協会	南風原町	2019年5月23日	上原拓也、島袋美帆
地域包括ケアシステム推進の取り組み	沖縄看護協会	南風原町	2019年6月12日	平良ゆかり
看護実践能力を育てる	沖縄看護協会	南風原町	2019年6月22日	本田由佳理
効果的なプレゼンテーション技法を学ぼう	沖縄看護協会	南風原町	2019年7月1日	大宮那保
がん看護Ⅰ(がん看護概論・放射線療法看護)	沖縄看護協会	南風原町	2019年7月6日	真境名美鈴
認知症ケア加算2対応研修	沖縄看護協会	南風原町	2019年7月18日 ～19日	上原拓也
リーダーシップ研修Ⅱ	沖縄看護協会	南風原町	2019年7月23日	山城由衣、金城裕太
認知症ケア加算2対応研修	沖縄看護協会	南風原町	2019年8月6日～ 7日	知念真名美
がん看護Ⅱ(化学療法・症状マネジメント・がん性疼痛ケア)	沖縄看護協会	南風原町	2019年8月20日	村吉拓馬
自己表現が楽になるアサーションスキル	沖縄看護協会	南風原町	2019年8月23日	島袋美帆
看護の本質(看護実践知)	沖縄看護協会	南風原町	2019年9月7日	比嘉まり、與那嶺果林
コンピテンシ-モデルを活用した看護管理	沖縄看護協会	南風原町	2019年9月13日	呉屋友美
ミッションマネジメントと組織開発	沖縄看護協会	南風原町	2019年9月14日	金城隆也
がん看護Ⅲ(末期がん患者のスピリチュアルケアと家族ケア)	沖縄看護協会	南風原町	2019年10月4日	比嘉アンナ
リーダーシップ研修	沖縄看護協会	南風原町	2019年10月17日	仲村渠恵理子
ケアの受け手を周囲の人への意思決定支援	沖縄看護協会	南風原町	2019年10月31日	城田英里奈
コンフリクトマネジメント研修	沖縄看護協会	南風原町	2019年12月21日	木村有希
思考力を伸ばす指導法	沖縄看護協会	南風原町	2019年12月8日	呉屋友美
沖縄県緩和ケア研修	ハートライフ病院	中城村	2020年1月18日	比嘉哲也
ELNEC-J コアカリキュラム	県立中部病院	うるま市	2020年1月31日	外間勝貴
ELNEC-J コアカリキュラム	県立中部病院	うるま市	2020年2月1日	外間勝貴

## 年度総括

血液内科病棟では、血液疾患患者の治療のほかに骨髄移植やドナー採取など施行しており、年々対象患者が増え集学的治療や経過によっては入院が長期化しています。病状の進行と共に治療の効果が思うように得られず急変する場合も少なくありません。私たち看護師は急変のおそれを念頭に、できるだけ患者に寄り添いながら安全で安心してもらえるようなケアが提供できるよう日々努力しています。

今年の病棟目標は安全・人材育成・業務改善を挙げました。安全については、デイパートナー方式でケアの質を上げ、患者目線での医療安全を実践すること、人材育成では血液疾患看護のスキルアップ体制の確立や部署リーダーの育成を、また業務改善では働きやすい職場環境づくりを目指して取り組んできました。年々増加する骨髄移植の患者さんや化学療法で長期入院を強いられる患者さんへの対応は、高度な看護技術とスキルが求められます。看護師や医療従事者1人ひとりの確かな技術と多職種連携によるアプローチが治療の成否に大きくかかわってきます。きめ細やかな観察に基づく看護計画、看護診断で個々に合わせた治療の介助、さまざまな背景を持つ患者さん一人ひとりの精神的なサポートができるよう努力を重ねています。さらに今年度は部門の大きな取り組みでもある入退院支援にも力を注ぎました。担当看護師を中心に患者さんの退院後の生活について多職種で話し合われる機会が増えました。入院から退院までのゴール、退院後の目標が明確かつ患者、医療者双方で共有できると、入院の長期化を抑えることにもつながり、何より患者さんが安心して療養生活を送れるようになります。次年度に向けても継続して取り組みます。また安全面ではこれまで課題であった内服管理について取り組みを始めました。次年度には一定の成果を上げるべく注力しているところです。今後も日々の業務の中から課題を見出し、業務改善を進めながら安全な看護の提供、患者に寄り添う看護を継続していきます。

## 7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科）

7 階病棟師長 島袋 すが子

### 職員数

総数 42 名

正看護師 36 名

准看護師 1 名

看護補助者 5 名

### 認定・資格等

氏名	認定・資格・修了
島袋すが子	慢性心不全認定看護師 認定看護管理者ファーストレベル修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
花城優子	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了 新人看護職員研修実地指導者研修修了
伊佐友美	第 5 回院内緩和ケア研修会 2017 修了
宮城久美子	下部尿路機能障害の治療とケア研修修了 11386 コンチネンスセミナー初級コース課程修了
當眞さゆり	栄養サポートチーム専門療法士認定 認知症対応力向上研修修了
東江幸恵	第 4 回院内緩和ケア研修会 2016 修了
新城依里	認知症ケア加算Ⅱ対応研修修了
宮城秀成	リハビリ緩和加算研修修了 第 2 回院内緩和ケア研修会 2014 修了
宮城梨乃	認知症ケア加算Ⅱ対応研修修了 新人看護職員研修実地指導者研修修了
松原賛美	2019 年呼吸療法認定 BLS (AHA) 修了
城間ゆずき	第 63 回新おきなわ ICLS コース修了 認知症ケア加算Ⅱ対応研修修了
松田沙衣可	コンチネンスセミナー初級コース課程修了
宮城穰	認知症対応力向上研修修了

### 業務実績

#### 月平均入院患者状況

新規入院患者数：103 人

病床利用数： 49 床

重症度・医療・看護必要度：46%

### 活動実績

#### 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
心不全終末期患者の意思表示から見たより最後について	日本心臓リハビリテーション学会	大阪	2019 年 7 月 13 日～14 日	宮城梨乃
病棟看護師と循環器医師の心不全患者に対する 緩和ケアの認識	日本心臓リハビリテーション学会	大阪	2019 年 7 月 13 日～14 日	島袋すが子
クリニカルパス活用に 向けての活動報告	第 20 回日本クリニカルパス学会学術集会	熊本	2020 年 1 月 17 日～18 日	知念隼軌

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
フレッシュマン研修	看護協会	南風原町	2019年5月15日・22日・29日	米須かずみ、座喜味夢奈、知念瑠香、下田ひなの
フレッシュマン研修 ～先輩からのメッセージ～	看護協会	南風原町	2019年5月29日	城間ゆずき
看護補助者の活用促進のための看護管理者研修	看護協会	南風原町	2019年5月17日	島袋すが子
急性期病院で実現した身体抑制のない看護に取り組んで	看護協会	南風原町	2019年5月23日	新城依里
地域包括ケアシステム推進の取り組み	看護協会	南風原町	2019年6月12日	新城依里
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	看護協会	南風原町	2019年7月18～19日	新城依里
リーダーシップI	看護協会	南風原町	2019年10月17日	城間ゆずき、新垣寛人、知念美樹

2019年度総括

呼吸器・循環器内科を主科とする当部署は肺炎で入院する患者さんが最も多く、次いで心不全、尿路感染症と続きます。どちらも高齢者に多い疾患で入院患者の約85%を60歳以上が占めます。

業務実績では、新規入院患者数、病床利用数ともに前年度を上回ることが出来ました。科の特性上、新規の入院は救急来院しICU、HCU経由で転入する患者さんがほとんどです。他には化学療法、気管支鏡・睡眠時無呼吸検査、アブレーションを含む心臓カテーテル検査・治療、経皮的血管形成術などを中心に白内障手術やポリペクトミーなど専有科以外の患者さんも積極的に受け入れています。

2019年度の病棟目標は、主な疾患、症状とスタッフの強み・弱みを分析し、「安全」「患者サービスの向上」「スタッフ教育」と設定しました。

安全面では、NSTが中心となって『褥瘡を発生させない』を目標に業務改善を行いました。栄養改善に向けての取り組み、除圧法の写真を提示する、アンダーラップを用いるなど新しい手法を取り入れ褥瘡悪化の防止に努めることが出来ました。また安全の視点から認知症やせん妄症状に対して、抑制のアセスメントとスタッフ間の情報共有を徹底することで、高齢者の転倒を減らすことができました。上半期は転倒後の骨折を含めレベル3以上のインシデントが7件発生しました。事例ごとに分析、対策を重ね、下半期は2件に抑えることができましたが、危険予知能力向上をはじめ更なる取り組みの必要があります。

患者サービスの点では、介護度の高い患者さんが増えたことで安全を最優先にする現場には、身体拘束の判断、ケアに関するニーズやスタッフの対応に対する様々なご意見が寄せられます。接遇の向上を含め、人員配置の検討も必要と考えます。

教育面においては昨年立ち上げた呼吸器・循環器プロジェクトチームの強化を目指しました。産休や退職などで複数のスタッフが入れ替わり計画通りとはいきませんでした。3演題の学会発表を実現しスタッフのモチベーション向上につなげることができたと考えます。

また、下半期力を入れたのが超過勤務対策です。モーニングカンファレンスの速やかな開始、注射担当を配置するなど業務改善に取り組み成果を得ました。今後も継続しスタッフ育成、サービスの向上に繋げていこうと思います。厳しい現場だからこそ患者、スタッフが和やかでいられるよう次年度も環境づくりに励みます。

## 内視鏡センター

内視鏡センター師長代行 喜屋武 香織

### 職員数

総数	21名（看護部所属）
看護師	14名
准看護師	3名
助手	4名

### 認定・資格など

名称	認定・資格・修了
喜屋武 香織	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
渡久山 すえの	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
宮城 愛子	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
上江洲 さやか	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅱ
大城 敦	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
入与那国 好美	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
照屋 あづさ	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅱ
伊佐 杏澄	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
知花 幸子	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅱ

### 業務実績

#### 上部内視鏡検査

11,583件

#### 大腸内視鏡検査

3,170件

#### ERCP

168件

#### 気管支鏡

65件

詳細な検査・治療実績は「内視鏡センター」をご覧ください。

### 研究業績

#### 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
上部内視鏡検査における咽頭麻酔法の工夫	九州内視鏡技師研究会	福岡県	2019年5月26日	大城 敦
効果的なモビブレップ服用を目指して-アンケートを通して分ったモビブレップ服用の実態-	院内研究会	当院	2019年11月8日	宮里かおり

## 活動実績

### 院内・院外研修実績

名称	主催	開催地	開催年月日	参加者
内視鏡洗浄管理システム	A S P	当院	2019年5月13日	喜屋武、渡久山、大城、照屋、宮城、松本、坂元
抗凝固剤新ガイドライン	D r . 折田	当院	2019年5月30日	喜屋武、渡久山、上江洲、大城、前田、伊佐、宮城、足立、西改、松本、坂元、小嶺、幸地
糸付きクリップ方法	トップ	当院	2019年6月17日	喜屋武、渡久山、上江洲、大城、入与那国、照屋、伊佐、宮城、足立、松本、坂元、西改
コンベックスEUS超音波内視鏡	オリンパス	当院	2019年6月18日	喜屋武、渡久山、上江洲、前田、入与那国、照屋、伊佐、宮城、宮里、足立、西改、松本、坂元、小嶺、幸地
超音波内視鏡の洗浄方法	オリンパス	当院	2019年6月25日	喜屋武、渡久山、上江洲、大城、前田、照屋、伊佐、宮城、宮里、足立、西改、松本、坂元
回転式スネアシュアリフター内視鏡局注針	ボストン	当院	2019年7月2日	渡久山、上江洲、大城、入与那国、照屋、伊佐、宮城、宮里、足立、西改、松本、坂元
特殊内視鏡の洗浄マルチスコープ	オリンパス	当院	2019年7月29日	喜屋武、渡久山、上江洲、大城、入与那国、照屋、伊佐、宮城、宮里、足立、西改、松本、坂元
スケルトンによる内視鏡スコープの構造・取り扱い・故障予防	オリンパス	当院	2019年8月27日	喜屋武、渡久山、上江洲、大城、前田、入与那国、照屋、伊佐、宮里、足立、西改、松本、坂元
バスケット鉗子の使用方法	ボストン	当院	2019年10月2日	喜屋武、前田、入与那国、照屋、宮里、足立、西改、松本、坂元、小嶺、幸地
モビプレップ	E Aファーマー	当院病棟合同	2019年10月4日	喜屋武、上江洲、前田、入与那国、照屋、伊佐、宮城、宮里、足立、西改、松本
手指衛生	宮城	当院	2019年11月25日	喜屋武、上江洲、大城、入与那国、照屋、伊佐、宮里、足立、松本
ERCP処置具の勉強会造影チューブパピロトミーナイフ	ボストン	当院	2019年12月18日	喜屋武、上江洲、大城、入与那国、照屋、伊佐、宮里、足立、松本
ERCP講習会	D r . 仲舛	当院	2019年1月16日	喜屋武、上江洲、前田、入与那国、照屋、伊佐、宮里、足立、西改、坂元
糸付きクリップ	トップ	当院	2020年1月23日	喜屋武、上江洲、大城、前田、入与那国、伊佐、宮里、足立、西改、松本、坂元

## 年度総括

今年は上部内視鏡検査が5診体制から6診体制となったことで検査件数が増加し、目標11,000件に対し11,583件という結果でした。大腸検査については目標3500件に対し実績3,170件と達成には至りませんが、通年では波があり設定枠に入りきれない時期もありました。そうした中で結果を出せたのは、スタッフ一人ひとりが時間管理を意識して行動、業務を補完し合えたことが大きく影響しています。

検査件数の増加に伴い、機器類の管理が重要になってきます。各スタッフへ取り扱い、点検方法の勉強会を都度実施、先端保護カバーの導入などで、前年度14件だった故障件数を8件に減らすことができました。機器管理と並んで感染管理も重要な業務です。今年は洗浄回数を40回と決めて毎回培養検査に提出し、濃度が基準値をクリアしているのかチェックを行い、毎月のデータを集計してグラフ化し、1年間の濃度の推移を参考に濃度チェックのマニュアル化を進めてきました。今後も継続して取り組みます。

部署の安全管理については、インシデント0件目標に対して41件あり、19件は検査関連でした。それ以外のトラブル件数は22件でした。0レベル9件、1レベルが26件、2aレベルが4件、2bレベルが1件、3aレベルが1件でした。検査関連の内、機器に関するインシデントが6件発生、取り扱いによるものがほとんどで対策、立案し取り組んでいるところです。次年度は0レベルの報告を増やし、またKYTの意識を高め、安全に業務に取り組めるよう努めます。

人材育成、教育関連では、内視鏡技師研究会の発表を行いました。部署で毎月実施している内視鏡技師試験問題を中心とした学習の継続、医師に講師を依頼した勉強会の開催、院内研究発表会に関連した病棟との合同勉強会の開催など、学習面でも充実した一年だったと振り返ります。このモチベーションを保ちつつ、次年度も、業務体制をしっかり整え、感染管理・安全管理を強化し、質の高い看護を提供できるように、スタッフ一丸となって、取り組んでいきます。

## 看護部 年度総括



看護部長  
古波倉 美登利

2019年度目標は①安全行動の実践と向上、②患者サービスの向上として入退院支援の充実、③人材育成として目標管理の実践の3点を達成すべく具体的な課題を9項目掲げて取り組みました。

毎年医療安全を目標に掲げている中で、2019年度は基本ルールを遵守する安全行動の実践と前年度掲げた分析・対策・実施・評価を踏まえた安全行動の向上に取り組みました。インシデントの中でも例年割合を多く占める内服関連では、ヒューマンエラーに起因するインシデントが多く、やはり基本ルールを遵守する安全行動の実践が最も重要と考え5Rを徹底しました。また安全行動の向上では、安全担当師長の介入による内服管理BOXの見直しを開始しました。この取り組みは1病棟を対象に実施・評価しながら全病棟に進めていく予定で、次年度も継続した取り組みを行い、結果を出していきたいと考えています。

患者サービスの向上では、入退院支援の充実を図る取り組みとして、前年度末に各病棟に配置した入退院支援看護師の活動を本格的に開始させました。委員会を立ち上げ入退院支援室看護師とのスムーズな連携を図る仕組み作りや情報共有、また、入退院支援室看護師の病棟カンファレンスへの参加など支援に向けた活動に取り組みました。今後、更なる活動の充実や拡大を見据え、入退院支援室の人員確保や管理者の配置を次年度の取り組みとし対応していきます。

人材育成については、近年定着している年間の研修計画に準じ師長会や主任会を中心に進めました。看護部主催の院内研修は、年間約50回開催され多くのスタッフが参加しました。また、それぞれの分野で学会発表や院外研修への参加も多数あり、学習する機会への参加が全体として定着してきています。この状況を維持しつつ今後取り組むこととして、研修で得た知識・情報を自身あるいは部署へ活かしていく実践力を高めることが課題です。これには目標管理が鍵となるので、個人が目標を掲げ努力することに加え管理者の関わりが重要です。次年度は目標管理の強化を柱に人材育成に取り組む予定です。

新人育成に関しては、4月に24人の新人看護師が入職し、主任会主導で各病棟のプリセプターを中心に新人教育に携わった結果、1人も脱落することなく1年間の研修プログラムを修了する事ができました。また、専門性を高める場として提供されているのが認定看護師による領域研修、現場指導や委員会での関わりです。新たな活動では、緩和ケア認定看護師による外来患者への関わりや診療看護師を中心としたアセスメント研修などです。年々新人看護師採用の応募数も増え離職者率は少しずつ減少しておりますが、働きがいのある職場づくりを継続して取り組みWLBの改善を図りながら安全で質の高い看護の提供に務めて参ります。

## 医療技術部

### 部門紹介

医療技術部門は放射線科、臨床検査科、臨床工学科、栄養科、薬局、リハビリテーション科の6部署で構成され、チーム医療の一員として各診療科と連携し、それぞれ専門の有資格者が検査・治療及び機器管理の様々な面から診療をサポートしています。

## 各部署概要・実績

### 放射線科

放射線科 技師長 石原 悟

2019年度は4月に既卒技師1名、新人技師1名、臨時1名を採用し一般撮影、ポータブル、X線透視検査と、2020年度4月からの当直業務に向け教育・トレーニングを行っています。これまでにX線透視装置や骨塩装置・デンタル・パノラマ装置の増設を行ってききましたが、今年度はスタッフの増員が認められ臨時職員が本採用となり技師総数が20名になりました。当院の特徴として技師の半数近い8名が女性技師でマンモグラフィ検査は全て女性技師で対応するため2年目以降にはマンモ認定の資格取得の支援も積極的に行っています。

また人間ドック、検診業務では更に精度を高めるため順次、胃がん認定技師の育成も進めていきます。

全スタッフのスキルアップのため、毎月ローテーションによる担当技師の朝の勉強会の開催と院内・院外での勉強会への積極的な参加も行っています。設備に関して今年度は手術室の外科用イメージの入れ替えと、四肢に特化した整形外科用イメージ装置を新規導入し四肢の手術で欠かせない高画質で低被ばくの機器を採用し、患者さんにも術者にも優しく治療成績の向上にも寄与しています。次年度はRI装置(ガンマカメラ)と西館の救急一般撮影装置、人間ドック一般撮影装置の入れ替えと、人間ドック・救急・ICU・OR・ポータブル装置のCRからDR(FPD)への更新に向け、準備を行っています。



整形外科用イメージ装置

## 職員数

### 総数

21名

### 職種別

診療放射線技師 20名

助手 1名

## 認定・資格

氏名	名称
宮城 竜也	基準撮影認定員
	胃がん検診専門技師
仲座 義富	アドバンス診療放射線技師
	第一種衛生管理者
	衛生工学衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
大城 盛寛	アドバンス診療放射線技師
	医用画像情報管理士
	核医学検査技能検定3級
与古田 拡	アドバンス診療放射線技師
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者

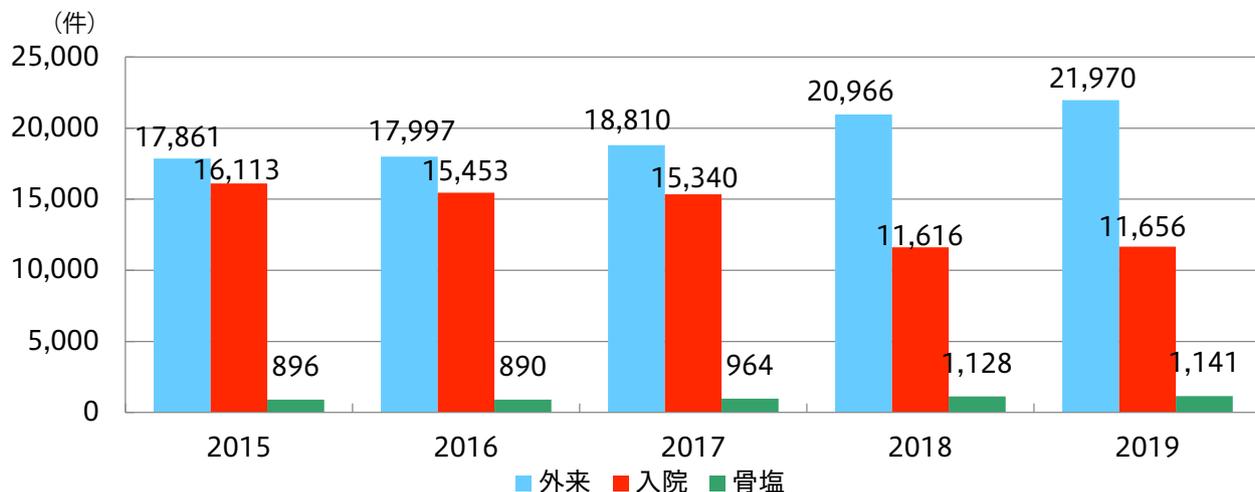
氏名	名称
松田 優二	X線CT撮影認定技師
	Ai認定放射線技師
	画像等手術支援認定放射線技師
	第一種衛生管理者
	エックス線作業主任者
ガンマ線透過写真撮影作業主任者	
新垣 弘扇	検診マンモグラフィ認定技師
津波 麻利子	アドバンス診療放射線技師
	検診マンモグラフィ認定技師
新垣 千登勢	検診マンモグラフィ認定技師
程岡 美貴	検診マンモグラフィ認定技師
出津 利恵	検診マンモグラフィ認定技師
	X線CT撮影認定技師
	Ai認定放射線技師
宇江城 彩香	検診マンモグラフィ認定技師
島尻 豊久	胃がん検診専門技師

## 運営方針

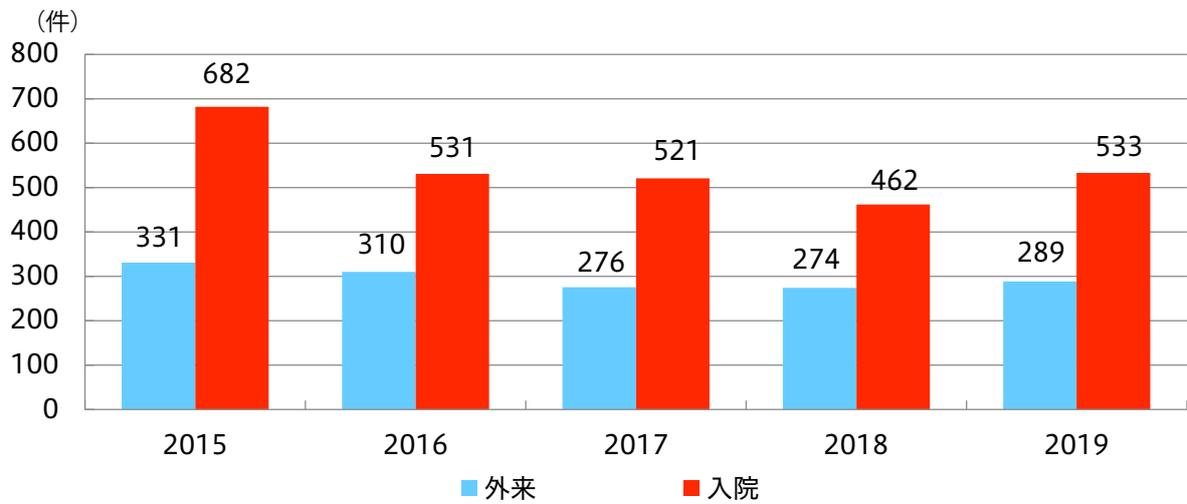
1. 患者さんの医療被ばく低減
2. 患者さんが安心して検査を受けられるためのインフォームドコンセント
3. 技師の技術向上
4. 安全な検査のための機器保守点検

## 検査・治療実績

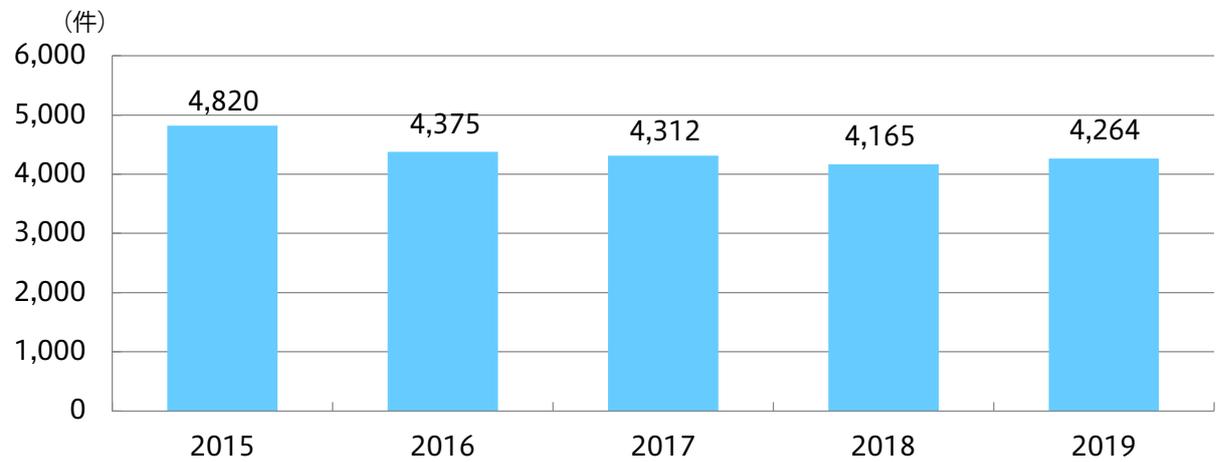
### 一般撮影



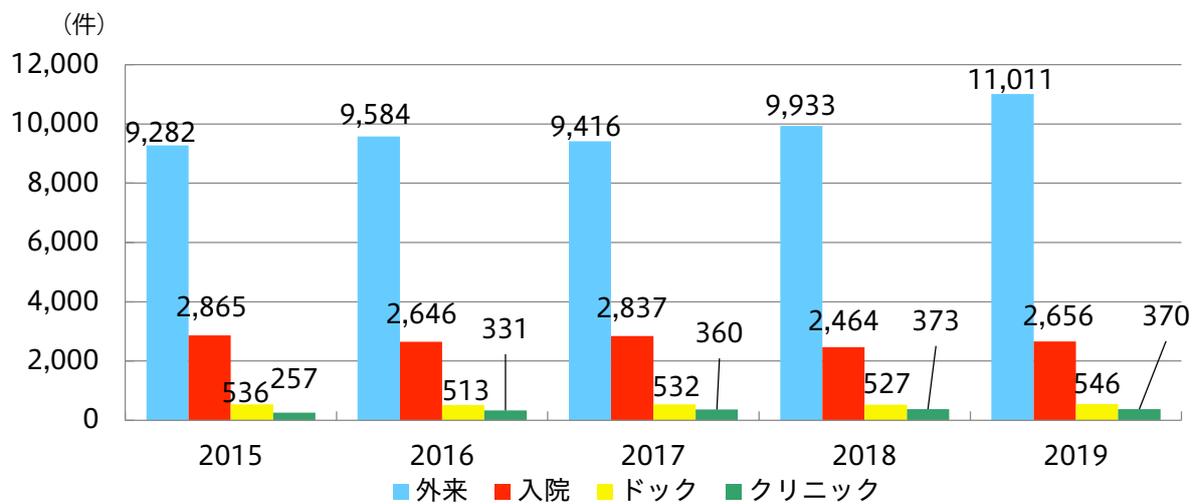
透視検査



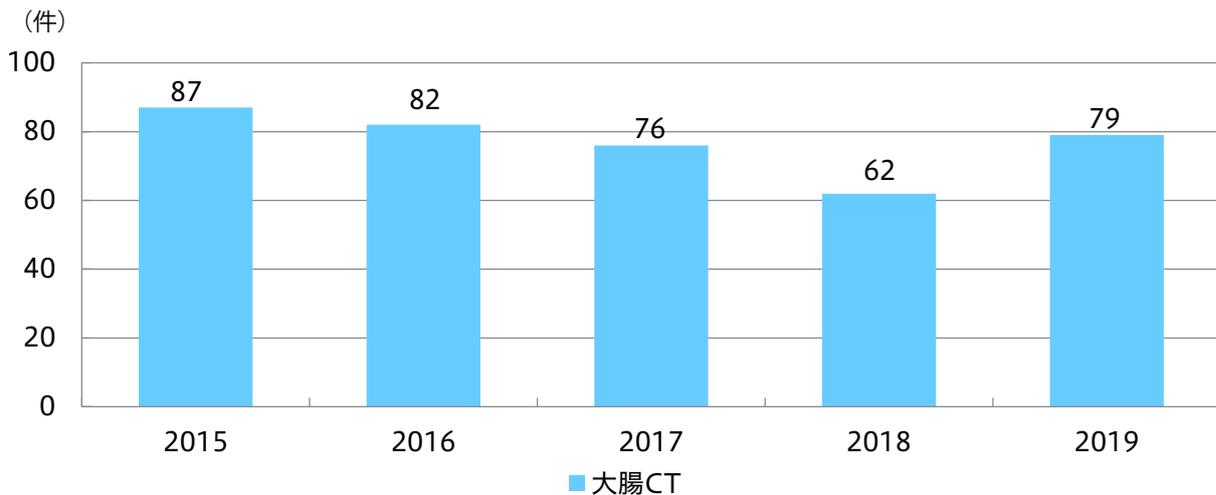
透視検査 (人間ドック)



CT検査



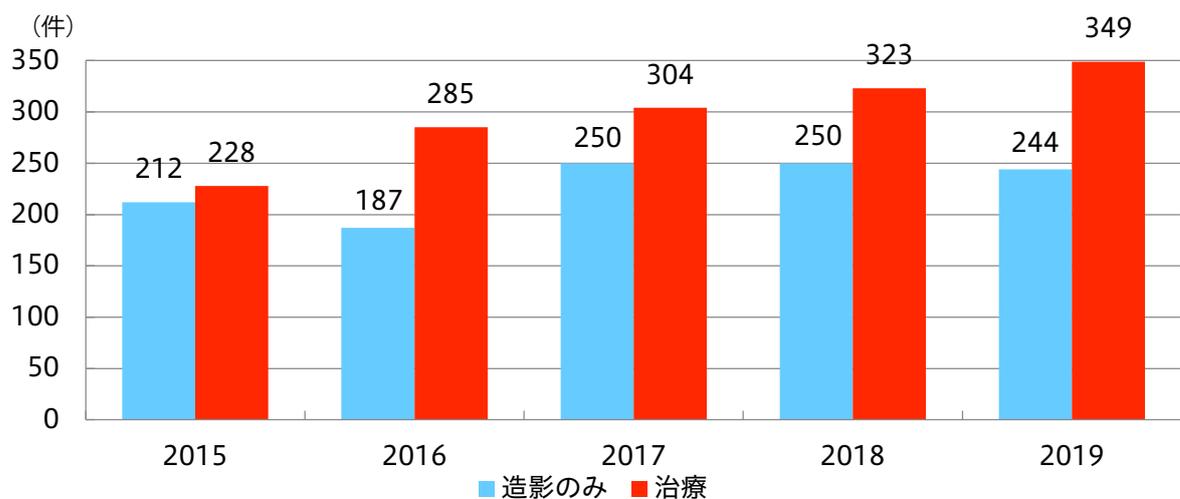
### 大腸 CT



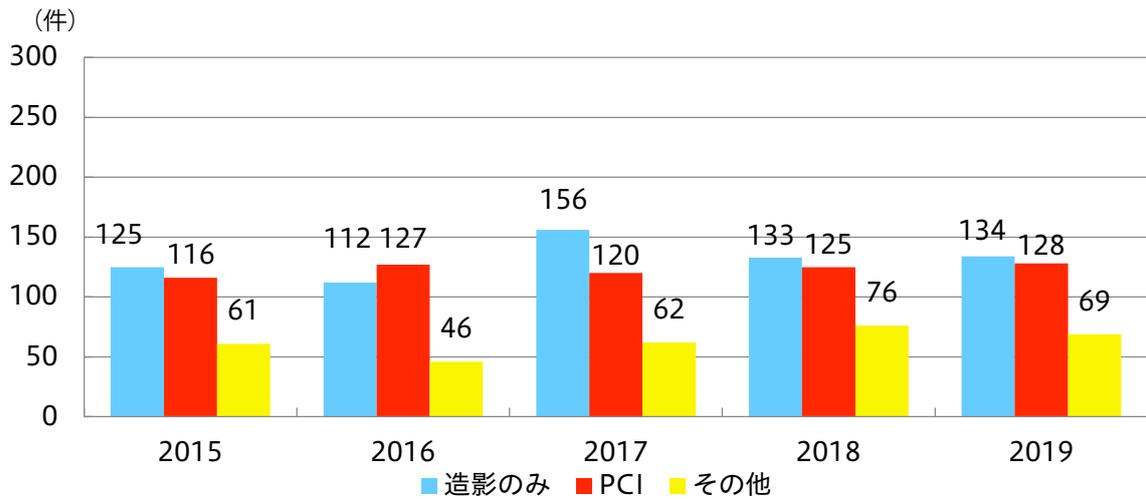
### 冠動脈 CT



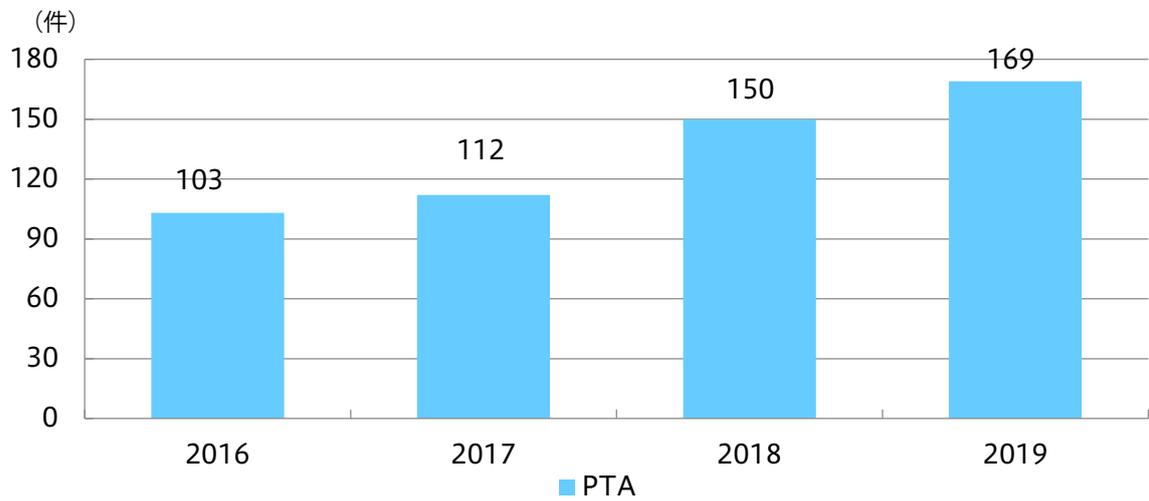
### angio 総計



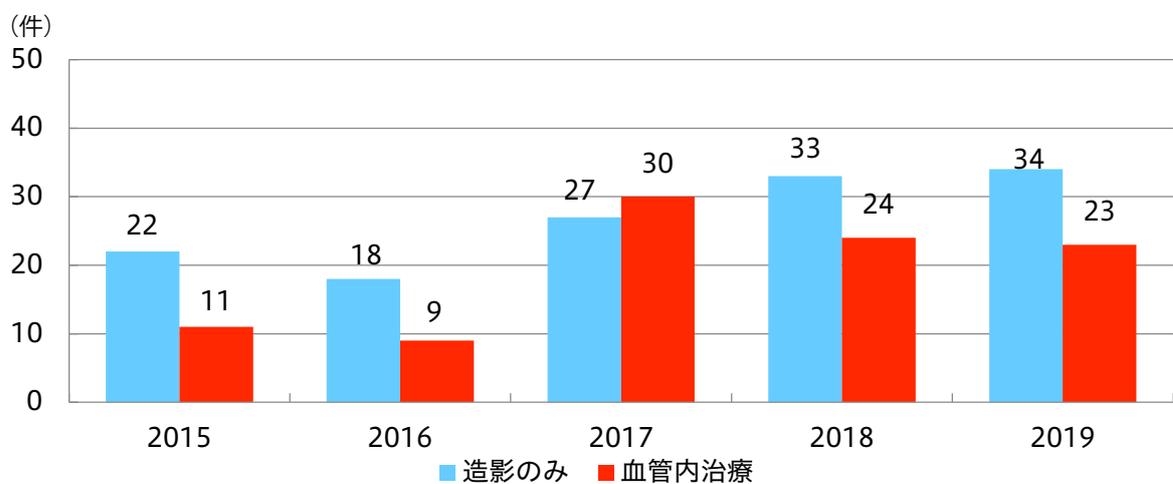
### 心臓カテーテル



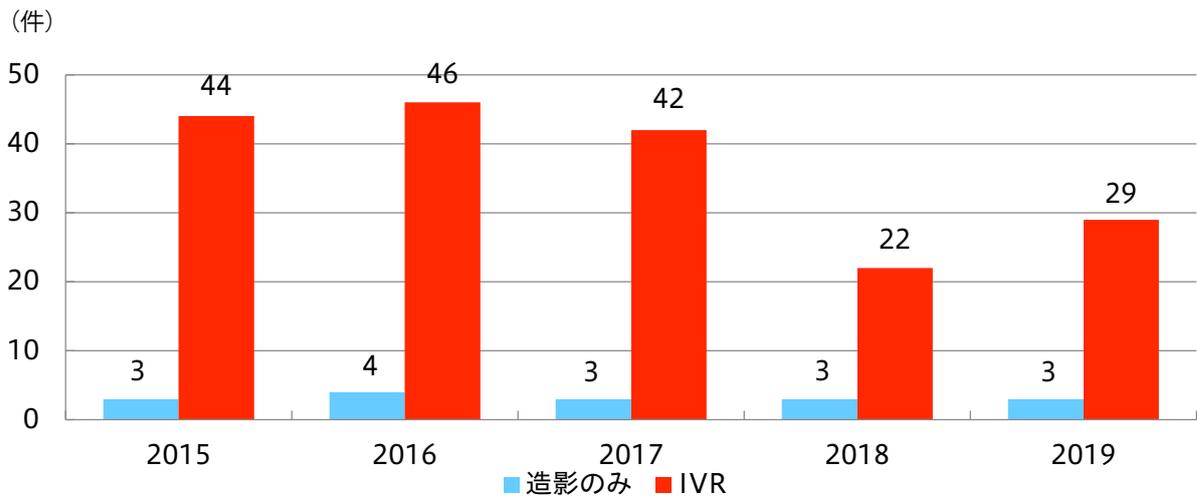
### 四肢 PTA



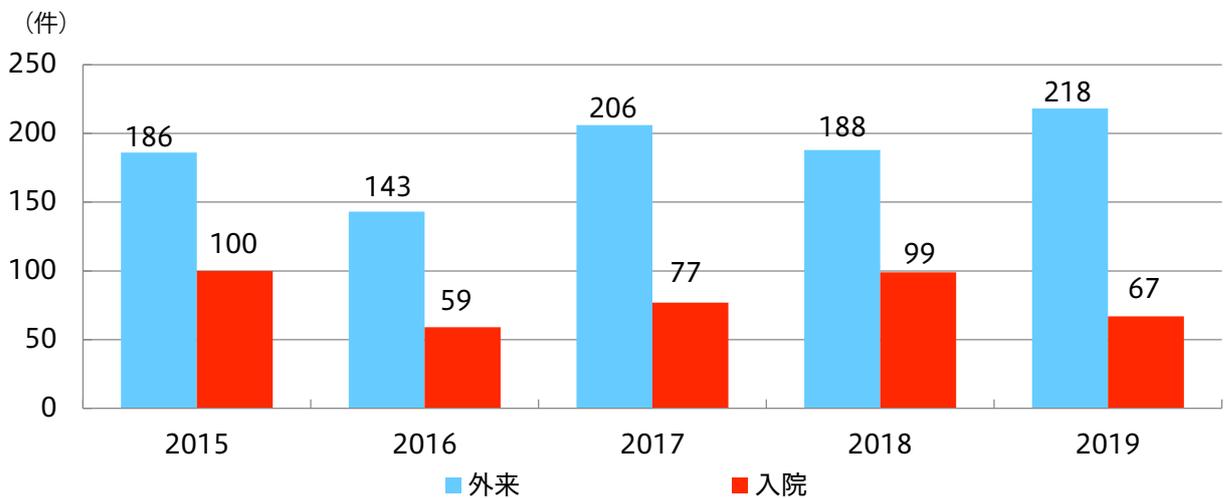
### 脳アンギオ



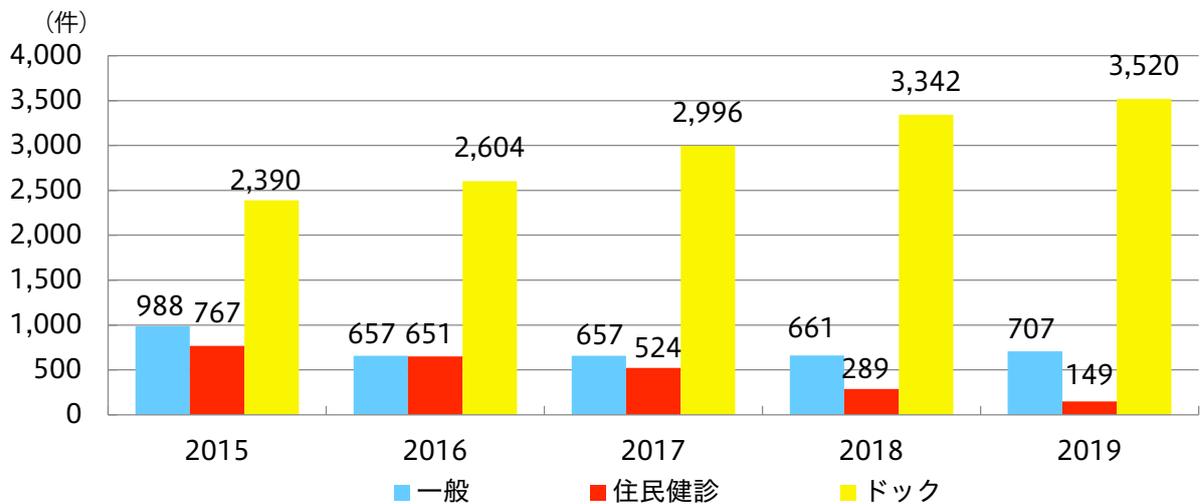
### 腹部アンギオ



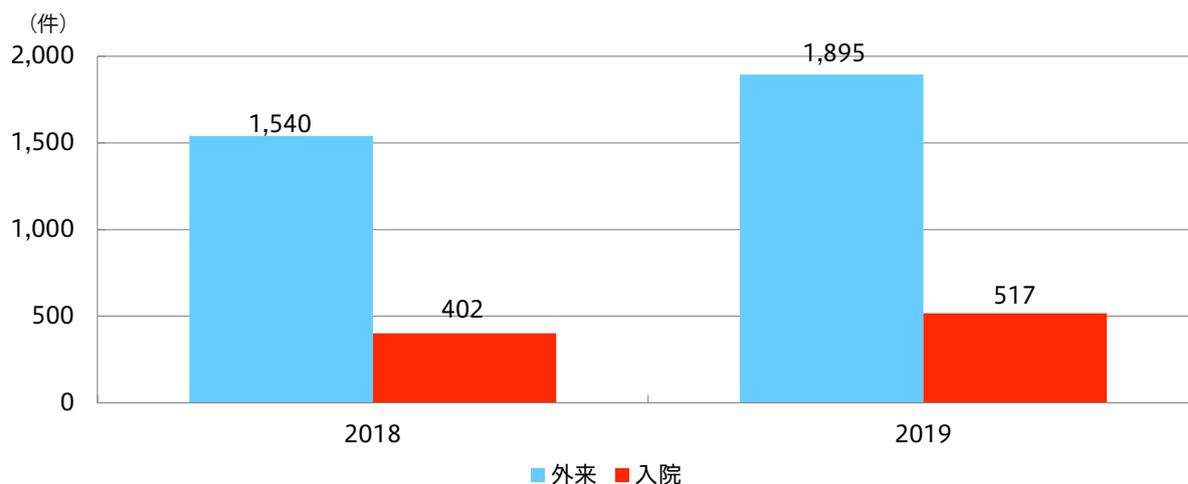
### RI 検査



### マンモグラフィ検査



## 3T-MRI



## 研究業績

## 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者研究者
CS SENSE 導入の効果とアーチファクト対策	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	恩納村 (OIST)	2019年5月19日	大城 盛寛
人間ドックで撮影したマンモグラフィー読影を見直して	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	恩納村 (OIST)	2019年5月19日	津波 麻利子
アナフィラキシーショック時の急変対応合同訓練について	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	恩納村 (OIST)	2019年5月19日	東金嶺 裕太郎
ステレオガイド下マンモトーム生検結果の検討	第27回日本乳癌学会学術総会	東京	2019年7月11日	程岡 美貴
人間ドックで撮影したマンモグラフィー読影を見直して	第60回日本人間ドック学会学術大会	岡山県	2019年7月25日	津波 麻利子
アナフィラキシーショック時の急変対応合同訓練について	全日本病院学会	愛知県	2019年9月28日	松田 優二

## 活動実績

## 院外勉強会

演題名	勉強会名	開催地	日時	発表者
胃がんの基礎	消化管撮影研究会 銀杏会	ちばなクリニック	2019年5月24日	島尻 豊久
感染について	診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー	南部医療センター	2019年5月26日	与古田 拡
ポータブル撮影における各施設グリッド使用状況	沖縄医用画像技術研究会	南部医療センター	2019年7月20日	島尻 豊久
大腸CTについて	沖縄県技師会学術セミナー合同企画	南部医療センター	2019年8月17日	松田 優二
マンモグラフィー初学の基礎	放射線技師の為の勉強会	南部医療センター	2019年9月5日	程岡 美貴
広義における脳卒中	放射線技師のための勉強会	南部医療センター	2019年11月29日	石原 悟
放射線シンポジウム	放射線技師のための勉強会	南部医療センター	2019年11月29日	島尻 豊久

研究会等

開催名	セッション名	開催地	日時	司会・座長
沖縄銀杏会 30 周年記念講演会	沖縄銀杏会 30 年のあゆみ・特別講演	産業支援センター	2019 年 11 月 16 日	宮城 竜也
沖縄銀杏会	進行	中部地区医師会	2020 年 1 月 24 日	津波 麻利子
なんくるないさ MRI	司会	ハートライフ病院	2020 年 2 月 21 日	大城 盛寛

院内勉強会

演題名	勉強会名	開催地	日時	発表者
胸部レントゲンについて	医療技術部勉強会	当院	2019 年 7 月 1 日	上里 将司
左心不全と右心不全の違い レントゲンの見方	慢性心不全領域別研修会	当院	2019 年 9 月 13 日	仲座 義富
アナフィラキシーショック時対応合同訓練について	院内研究発表医技部予選会	当院	2019 年 10 月 16 日	宇江城 彩香
細菌性肺炎とウイルス性肺炎の違い 抗菌剤の効果	呼吸ケアチーム	当院	2019 年 10 月 14 日	仲座 義富
アナフィラキシーショック時対応合同訓練について	かりゆし会研究発表会	当院	2019 年 11 月 8 日	宇江城 彩香

科内勉強会

演題名	日時	発表者
アナフィラキシーショック時対応合同訓練について	2019 年 5 月 1 日	東金嶺 裕太郎
乳房温存療法	2019 年 6 月 1 日	宇江城 彩香
MRI での脳梗塞	2019 年 7 月 1 日	上里 将司
CS SENSE について	2019 年 8 月 1 日	大城 盛寛
肺炎と抗菌剤	2019 年 9 月 1 日	仲座 義富
マンモグラフィーについて	2019 年 10 月 1 日	山城 まどか
透視検査について	2019 年 11 月 1 日	津波 麻利子
頭部 CT 検査の基礎 & 接触感染患者のポータブル撮影手順	2019 年 12 月 1 日	与古田 拓
Trauma - Panscan 大動脈解離心電同期実践編	2020 年 1 月 1 日	出津 利恵
透視室の検査・物品	2020 年 2 月 1 日	程岡 美貴
被ばくのはなし	2020 年 3 月 1 日	島尻 豊久

講習会受講

受講名	業務	開催地	日時	受講者
放射線技師会フレッシューズセミナー	放射線技師の新人教育	南部医療センター	2019 年 5 月 26 日	仲西 優太 仲田 真央 川上 誉世
検診マンモグラフィー撮影技術認定 統一講習会 (技師業務拡大に伴い)	マンモグラフィー更新試験 造影剤注入後の抜針・止血 下部消化管検査のカテーテル挿入	宮城県 南部医療センター	2019 年 6 月 1 日 2019 年 8 月 10 日	新垣 千登勢 仲西 優太
第 24 回診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会	実習施設養成	東京都	2019 年 9 月 5 日	石原 悟
統一講習会 (技師業務拡大に伴い)	造影剤注入後の抜針・止血 下部消化管検査のカテーテル挿入	南部医療センター	2019 年 10 月 19 日	仲田 真央 川上 誉世
医療被ばく低減施設認定取得セミナー	医療被ばく低減施設取得	南部医療センター	2019 年 12 月 15 日	石原 悟 松田 優二 出津 利恵
緩和ケア講習会		ハートライフ病院	2020 年 1 月 18 日	程岡 美貴
検診マンモグラフィー撮影技術認定	マンモグラフィー更新試験	京都府	2020 年 2 月 9 日	津波 麻利子

## 臨床検査科

### 臨床検査科技師長 齋藤 辰好

今年度は①5年後を見据えた人材育成、②医療機器の段階的な更新・導入、③病院規模に合わせた臨床検査業務の構築、④ハートライフクリニックの業務連携の充実、⑤予防医学センターとの業務連携への取り組み、⑥チーム医療の構築の7項を基本方針としました。

人材育成に関しては2名の技師が緊急検査士の認定を取得しています。また微生物分野で新たに1名が資格を取得し認定技師が3名と成りました。各技師が複数分野の業務が出来るように計画を立て訓練し構築をしている最中です。本院業務のみならずハートライフクリニックで分析・採血業務を熟知し突発休や繁忙時でも対応出来るようにしています。また予防医学センターとの業務連携も順調で、技師の相互入れ替えや業務の融合共有化の構築を進めています。

夜間に頭部緊急MRI検査を当直者全員が実施し、何時でも緊急検査(t-PA)に対応し地域救急医療に貢献しています。

心臓カテーテル検査、上肢下肢血管治療検査、アブレーション検査、ラジオ波焼灼治療、細胞診穿刺検査、NST、食道内圧・PH検査、胆嚢穿刺検査、CPC等のチーム医療に積極的に参加しています。

日本医師会、日本臨床検査技師会、沖縄県医師会・技師会の精度管理事業にも参加し良好な結果が得られました。また教育研修を充実させる為、細胞検査士、超音波検査士、血液検査技師、糖尿病療養指導士、緊急検査士の資格取得の支援やスキルアップの助成支援を積極的に行っています。

県内県外大学や教育機関からの長期実習の学生を受け入れる教育システムも構築しています。

### 運営方針

臨床検査は疾病の①診断、②治療方針決定、③予後の判定を左右する重要な情報である。迅速・正確なデータの提供を心がける。

### 職員数

#### 総数

47名

#### 職種別

臨床検査技師	病院	37名	視能訓練士	3名
	予防医学センター	6名	検査科看護師	1名
	クリニック	1名	事務	2名

### 認定・資格

氏名	認定・資格名
齋藤辰好	超音波検査士(4領域)
島袋泰彦	超音波検査士(4領域) 沖縄県地域糖尿病療養指導士 衛生管理者 衛生工学衛生管理者

氏名	認定・資格名
仲松勝彦	超音波検査士(1領域) 衛生管理者
安里奈美	超音波検査士(2領域)
照屋祥子	超音波検査士(2領域) JABTS-A認定技師

氏名	認定・資格名
新垣和史	緊急検査士 認定血液検査技師
森山武志	二級臨床検査士(微生物) 衛生管理者
宮城健	二級臨床検査士(微生物)
伊原美枝子	細胞検査士
北川磨垂邦	細胞検査士
金城奈津子	JABTS-B 認定技師
宮城和歌	JABTS-C 認定技師
宮平優子	二級臨床検査士(免疫血清)
町田絵都	衛生管理者 沖縄県地域糖尿病療養指導士 緊急検査士

氏名	認定・資格名
上地利恵子	JABTS-C 認定技師
大城ゆかり	JABTS-C 認定技師
蔵下かおり	緊急検査士 二級臨床検査士(免疫血清) JABTS-A 認定技師
新垣春香	二級臨床検査士(微生物)
津波古菜々恵	緊急検査士

### 沖縄県 臨床検査技師会 役員

	役職
斎藤 辰好	①沖縄県臨床検査技師会 理事 ②日本臨床検査技師会・九州支部 生理検査部門長
新垣 和史	① 沖縄県臨床検査技師会 血液検査分野 副分野長 ② 沖縄県医師会臨床検査制度管理細胞検査部門 解析委員
森山 武志	① 沖縄県臨床検査技師会 一般検査分野 副分野長

## 研究業績

### 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
当院における尿沈渣検査の内部精度管理の試み	第 55 回 沖縄臨床検査技師学会	沖縄	2019 年 6 月 16 日	津波古 菜々恵
当院で経験した原発性腹腔液リンパ腫(PEL)の1症例	第 55 回 沖縄臨床検査技師学会	沖縄	2019 年 6 月 16 日	新垣 和史
胸水検査を契機に発見された形質芽細胞性リンパ腫(PBL)の1令	第 55 回 沖縄臨床検査技師学会	沖縄	2019 年 6 月 16 日	今畑 友里子
胸部異常陰影で発見された前立腺癌の1症例	第 55 回 沖縄臨床検査技師学会	沖縄	2019 年 6 月 16 日	諸見里 真実
長時間心電図検査(e-ベルト)が有用であった1症例	第 55 回 沖縄臨床検査技師学会	沖縄	2019 年 6 月 16 日	照屋 祥子
当院で経験した形質細胞白血病の1症例	日本検査血液学会沖縄支部第17回学術集会	琉球大学	2019 年 11 月 30 日	新垣 和史
血液学会・座長	日本検査血液学会沖縄支部第17回学術集会	琉球大学	2019 年 11 月 30 日	新垣 和史

### 院内研究発表会

名称	概要	年月日	発表者
追加ラベル発行方法の変更について	院内研究発表会 予選にて発表	2019 年 10 月 10 日	町田 絵都

### 科内勉強会

名称	年月日	発表者
サーモグラフィー検査	2019 年 4 月 11 日	真栄田 奈々子
緊急心電図について	2019 年 4 月 20 日	狩俣 純佳
ロード&ゴーの出庫までの流れ	2019 年 5 月 9 日	長嶺 陽人
免疫グロブリン IgG, IgA, IgM	2019 年 5 月 18 日	仲松 秀美
グラム染色のポイント	2019 年 7 月 11 日	村田 彩乃
妊婦・新生児の輸血検査	2019 年 7 月 20 日	蔵下 恒
急変時 MRI 検査、モニター取り付け方 パート1	2019 年 8 月 8 日	田仲 康彦

名称	年月日	発表者
急変時 MRI 検査、モニター取り付け方 パート2	2019年8月17日	島袋 泰彦
追加検査ラベルの発行方法の変更	2019年9月12日	新里 直子
休日の食道 PH 機器の回収と洗浄	2019年10月10日	仲松 勝彦
CBC の誤差要因と対策について	2019年10月19日	今畑 友里子
イレウス	2019年11月30日	安里 奈美
輸血トラブルマニュアル	2019年12月14日	大城 さゆり
医療安全の基礎知識	2020年1月25日	宮平 優子
血算の読み方 (症例を通して)	2020年2月22日	新垣 和史
ブルガタ症候群	2020年3月21日	我如古 靖

## 検査・治療実績

### 生理検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
心電図	570	525	509	536	539	468	493	456	500	522	537	530	6,185
CVR-R+ECG	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
マスター心電図	9	12	25	12	14	8	6	5	23	14	15	11	154
トレッドミル負荷	2	8	8	6	7	5	5	2	2	4	1	3	53
ホルター心電図	10	19	17	19	12	12	17	18	17	14	14	20	189
ABPM	0	2	3	1	1	0	0	1	0	0	2	3	13
簡易肺機能 (2項目)	74	109	87	99	101	86	90	68	83	96	89	87	1,069
肺機能 (4項目)	14	14	13	16	14	19	20	20	17	16	9	7	179
ABI 測定	23	19	40	40	10	60	65	32	22	28	28	43	410
サーモグラフィー	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
呼気中尿素試験	61	58	66	54	48	55	64	45	47	61	50	47	656
脳波	5	3	6	2	6	3	4	4	2	3	4	4	46
神経伝達速度 (MCV)	9	1	2	8	3	5	1	5	5	1	3	5	48
聴性脳幹反応 (ABR)	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	4
終夜睡眠ポリグラフ	2	4	0	6	3	7	1	3	3	1	2	4	36
心肺運動負荷試験	5	0	5	2	1	1	3	0	1	3	0	0	21
レートポテンシャル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼気中一酸化窒素	43	36	45	46	55	44	53	41	56	51	62	67	599
食道内圧測定	1	6	3	3	2	3	5	1	4	4	1	0	33
食道 PH モニター	2	0	3	4	2	3	3	0	0	1	2	1	21
経皮的酸素ガス分圧	3	0	0	4	1	3	3	1	1	5	1	3	25
皮膚灌流圧測定検査	6	4	6	4	3	2	1	1	1	3	5	2	38
心エコー	257	253	251	241	230	217	229	202	225	260	268	295	2,928
腹部エコー	349	449	353	380	343	297	317	278	314	274	268	283	3,905
泌尿器エコー	109	78	82	93	101	102	133	105	99	121	125	117	1,265
表在エコー	172	112	188	154	197	163	213	175	140	144	166	149	1,973
血管エコー	95	109	111	175	122	122	118	121	117	138	119	103	1,450
胎児エコー	62	54	63	59	67	52	56	57	47	63	64	50	694
経直腸エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経食道心エコー	3	3	3	2	4	4	3	2	2	3	1	3	33
ENOG	1	2	4	4	1	0	0	2	1	1	4	3	23
簡易聴力検査	9	10	7	10	19	7	20	40	8	9	10	17	166
標準聴力検査	45	55	44	41	52	39	45	41	46	49	40	52	549
ティンパノメトリー	37	39	29	30	30	30	29	25	34	39	32	40	394
アブミ骨筋反射検査	2	1	4	4	2	0	1	4	0	2	4	3	27
MRI	221	257	260	263	285	240	270	217	253	237	220	244	2,967

### 病理

病理・細胞検査	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
組織診	363	357	328	412	381	347	409	362	391	368	323	381	4,422

病理・細胞検査	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
細胞診	453	497	711	754	706	679	725	710	794	663	563	537	7,792
剖検	2	0	0	2	1	1	1	2	0	1	1	0	11
迅速組織診	7	3	6	4	1	3	2	5	3	5	8	2	49

血液検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨髄像	18	24	15	15	15	23	23	13	13	16	19	23	217
PBSC 製剤作製 (患者数)	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	21	0	24
PBSC 製剤作製 (作製数)	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	3	0	7
骨髄血漿除去作業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2

細胞調整室 (CPC)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
末梢血幹細胞処理	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3	0	7
骨髄液幹細胞処理	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

科別実績

検体検査 (科別) 入外	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1,492	1,468	1,478	1,577	1,601	1,522	1,651	1,442	1,493	1,491	1,411	1,469	13,657
外科	298	356	336	358	325	295	307	296	343	311	285	360	2,880
整形外科	123	144	118	146	160	139	146	141	137	140	142	146	1,297
眼科	37	40	50	36	31	40	26	43	38	34	26	40	314
透析科	419	440	421	440	441	430	422	425	426	426	462	418	3,890
小児科	107	88	132	130	111	90	92	80	68	105	86	123	885
脳神経外科	8	8	19	12	12	7	17	7	5	10	7	0	77
産婦人科	379	391	390	429	417	360	387	375	402	391	393	412	3,566
耳鼻咽喉科	23	24	30	21	24	17	20	15	33	27	36	21	214
心療内科	3	2	1	5	2	3	4	3	5	3	3	2	30
泌尿器科	466	425	392	440	434	381	460	366	413	401	385	381	3,661
皮膚科	5	4	6	5	8	8	3	1	4	5	5	3	42
麻酔科	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
放射線科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	35	35	46	82	43	39	48	28	59	41	46	48	434
乳腺外科	124	92	100	114	105	90	125	90	94	109	109	100	936
救急科	626	742	714	841	776	1,047	815	648	782	925	724	668	7,226
口腔ケア科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検診科	1,164	1,270	1,549	1,656	1,654	1,441	1,521	1,528	1,592	1,389	1,338	1,270	13,389
(ク) 糖尿病内科	1,065	938	987	1,016	1,010	902	992	979	1,035	987	908	956	8,785
(ク) 内科	511	546	537	550	560	563	567	486	484	590	501	488	4,789
(ク) 小児科	163	188	241	297	238	301	173	85	138	157	178	115	1,682
合計	7,048	7,201	7,549	8,155	7,952	7,675	7,776	7,038	7,552	7,543	7,045	7,020	67,756

病棟実績

検体検査 (病棟)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ICU	153	283	186	169	169	193	241	131	186	196	188	150	2,245
HCU	102	125	122	170	128	125	113	121	145	172	200	125	1,648
東館4・5階病棟	416	422	313	400	398	380	420	291	391	377	394	361	4,563
3階病棟	291	264	280	264	265	290	282	258	268	262	280	289	3,293
4階病棟	346	358	426	427	360	322	404	354	379	378	382	404	4,540
5階病棟	436	446	435	485	410	379	497	381	498	446	447	464	5,324
6階病棟	475	460	449	549	575	604	544	478	529	531	556	659	6,409
7階病棟	425	415	473	468	402	383	432	374	422	410	409	457	5,070
合計	2,662	2,790	2,698	2,946	2,721	2,696	2,949	2,407	2,840	2,787	2,871	2,924	33,291

## 臨床工学科

臨床工学科技士長 野原 剛

2019年4月に既卒1名、新卒2名、計3名の入職者を向かえ総勢16名で業務推進を図る計画でした。ところが「平成」は4月30日で幕を閉じ、5月1日より新年号「令和」へと元号が替わりました。

2つの元号が入り交じった2019年は臨床工学科でも初となる前任の大城技士長の定年退職に伴い10月より新体制によるスタートを切る節目の年となりました。

2019年11月からは「新型コロナウイルス/COVID-19感染症」が発生し世界的に流行する状況になりました。当科でも代謝担当者による透析室前にてゲートコントロール、ゾーニングと感染予防策を徹底し、血液透析患者のCOVID-19陽性患者を出す事はありませんでした。また、ME機器管理担当者もICUの隔離室に医療機器の配置等で貢献しました。実績の詳細は資料をご参照下さい。

### 職員数

総数

16名

職種別

臨床工学士 16名

### 2019年度技士取得ライセンス

名 称	認定資格	主 催	開催地	実施・取得年月日	氏 名
埋め込み型心臓デバイス認定士講習会	埋め込み型心臓デバイス認定士	日本不整脈心電学会	神奈川県	2019年11月17日	兼城 雅

### 理念

臨床工学科は急性期医療としての役割を遂行する為に他部門との連携を密にし、高度な医療技術の提供および機器の保守管理を行い、安心かつ安全な医療の提供を行います。

### 運営方針

1. 良質な診療支援を行うため、組織、業務の改善に努める。
2. 安心・安全で信頼される診療技術の提供に努める。
3. 医療機器の医療事故防止に努める。
4. 高度医療機器の効率的運用と安全性の確保
5. 医療機器の標準化・機種統一を積極的に進める。

## 業務実績

### 【ME 機器管理実績】

- ・ 手術室の医療機器管理業務を開始し、手術室に2人で業務の開拓を開始しました。依頼の増加を認めています。
- ・ 産婦人科の分娩監視装置の分娩件数の増加を鑑み、修理不能分を更新しました。
- ・ 生体情報モニタの更新を3年計画で開始しました。2019年度は、アンテナ工事を本館で行い、電波環境を改善しました。
- ・ モニタリング環境の安全性を向上させることができました。
- ・ 除細動器を更新しました。
- ・ CPAP 外来での導入指導を開始しました。院内での導入のニーズがあり、対応しています。18件の対応がありました。

### 修理依頼・トラブル対応件数について

#### 1. 年度推移

2019年度は、2年連続で600件を超えて管理することができました。



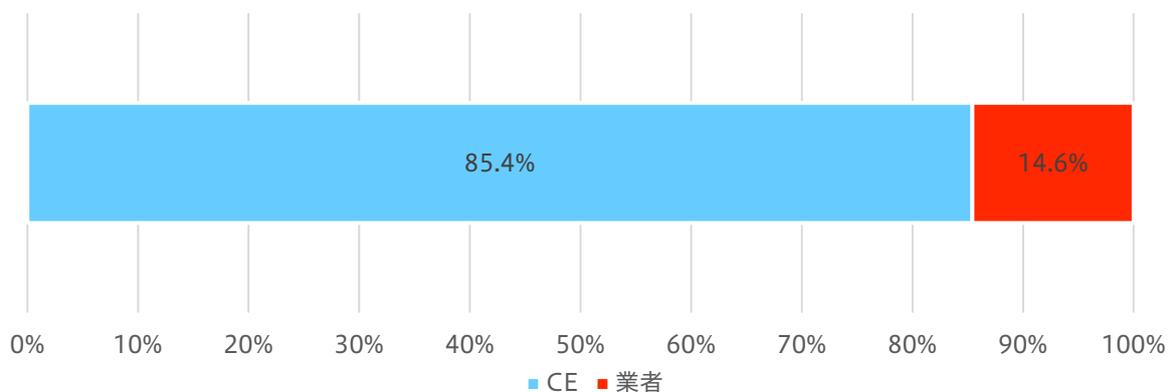
#### 2. 月推移

月に関わらず問い合わせ件数が一定数あり、臨床工学技士の対応が必要であることがわかります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015	42	22	17	19	20	23	35	35	19	27	18	50
2016	24	27	25	36	38	8	20	21	16	9	17	23
2017	3	3	10	36	21	31	41	39	31	37	25	35
2018	44	49	36	49	52	43	44	50	85	67	46	48
2019	45	52	55	56	60	44	70	45	47	45	38	47

### 3. 対応割合

トラブル対応は、85%が臨床工学技士によって行われており、迅速な対応ができました。また、業者委託の場合にも代替えの手配から修理箇所の確認とメーカーへの情報提供、修理完了品の受け取りと納品後の正常動作確認、原因の業務をワンストップで臨床工学技士が行い、現場の負担を減らす努力をしています。



### 4. 発見 / 現場依頼割合

部署依頼による点検は 57%、臨床工学技士の点検により発見された割合は 46%であり、点検により未然に防げていました。現場で不具合が発生するケースは、54%あり都度対応を行いました。

部署		件数
臨床工学科		277
現場依頼 (内訳)	本館 7F	46
	本館 6F	33
	本館 5F	28
	本館 4F	33
	本館 3F	13
	東館 4F	4
	東館 5F	13
	ICU	26
	HCU	18
	手術室 (50)	42
	救急センター (ER)	27
	人工透析室 (31)	4

部署		件数
現場依頼 (内訳)	心臓リハビリ	1
	リハビリテーション科 (76)	10
	外来通院治療室 (32)	4
	中央処置室 (19)	7
	東館アンギオ室 (54)	2
	内視鏡センター (66)	14
	外科・ヘルニアセンター	1
	ハートライフクリニック	1
合計数		604

### 5. 機器別割合

2019年度は、前年度同様、消耗品の対応が多くあった送信機、ベッドサイドモニタの対応も多くなっており、老朽化の影響が大きい結果となった。今年度は、手術関連医療機器の管理を開始したため、件数が増加しました。

分類	機器名	件数(件)
呼吸関連	人工呼吸器	16
	NPPV用	15
	酸素流量計	10
	その他	7
モニタ関連	BSモニタ	41
	送信機	29
	セントラルモニタ	8
	SPO2センサ	38
	ECG誘導リード	25
	血圧測定カフ	11
	中継ケーブル	6
手術関連	麻酔器	25
	電気メス	9
	その他	34
循環器関連	テンポラリー	2
	補助循環装置	2
	手動式圧注入調節装置	1

分類	機器名	件数(件)
周辺機器関連	輸液ポンプ	117
	シリンジポンプ	44
	フットポンプ	39
	手動血圧計	28
	パルスオキシメータ	18
	DRIP EYE	12
	壁掛吸引器	11
	血液ガス分析装置	11
	心電計	7
	ネブライザ	7
	中央貸出エコー装置	5
	保育器	4
	除細動器	3
	ブラダースキャン	3
	検査機器	3
	黄疸計	3
その他	10	
合計		604

### 6. 日常点検集計

#### 人工呼吸器について

点検種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
始業点検	301台/年	364台/年	541台/年	520台/年	543台/年
終業点検	366台/年	436台/年	465台/年	423台/年	409台/年
使用中点検 ラウンド点検	2073台/年 1日平均6.6台	2068台/年 1日平均6.6台	2029台/年 1日平均6.5台	1732台/年 1日平均5.6台	1785台/年 1日平均5.7台

#### ポンプについて

機種	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
輸液ポンプ	2,230台/年 1日平均7.1台	2283台/年 1日平均7.3台	2290台/年 1日平均7.3台	2047台/年 1日平均6.6台	2886台/年 1日平均9.3台
シリンジポンプ	1,385台/年 1日平均4.4台	1579台/年 1日平均5.0台	1387台/年 1日平均4.5台	1389台/年 1日平均4.5台	1445台/年 1日平均4.7台
経腸栄養ポンプ	23台/年	44台/年	35台/年	31台/年	25台/年
フットポンプ	523台/年	568台/年	501台/年	536台/年	747台/年
ドリップアイ	273台/年	310台/年	428台/年	347台/年	400台/年

#### 生体情報モニタについて

生体情報モニタ点検について点検を行い、患者に使用する前に部品の消耗に気づき交換することができるようになっています。

#### 人工呼吸器用マスクについて

2018年度から人工呼吸器に使用するマスクの管理を開始し、コスト削減に成功しました。具体的には、看護師の業務負担軽減とマスク洗浄消毒の水準を上げ、マスクの調達費用を軽減させました。下表にマスクの点検件数です。

点検種別	2018年度	2019年度
NPPV用マスク	707台/年	836台/年

## 7. 臨床支援業務

### 肝腫瘍ラジオ波焼灼術 立ち会い件数の推移

年度	内科	外科	内科(中止)	外科(中止)	総数
2009年度	2	0	0	0	2
2010年度	7	4	3	0	14
2011年度	10	2	1	0	13
2012年度	27	1	0	1	29
2013年度	29	1	0	2	32
2014年度	37	7	0	0	44
2015年度	27	12	2	0	41
2016年度	15	6	0	1	21
2017年度	13	2	1	0	16
2018年度	16	0	0	0	16
2019年度	18	2	1	0	20

### レンタル呼吸業務

院内で不足する人工呼吸器の貸出返却の対応を引き受け対応しています。下表は年間の貸出返却対応件数を示します。マスク式人工呼吸器のレンタルが主です。

年度	NPPV (V60)	NPPV (ASV)	NHF ネーザルハイフロー
2012年度	74	76	なし
2013年度	58	41	11
2014年度	106	75	18
2015年度	79	29	4
2016年度	116	52	4
2017年度	100	37	8
2018年度	156	40	6
2019年度	185	43	16

### 【循環器実績】

#### アンギオ対応実績

月	カテーテル検査							PMI	PMC	IVCF	PPI	ABL	脳アンギオ	
	CAG	PCI	緊急	総PCI	IABP	ECMO	TPM	M/S	PM				血管造影	血管内療
4月	7	7	3	10	0	1	1	2	26	0	12	1	2	1
5月	11	9	4	13	1	1	2	3	16	0	14	2	4	1
6月	19	5	4	9	1	1	0	0	24	0	16	3	5	1
7月	8	8	2	10	0	0	0	2	19	0	14	1	2	4
8月	9	10	0	10	0	1	1	1	21	0	18	2	2	4
9月	14	7	3	10	0	0	0	2	19	0	10	2	4	1
10月	11	12	3	15	0	0	1	0	25	0	14	3	7	4
11月	14	4	5	9	0	0	1	1	20	0	11	1	4	3
12月	4	7	5	12	2	1	1	3	21	0	12	2	2	2
1月	15	4	3	7	0	1	0	0	16	1	16	0	1	1
2月	12	9	3	12	0	1	3	4	24	1	19	2	0	0
3月	10	7	4	11	1	1	1	3	21	0	13	0	1	1
総合計	134	89	39	128	5	8	11	21	252	2	169	19	34	23

※ CAG は検査のみ、PCI+ 緊急が総 PCI 数になります。

PMI: ペースメーカー植え込み術。PMC: ペースメーカークリニク。PPI: 経皮的末梢動脈形成術。

IVCF: 下大静脈内留置フィルター。TPM: 体外式ペースメーカー。

## 【血液浄化部実績】

### 出張血液浄化実績

年月	血液浄化療法										血漿浄化療法			CART	PBSC	合計
	HD (SLED 含)	HDF (SLED-f 含)	CHD	CHF	CH DF	白血球除去療法		血液吸着		血漿 吸着	PP					
						GCAP	LCAP	PMX	DHP		ビリル ビン 吸着	PE	DFPP			
2019.4	5	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	14
5	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
6	6	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	15
7	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
8	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6
9	6	0	0	0	27	0	0	5	0	0	1	0	1	0	0	40
10	3	0	0	0	26	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	31
11	4	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8
12	5	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	10
2020.1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6
2	7	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	29
3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
計	46	0	0	0	102	0	6	8	0	0	1	0	0	5	168	

## 研究業績

### 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
医療用テレメータ送信機の管理方法の検討	第 29 回日本臨床工学会	岩手県	2019 年 5 月 18 日～19 日	○喜瀬 拓也
病院における電波利用に関するヒヤリハット事例	第 58 回日本医工学学会、第 7 回看護医工学会 学術集会	沖縄県 (沖縄コンベンションセンター)	2019 年 6 月 6 日～8 日	○仲松 晋也
「台風による停電にて他施設透析患者の受け入れに実際と課題」	第 64 回日本透析医学会 学術集会・総会	神奈川県横浜市 (パシフィコ横浜)	2019 年 6 月 28 日～6 月 30 日	○野原 剛、田下茜

## 活動実績

### 院内外研修実績

題目	主催	開催地	実施年月日	参加者 ○発表者と共同研究者 ◎講師・座長
BLS プロバイダーコース	沖縄 ACLS トレーニングサイト	沖縄	2019 年 4 月 6 日	平敷 幸大
足と傷のセンター研修	ミレニアメディカル	沖縄	2019 年 4 月 25 日	仲程 通孝
アブレーション症例見学、操作トレーニング	那覇市立病院	沖縄	2019 年 5 月 15 日	平敷 幸大、弓濱 義之
人工人装置保守管理研修	ITI	沖縄	2019 年 5 月 18.19	河西 規至、城間 勇希
第 29 回 日本臨床工学会	日本臨床工学会、岩手県臨床工学会	岩手県	2019 年 5 月 18 日	喜瀬 拓也、大城 安、 ○喜瀬 拓也
Okinawa Comedical Intervention Conference	沖縄コメディカル向上研究会	沖縄	2019 年 5 月 25 日	外間 翔悟、河西 規至
209th うふいーちセミナー	沖縄呼吸療法ネットワーク	沖縄	2019 年 5 月 26 日	兼城 雅

題目	主催	開催地	実施年月日	参加者 ○発表者と共同研究者 ◎講師・座長
第58回 日本生体医工学学会、第7回看護理工学会学術集会	日本医工学会、看護理工学会	沖縄	2019年6月6.7.8日	仲松 晋也、○仲松 晋也
第64回 日本透析医学会学術集会・総会	日本透析医学会	神奈川県	2019年6月8.29.30日	野原 剛、仲程 通孝、○野原 剛
沖縄県災害対策本部設置運営訓練	沖縄県医療政策課	沖縄	2019年7月23日	野原 剛
済生会熊本病院 Technology Expertise Center	Johnson&Johnson株式会社	熊本県	2019年8月25・26日	弓濱 義之
平成31年度 沖縄県総合防災訓練	沖縄県、宮古圏域2市町村	沖縄	2019年9月1日	野原 剛
令和元年度 大規模地震時医療活動訓練	内閣府	埼玉、千葉、東京都、神奈川県	2019年9月7日	野原 剛
2019 OCC Third Course コメディカル中心のIVUS症例検討会	Bostin Scientific	沖縄	2019年10月6日	平敷 幸大
K-CFAE Proctor in Okinawa	Johnson&Johnson株式会社	沖縄	2019年10月7日	平敷 幸大
Okinawa Comedical Intervention Conference	沖縄コメディカル向上研究会	沖縄	2019年11月10日	外間 翔悟
令和元年度 九州・沖縄ブロックDMAT実働訓練	内閣府	鹿児島、宮崎県	2019年10月28日	野原 剛
医療分野における電波の安全性等に関するセミナー	沖縄地域の医療機関における電波利用推進協議会	沖縄	2019年11月26日	外間 翔悟
令和元年度 第2回 NBC 災害・テロ対策研修	厚生労働省	大阪府	2019年12月5.6.7日	野原 剛
第10回 血液浄化 Step UP セミナー	日本血液浄化技術学会	沖縄	2019年12月8日	石川 愛夏、内里 司、中山 可南子、
VTE 医療安全セミナー2019in 那覇 病院全体で取り組むVTE予防	日本コヴディエン株式会社	沖縄	2020年1月25日	仲松 晋也
令和元年度代1回九州・沖縄ブロック統括DMAT登録者技能維持訓練・ロジスティック研修	厚生労働省	鹿児島県	2020年12月24日	野原 剛
第16回 沖縄県腎不全看護研究会	沖縄県腎不全看護研究会 / 鳥居薬品株式会社	沖縄	2020年2月6日	野原 剛、仲程 通孝、河西 規至

## 職員向け医療機器研修

題目(対象:メーカー)	実施年月日	担当	参加人数
在宅CPAP導入時の指導方法説明会(CE:フィリップス)	2019年5月15日	南西医療器	8
AED使用方法説明会(はーとらいふ保育園:日本光電)	2019年4月3日	日本光電	6
生体情報モニタ連携システム「GAIA」使用方法説明会(ER:日本光電)	2019年4月16日	日本光電	15
生体情報モニタ連携システム「GAIA」使用方法説明会(ICU:日本光電)	2019年4月15日	日本光電	16
生体情報モニタ連携システム「GAIA」使用方法説明会(本館7階:日本光電)	2019年4月16日	日本光電	9
生体情報モニタ連携システム「GAIA」使用方法説明会(OR:日本光電)	2019年4月16日	日本光電	9
生体情報モニタ連携システム「GAIA」使用方法説明会(OR:日本光電)	2019年4月20日	日本光電	3
生体情報モニタ連携システム「GAIA」使用方法説明会(HCU:日本光電)	2019年4月18日	日本光電	12
術中加温装置「HOTDOG」使用方法説明会(手術室:パラマウントベッド)	2019年5月11日	パラマウントベッド	15
呼吸ケア研修「フィジカルアセスメント~呼吸器編~」(呼吸ケアに関わるスタッフ)	2019年5月22日	宮城	40
血液浄化装置使用方法説明会(CE:バクスター)	2019年5月8日	バクスター	10
血液浄化装置使用方法説明会(CE:バクスター)	2019年5月9日	バクスター	5

題目(対象:メーカー)	実施年月日	担当	参加人数
血液浄化装置使用方法説明会(CE:バクスター)	2019年5月9日	バクスター	2
血液浄化装置使用方法説明会(ICU:バクスター)	2019年5月8日	バクスター	10
パワースマイル使用方法説明会(リハビリ:新鋭工業)	2019年7月1日	弓浜	20
在宅人工呼吸器使用方法勉強会(本館7階:フィリップス)	2019年7月10日	平敷	9
ダイアライザー ABH シリーズ勉強会(CE:旭化成)	2019年7月16日	旭化成	8
外科用内視鏡システム保守勉強会(CE:ストルツ)	2019年7月21日	エムシー	6
除細動器 使用方法説明会(ER:日本光電)	2019年7月22日	日本光電	17
除細動器 使用方法説明会(ER:日本光電)	2019年7月24日	日本光電	2
医療技術部勉強会「呼吸」 呼吸療法におけるインシデント	2019年7月31日	屋比久	60
除細動器更新 使用方法説明会(本館7階:日本光電)	2019年8月27日	仲松	13
除細動器更新 使用方法説明会(ER:日本光電)	2019年8月27日	平敷	11
パワーブリーズ勉強会(リハビリ、医師:コントリー)	2019年7月24日	アイジーエム	14
超音波画像診断装置導入説明会(医師:富士フィルム)	2019年7月24日	富士フィルム	4
12誘導心電計(HCU:日本光電)	2019年7月23日	日本光電	8
12誘導心電計(HCU:日本光電)	2019年7月24日	日本光電	3
12誘導心電計(東4・5階:日本光電)	2019年7月24日	日本光電	2
12誘導心電計(東4・5階:日本光電)	2019年7月25日	日本光電	5
人工呼吸器プリズマベント(CE:フクダ)	2019年7月19日	フクダ	5
NIM 勉強会(CE:メドトロニック)	2019年8月5日	メドトロ	6
生体情報モニタ導入勉強会(本館5階:日本光電)	2019年8月11日	日本光電	11
急変時に使用する医療機器について(予防医学センター)	2019年9月14日	仲松	19
呼吸ケア研修「NPPV 勉強会」(呼吸療法に関わるスタッフ)	2019年9月11日	外間	22
人工呼吸器ハミルトン G5 勉強会(ICU 看護師:日本光電)	2019年9月18日	日本光電	10
HOT 勉強会(外来)	2019年10月4日	仲松	9
HOT 勉強会(外来)	2019年10月18日	仲松	11
呼吸ケア研修「NHF 勉強会」(呼吸療法に関わるスタッフ)	2019年11月13日	平敷	38
UK カテーテル勉強会(CE:旭化成)	2019年11月6日	旭化成	8
経皮ガスモニタの説明(CE:センテック)	2019年12月18日	フクダ	5
AED 使用方法説明会(外来:日本光電)	2019年12月23日	平敷	17
搬送用保育器(インキュアーチ) 取り扱い方法説明会(東館4、5階:アトム)	2019年12月25日	アトム	9
AED 使用方法説明会(本館5階:日本光電)	2020年1月6日	平敷	6
AED 使用方法説明会(本館5階:日本光電)	2019年1月8日	平敷	6
AED 使用方法説明会(本館5階:日本光電)	2019年12月16日	仲松	5
人工呼吸器ハミルトン G5 勉強会(ICU,HCU 看護師:日本光電)	2020年1月17日	日本光電	4
人工呼吸器ハミルトン G5 勉強会(ICU,HCU 看護師:日本光電)	2020年1月16日	日本光電	3
人工呼吸器ハミルトン G5 勉強会(ICU,HCU 看護師:日本光電)	2020年1月15日	日本光電	11
C アーム使用方法説明会(手術室看護師:GE)	2019年12月7日	仲松	20
ペースメーカープログラマ説明会(CE:ボストン)	2019年12月3日	ボストン	4
軟性鏡取り扱い説明(耳鼻科、泌尿器科:オリンパス)	2020年1月30日	オリンパス	6
軟性鏡取り扱い説明(東4階、婦人科外来:オリンパス)	2020年1月30日	オリンパス	6

## 栄養科

栄養科科长 真栄城 ゆかり

2019年度の新たな取り組みとして、入退院支援室と連携し慢性疾患を既往に持つ白内障手術入院患者を対象に、栄養指導を実施し指導件数増を図りました。また、各病棟では栄養指導対象患者を拾い上げ、指導を実施、前年度比約70%増となりました。

入院患者の栄養管理については、4階病棟の入退院支援のカンファレンスに参加し、化学療法に伴う食欲不振、低栄養等のがん患者に介入し嗜好に合わせた食事を提供、摂取量アップや栄養改善に取り組みました。

給食管理では慢性的な調理スタッフの人員不足が続く中、献立、材料の見直しを行い、スタッフの健康管理に配慮した勤務体制にし給食提供に影響がないよう業務を行いました。

院内研究発表会では「NSTの取り組み」について当真結子が発表し優勝することが出来ました。

栄養士の認定資格については小児アレルギーやがん等、各疾患に特化した専門療法士の育成やスキルアップに繋がる様、今後支援体制を強化していく予定です。

### 職員数

総数

28名

職種別

管理栄養士 6名

調理師 11名

調理補助 4名

食器洗浄 6名

事務 1名

### 認定・資格

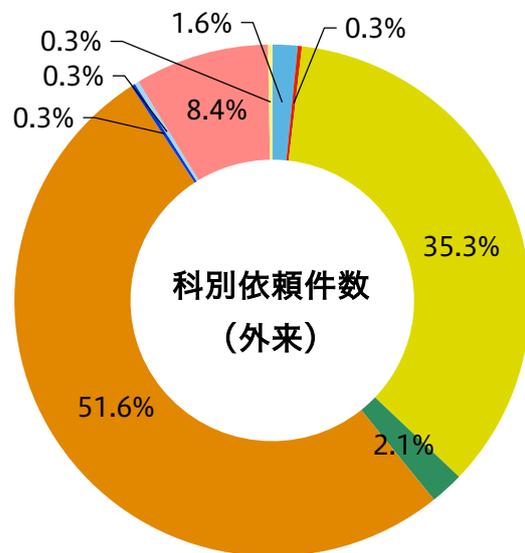
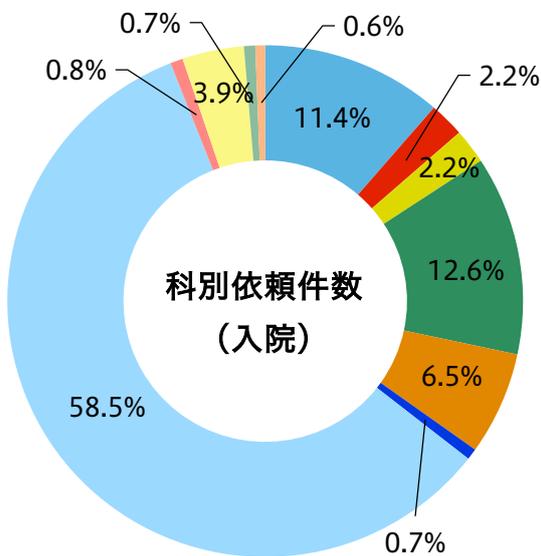
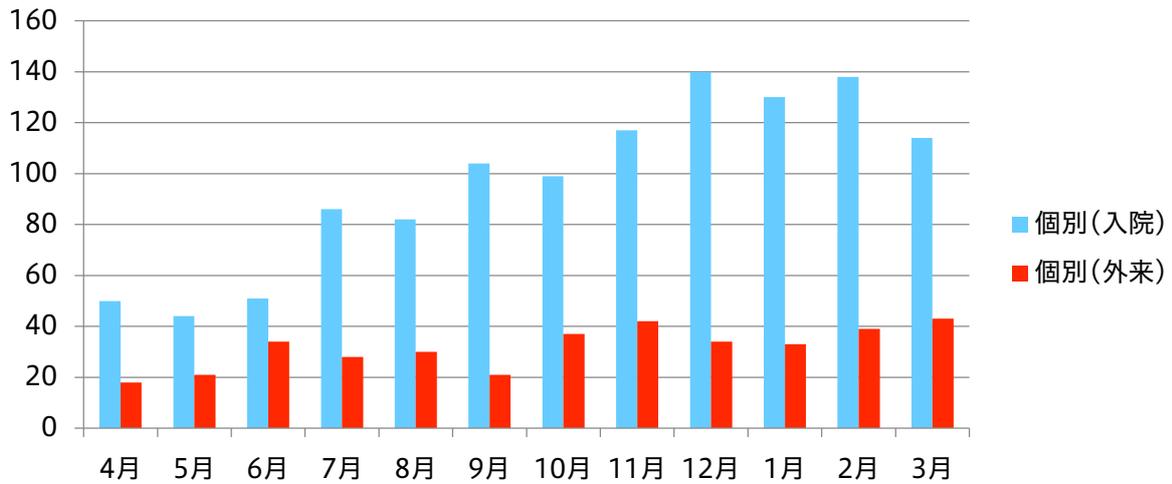
氏名	認定・資格名
久場徳子	健康運動指導士 糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム専門療法士
真栄城ゆかり	糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム専門療法士

氏名	認定・資格名
当真結子	沖縄県地域糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム専門療法士
高屋美希	沖縄県地域糖尿病療養指導士
棚原佳世	沖縄県地域糖尿病療養指導士
中村 詩	沖縄県地域糖尿病療養指導士

### 運営方針

- ・患者様のニーズに応える食事を提供します。
- ・衛生面かつ安全面に配慮した業務を行います。
- ・患者様の病態に応じた食事の支援をいたします。

### 2019年度栄養指導実施件数



- 外科
- 形成
- 産婦人科
- 小児科
- 整形外科
- 透析科
- 内科
- 脳外
- 救急科
- 耳鼻科
- 泌尿器科

- 外科
- 産婦人科
- 小児科
- 透析科
- 内科
- 脳外
- 泌尿器科
- 眼科
- 整形外科

### 研究業績

#### 研究発表 (院内)

演題名	名称	年月日	発表者と研究者
NSTの取り組み	院内発表会	2019年11月8日	當眞 結子
呼吸器疾患食事療法	医療技術部勉強会	2019年7月31日	中村 詩

## 活動実績

### 科内研修

名称	実施年月日	担当
食事形態(並、刻み、1口大)	2019年4月	当真
衛生チェックのおさらい	2019年6月	棚原
手洗い講習	2019年7月	感染城間看護師
医療安全	2019年8月	高屋
ノロウイルスについて	2019年10月	中村
きれいに見える盛り付け方	2019年12月	久場・屋宮
感染症分類～新型コロナ～	2020年2月	当真

### 講師依頼

題名	開催地	実施年月日	参加
中性脂肪とコレステロールを落とすには	院内	2019年9月28日	棚原 佳世
心リハスタッフ勉強会	院内	2019年9月17日	中村 詩
緩和勉強会	院内	2020年2月	高屋美希
心リハスタッフ勉強会	院内	2020年3月17日	棚原 佳世

### 研修受講実績

研修名	開催地	実施年月日	参加
ネスレ精神疾患セミナー	那覇市	2019年5月10日	当真
高齢者の栄養管理・腸管メンテナンス	浦添市	2019年6月1日	真栄城 高屋 中村
第18回沖縄臨牀栄養懇話会	沖縄県医師会館	2019年6月22日	真栄城 当真
糖尿病療養指導研修会・第1回	中部徳洲会病院	2019年6月30日	久場 当真 高屋 中村
糖尿病療養指導研修会	沖縄県医師会館	2019年7月30日	当真 高屋 久場 中村
糖尿病基礎講習会	沖縄県医師会館	2019年7月7日	久場 当真 高屋 中村
肝臓がんの早期診断について	琉球大学	2019年8月27日	高屋
糖尿病療養指導研修会・第2回	あめくふれあいセンター	2019年10月5日	久場 当真 高屋 中村
がん化学療法の副作用に関する研修会	琉球大学	2019年10月31日	高屋
アレルギー学会	幕張メッセ	2019年11月1～3日	棚原
地域で糖尿診療を考える会	P's SQUARE	2020年2月4日	久場 当真 高屋 中村
医療スタッフのための糖尿病セミナー	那覇市	2020年2月16日	久場 当真 高屋 中村

### イベント参加

名称	内容	開催地	年月日	参加者
糖尿病啓発フェスタ	栄養指導	沖縄県総合運動公園	2020年2月9日	当真結子

## 薬局

薬局長 大関 秀和

本年度は、4名の新卒、1名の既卒の新入職を向かえ、20名を超える薬剤師となりました。2020年は病棟薬剤業務実施加算の算定に向けて取り組んでいきます。

### 職員数

総数

25名

### 職種別

薬剤師 20名

一般事務 2名

薬局助手 3名

### 認定・資格

氏名	認定・資格名
田中 泉	認定実務実習指導薬剤師
大関秀和	認定実務実習指導薬剤師

氏名	認定・資格名
義田育美	NST 専門療法士

### 理念

- ・ 私たちは心と心を結ぶ信頼される医療を目指します。
- ・ 患者さんが喜ぶ医療を目指します。

### 運営方針

- ・ 全ての入院患者さんの状況把握と関与
- ・ 医薬品の適正使用
- ・ 「より安全な薬物療法」と「より質の高い薬物療法」

## 2019 年度計画及び実績

項目		実績
薬剤管理指導	指導料1	2,208 件 (380 点)
	指導料2	9,293 件 (325 点)
	麻薬管理加算	220 件 (50 点)
	退院時加算	990 件 (90 点)
無菌製剤処理料		1,271 件 (180 点)
薬剤総合評価調整加算		43 件 (250 点)
病棟薬剤業務実施加算		2020 年度中の取得を目標
薬学実習受け入れ	Ⅱ期	第一薬科 1 名
	Ⅲ期	徳島文理 2 名
情報配信	DI ニュース	6 報
	薬審結果報告	6 報
	薬剤切り替え	40 報
	後発品採用率	90.1% (2019 年 3 月 目標 80%以上)
	厚労省通知	0 報
	メーカーの通知	20 報
	エントランス案内	80 報
学会参加		臨床腫瘍薬学会、日本医療薬学会
実習・研修	院内勉強会	90 件
	院外勉強会	40 件
		がん集中講義 フィジカルアセスメント講習会

## リハビリテーション科

リハビリテーション科療法士長 新垣 健

リハビリテーション科は、4月に新入職員を迎え、理学療法士23名、作業療法士9名、言語聴覚士5名となり、リハビリテーション専門職が総勢37名体制となりました。より充実したリハビリテーションを提供すべく、認定資格取得や知識・技術の向上を目的としたあらゆる活動を奨励しています。

2020年度も脳血管疾患リハ、運動器疾患リハ、呼吸器疾患リハ、がんのリハ、心大血管リハの5つの疾患別リハの施設基準を満たしつつ、各領域の専門療法士を育成し、職域の拡大に努めていきます。多様なリハビリテーションのニーズに対応できるよう、各職種間の円滑な連携を念頭に、新人教育を始め、リハ科内の勉強会や各診療科の医師や様々な分野の講師を招いての研修会も継続して行っています。

### 職員数

#### 総数

35名（助手1名含む）

#### 職種別

理学療法士	21名（育休職員含む）	言語聴覚士	5名
作業療法士	8名	助手	1名

### 認定・資格

氏名	資格・認定資格
<b>理学療法士</b>	
新垣 健	がんのリハビリテーション研修終了
神里 祥子	がんのリハビリテーション研修終了
玉栄 優子	がんのリハビリテーション研修終了
金城 勝一郎	がんのリハビリテーション研修終了
波平 静香	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
知花 勝也	がんのリハビリテーション研修終了
仲村 和也	がんのリハビリテーション研修終了
天久 真理子	がんのリハビリテーション研修終了
福地 美香	呼吸療法認定士
弘岡 亮	心臓リハビリテーション指導士
長嶺 敦司	糖尿病療養指導士 健康運動指導士

氏名	資格・認定資格
<b>作業療法士</b>	
柴野比 智也	がんのリハビリテーション研修終了
富永 涼子	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
宮城 奈津希	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
佐々木 正雪	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
大見謝 勝人	がんのリハビリテーション研修終了
<b>言語聴覚士</b>	
大城 盛彦	がんのリハビリテーション研修終了
松川 玲子	がんのリハビリテーション研修終了 日本言語聴覚士会認定高次脳機能障害認定言語聴覚士
島田 真紀子	がんのリハビリテーション研修終了 日本認知症ケア学会認定認知症ケア専門士

### 理念

患者さんの目標（家庭復帰等）に向かって、機能的予後予測に即した、リハビリテーション全体をマネジメントする。

### 運営方針

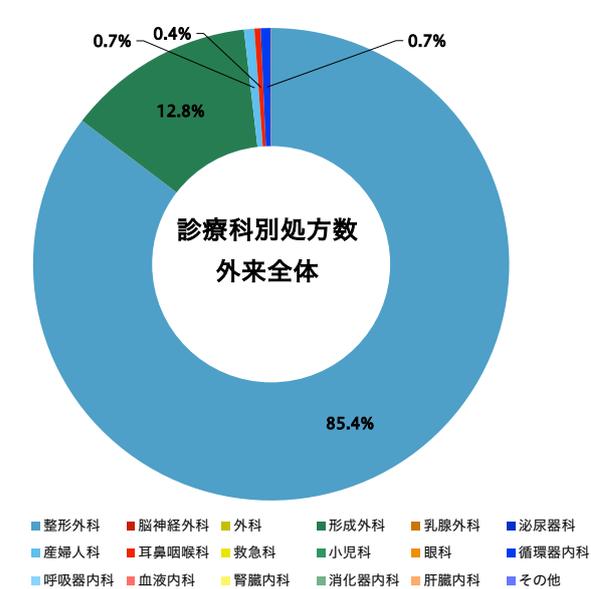
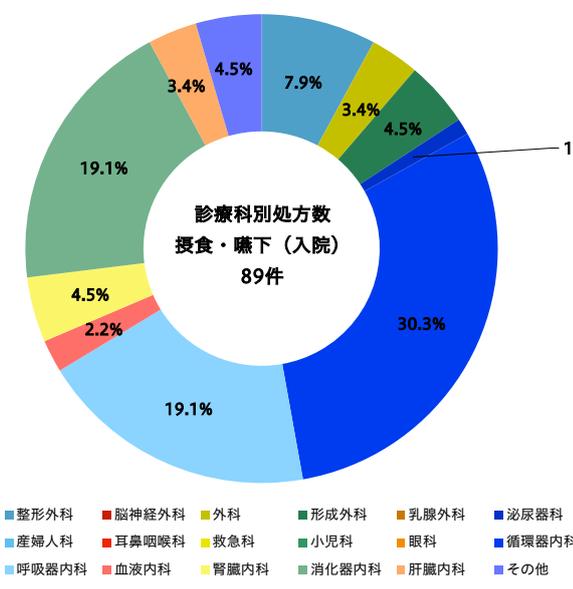
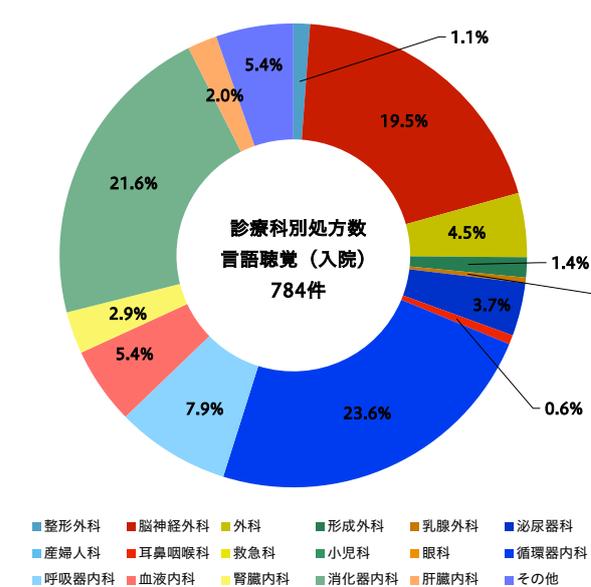
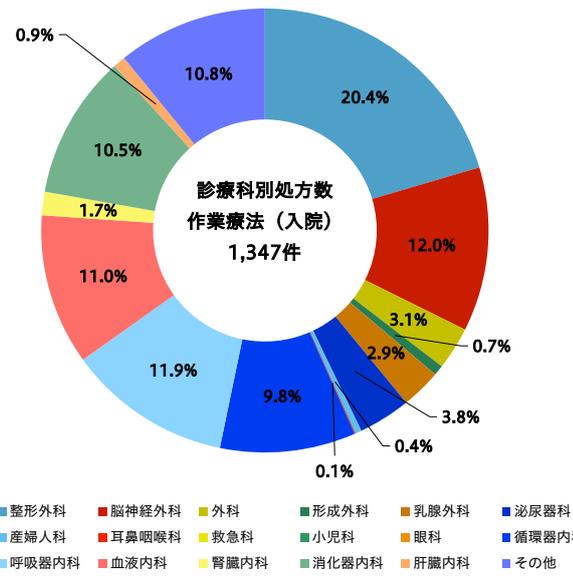
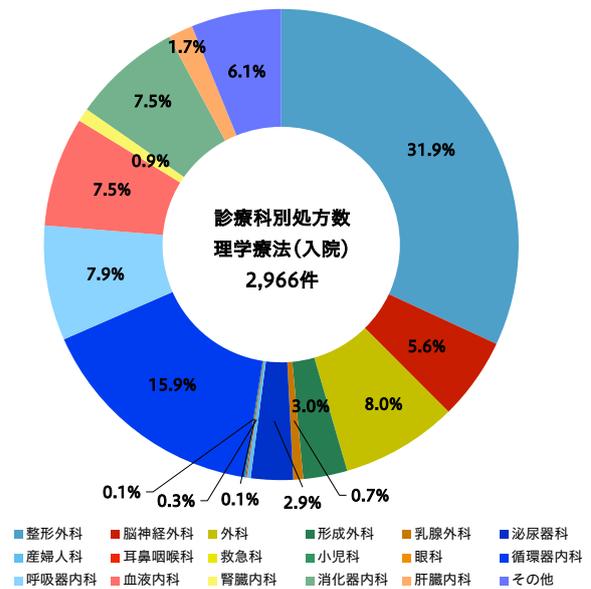
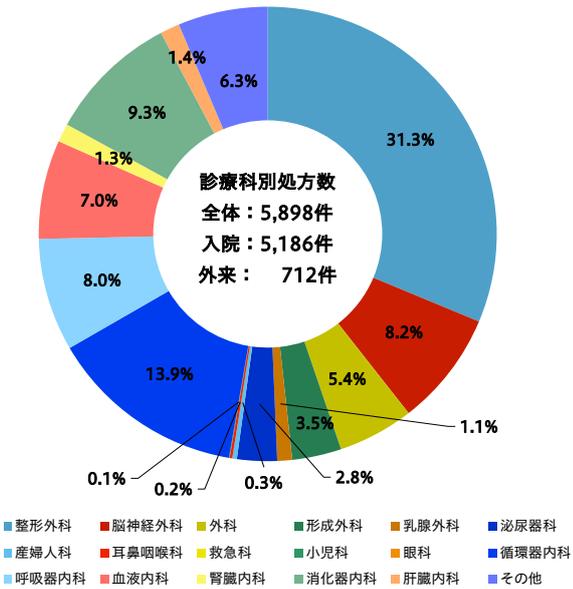
急性期病院におけるリハビリテーションを担い、その役割を明確にし、実践する。

院内外の関連職種間とのコミュニケーションや連携の強化を図る。

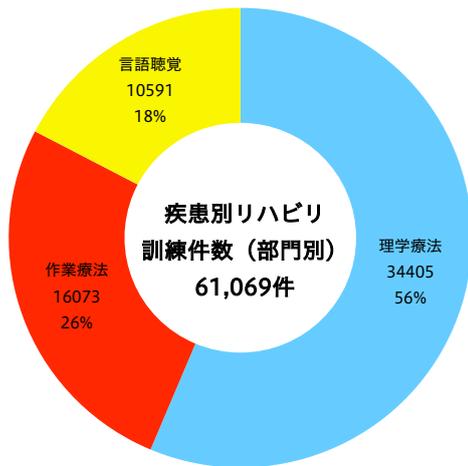
部及び個々の診療技術の向上を目指す

## 検査・治療実績

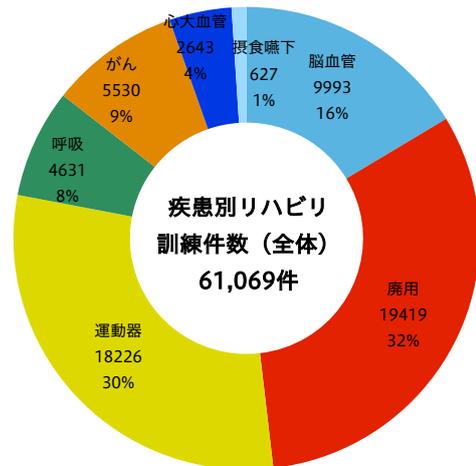
### 診療科別リハビリテーション処方状況



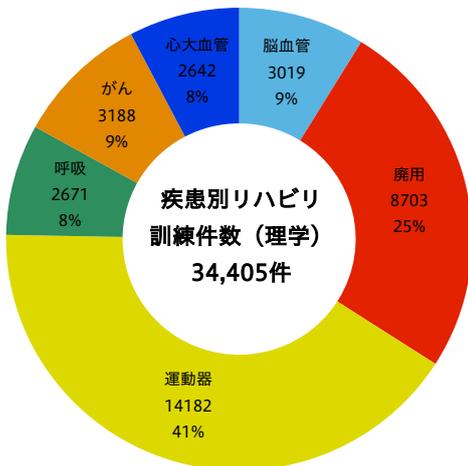
### 疾患別リハビリテーション実施状況



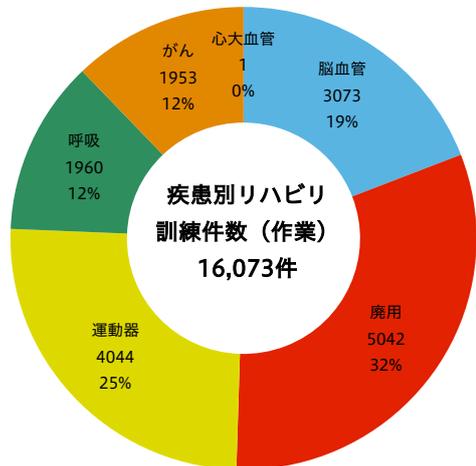
■ 理学療法 ■ 作業療法 ■ 言語聴覚



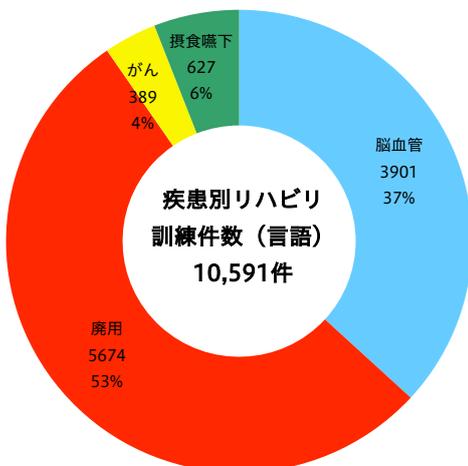
■ 脳血管 ■ 廃用 ■ 運動器 ■ 呼吸 ■ がん ■ 心大血管 ■ 摂食嚥下



■ 脳血管 ■ 廃用 ■ 運動器 ■ 呼吸 ■ がん ■ 心大血管

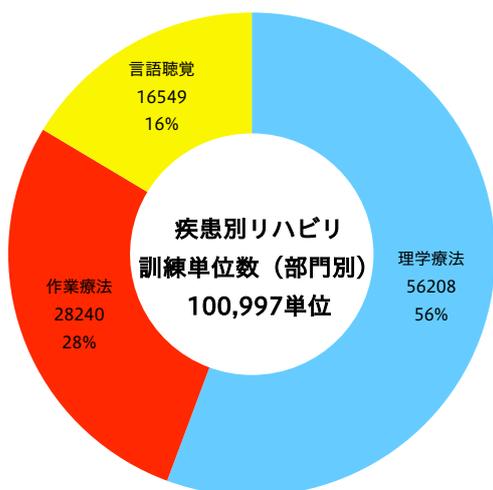


■ 脳血管 ■ 廃用 ■ 運動器 ■ 呼吸 ■ がん ■ 心大血管

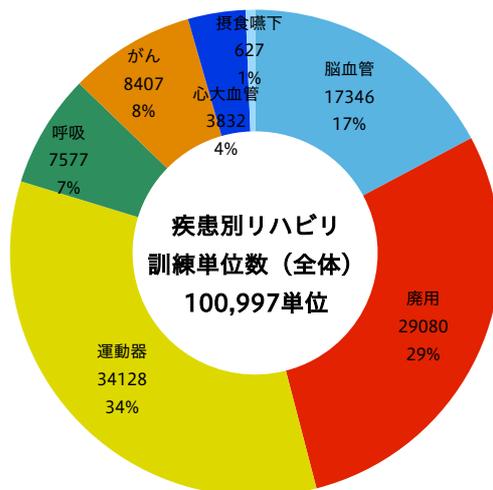


■ 脳血管 ■ 廃用 ■ がん ■ 摂食嚥下

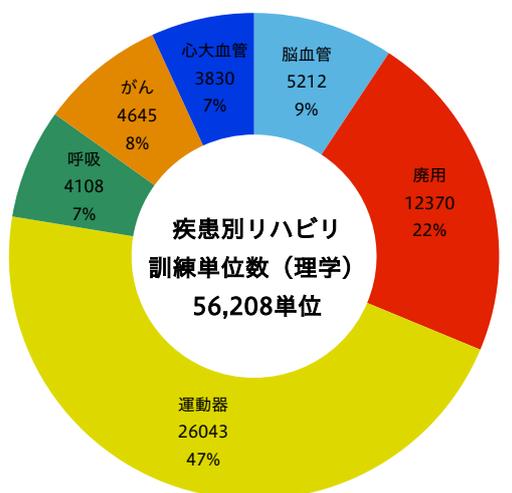
疾患別リハビリ訓練単位数



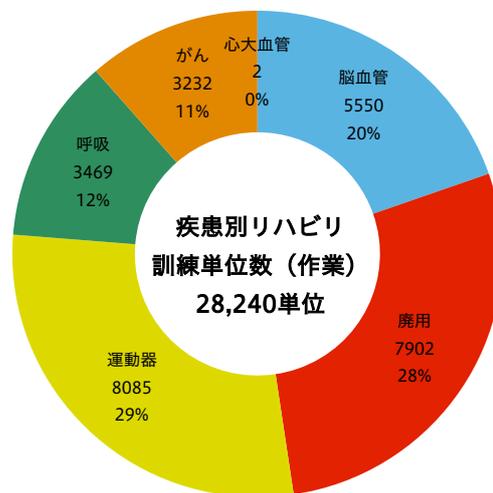
理学療法 作業療法 言語聴覚



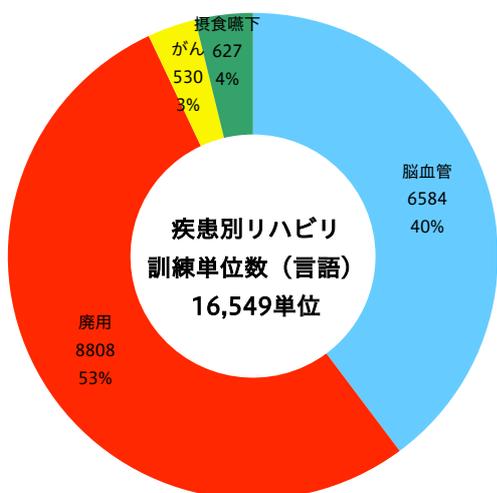
脳血管 廃用 運動器 呼吸 がん 心大血管 摂食嚥下



脳血管 廃用 運動器 呼吸 がん 心大血管



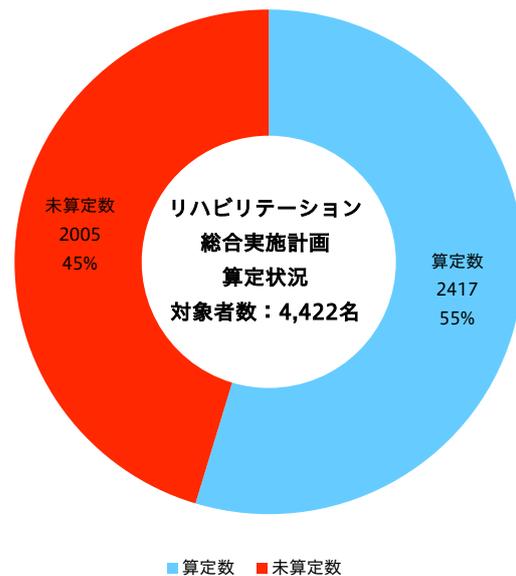
脳血管 廃用 運動器 呼吸 がん 心大血管



脳血管 廃用 がん 摂食嚥下

### リハビリテーション総合実施計画

対象患者数	4,422
算定数	2,417
未算定数	2,005
算定率	54.7%
未算定率	45.3%
算定点数	725,100
未算定点数	601,500



### 活動実績

#### 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院における不安、抑うつと外来心臓リハビリテーション継続との関係性について	第 25 回日本心臓管リハビリテーション学会学術集会 in 横浜	大阪府	2019 年 7 月 13 日	弘岡 亮
糖尿病難治性潰瘍、骨髄炎により足趾切断に至った症例～救急における外来リハビリテーションの必要性～	第 11 回日本下肢救済・足病学会学術集会	兵庫県	2019 年 6 月 28 日	金城 勝一朗
当院骨切り術後のリハビリテーションの経過発表	第 8 回日本 Knee Osteotomy フォーラム	香川県	2019 年 10 月 12 日	藤岡 智

#### 院内研究発表会

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
リハビリテーション科の現状と課題	院内研究発表会医療技術部予選	当院	2019 年 10 月 1 日	天久 真理子
リハビリテーションとクリニカルパス	院内クリニカルパス大会	当院	2019 年 8 月 1 日	大城 盛彦

#### その他

名称		開催地	年月日	参加者
食事介助について	新人看護研修	院内	2019 年 4 月 1 日	島田 真紀子
摂食嚥下障害と食事介助の基本	看護助手研修	院内	2019 年 5 月 1 日	大城 盛彦
呼吸器疾患患者のフィジカルアセスメント	院内勉強会 (RST 主催)	院内	2019 年 5 月 1 日	宮城 奈津希
食事介助について	病棟助手研修	院内	2019 年 6 月 1 日	島田 真紀子
胸骨後経路胃管再建術後に嚥下障害が遷延した 1 例	沖縄県言語聴覚士会 症例検討会	沖縄県	2019 年 9 月 1 日	大城 盛彦
呼吸介助の方法とポイント	看護領域研修	院内	2019 年 10 月 1 日	宮城 奈津希
がん患者の摂食嚥下障害・コミュニケーション障害について	がんのリハビリテーション in 沖縄	沖縄県	2020 年 2 月 1 日	大城 盛彦

## 医療技術部 年度総括



医療技術部部長  
宮城 竜也

2019年度も前年度同様に各部署のスタッフのスキルアップ向上に向けて学会発表や各種認定資格等の取得に向けて取り組み、県内外での学会発表あるいは座長として積極的に参加し、スタッフの意識向上がみられました。

また当院に必要であろう認定資格や加算に結びつく資格取得については病院と連携をとりつつ医療技術部として支援していきたいと考えており、さらに先輩の取り組みが若いスタッフの刺激になり継承できるような形になればと望んでいます。

国の政策の一つである「働き方改革」、その中にある年次有給休暇5日間取得に向けて、医療技術部全職員がクリアし残業時間に関しても協定違反者は見られませんでした。また医療技術部の特に国家資格を持った新卒者の採用に向けて県外の大学への就職説明会に積極的に参加し、2019年度は薬剤師4名を採用することが出来ました。今後も優秀な人材確保に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えています。人材育成については3年先5年先、さらに10年先を見据えた中長期の育成プログラムを検討、実践していきたいと考えています。



# 医療安全管理室

## 部門紹介

医療安全管理者 安村 公均

平成 19 年に当院の医療安全部門として、組織横断的活動を行うために病院長を直属とする医療安全管理室が設置されました。統括責任者を副院長の久場とし、看護師 1 名を医療安全管理者(リスクマネージャー)として専従配置しています。また、医療安全管理室が事務局となっている医療安全管理委員会は、診療部門、看護部門、医療技術部門、事務部門の各部門の代表者が参加する総勢 26 名のメンバーで構成され、毎月会議を開催しています。

## 医療安全管理室 理念

1. 心と心を結ぶ信頼される医療を目指す
2. 医療行為は、治療を目的としたものでなければならない

## 医療安全管理室 運営方針

1. 医療事故防止の為に安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上を図る
2. 医療安全に関する職員への教育・研修、情報の分析、対策の立案、事故発生時の初動対応、再発防止立案、発生予防及び発生した事故の影響拡大の防止等に努める
3. 安全管理体制を組織内に根付かせ機能させる事で、医療機関における安全文化の醸成を促進する

## 令和元年度 目標

1. 安全風土の醸成（インシデント報告件数 150 件 / 月以上、オカレンス報告の定着、医局報告件数 10 件 / 月以上）。
2. レベル 2 以上 400 件 / 年以下（うちレベル 3 以上 50 件 / 年以下）
3. 高齢化に伴うインシデント対策強化
4. スタッフ要因内服関連事象の抑止（払い出し時ミス 5 件 / 月以下）

## 職員数

### 総数

2 名

### 職種別

医療安全管理室	専従看護師	1 名
	専従事務	1 名

## 認定・資格

氏名	認定・資格名
安村 公均	医療安全管理者認定

## 活動実績

### インシデント報告件数

毎年、安全文化の醸成、医療事故の低減を目標に活動しています。

医療安全管理システムにより、インシデント事例の原因分析が迅速に行えるようになりました。また、新しい分析手法を導入し、必要な対策がタイムリーに検討・実施され、現場で活かされるよう働きかけています。

特に患者誤認防止策では、直前照合を徹底することにより医療安全活動の本質である未然防止が強化され、その結果、薬剤関連のインシデント件数も減少傾向となっています。平成27年10月より医療事故調査制度が施行され、制度の理解を行うため勉強会、講演会などを開催し事故発生時の対応マニュアルなどの作成・整備を行っています。

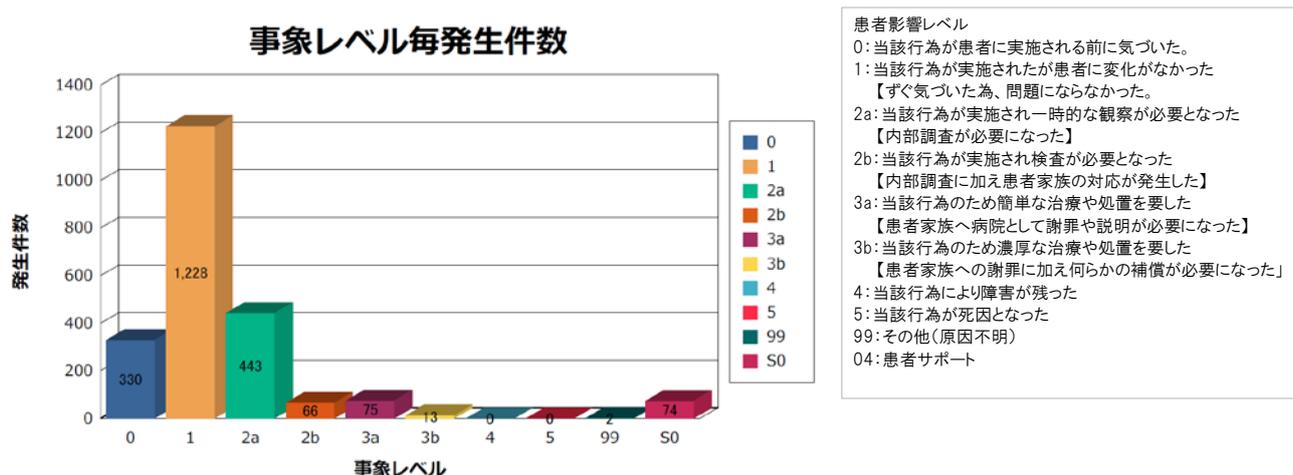
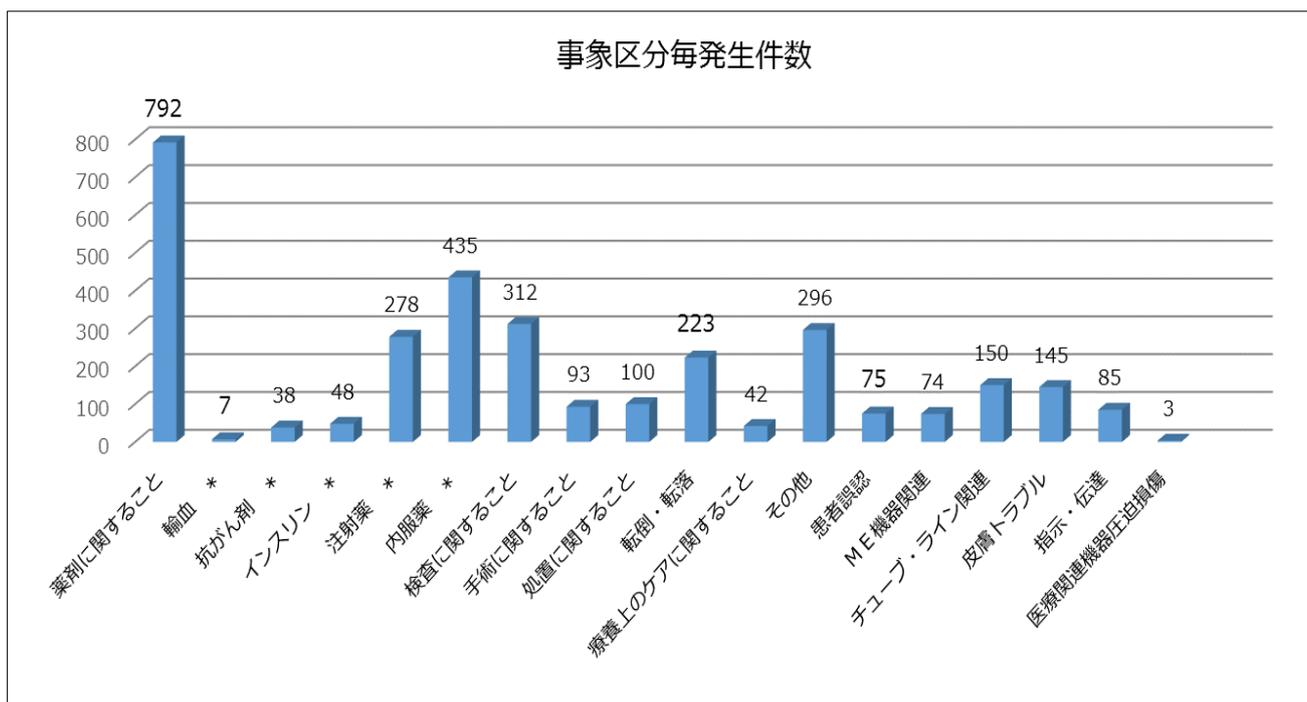
今後は、患者・ご家族と共に行う医療安全を強化し、安全文化の確立に努めていきます。

## 研修実績

(データ作成 医療安全管理室 安村)

### 研修実施・参加

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
医療安全について	新入職オリエンテーション	当院	2019年4月2日	久場良也
医療安全新人研修	看護部新入職者研修	当院	2019年4月4日	安村公均
看護助手研修①	看護部	当院	2019年5月24日	安村公均、島尻泰史
中堅研修(安全)①	医療安全管理室	当院	2019年5月31日	安村公均
医療安全管理者養成課程講習会第1クール	全日本病院協会	院外	2019年6月1日,2日	佐久川廣、普天間光彦
看護助手研修②	看護部	当院	2019年6月14日	安村公均、島尻泰史
医療安全管理者継続講習	全日本病院協会	院外	2019年6月22日	久場良也
3ヶ月フォローアップ研修	看護部	当院	2019年6月28日	安村公均、島尻泰史
医療事故調査教育セミナー	国際医療リスクマネジメント学会	院外	2019年7月11日,12日	久場良也
2年目看護師研修	看護部	当院	2019年8月9日	安村公均、島尻泰史
医療安全管理者養成課程講習会第2クール	全日本病院協会	院外	2019年8月30日,31日	佐久川廣、普天間光彦
"医療安全全職員対象講習会「医療安全の現状と対応」「AIの必要性」"	医療安全管理室	当院	2019年9月4日	久場良也、高良誠
3年目看護師研修	看護部	当院	2019年9月9日	安村公均、島尻泰史
医療安全管理者養成課程講習会第3クール	全日本病院協会	院外	"2019年9月15日,16日 2019年11月2日,3日"	佐久川廣、普天間光彦
6ヶ月フォローアップ研修	看護部	当院	2019年9月20日	安村公均
医療事故・紛争対応研究会セミナー	医療事故・紛争対応研究会	院外	2019年9月28日	安村公均、島尻泰史
メディカルケアサポートセミナー in 沖縄	メディカルケアサポートセミナー	院外	2019年10月29日	島尻泰史
看護助手研修③(中途採用)	看護部	当院	2019年12月11日	安村公均、島尻泰史
中堅研修(安全)②	医療安全管理室	当院	2019年12月13日	安村公均、島尻泰史
VTE医療安全セミナー	日本コヴィディエン(株)	院外	2019年12月21日	安村公均、屋宜鮎美
医療安全に関するワークショップ	九州厚生局	院外	2020年1月9日	安村公均
中堅研修(安全)③	医療安全管理室	当院	2020年1月24日	安村公均、島尻泰史
1年目フォローアップ研修	看護部	当院	2020年3月13日	安村公均、島尻泰史
"医療安全全職員向け講習会「カルテ記録と情報共有の重要性」"	医療安全管理室	当院	2020年3月25日	佐藤直行



※「S0」は当院独自の基準で患者サポート委員会で検討し対応を協議しています。

## 医療安全管理室 年度総括



医療安全管理室  
安村 公均

2019年度は、①安全風土の醸成(インシデント報告件数150件/月以上、オカレンス報告の定着、医局報告件数10件/月以上)、②レベル2以上400件/年以下。うちレベル3以上50件/年以下、③高齢化に伴うインシデント対策強化(チューブ・ライン関連、転倒転落、スキンテアの低減)、④スタッフ要因内服関連事象の分析と対策強化を目標とし活動しました。

①については、インシデント報告件数の目標を全ての月でクリアすることができました。また、全体の72%が0～1レベル報告であり早い段階で報告・対策する風土作りはできたと考えます。合併症などを報告するオカレンス報告についても月平均24件程度の報告が得られ、早期に対応する仕組みができました。その中で、医局からのインシデント報告件数については月平均6件と目標に届きませんでした。オカレンス報告としては月に4件程度ありました。報告体制作りは、次年度の課題として検討していきます。②については、591件と目標達成には至りませんでした。また、3以上に関する88件と目標達成できず、本年度においても継続して取り組んでいきます。③についてもチューブ・ライン関連(+1件)、転倒転落(+34件)、スキンテア(-15件)であり継続した取り組みの必要性があると考えます。④については、払い出し時のミスについて4件/月でした。要因の分析については、継続して取り組み低減を目指しています。

### 次年度の課題

目標を①安全風土の醸成(インシデント報告件数150件/月以上、オカレンス報告の定着、医局報告件数10件/月以上)②レベル2以上400件/年以下(うちレベル3以上60件/年以下)③高齢化に伴うインシデント対策強化④スタッフ要因内服関連事象の分析と対策強化とし取り組んでいます。

# 感染対策管理室

## 部門紹介

感染対策管理室 城間 克也

感染対策管理室は平成 20 年に院長直下の感染に関する諮問機関として設置され、専従看護師が配置されました。平成 24 年には 1 人目の感染管理認定看護師が誕生、平成 26 年には新たに感染管理認定看護師が 2 名加わりました。感染対策管理室の専従者を感染管理認定看護師 1 名が担い、手術室と病棟へ 1 名ずつ配置され認定看護師としての視点をもってそれぞれの役割を全うしています。専従看護師は病院全体に関わる感染管理業務を行い、兼任看護師は現場で看護ケアを行いながら感染対策を実践しております。感染対策教育は、全職員を対象とする講習会を年 2 回実施。他には、新人教育、研修医研修、看護部中堅研修、助手研修、部署別研修、手指衛生などを専従、兼任で分担し実施しています。

抗菌薬適正使用支援チーム (AST) を平成 30 年に立ち上げ、検査技師 1 名が業務専従のため感染対策管理室に配置されました。抗菌薬適正使用や耐性菌発生抑制への各取り組みを AST が中心となり活発的に活動しています。

感染対策管理室では日々病棟をラウンドし感染対策の実施状況を確認し、感染対策に関する問題や課題を挙げ、必要な指導や教育、感染対策マニュアルの見直しや改訂などを通し改善活動を行っています。サーベイランスで得られた情報や結果を基に、ICT 耐性菌ラウンドや AST 抗菌薬適正使用ラウンドを実施しています。続けて ICT/AST ミーティングを行い現場での感染対策実践や適正な感染症診療への支援に繋がっています。

看護部、医療技術部、事務部の各部署より選出されたメンバーで構成される感染対策小委員会の企画運営を行い、全職種で感染対策に挑む体制作りとその実践を遂行しています。

## 感染管理対策室 理念

感染管理をとおして、患者さんが病院を信頼し、安心して質の高い医療を提供できることを目指し活動しています。

## 職員数

総数

3 名

職種別

専従看護師 1 名

専従検査技師 1 名

一般事務 1 名

## 認定・資格

氏名	認定・資格名
城間克也	感染管理認定看護師

氏名	認定・資格名
宮城 健	二級臨床検査士 (微生物学)

## 活動実績

### 2019年度の目標と実績（実績 / 目標）

MRSA 院内発生	48 件 / 50 件以下
針刺し切創・粘膜汚染	40 件 (35・5) / 15 件以下
アルコール製剤使用達成度 (推奨使用量に対し)	74.8% / 80% 以上

手指衛生遵守率（タイミング①）	63.1% / 80% 以上
血液培養汚染率	1.7% / 3.0% 以下
血液培養複数セット採取率	92.2% / 90% 以上

## 主な活動

### 1) 職員教育

全職員対象感染対策講習会 第1回（兼 AST 枠）受講率 19.1%、第2回受講率 10.5%

AST4 職種（医師、看護師、検査技師、薬剤師）対象講習会 受講率 13.1%

### 2) 感染委員会の開催

月1回定例開催で12回の開催 緊急会議等2回開催

感染小委員会月1回定例開催で12回の開催（①職員の手指衛生調査②環境ラウンド、フィードバック）

### 3) アウトブレイク調査と対策介入

インフルエンザウイルス集団感染（法人内発生7事例）への対策介入

### 4) 職業感染予防および職員フォロー

針刺し事例 [40 件] への介入（状況調査、解決案検討と提示）

針刺し後フォロー職員の対応 [3 名]

結核接触職員対応 [1 症例]（追跡フォロー対象選定、行政連携など）

### 5) 厚生労働省サーベイランス（JANIS）への参加

全入院患者部門サーベイランス（耐性菌）、検査部門サーベイランスそれぞれの集計・管理・報告

### 6) 感染防止対策加算における連携施設との活動

加算1施設間の相互ラウンド、加算1・2施設間のカンファレンスの実施

### 7) AST 活動

院内採用抗菌薬の見直し（L-ケフレックス導入、第3世代セフェム系経口抗菌薬削除）

主要抗菌薬の腎機能調整投与量公開

届出抗菌薬の届出方法整備

菌血症患者と届出抗菌薬（チエクール、メロペン）使用のモニタリング・介入

主要な菌の院内アンチバイオグラム報告

血液培養マニュアル改訂、血液培養の1セット提出と汚染事例の監視・介入

### 7) 新興感染症対策

新型コロナウイルス感染症に対する法人対応の整備、院内関係部門や委員会との調整、

現場対応指導・指揮、院外機関や行政・法規などへの対応や調整

## 研修・学会参加

名称	開催地	年月日	主催	参加者
第10回沖縄県感染管理認定看護師会	ハートライフ病院	2019年5月11日	沖縄県感染管理認定看護師会	城間克也、石川由希
感染管理ベストプラクティス 沖縄ワークショップ(第1回)	沖縄県医師会館	2019年6月28日	沖縄県感染管理認定看護師会 日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会	石川由希、与古田拓
第14回ハクゾウ感染対策セミナー	沖縄産業支援センター	2019年6月29日	ハクゾウメディカル株式会社	城間克也、大城美那、久手堅緑
感染管理ベストプラクティス 沖縄ワークショップ(第2回)	沖縄産業支援センター	2019年8月9日	沖縄県感染管理認定看護師会 日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会	城間克也、石川由希、与古田拓
第11回沖縄県感染管理認定看護師会	おきなわクリニカルシミュレーションセンター	2019年9月28日	沖縄県感染管理認定看護師会	城間克也、石川由希
第1回沖縄県感染管理認定看護師会研修会	おきなわクリニカルシミュレーションセンター	2019年9月28日	沖縄県感染管理認定看護師会	城間克也、石川由希
感染管理ベストプラクティス 沖縄ワークショップ(第3回)	沖縄産業支援センター	2019年11月22日	沖縄県感染管理認定看護師会 日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会	城間克也、石川由希、与古田拓
第33回沖縄県感染管理研究会	国立劇場おきなわ小劇場	2019年12月14日	沖縄県感染管理研究会	城間克也
令和元年度院内感染対策講習会	大阪府大阪市	2020年1月14日～16日	厚生労働省	城間克也
沖縄感染症疫学講習会ワークショップ2020	アイム・ユニバースてだこホール	2020年1月25日	沖縄県感染管理研究会	城間克也、石川由希
第12回沖縄県感染管理認定看護師会	沖縄県立中部病院	2020年2月8日	沖縄県感染管理認定看護師会	城間克也
第35回日本環境感染学会総会・学術集会	パシフィコ横浜	2020年2月14日～15日	日本環境感染学会	石川由希

## 勉強会実施実績

名称	開催地	年月日	演者	対象
院内感染対策新入職オリエンテーション	当院	2019年4月1日	普天間光彦	新入職者全員
看護部入職者研修 療養環境と感染対策、PPE着脱、手指衛生	当院	2019年4月3日	城間克也、大城美那、石川由希	看護部新入職者
院内感染対策研修医オリエンテーション	当院	2019年4月5日	城間克也	研修医1年目
針刺し事故の対応	当院	2019年4月8日	城間克也	看護部新入職者
吸引の感染対策	当院	2019年4月19日	城間克也	看護部新入職者
第1回看護補助者研修(手指衛生のタイミング)	当院	2019年5月24日	大城美那	看護補助者
血液培養について	当院	2019年6月4日	城間克也、大城美那、石川由希	看護部中堅研修
第2回看護補助者研修(手指衛生のタイミング)	当院	2019年6月14日	大城美那	看護補助者
病院と感染対策	当院	2019年6月25日	城間克也	職場体験の中学生
接触感染予防策について	当院	2019年6月28日	城間克也	看護部新人3ヶ月フォロー
出前講座「インフルエンザについて」	地域連携の施設	2019年7月23日	城間克也	春華園の職員
手洗い講習	当院	2019年7月25日	城間克也	栄養科職員
2019年度第1回全職員対象感染対策講習会(兼AST枠)	当院	2019年8月7日	佐藤直行	全職員対象
感染性胃腸炎	当院	2019年8月9日	大城美那	看護部2年目フォロー

名称	開催地	年月日	演者	対象
ノロウイルス感染対策	当院	2019年9月6日	石川由希	看護部3年目フォロー
血液培養について	当院	2019年9月17日	城間克也、大城美那、石川由希	看護部中堅研修
「針刺し防止対策」と「培養検査」について	当院	2019年9月20日	城間克也	看護部新人6ヶ月フォロー
第3回看護補助者研修(手指衛生のタイミング)	当院	2019年11月27日	城間克也	看護補助者
感染管理について	当院	2019年11月29日	城間克也	おもと会沖縄看護専門学校統合実習
感染対策について	当院	2019年12月4日	城間克也	ぐしかわ看護専門学校基礎実習
2019年度第2回全職員対象感染対策講習会	当院	2019年12月10日	山下翔一	全職員対象
ノロウイルス感染対策について	ケアセンター	2019年12月17日	城間克也	ケアセンター職員
第4回看護補助者研修(吸引瓶洗浄方法について)	当院	2019年12月25日	石川由希	看護補助者
血液培養について	当院	2020年1月10日	城間克也、大城美那、石川由希	看護部中堅研修
出前講座「ノロウイルスについて」	地域連携の施設	2020年1月21日	城間克也	春華園の職員
2019年度4職種対象AST講習会	当院	2020年2月10日	仲吉博亮	医師、看護師、検査技師、薬剤師
カテーテルと医療関連感染	当院	2020年3月13日	城間克也	看護部新人1年目フォロー

## 2020年度目標

- ・MRSA 院内発生 50件以下
- ・アルコール製剤使用達成度(推奨使用量に対し) 80%以上
- ・手指衛生遵守率タイミング① 80%以上
- ・針刺し・切創、皮膚・粘膜汚染 15件以下
- ・血培汚染率 3.0%以下
- ・血液培養複数セット採取率 90%以上
- ・AUD(抗菌薬使用密度) 2013年度比で20%減

## 感染対策管理室 年度総括



感染対策管理室  
城間 克也

2019年夏、沖縄県ではインフルエンザの大流行があり警報発令まで至りました。入院患者持ち込み契機の院内発生も複数の部署で起こり、季節外れの流行による要因もさることながら、症例振り返りからは“有症者”への対応に課題を残す結果となりました。2020年に入り新型コロナウイルス感染の世界的パンデミックが起こり、県内においても100名を超える感染者が発生しました。協力医療機関として当院においても7名の感染者と40名程の疑い患者の入院診療にあたりました。難題・難局に対し、初めてとなる対応ばかりではありましたが、部門を超え法人が一丸となり感染症に対峙し、5月時点においては無事に第1波を安全に乗り越えることが出来ました。

職業感染対策に関しては、職員の針刺し症例が集計開始以来最大を更新してしまいました。特定部署での発生数が例年に比べ多く、当該部署を巻き込んで症例分析や対策提案と実行へ介入しました。新年度も対応強化を継続し、針刺し件数減少を目指していきます。

抗菌薬適正使用支援チーム（AST）は今年度業務の範囲をさらに広げてまいりました。菌血症患者と届出抗菌薬使用患者への介入では、抗菌薬の変更などの採用率が70%（介入397件⇒279件採用）と前年度63%から改善。少しずつASTの活動について認知されるようになってきたと考えます。適切な検体採取については、使用消毒薬変更やマニュアルの改訂、血液培養1セット提出11事例と汚染11事例へ介入などを行い、複数セット採取率92%、汚染率1.7%と目標値をクリアしました。院内の経口抗菌薬については、第3世代セフェム系の採用削除やクリニカルパスの内容見直し（キノロン系）を実施出来ました。新年度も抗菌薬の適正使用を通じ、患者に理論的な抗菌薬療法を提案し、安全で効果的な感染症治療を達成できるように取り組んでいきます。

院内感染対策及びASTに関する講習会の低い受講率については、未受講職員に対するe-ラーニング配信や確認テストなどを行い、受講率改善を図っていきます。

新年度もICT・ASTの実働部隊が感染制御と抗菌薬適正使用支援という大きな役割を全うし、法人における医療の質の改善に寄与していきます。

# 栄養サポート室

## 部門紹介

栄養サポート室 當眞 結子

栄養サポート（以下 NST）とは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリなどの専門スタッフが連携し、それぞれの知識や技術を持ち合い患者さんにとって最適な方法で栄養支援を行う医療チームの事を言います。

当院 NST は、平成 17 年に院長直下の委員会として発足し、同年に NST 稼働施設認定を取得しました。翌 18 年には褥瘡対策委員会と合併し NST・褥瘡対策委員会として協働で活動しています。

## 栄養サポート室 理念

医療チームの一員として、それぞれの専門スタッフが知識や技術を持ち合い患者さんに最適な方法で栄養支援を行う。

## 栄養サポート室 運営方針

入院患者さんに対し個々の栄養状態を把握し最もふさわしい栄養管理を提言することで、早期回復を助け患者さんの QOL 向上に貢献する。

## 職員数

### 総数

1 名

### 職種別

栄養サポート室 管理栄養士 1 名

### 認定・資格

氏名	認定・資格名
當眞結子	栄養サポートチーム専門療法士 日本臨床栄養代謝学会

## NST 回診&カンファレンスについて

### NST 対象患者選択

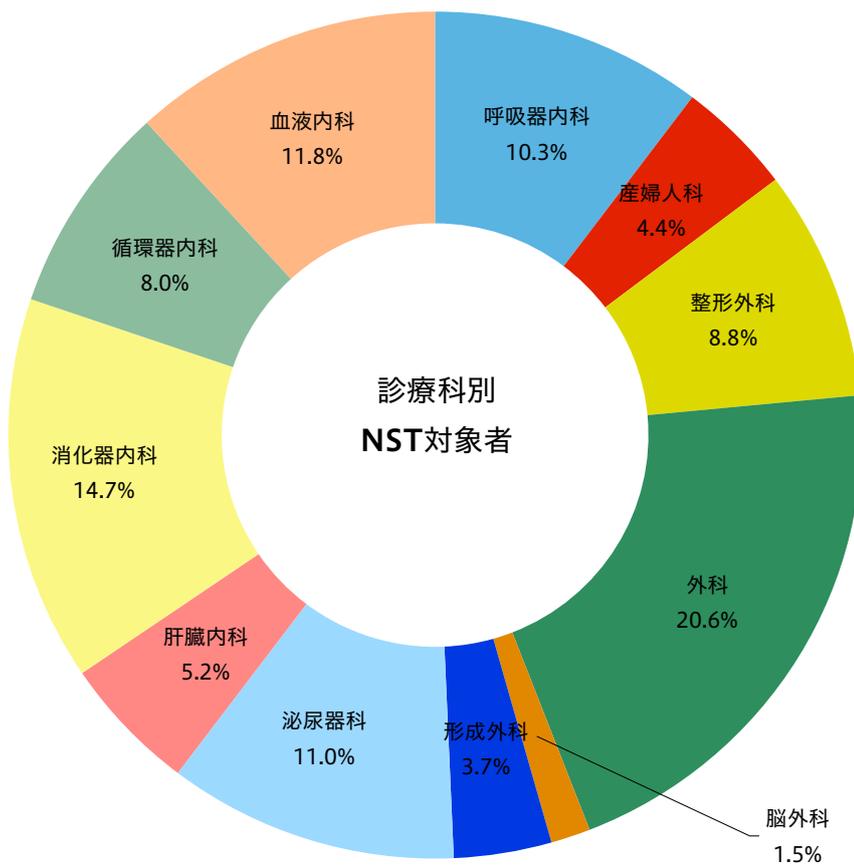
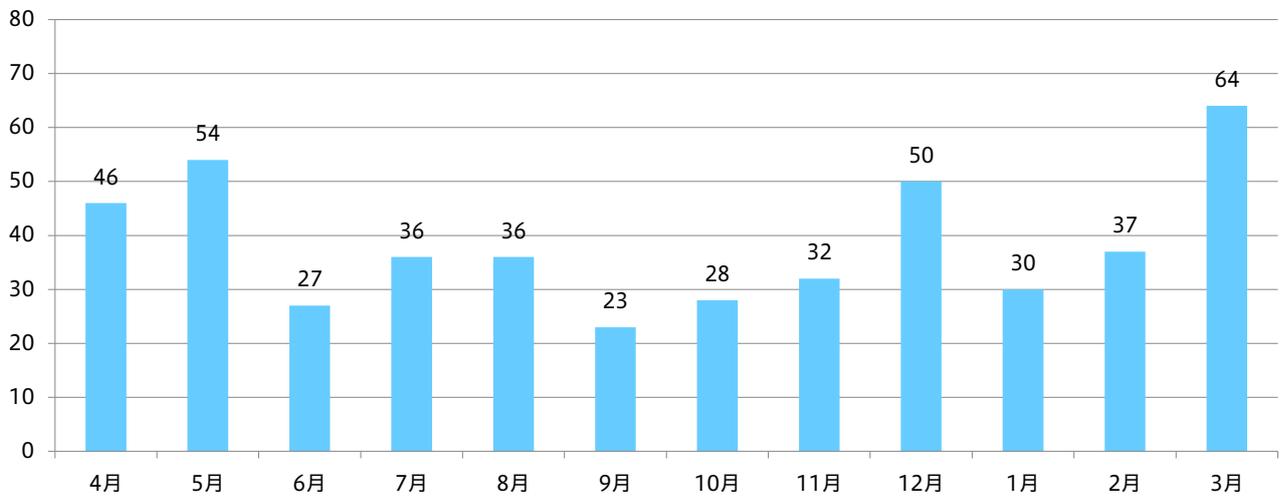
- 回診前週の採血でアルブミン値 3.0mg /dl 以下の患者
- 褥瘡を有してる
- 摂食・嚥下障害がある
- 経腸栄養中のトラブル（下痢・便秘・胃食道逆流・瘻孔トラブルなど）

### NST 対象除外

- 術後の採血でアルブミン値が 3.0mg /dl 以下
- ターミナル期の患者（予後が短く介入困難）
- 化学療法中などの患者でも摂食が十分な場合

業務実績

NST 加算件数



## 活動実績

### 研修実績

研修名	主催	開催地	開催日
イノラスについて	大塚製薬	院内	2019年6月17日
沖縄臨床栄養懇話会	沖縄臨床栄養懇話会	浦添市	2019年6月22日
便秘について	阿嘉先生	院内	2019年11月11日

## 栄養サポート室 年度総括



栄養サポート室  
当眞 結子

2019年度は、外科部長を栄養サポート室委員長、外科医師1名、消化器内科医師1名を副委員長とし、看護師37名、医療技術部12名で委員会は構成されています。

栄養サポート室では全入院患者さんに対し、採血結果Alb値3.0g/dL以下でカンファレンス対象者のリスト作成を行い、リンクナースはNST回診及びカンファレンスの対象となる患者さんをリストアップし、毎週月曜日に病棟回診とカンファレンスを、毎月第2月曜にNST褥瘡委員会を実施しています。

また、創傷カンファレンスへも参加し褥瘡委員会と協働で活動する事で褥瘡の予防からケアに至るまで強化する事ができたと思います。

カンファレンスでは、適切な静脈経腸栄養剤の選択、食事形態や食事量を検討し、主治医や病棟スタッフに対し提案・助言を行い、フィードバックを重ね栄養状態の改善に努めました。

平成30年度に設立された嚥下チームへも参加し、毎週水曜日の病棟ラウンドとカンファレンスにて高齢や様々な疾病により食べる機能が低下した患者さんが「食べる楽しみ」を得られるように支援しています。

栄養管理は、すべての疾患治療の上で共通する基本的医療のひとつです。症状や疾患に対する専門的な栄養療法の知識を習得し、患者さん個々に応じた栄養管理が実施できるよう取り組んでいきたいと考えております。

# 内視鏡センター

## 部門紹介

内視鏡センター長 折田 均

内視鏡センターは日本内視鏡学会の認定指導施設で、内視鏡センターには指導医や専門医、消化器内視鏡技師を含む看護スタッフなど 35 名が従事しています。当センターでは通常検査や予防医学センターの検査のほか、消化管出血などに対する緊急内視鏡処置も多数行っており、総胆管結石などの胆・膵の処置（ERCP 関連）や従来は外科的手術が必要だった、病変が広い早期食道がんや胃がん、大腸がんに対して、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を取り入れています。

## 職員数

総数 37 名

職種別

指導医	4 名	内視鏡技師 I 種	6 名
専門医	5 名	II 種	3 名
その他	7 名	看護師	8 名
		助手	4 名

## 担当医師

	氏名	学会認定など
名誉院長	奥島 憲彦	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会専門医
院長	佐久川 廣	日本肝臓学会指導医 日本感染症学会指導医 ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会指導医
内視鏡センター長	折田 均	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会指導医
消化器内視鏡部長	仲本 学	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 日本内科学会指導医

	氏名	学会認定など
予防医学センター 副センター長	宮里 稔	日本消化器内視鏡学会専門医 日本東洋医学会認定医 日本内科学会認定内科医
消化器内科部長 5階病棟医長	宮城 純	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医
大腸・肛門外科部長	阿嘉 裕之	日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本外科学会専門医
肝臓内科副部長	柴田 大介	日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医
	洲鎌 理知子	
	小橋川 ちはる	日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
	仲舩 拓	日本内科学会認定内科医
	林 貴徳	日本内科学会認定内科医
	宮城 泰雅	

### 内視鏡センター 運営方針

1. インフォームドコンセントを充実させ、受検者の満足に答える医療サービスを提供する。
2. 安全性を確保しつつより高いレベルへの診断能の向上、内視鏡治療の質の向上をめざす。
3. 消化器内視鏡指導施設として、医師及びコメディカルスタッフの指導・育成を行う。

### 目標

- (1) より高い診療技術の向上
- (2) 患者安全の確保
- (3) 洗浄・消毒の徹底と管理

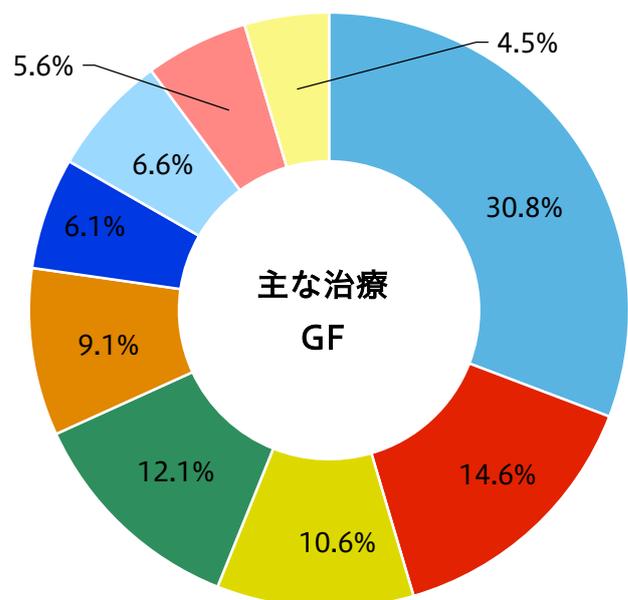
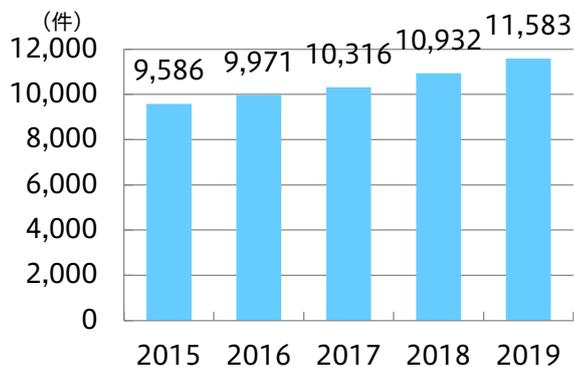
## 検査・治療件数

### 内視鏡検査及び内視鏡的治療

種別	合計
胃内視鏡	11,583
大腸内視鏡	3,170
ERCP	168
小腸内視鏡	4
気管支鏡	65
<b>上部消化管 (内訳)</b>	
止血術	29
EMR	12
EVL	21
EIS	13
食道狭窄拡張術バルーン	24
食道狭窄拡張術ブジー	61
食道ステント留置術	3
焼灼術	7
異物摘出術	11
胃瘻造設術	34
粘膜下層切開剥離術	18
イレウスチューブ挿入	1
POEM	9
胃・十二指腸・小腸拡張	0
超音波内視鏡	78

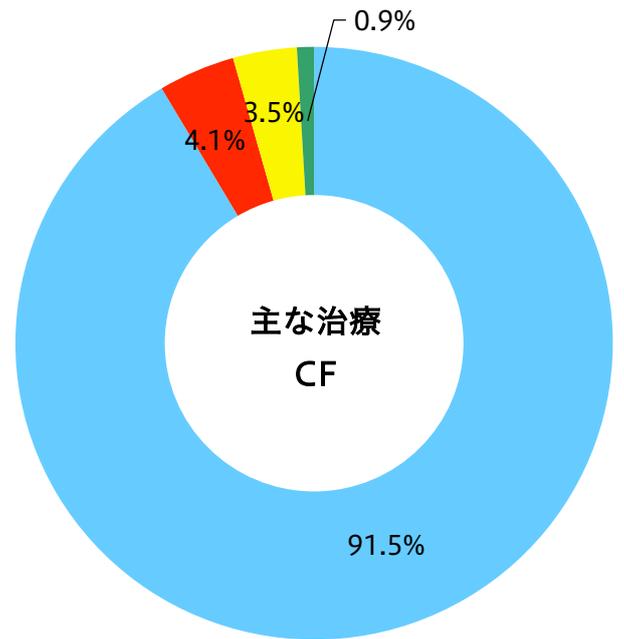
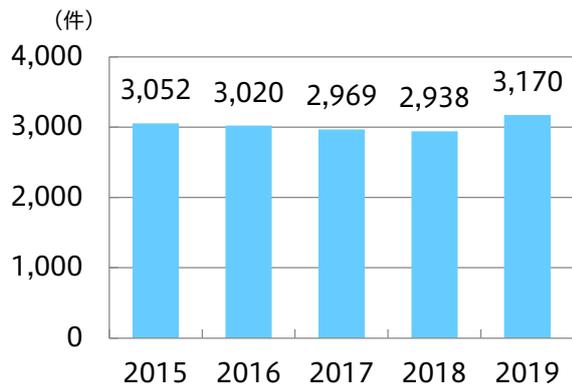
下部消化管 (内訳)	
EMR	397
止血術	18
直腸狭窄拡張術	15
異物摘出術	0
超音波内視鏡	0
粘膜下層切開剥離術	4
イレウスチューブ挿入	4
ステント	3
マーキング	4
<b>胆道・膵管 (内訳)</b>	
乳頭切開術 (EST)	52
乳頭拡張術 (EPBD)	26
総胆管結石砕石 / 採石術	60
経鼻胆管ドレナージ (ENBD)	2
胆管 stent	123
膵管 stent	36
超音波内視鏡	24
<b>気管支鏡 (内訳)</b>	
経気管支肺生検 (TBLB)	37
肺胞洗浄 (BAL)	12
異物摘出術	1
ステント挿入	0

## GF 件数



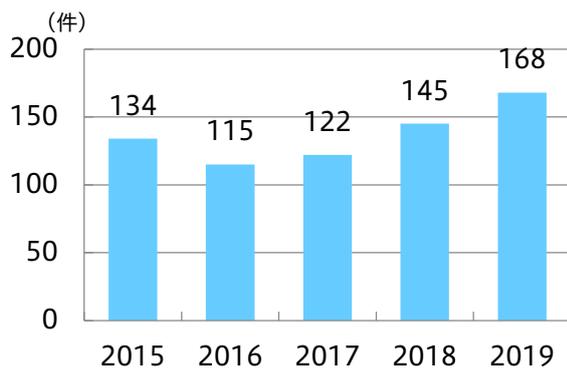
- 食道狭窄拡張術ブジー
- 止血術
- EVL
- 食道狭窄拡張術バルーン
- 粘膜下層切開剥離術
- EMR
- EIS
- 異物摘出術
- POEM

### CF 件数

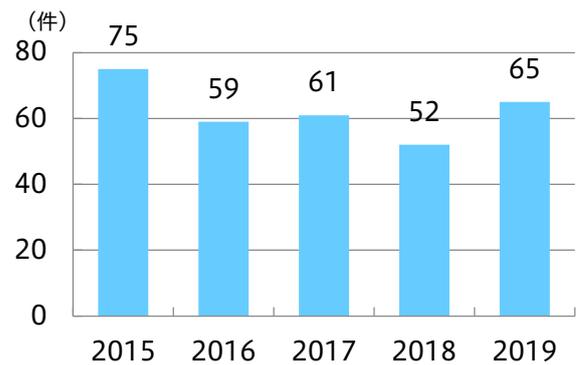


- EMR
- 止血術
- 直腸狭窄拡張術
- 粘膜下層切開剥離術

### ERCP 件数



### BF 件数



## 研究業績

### 学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 105 回日本消化器病学会総会	頸部食道狭窄を伴う早期食道癌に対する経皮経胃的逆行性食道 ESD の治療経験	石川県	2019 年 5 月 9 日	仲本学、林貴徳、仲舛拓、柴田大介、小橋川ちはる、宮城純、折田均、佐久川廣、花城直次 (外科)
第 127 回沖縄県医師会医学会総会集会	POEM 施行時に出血をきたした食道アカラシアの一例	沖縄県	2019 年 6 月 9 日	奥島 憲彦、仲本 正哉、国吉 史雄、野村 寛徳、阿嘉 裕行、花城直次、宮平 工、西原 実、嵩原 裕夫
第 128 回沖縄県医師会医学会総会集会	食道アカラシアおよび類縁疾患に対する POEM 手術 50 例の治療成績の検討	沖縄県	2019 年 12 月 8 日	奥島 憲彦、泉家 匠、仲本 正哉、国吉 史雄、野村 寛徳、阿嘉 裕之、花城 直次、宮平 工、西原 実、嵩原 裕夫
第 51 回消化器病センター例会	食道アカラシアの再手術に際し、POEM 手術が有用だった 3 例	東京都	2020 年 1 月 18 日	泉家匠、奥島憲彦

## 内視鏡センター 年度総括



内視鏡センター長  
折田 均

2019 年の内視鏡件数は上部も下部も過去最高を更新しました。しかし、沖縄県の大腸がん死亡率の高さを考えると、下部内視鏡はもっと増やしていきたいと考えています。

内視鏡センターの拡張工事が昨年度で完了し、今後は検査件数も大幅に増やす事が可能となりました。その為には人員（内視鏡医や内視鏡技師など）を確保し、増加する検査に対応すべく体制を整えなければなりません。また、需要の多い健診部門以外にも、外来や病棟からの検査件数を増やす努力も必要です。

# 予防医学センター

## 部門紹介

予防医学センター長 謝花 隆光

予防医学センター（旧メディカルサービスセンター）は、昭和63年8月ハートライフ病院開院時より、旧館（現西館）1階外来部門にて業務を開始しましたが、新館（現本館）増築後、平成4年4月に、本館8階に移転となりました。平成27年9月には日本人間ドック学会人間ドック健診施設機能評価の認定を頂きました。平成28年度より本館8階の改築が始まり、平成30年12月に完成し、本館8階が全て専用フロアとなり、広々とした空間で快適な人間ドック・健診を受けて頂く事ができるようになっています。

昭和63年度を受診者数は、日帰りドックが46人、健診197人でしたが、令和元年度は、日帰りドックが7,969人、2日ドックが406人、協会健診が6,454人、その他の健診を含めた総受診者数が19,098人となっています。

## 施設認定

- ・ 日本人間ドック学会人間ドック健診施設機能評価認定
- ・ 全日本病院学会人間ドック実施施設認定
- ・ 特定健診・特定保健指導機関認定

## 職員数

### 総数

49名

### 職種別

医師	6名	臨床検査技師	6名
保健師	5名	一般事務	11名
看護師	13名	クラーク	7名
管理栄養士	1名		

## 医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
予防医学センター長	謝花 隆光	消化器内科	日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本内科学会認定内科医
予防医学センター副センター長	宮里 稔	東洋医学、消化器内科（内視鏡検査）	日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本内科学会認定内科医
常勤	大城 志乃	内科	日本医師会認定産業医、日本人間ドック学会認定医、日本内科学会認定内科医、検診マンモグラフィ読影認定医

役職	氏名	専門分野	学会認定など
非常勤	奥島 しょう子		日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本人間ドック学会人間ドック健診情報管理指導士、日本医師会認定産業医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本人間ドック学会人間ドック健診指導医
非常勤	金城 詩子		日本内科学会認定内科医
非常勤	松元 真紀子		

### 認定・資格

氏名	名称
安次富 道代	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
桃原 勝美	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
友寄 一乃	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
宮城 さおり	第1種衛生管理者免許

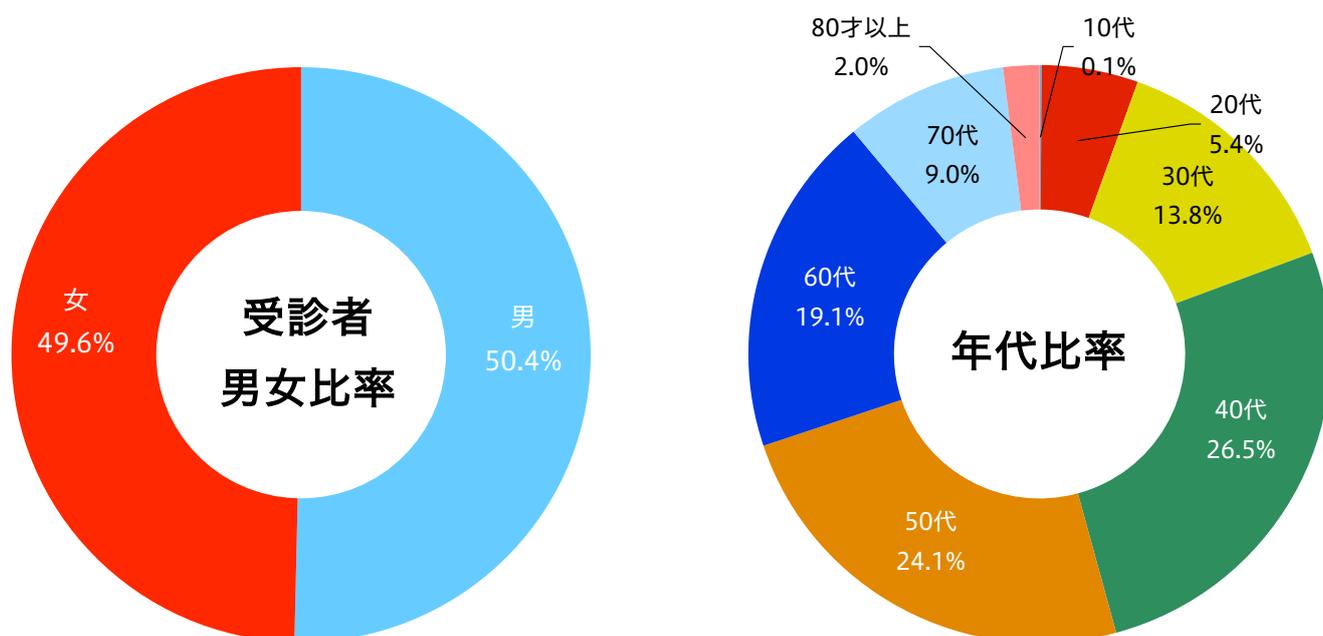
### 予防医学センター 理念

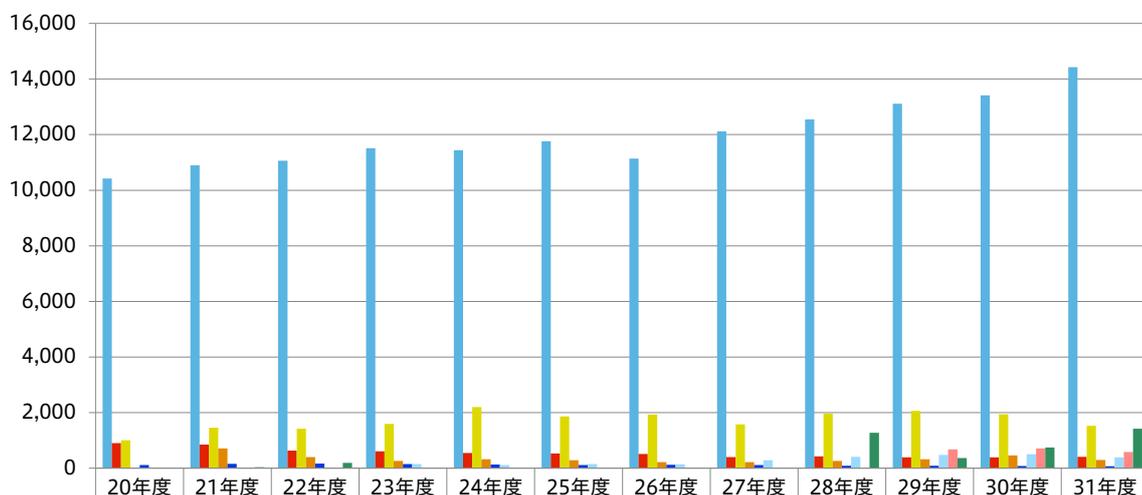
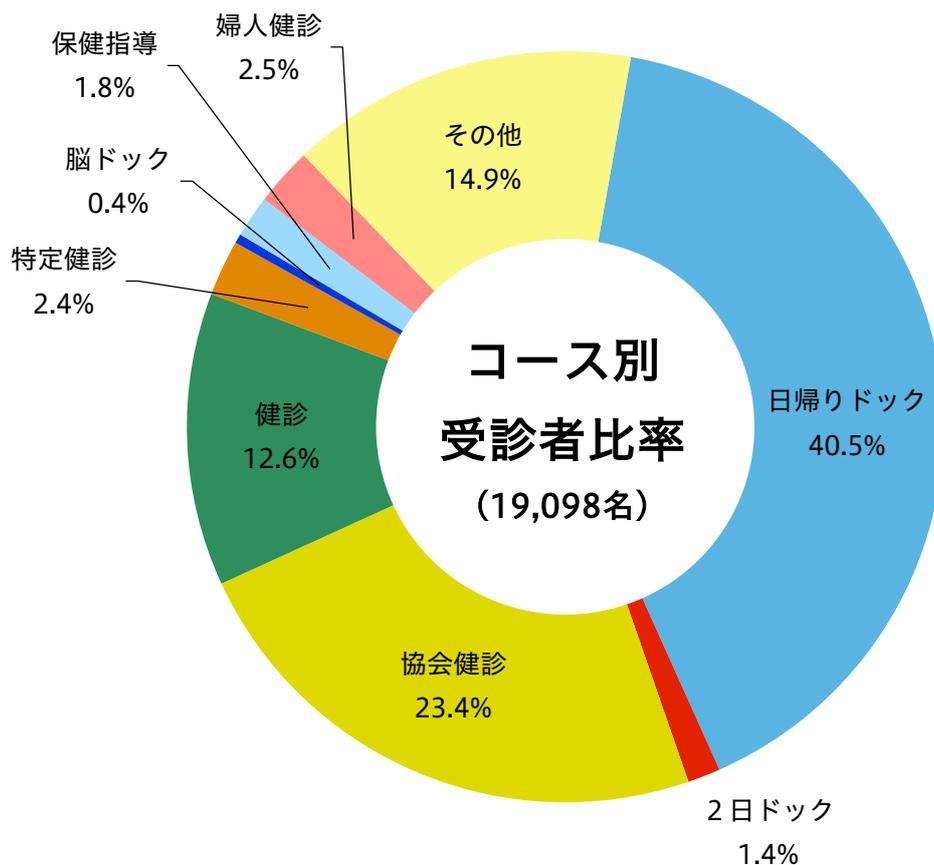
1. 受診者に満足いただけるよう、心のこもった親切・丁寧な接遇につとめます
2. 診断技術と検査の精度向上に心がけ、質の高い信頼される健診に努めます
3. 医師、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、事務職などスタッフ全員が相互連携協力して、最良の健診サービスに努めます
4. 受診者に満足していただけるよう、健診結果を十分に説明し、かつ事後の健康支援に努めます

### 予防医学センター 運営方針

私たちは、受診者との心のふれあいを大切に信頼される予防医学をめざします。

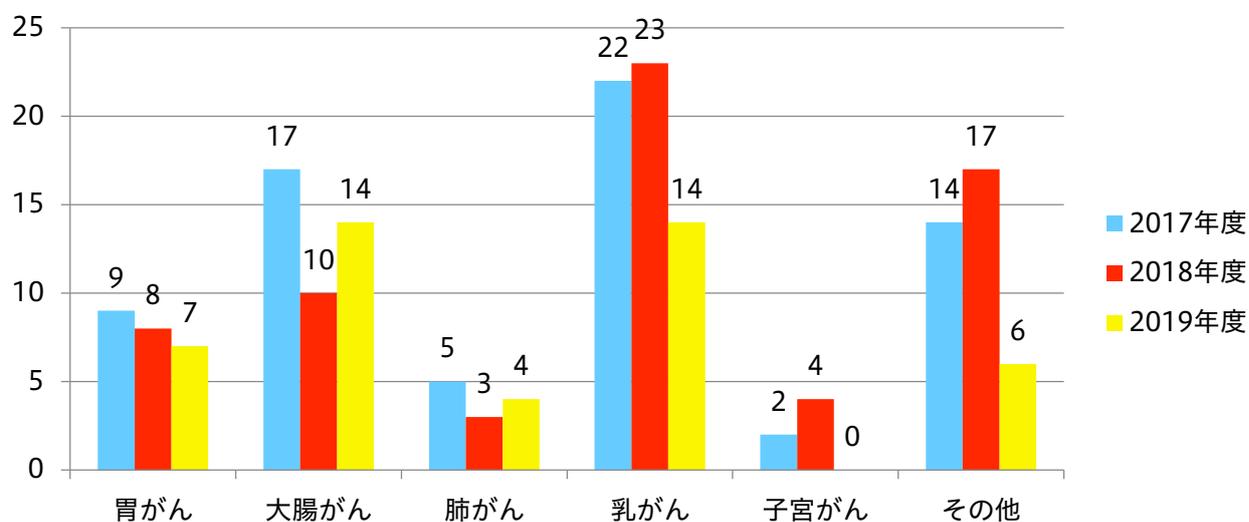
### 2019年度 ドック・健診の実績





	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
■ 日帰りドック (協会けんぽ含)	10,420	10,900	11,061	11,511	11,440	11,762	11,136	12,115	12,553	13,109	13,418	14,423
■ 2日ドック	899	847	628	604	546	530	510	396	423	389	387	406
■ 健診	1,003	1,455	1,417	1,589	2,194	1,859	1,926	1,575	1,961	2,057	1,939	1,520
■ 特定健診		707	401	260	323	289	217	214	260	319	460	292
■ 脳ドック	112	156	162	145	127	111	119	114	84	83	76	69
■ 保健指導				146	115	145	140	282	408	476	499	387
■ 婦人検診										677	708	584
■ その他	0	32	193	0	0				1,274	360	744	1,417

## 悪性腫瘍発見数



## 活動実績

### 学会発表

演題名	主催(学会名)	場所	日時	参加者
当センターの特定保健指導における減酒支援とその効果の検討	第60回日本人間ドック学会学術大会	岡山コンベンションセンター	2019年7月26日	友寄・高宮・宮城・謝花

### 院外勉強会

演題名	主催(学会名)	場所	日時	参加者
第一回沖縄超音波スクリーニング研修会	沖縄県臨床検査技師会有志	浦添総合病院	2019年5月18日	上地・大城・蔵下
2019年度沖縄県看護協会通常総会	沖縄県看護協会	沖縄県看護研修センター	2019年6月15日	小橋川・石川
沖縄看護協会通常総会 職能集会	看護協会	沖縄県看護協会	2019年6月15日	石川
看護職の倫理	看護協会	沖縄県看護協会	2019年7月3日	高宮
ブラッシュアップ研修	人間ドック学会	東京 AP ホール	2019年7月6日	安次富
人間ドック学会	人間ドック学会	岡山コンベンションセンター	2019年7月26日	友寄・高宮・宮城・謝花
第2回 特定保健指導研修会	国保連	パンフィックホテル	2019年11月20日	山里
医療安全管理者養成研修	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2020年1月17日	高宮
宜野湾市の2次検診の活用と糖尿病性腎症重症化予防の課題、解決について学ぶ	宜野湾市	宜野湾市役所多目的会議室	2020年1月20日	呉屋・山内・桃原・友寄・又吉・山里
看護マネジメントリフレクションの活用と実践	沖縄県看護管理会	沖縄県看護協会	2020年1月28日	高宮
特定保健指導実施者研修会(禁煙指導)	浦添市	浦添市保険相談センター	2020年1月30日	桃原

院内勉強会

演題名	講師	場所	日時	参加
個人情報保護 病院 IT セキュリティ・ 接遇	大城	予防医学セン ター	2019年5月17日、 20日	5名
個人情報保護 病院 IT セキュリティ・ 接遇	糸数	予防医学セン ター	2019年5月20日	12名
病院 IT セキュリティ	安次富	予防医学セン ター	2019年6月5日	20名
安全な採血	高宮	予防医学セン ター	2019年6月5日	8名
血糖測定方法	安次富	予防医学セン ター	2019年6月28日	10名
接遇	安次富	予防医学セン ター	2019年7月8日	26名
個人情報保護 接客	安次富	予防医学セン ター	2019年7月12日	13名
火災訓練	中北消防	当院	2019年8月7日	17名
急変時対応訓練	院医療安全チーム	当院予防医学セ ンター	2019年8月27日	24名
医療安全	久場先生	当院・eラーニン グ	2019年9月4日	44名
AED 酸素マスク使用方法	仲松・臨床工学技士	予防医学セン ター	2019年9月9日	12名
急変対応訓練	安次富	予防医学セン ター	2019年11月6日	9名
BLS	内間師長・洲鎌師長・安谷屋 師長	予防医学セン ター	2019年11月18日、 20日、22日	42名
特定保健指導ミニ勉強会・概要	又吉	予防医学セン ター	2019年12月11日	9名
あたまの健康チェック	伊賀良太《エーザイ》	予防医学セン ター	2020年1月26日	7名
特定保健指導ミニ勉強会・料金	友寄	予防医学セン ター	2020年1月27日	9名
感染：医療廃棄物について	高宮	予防医学セン ター	2020年2月4日	

## 予防医学センター 年度総括



予防医学センター  
センター長  
謝花 隆光

2019年度の予防医学センターは、令和2年3月の日本人間ドック学会人間ドック健診施設機能評価の更新に向けての準備を行いながら、人間ドック・健診受診者数の増加、受診者の視点に立った業務改善やスタッフ教育の充実による健診・ドックの質の向上、オプション検査の充実をはかり、過去最高の業績を伸ばすことが出来ました。

2019年度の間人ドック・健診の受診者数は、19,098人で前年度より867人の増加となりました。数年前から引き続き、消化器内科の先生方と内視鏡センターのスタッフの皆さんの御協力により、胃カメラ検査において、経鼻・経口内視鏡検査枠の拡大を図ったことが大きな要因です。また、診察医師の不足のため、長期にわたり医局内科の先生方に診察の応援をして頂きました。

オプション検査として、2019年度は腸内フローラ検査が加わりました。これまでのオプション検査は、引き続き選択できるようになっています。

以前からの取り組みとして、受診者の視点に立ったサービスを提供するため、投書による意見、提案、苦情に対して、改善点を掲示欄に貼りだし受診者にフィードバックすることも継続して行っています。

教育活動としては、医師や看護師・保健師チーム、検査科、外部講師による勉強会を頻回に行い、また病院の勉強会にも積極的に参加して、スタッフ間の共有知識を増やし日常業務に役立てています。2019年度は、日本人間ドック学会学術大会で2題の演題発表を行いました。

2019年度も、診察や読影に御協力して下さった医局の先生方、看護部、放射線科、臨床検査科、各外来診療科、救急室、内視鏡センター、ハートライフクリニック、薬局、地域医療連携室、栄養科、食堂とまと、その他各部署の御協力により、業績を伸ばすことができました。深く感謝申し上げます。

# 患者総合支援センター

## 部門紹介

患者総合支援センター長 西原 実

当センターでは、患者さんがその人らしく、地域に戻ってからも安心して生活が送れるように、院内の様々な多職種チームで連携し支援しています。

①患者にとって良質な入退院支援の流れになっているか。②スタッフのためになっているか。③持続できる取り組みかの3点を意識しながら体制を整えてきました。

地域の関係機関とも連携を図り、外来受診から、入院、退院後を見据えた支援を心掛け、患者、家族の総合窓口として、多職種スタッフが協力して対応し、安心して治療を受けていただくことを目指しています。

地域医療の中核を担う急性期病院の入り口として、患者さんや地域医療機関からも信頼される病院を目指し、今年度も更に多職種との連携を密にし、質の向上を図るとともに、顔の見える関係づくりのため、症例検討会や勉強会、地域医療連携懇談会なども積極的に行なっています。

## 職員数

総数

22名

職種別

医師	1名	入退院調整看護師	1名
一般事務	6名	看護師	6名
医療ソーシャルワーカー	6名	クラーク	2名

認定・資格

認定・資格名	人数
社会福祉士	6
精神保健福祉士	1
介護支援専門員	4
医療福祉連携士	1

## 基本理念

私たちは、安全で信頼される医療を地域に提供します。

顔が見える地域連携と入退院調整、相談支援を目指します。

## 方針

1. 患者、家族、連携先各機関、院内各部署、院外連携機関との連携体制を構築する。
2. 地域包括ケアを見据え、地域医療・介護連携を推進する。
3. 入院前から入院中、退院後の地域生活を見据えて援助する。

## 目的

1. 患者を中心として、地域社会、連携先各機関と「かりゆし会」とのスムーズな連携を図る。
2. 入院決定時から多職種で連携し、入退院に関連した患者サービスを向上させ、安全・安楽な入院生活を送る為の支援体制を構築する。
3. 社会資源の活用ができ、退院後も安全で安心な環境を整備する。

## 地域医療連携室

### 2019 年度目標

#### ①社会医療法人としての役割強化

夜間・休日の救急車受入れ件数 年間 1,700 件以上  
僻地医療の検討と取り組み

#### ②地域医療支援病院としての役割強化

承認条件：紹介率 60%以上 逆紹介率 40%以上  
目 標：紹介率 80%以上 逆紹介率 73%以上

#### ③新規紹介患者への取り組みの更なる強化

登録医療機関の新規開拓 (24 件 / 年)  
登録医訪問 (60 件 / 年)

## 業務内容

- ・紹介患者および逆紹介患者に関する調整業務
- ・各医療機関への広報活動に関する業務
- ・勉強会・講演会・市民公開講座に関する業務
- ・院内各部署、院外関連機関とのより良い連携体制の構築

## 業務実績

### 無料健康講座

	日付	演題	場所	講演担当	時間	参加人数
第1回	2019年6月8日	食道がんの早期発見と治療	ハートライフ病院	外科 奥島 憲彦	12:30～13:30	16名
第2回	2019年6月20日	簡単ヘアゴム エクササイズ	西原町台団地自治会	理学療法士 長嶺敦司	11:00～12:00	15名
第3回	2019年6月26日	簡単ヘアゴム エクササイズ	西原町いいあんべー家	理学療法士 長嶺敦司	10:00～11:00	16名
第4回	2019年7月6日	熱中症 ～その予防と対策	ハートライフ病院	救急看護認定看護師 特定行為研修終了 兼本愛美	12:30～13:30	12名
第5回	2019年7月11日	熱中症 ～その予防と対策	西原町呉屋自治会	看護師 山田 義長	10:30～11:30	17名
第6回	2019年8月8日	簡単ヘアゴム エクササイズ	西原南小学校 体育館	理学療法士 長嶺敦司	17:30～18:30	55名
第7回	2019年8月24日	認知症について	ハートライフ病院	心療内科 菅野 善一郎	12:30～13:30	13名
第8回	2019年8月28日	認知症の予防について	西原町いいあんべー家	理学療法士 長嶺敦司	10:00～11:00	29名
第9回	2019年9月19日	簡単ヘアゴム エクササイズ	中城村伊集自治会	理学療法士 長嶺敦司	14:00～15:00	18名
第10回	2019年9月28日	中性脂肪とコレステロールをおとすには	ハートライフ病院	栄養科 棚原 佳世	12:30～13:30	22名
第11回	2019年10月19日	食品と健康	ハートライフ病院	予防医学センター長 謝花 隆光	12:30～13:30	21名
第12回	2019年10月29日	簡単ヘアゴム エクササイズ	中城村北上原自治会	理学療法士 長嶺敦司	14:00～15:00	25名
第13回	2019年11月7日	簡単ヘアゴム エクササイズ	中城村新垣自治会	理学療法士 長嶺敦司	14:00～15:00	18名
第14回	2019年11月8日	認知症予防のための運動	西原町小波津自治会	理学療法士 長嶺敦司	19:30～20:30	32名
第15回	2019年11月30日	介護保険について	ハートライフ病院	社会福祉士 徳盛 宏賢	12:30～13:30	9名
第16回	2020年1月23日	認知症予防に効果的な運動	宜野湾市保健相談センター	理学療法士 長嶺敦司	9:30～11:00	23名
第17回	2020年2月1日	脳卒中について	ハートライフ病院	脳神経外科部長 末吉 健次	12:30～13:30	15名
第18回	2020年2月17日	簡単ヘアゴム エクササイズ	西原町森川自治会	理学療法士 長嶺敦司	14:00～15:00	12名
第19回	2020年2月20日	認知症予防に効果的な運動	中城村伊集自治会	理学療法士 長嶺敦司	14:00～15:00	18名
参加者合計						386名

### 症例検討会・勉強会

	開催年月日	担当科	開催場所	症例件数	院外参加者	院内参加者	参加者合計
1	2019年6月19日(水) 18:00～19:30	救急	講堂	3	95	30	125
2	2019年6月20日(木) 18:00～19:30	医療連携講演会	講堂			48	48
3	2019年7月23日(火) 14:30～15:30	看護部:感染	春華園		24		24
4	2019年8月22日(木) 19:00～20:30	消化器	講堂	4	3	24	27
5	2019年10月31日(木) 18:00～20:00	救急	講堂	3	79	47	126
6	2020年1月15日(水) 18:00～19:00	看護部:安全	西原敬愛園		56		56
7	2020年1月21日(水) 14:30～15:30	看護部:感染	春華園		13		13
合計				10	270	149	419

## 2019 年度総括

2019 年度は、職員欠員補充ができたので前年度実施ができなかった登録医訪問（136 ヶ所）や市民公開講座（7 回）・出前健康講話等（12 回）が実施できました。また紹介率・逆紹介率アップに向けての取り組みができました。次年度は地域連携体制のさらなる構築に取り組んでいきます。

## 2020 年度目標

### ①社会医療法人としての役割強化

夜間・休日の救急車受入れ件数 年間 1,700 件以上

### ②地域医療支援病院としての役割強化

目 標 : 紹介率 81.2%以上 逆紹介率 75.8%以上

### ③新規紹介患者への取り組みの更なる強化

登録医療機関の新規開拓（24 件／年）

登録医訪問（60 件／年）

## 入退院支援室

### 2019年度目標

- 1 患者満足度向上（多職種支援）
- 2 長期入院患者の減少（入退院支援の充実）  
（新規入院：770/人 病床利用：285床 在院日数：11.3/日）
- 3 職員満足度の向上（負担軽減）

### 入退院支援室業務内容

- 1 入院支援（外来から病棟への橋渡し）
  - ・患者情報の収集
  - ・入院に関わる、検査・手術・治療・入院生活について説明
  - ・入院に必要な書類の作成・説明
  - ・患者・家族の心理的支援
  - ・加算取得に関わる書類作成・患者説明
- 2 院内や地域との橋渡し・調整
  - ・病棟入退院支援看護師・MSWと連携し7日以内に共同カンファレンス
  - ・病棟入退院支援看護師・MSW・多職種で退院に向けて支援
- 3 病棟回診 患者カンファレンスへの参加
- 4 退院前合同カンファレンスへの参加
  - ・患者家族・在宅ケアチームとの顔合わせ
  - ・退院後も継続する課題・解決策を検討
  - ・必要時家屋調査・退院後訪問
- 5 地域の医療機関との転院調整
- 6 入退院支援に関する院内のスタッフ教育・多職種への啓蒙活動
- 7 在宅への仕組みづくり
  - ・多職種で連携のリーダーとなり、在宅でも安心して生活できる退院支援の仕組み作り

### 業務実績

#### 2019年度の活動

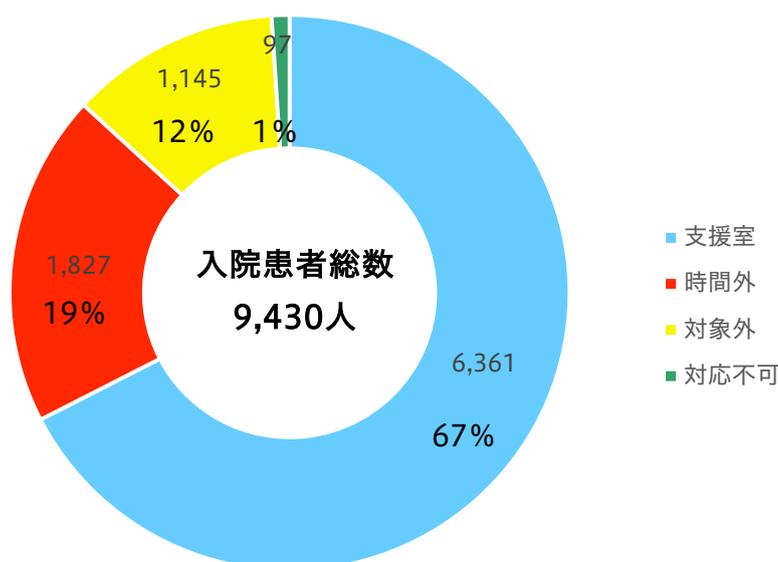
年月日	名称
4月	各病棟へ入退院支援看護師を配置 業務拡大
	看護師介入による退院支援の開始
	入退院支援加算取得 目標：平均300件/月(40%)
	入退院支援看護師会（定例委員会2回/月）
5月	大腸癌プロジェクトへ参加
6月	DPC 期間 I・II期間での入退院支援開始（目標：I・II期間70%以上）
	DPC 期間III越えの患者は長期患者として退院支援強化
	各部署の退院調整の権限を各師長へ権限移乗し退院日の調整開始

年月日	名称
8月	土曜日 看護師2名体制へ(9時～13時) 入退院支援室での栄養指導開始(火曜日・水曜日)
11月	【総合評価加算】算定開始(外科系診療科より開始) 夜間・休日入院患者の【かかりつけ医】の同意書取得開始 病棟入院時カンファレンスへリハビリ担当の参加
1月	ポリファーマシーへ参加
3月	支援室の対応時間の拡大 月曜日～金曜日:(午前8時30分～18時30分)、土曜日:(午前8時30分～17時)

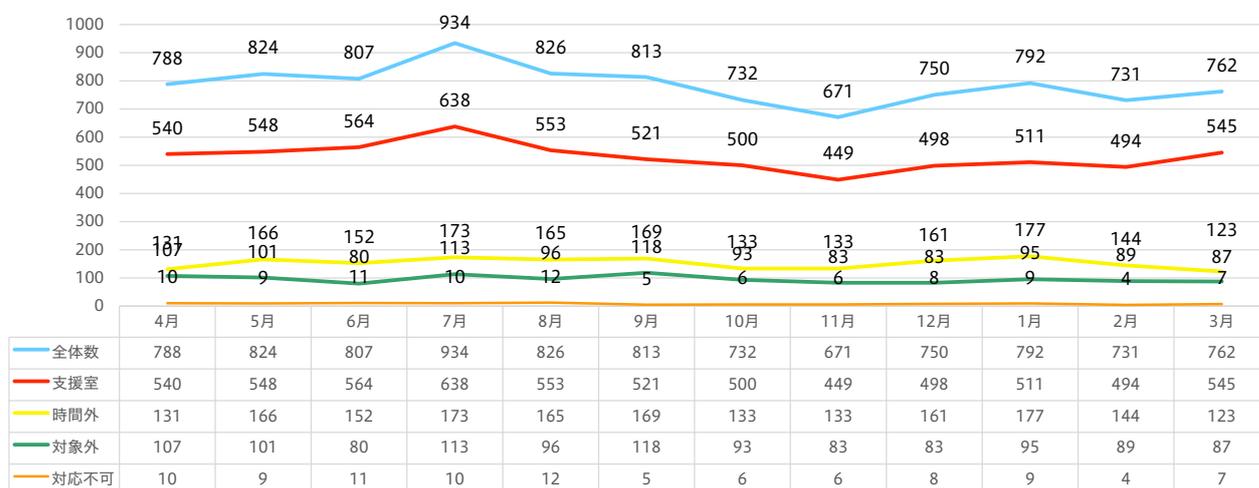
## 活動実績

- ・ 沖縄県入退院連携デザイン事業多職種研究会参加
- ・ 地域連携室実務担当者協議会参加
- ・ 在宅医療支援について急性期・一般病院と訪問看護ステーションとの連携協議会参加
- ・ 結核指定医療機関等連絡協議会参加

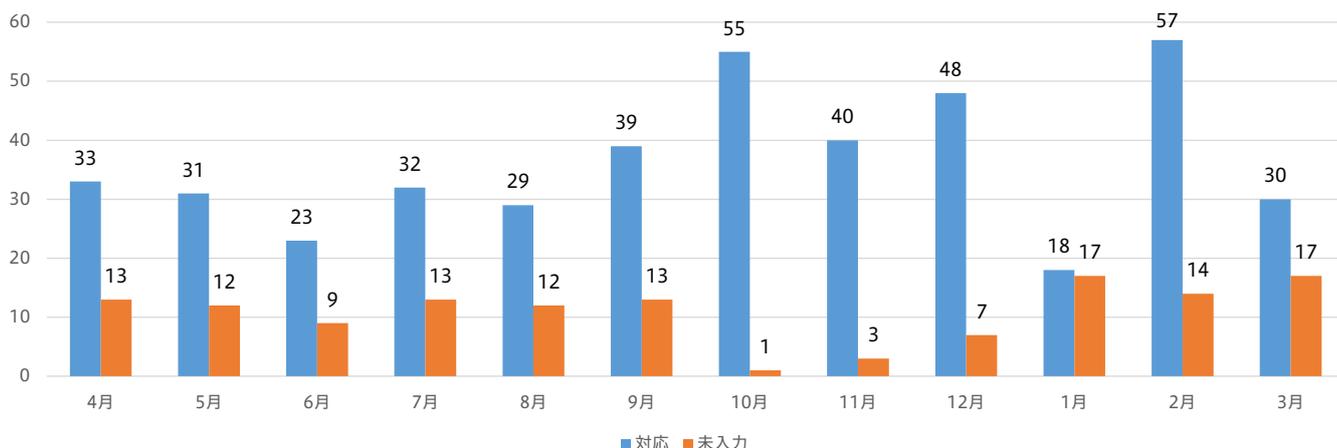
## 2019年度入退院支援室対応割合



## 2019年度入退院支援室患者対応数推移



### 2019 年度入院診療計画書対応依頼件数（予約入院患者）



### 2019 年度総括

今年度は病棟に入退院支援看護師を配置し、3 指標・DPC 期間 II を意識した入退院調整を行ってきました。次年度は更に重症度、医療・看護必要度を意識した病床運用を目指します。

また、これまで退院支援は MSW を中心に行ってきましたが、看護師が積極的に入院時から退院後を見据えた指導と意思決定に関わり、退院支援は退院させることだけではなく、患者が地域に戻ってからも安心して生活が送れるように関わってきました。結果、退院支援件数も増え加算取得に繋げることが出来ました。

次年度は更に質の高い支援を目指して支援を行う看護師の知識向上・スキルアップを図ってまいります。

### 2020 年度の取り組み

- ・ 3 指標目標：新規入院患者数（810 人 / 月）、病床利用（285 床）在院日数（10.7 日）、定数を遵守した病床管理 重症度、医療・看護必要度を意識した病床運用（各診療科 各部署との連携強化）
- ・ 退院調整・退院指導の充実（病棟入退院支援看護師の業務拡大、地域担当者との連携）
- ・ 入院時に必要な書類の管理徹底と算定可能な加算取得（院内連携の強化）

## 医療福祉相談室

### 2019 年度目標

- ①地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み
  - ・院内の入退院支援システムの構築と強化、多職種連携の強化
  - ・周辺地域の行政、介護サービス事業所、医療機関との協議と連携
  - ・在宅医療介護連携の推進への協力と連携
- ②新ソーシャルワークデータシステム（MANBO）による業務評価と分析
- ③入退院支援関連加算の算定
  - ・入退院支援加算：170 件 / 月
  - ・介護支援連携指導料：37 件 / 月
  - ・退院時共同指導料：4 件 / 月
- ④医療ソーシャルワーカーの質の担保
- ⑤血液内科移植サポートスタッフの質の担保

### 業務実績

#### 地域包括ケアに関する外部会議等

名称	開催年月日
西原町高齢者虐待・障がい者虐待防止対策協議会	通年
西原町高齢者・障がい者虐待防止対策協議会実務者会議	通年
宜野湾市在宅医療介護推進会議	通年
中部地区連携研究会	通年
おきなわ脳卒中地域連携委員会総会	通年
沖縄県入退院連携デザイン事業 中部圏域調整会議	通年
中部保健所管内における救急告示病院と精神科医療機関との連絡会議	2019年9月3日
南城市介護保険関係者研修会・交流会	2019年11月9日

#### 学会発表

学会名 / 演題名	開催地	開催年月日	発表者
全日本病院学会 / 退院支援から入退院支援へ～患者総合支援センターの発足と退院支援看護師との協働～	愛知県	2019年9月15日～ 2019年9月16日	高澤

#### 勉強会・研修会への参加

勉強会・研修会名	開催年月日	参加者
入退院支援センターの取り組み	2019年4月12日	望月、川満、高澤、徳盛、佐平、兼次
これからの在宅医療の方向について	2019年4月19日	望月、西田、川満、高澤、佐平、兼次
入退院支援連携指針作成研修会	2019年6月8日	高澤
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 初任者研修会	2019年7月13日	兼次
	2019年7月21日	兼次、佐平
	2019年8月10日	兼次
全日本病院協会 医療ソーシャルワーカー研修	2019年7月27日～7月28日	高澤
地域包括ケアを目的とした在宅医療介護連携推進のための多職種研修会	2019年9月19日	川満

勉強会・研修会名	開催年月日	参加者
病院医療ソーシャルワーカー協会研修会	2019年9月27日～9月29日	高澤
在宅医療・介護連携推進事業第1回宜野湾市多職種研修会	2019年10月26日	川満、徳盛
西原町・中城村・北中城村在宅医療介護連携推進事業多職種研修会	2019年11月7日	川満
宜野湾市在宅医療介護連携推進事業多職種研修会	2019年11月9日	川満、徳盛
かかりつけ医等心の健康対応力向上研修	2019年11月22日	西田、高澤、兼次
九州医療ソーシャルワーカー研修会くまもと大会	2019年11月23日～11月24日	高澤
「がんと就労」沖縄県がん相談員実務者研修会	2019年12月14日	西田
沖縄県入退院支援連携デザイン事業多職種研修会	2020年1月16日	高澤
沖縄県緩和ケア研修会	2020年1月18日	徳盛
緩和ケアチーム実地研修 聖隷三方原病院	2020年1月27日～1月28日	徳盛
MSW 中堅者研修「統合的短期型支援を学ぶ」	2020年2月8日	高澤、徳盛
第8回沖縄県医療ソーシャルワーク学会・社会福祉公開セミナー	2020年2月22日	高澤、兼次

### 職能団体に関する活動

名称	開催年月日	
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会初任者研修講師	2019年6月16日	望月
めだかの学校（新人MSWの勉強会）	通年	
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 広報部会	通年	

### 血液内科移植サポートスタッフ業務

名称	開催年月日	担当者
レシピエントへの移植サポート業務対応	通年	西田
血縁ドナー対応	通年	西田
院外からの術前健診、術後健診の調整、対応	通年	西田
臍帯血運搬費用関連	通年	西田
HCTC 施設見学研修	2019年6月24日～6月25日	西田

### その他

名称	開催年月日	
おきなわ多発性骨髄腫患者会	通年	
県民健康フェア	2019年8月25日	佐平、兼次
出前健康講座（介護保険について）	2019年11月30日	徳盛
介護支援専門員資格取得		高澤

## 2019年度総括

地域医療支援病院の医療ソーシャルワーカーの役割として地域包括ケアシステム構築に向けた地域との連携は不可欠となっており、1年を通し、各事業所との個別協議だけでなく、虐待防止対策会議や沖縄県入退院支援連携デザイン事業、在宅医療介護連携推進会議、及び中部地区連携研究会などへ積極的に参画してきました。

また、医療ソーシャルワーカー主体であった退院支援から入退院支援室、各病棟退院支援リンクナースと協働する院内の入退院支援システムの体制を構築し、診療報酬における加算算定向上にも取り組んだことで、退院困難となる患者の早期抽出、早期退院支援が可能となり、入退院支援加算の件数は前年度185件/月から347件/月と大幅に増加し、新規入院患者数も前年度平均747.8人から平均785.8人と増加となりました。

医療ソーシャルワーカーの質の担保として、関連資格（介護支援専門員）の取得、職能団体主催の研修会参加や学会発表（退院支援から入退院支援へ～患者総合支援センターの発足と退院支援看護師の協働）を行ないました。

血液内科移植サポートスタッフの質の担保として、HCTCの資格取得、移植サポート業務体制作りに向けた施設見学研修への参加を行ないました。

## 2020年度目標

- ①地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み
  - ・院内の入退院支援システムの構築と強化、多職種連携の強化
  - ・周辺地域の行政、介護サービス事業所、医療機関との協議と連携
  - ・在宅医療介護連携の推進への協力と連携
- ②新ソーシャルワークデータシステム（MANBO）による業務評価と分析
- ③入退院支援関連加算の算定
  - ・入退院支援加算：170件 / 月
  - ・介護支援連携指導料：37件 / 月
  - ・退院時共同指導料：4件 / 月
- ④医療ソーシャルワーカーの質の担保
- ⑤血液内科移植サポートスタッフの質の担保

## がん相談支援室

### 業務内容

がんについての治療や療養生活、社会復帰に伴う疑問や不安を看護師や、医療ソーシャルワーカーが対応しています。

#### 「がん相談支援室」にご相談が出来る事の例

- ・がんについて知りたい
- ・セカンドオピニオンを受けたい
- ・患者会や家族会を探したい
- ・治療に関わる費用を知りたい
- ・治療や副作用について相談したい
- ・痛みや辛さについて相談したい
- ・地域で利用できる制度やサービスを知りたい
- ・治療と仕事の両立について相談したい

### 2019年度総括

がんの治療では、入院や定期的な通院、自宅療養が必要となる為、仕事や家事、社会活動に影響が及びます。また、治療費や介護保険、福祉サービスに関する内容の相談が多く日々対応しています。

今後もがん相談支援室では患者さん、ご家族、地域の方々の様々な相談に対応します。

## 患者サポート窓口

### 業務内容

1. 医療従事者と患者との円滑なコミュニケーションを図る。
2. 患者等の不安に寄り添い、入院生活を支援する。
3. 患者サポート相談窓口担当者及び、各部門の担当者が患者等から相談を円滑に実施できるよう支援する。

#### 「患者サポート窓口」のご相談事例

- ・お困りのことがあるとき
- ・誰に尋ねればいいのかわからないとき
- ・当院の対応で不快な思いをされたとき

### 2019年度総括

患者サポート相談窓口の運営に関するカンファレンスを多職種で週1回（年間48回）開催し、現場にフィードバックすることで相談件数は年々減少傾向にあり2019年度の相談件数は52件でした。

実績としてはICU待合室の電話機が聞き取りにくいとの声に対し案内表示を掲示、車いす貸出し借用書の運用を開始しました。

# 事務部

## 部門紹介

事務部は総務課、財務・経理課、請求業務課、管財課、診療情報管理室、経営企画室、地域医療連携室の7部署で構成されており、158名の職員が所属しています（法人事務局各部門含む）。

## 職員数

### 総数

158名

### 職種別

一般事務	98名
診療情報管理士	8名
医療ソーシャルワーカー	6名
施設技術者	5名
調理師（収益部門）	2名
その他	39名

# 法人担当

## 財務・経理課

財務・経理課 係長 大山 朝史

### 職員数

総数

4名

職種別

一般事務 4名

### 運営方針

1. 財務・経理内容の的確な開示を行い、経営実態の理解を図る。
2. 正確且つ迅速に経理に関する経営資料を作成する。
3. 各部門の予算執行状況を把握する。

### 2020年度目標

法人外部監査の窓口部署として、改善に向けた取組みを行う

統括資産管理担当部署としての取組み

業務ローテーションによる負担均衡を図り、有給休暇取得と残業削減を目指す

### 活動実績

#### 研修・セミナー参加等

日時	場所	内容
12月	日本病院会 会議室	病院中堅職員育成研修 財務・会計コース
12月	ヒルトン那覇首里	ネットリスク対策セミナー
2月	琉球銀行具志川支店	2020年度診療報酬改定&民法改正セミナー

# 人事課

人事課 課長 仲里 考史

## 職員数

総数

6名

職種別

一般事務 6名

## 運営方針

- |   |  |
|---|--|
| <p>1. 「組織は人」 &lt;人を大切にする&gt;</p> <p>(1) 人材育成（人間性やスキルを伸ばす）</p> <p>(2) 労務環境改善（ワークライフバランス）</p> <p>(3) 公平な人事考課制度の確立</p> <p>(4) 職員の精神衛生の充実</p> | <p>2. 「人材確保」</p> <p>(1) 計画採用の確立</p> <p>(2) 人材の活性化（再雇用制度・短時間勤務制度・異動・障がい者雇用）</p> <p>(3) 離職率の低下対策</p> |
|---|--|

## 活動実績

### 業務実績

年月日	名称	
通年	県内社会医療法人 人事情報交換会 1回/月	
2019年	4月 事務職採用合同企業説明会（コンベンションセンター）	
	6月 琉球大学訪問 事務総合職募集 沖縄大学訪問 事務総合職募集 沖縄キリスト教学院大学訪問 事務総合職募集	
		ハラスメントアンケート調査実施
		名桜大学訪問 事務総合職募集
	7月 沖縄国際大学訪問 事務総合職募集 事務総合職採用企業説明会（院内） 2020年度採用看護職採用試験（個別面接）	
		8月 2020年度採用看護職採用試験（個別面接） 2020年度採用事務総合職採用試験（個別面接）
	11月	メンタルヘルス研修
		2020年度採用事務総合職内定式
		年末調整
	12月	ストレスチェック
		沖縄女子短期大学訪問 保育士募集 職員満足度調査実施
	11月	システム（就業奉行・給与奉行）アップデート
	2020年	1月 2020年度採用看護職入職説明会 給与・賞与明細、源泉徴収票 web化
2月 福祉の就職説明会 保育士・介護職募集		

## 診療支援室

### 職員数

#### 総数

27 名

#### 職種別

医師事務作業補助係 22 名

秘書担当 3 名

卒後臨床研修事務係 2 名

### 認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	5

認定・資格名	人数
医師事務作業補助技能認定資格	19

### 運営方針

1. 医師が安心して診療に専念できる環境を作る
2. 医師の事務的業務の負担軽減を図る
3. 初期から専門研修まで充実した研修が行えるよう、あらゆる方向から支援する
4. 他部門とのスムーズな連携・協働に努める
5. 専門的知識、技術の向上をめざして自己啓発に努める

### 医師事務作業補助係

#### 業務計画

1. 外来業務においては予習を徹底し、定期検査や必要な検査等のモレをふせぐ
2. クリニカルパス担当を各チーム1名ずつへ増員し、迅速なパス作成ができるようにする
3. チーム持ち回りで、科ごとのミニ勉強会を開く
4. 院内外の勉強会への参加
5. 上司との定期的な面談を行い、自己評価とスキルアップを図る

### 業務実績

#### 文書作成

名称	2017	2018	2019
一般診断書	436	504	532
生命保険文書	2,125	1,966	2,094
介護主治医意見書	451	433	412
傷病手当金請求書	436	480	625
医療要否意見書	642	708	665
特定疾患調査票	280	292	291
身障 / 年金診断書	279	237	217
自賠責診断書	1,108	929	840
その他	1,652	1,912	2,085
合計	7,409	7,461	7,761

名称	2017	2018	2019
退院サマリー	829	645	751
高額コメント	152	185	151
NCD (外科手術症例登録)	958	1,003	925

## 統計業務

日本胸部外科学会食道分野学術調査	日本短期滞在手術外科手術手技研究会アンケート
日本内視鏡外科学会症例報告	日本造血細胞移植データセンター全国調査
日本外科学会指定施設年次報告	外科研修関連施設実績報告 (琉大・東京女子医大・大阪大学)
日本ヘルニア学会症例報告	
日本血液学会疾患登録	

## 活動実績

### 研修会・セミナー参加など

名称	開催地	年月日	参加者
日本医師事務作業補助研究会 人材育成セミナー	福岡	2019年6月15日	1名
第27回日本乳がん学会学術総会	東京	2019年7月11日	2名
日本医師事務作業補助研究会 第5回沖縄地方会	県内	2019年8月31日	2名
日本医師事務作業補助研究会 第9回全国大会	福岡	2019年11月9日	1名
第78回沖縄県外科学会 (事務スタッフ)	県内	2019年9月1日	3名
第7回沖縄ヘルニア研究会 (事務スタッフ)	県内	2020年2月22日	2名

## 卒後臨床研修事務係

研修医の実績については医局部門をご覧ください

## 活動実績

### 卒後臨床研修事務局主催のレクチャー、講演会等

内容	開催地	日程
群星沖縄センター長徳田安春先生による教育回診	当院	毎月第1・第3木曜日
新研修医オリエンテーション	当院	2019年4月4日～8日
林寛之先生(福井大学医学部附属病院救急総合診療部 教授)による講演会	当院	2019年7月4日
ミシガン大学 Assistant Professor Dr.Houchens による教育回診	当院	2019年7月10日
群星沖縄副センター長寺澤秀一先生によるER教育回診	当院	2019年8月1日
ミシガン大学 Assistant Professor Dr.Patel による教育回診	当院	2019年8月6日
上田剛士先生(洛和会丸太町病院 総合診療部長)による講演会	当院	2019年9月13日
元・米国ニューメキシコ州立ニューメキシコ大学医学部准教授 Dr.Peter Barnett による教育回診	当院	2019年11月18日
今明秀先生(八戸市立市民病院 院長)による講演会	当院	2019年11月22日
徳嶺 讓芳先生(杏林大学医学部麻酔科教授)による講演会	当院	2019年12月27日
徳嶺 讓芳先生(杏林大学医学部麻酔科教授)によるハンズオンレクチャー	当院	2019年12月28日
2019年度初期臨床研修医修了式開催	当院	2020年3月23日

### セミナー・勉強会・会議等への参加

内容	開催地	日程
初期臨床研修運営協議会	当院	毎月第2・第4火曜日
群星沖縄新研修医オリエンテーション	糸満市	2019年4月2日～3日
沖縄県医師会新研修医歓迎レセプションへの参加	南風原町	2019年4月5日
群星沖縄会議	浦添市	2019年4月8日～2020年3月9日
沖縄県医師会作業部会への参加	南風原町	2019年4月15日
群星沖縄理事長・院長会議への代理出席	浦添市	2019年5月、7月、9月
2019年度第1回卒後臨床研修管理委員会開催	当院	2019年6月6日
沖縄県医師会にてレジナビ事務担当者打ち合わせへの参加	南風原町	2019年6月11日
研修医募集定員に係る調整会議への参加	南風原町	2019年7月9日
琉球大学医学部臨床実習関連病院会議	西原町	2019年9月24日
琉球大学にて徳田先生主催の勉強会への参加	西原町	2019年10月1日
群星沖縄ポートフォリオ大会・忘年会への参加	西原町	2019年12月9日
琉球大学専門研修連絡協議会	西原町	2020年1月20日
基本的臨床能力評価試験	当院	2020年1月25日
沖縄県医師会主催研修事務担当者勉強会	南風原町	2020年1月31日
3病院合同内科専門研修管理委員会への参加	沖縄市	2020年2月12日
琉球大学内科専門研修プログラム管理委員会への参加	西原町	2020年2月17日
豊見城中央病院産婦人科専門研修管理委員会への参加	豊見城市	2020年3月3日
2019年度第2回卒後臨床研修管理委員会開催(院内のみ)	当院	2020年3月5日

### 医学生・院外研修医の受け入れ

内容	日程
琉球大学医学部附属病院 1年目研修医受け入れ(3名:救急3名) 2年目研修医受け入れ(2名:麻酔科1名、放射線科1名)	2019年4月1日～2020年3月31日
琉球大学医学部クリニカルクラークシップ学生(5～6年次)受け入れ(延べ70名)	2019年4月15日～2020年3月27日
琉球大学医学5～6年次学生1日泌尿器実習受け入れ(延べ3名)	2019年4月15日
医学生病院見学受け入れ(延べ20名:県外12名、県内8名)	2019年5月1日～2020年3月23日
大浜第一病院 2年目研修医受け入れ(2名:消化器内科)	2019年8月1日～2019年9月30日
中部徳洲会病院 2年目研修医受け入れ(2名:産婦人科)	2019年9月・12月
浦添総合病院 2年目研修医受け入れ(1名:産婦人科)	2020年1月1日～2020年1月31日

### リクルート活動

内容	開催地	日程
琉球大学医学部にて初期臨床研修病院説明会への参加	西原町	2019年6月1日
レジナビフェア東京(研修病院説明会)への参加	東京都	2019年6月23日
レジナビフェア大阪(研修病院説明会)への参加	大阪府	2019年7月7日

### 研修参加実績

内容	開催地	日程
新臨床研修医 RyuMIC 講習会 AHA BLS Provider コース (G2015) (1年目研修医7名参加)	当院	2019年4月6日
院内 BLS・ICLS (1年目研修医7名参加)	当院	2019年4月20日
新臨床研修医 RyuMIC 講習会 AHA ACLS Provider コース (G2015) (1年目研修医7名)	浦添市	2019年5月11日～12日
エコー勉強会	当院	2019年6月29日
JPTEC in Okinawa (1年目研修医1名参加)	中城村	2019年7月6日
第2回群星チャンプルーラリー(1年目研修医2名参加)	北中城村	2019年11月3日
JPTEC in Okinawa (1年目研修医2名参加)	中城村	2019年12月7日
1年目研修医 OSCE (全4回)	西原町	2019年12月14日・15日、2020年1月25日・26日
第7回沖縄県緩和ケア研修会2019(2年目研修医3名参加)	当院	2020年1月18日

### その他

内容	開催地	日程
九州厚生局適時調査	当院	2019年7月9日
2019年度 RyuMIC 臨床研修指導医養成講習会(医師1名参加)	西原町	2019年11月30日～12月1日

## 附随業務部門 食堂とまと

事務部副部長 比嘉 靖



院内食堂として、病院敷地奥の別館1階で営業を行っています。お客様の約6割が病院職員で、平日の日替わりランチ、店舗販売の弁当は、職員割引で提供し職員食堂の役割も担っております。

また、当院人間ドック受診者向けの昼食メニューも食堂とまとで調理を行い、8階人間ドックの専用レストランにて提供しております。

### メニュー

日替わりランチ、みそ汁定食、豆腐チャンプルー定食、さんま定食、ポークたまご定食、カツカレー、カレー、沖縄そば、日本そば（ぎつね）、うどん（ぎつね）、ライス、サラダ、弁当（みそ汁付）

営業時間：月曜日～土曜日 11:30～15:00

定休日：日曜日、祝日

### 職員数

#### 総数

11名

#### 職種別

調理師 2名

調理補助 7名

調理員 2名

### 経営方針

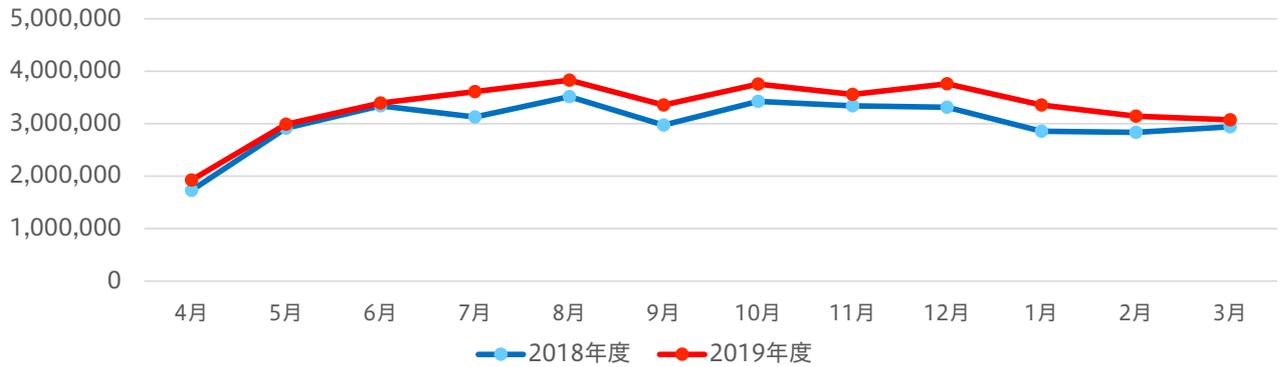
職員や来院者に対し、「笑顔で親切ハートライフ病院」を合言葉にして、安全・安心で美味しい食事を提供していきます。

### 活動報告

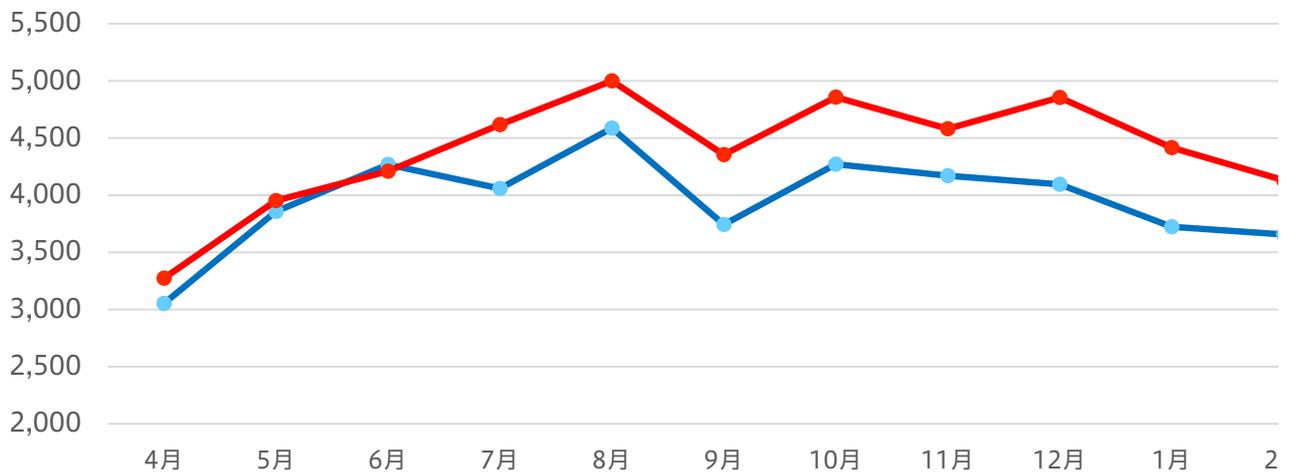
弁当新メニューの追加

### 業務実績

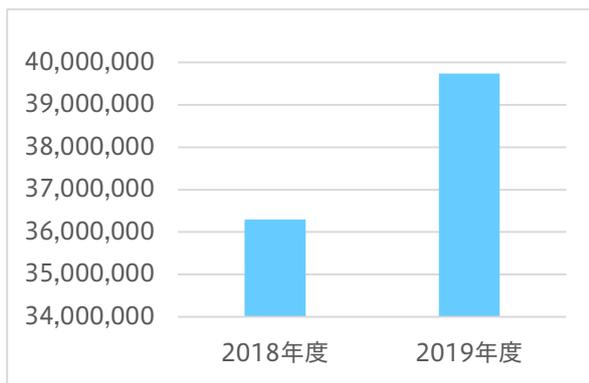
#### 売上推移



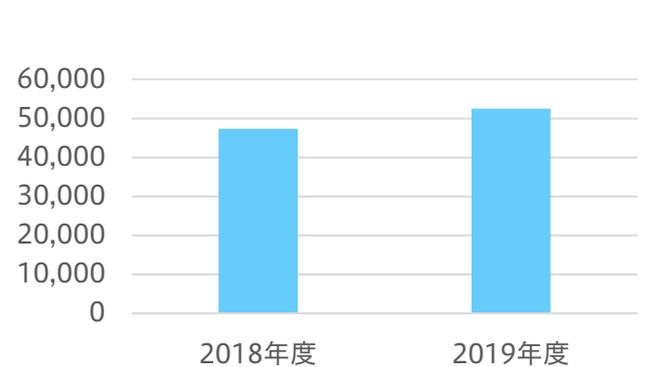
#### 客数推移



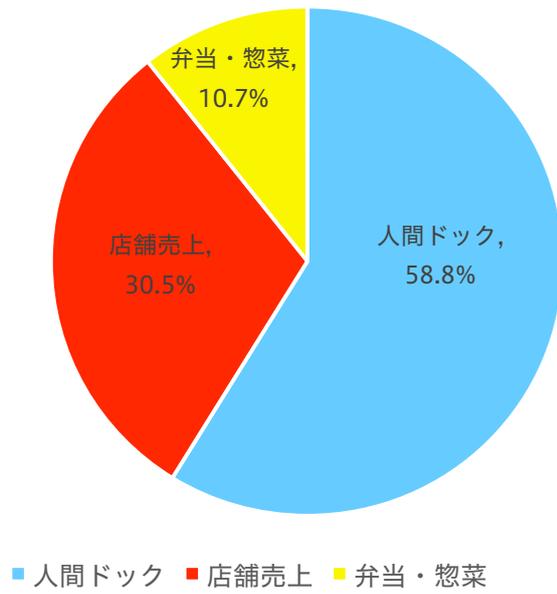
#### 総売上高推移



#### 総客数推移



売上割合



# 病院担当

## 医事課

医事課 課長 宮城 淳

### 職員数

総数

43名

職種別

一般事務 43名

### 認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	2

### 運営方針

1. 患者さんには（目配り・気配り・誠心誠意）
2. 細分化業務の早期構築（量から質の人材育成）
3. 請求漏れ発生の防止（診療では補助・保険では本業の心）
4. 新入職員及び職員教育・研修の充実と実施

### 業務計画

1. 2019年10月に実施される予定の診療報酬改定（消費税Up対応による）対応。2020年4月に診療報酬改定が実施予定です。社会保険中央審査会議論内容を把握しながら早期情報収集、情報提供、決定後保険請求の知識向上、医療法に基づいた請求を行います。
2. 人材確保の面で昨年度は難渋していましたが、入職1年目の新人が所定研修を終了し当部署へ3名配属され、産休補充以外の人員はほぼ充足できました。今後は教育面でのサポートが必要です。
3. 夜間出入り口の設置に伴い医事課夜間窓口業務が移動となります。運用後の課題としては、業務体制の早期安定、問題点の抽出並びに業務分析を行います。
4. 落穂ひろいの継続。

## 活動実績

### セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
三水会医事定例勉強会	県医師会	2019年4月24日	宮城・桑江・新垣・伊集
三水会医事定例勉強会	中部徳洲会	2019年6月29日	宮城・桑江・田中
MDV 沖縄地区特別勉強会～算定向上偏～	大浜第一病院	2019年8月31日	宮城・新垣・田中・佐和田(総務)・我如古・真栄平(診療管理室)
三水会医事定例勉強会	県医師会	2019年9月18日	桑江・新垣・田中
三水会医事定例勉強会	県医師会	2019年11月20日	桑江・新垣・田中
第8回「落穂ひろい作戦」はやわかり講座	県医師会	2020年1月24日	宮城・外間(支援室)・松原(連携室)
医療経営セミナー(三水会)	県医師会	2020年2月14日	宮城・新垣・田中・松原(連携室)
第8回「落穂ひろい作戦」はやわかり講座	県医師会	2020年1月24日	宮城・外間(支援室)・松原(連携室)

### 実習生受け入れ

実習校	期間	受入れ人数
エルケア医療保育専門学校 医療事務実習	2019年8月13日～8月30日	1人

### その他

名称	開催地	年月日	参加人数
那覇日経ビジネス1年次「語やびら」外部講師	那覇市	2019年7月11日	宮城
日経教育グループ「第1回教育課程編成委員会」	那覇市	2019年10月15日	宮城
日経教育グループ「第2回教育課程編成委員会」	沖縄市	2020年2月25日	宮城

## 管財課

### 管財課用度係

用度係 係長 諸見里 和也

### 職員数

総数

6名

職種別

一般事務 6名

### 運営方針

#### 物品の安全・安定供給

- 各現場へ必要物品の安定供給をする為に定数物品・注物品等、発注から納品まで敏速に実行できる体制を構築する。
- 使用後も廃棄処理時に有害物質を出さない、環境に優しい物品の採用
- 患者・職員に対し、安全に配慮した物品の採用
- 物品の標準化
- 標準化する事により、使用方法の統一が図れ、安全かつコスト削減にもつながる。
- 医療材料説明添付文書通り順守し管理する。

#### 物品管理

- 在庫管理・定数管理の強化
- 定期的に定数を見直し、適正な定数を目指す。
- 年2回の、棚卸を実施
- 適正な在庫数を維持管理する。
- SPDシステムのバージョンアップを図り、維持管理の強化
- 機器の不具合・故障等の場合、現場に出来るだけ支障の無い様に、速やかに対応する。
- 災害拠点病院に適した維持管理
- 事務什器備品の資産管理

#### イントラの整備

- イントラ整備に伴い、各種申請書、請求伝票連絡関係等の電子化の推進。

#### 係員の教育

- 勉強会、県内外への研修、見学等の積極的な参加に努める。
- 患者様の安心・安全の為、医療従事者として出来る最善策を日々、研究実践する。

### 理念

患者の安心・安全のため、部署として、病院職員として出来る最善の策（行為）を日々、研究・実践する。

## 用度係活動実績

### 業務計画

- 医療改定に伴う医療材料、日用品の見直し。
- 係員の教育とスキルアップ。
  - ⇒ 取扱い材料がどのような診療で使われるかなどを紐づけて教育する。
  - ⇒ 各業者対応や発注業務、納品書の入力業務を援助なしで対応出来る様に指導する。
- 手術室3室増室に伴い、診療材料などの整理と、各診療科の先生方や関係部署へ、安価材料への変更提案。
- 事務備品の資産管理の徹底。
- 新規治療（医療事業）に対するサポートと提案。
  - ⇒ 今後も新規治療がある場合は、取扱店や金額交渉、納期の確認など、臨機応変に対応出来る体制を作る。

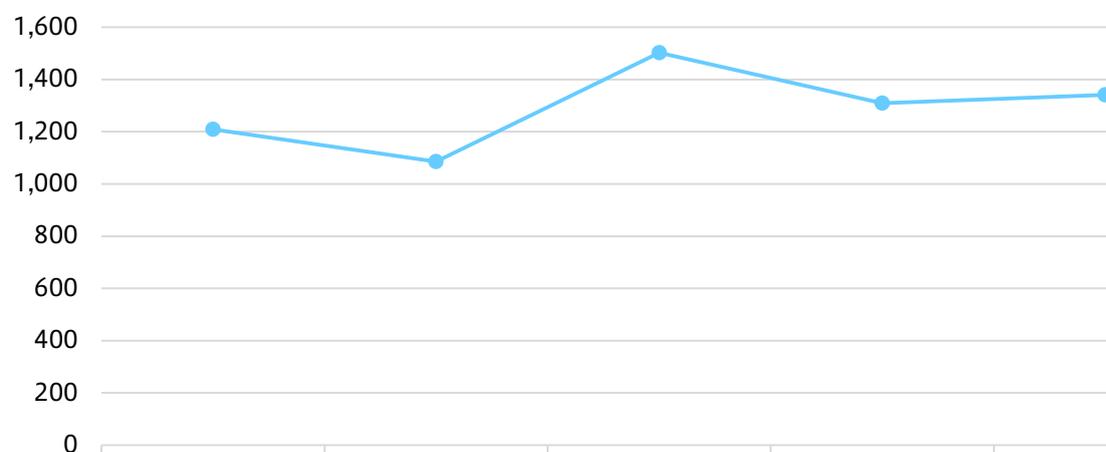
### 収入計画

- 購入材料引き率目標の設定

### 人員計画

- ワークライフバランスの取れた職場の環境作り。
  - ⇒ 月報の区分分けや、提案による詳細な管理、固定資産管理の運用強化などの取り組みで昨年度は残業が多かったので、月平均30時間以内/人の残業となる様に係内で具体案を検討して実行する。

## 物品仕入れの推移（単位：百万）



※通常仕入れ以外に増改築に掛った費用も計上

## 管財課施設管理係

施設管理係 係長 具志堅 徳明

### 職員数

総数

5 名

職種別

施設技術者 5 名

### 認定・資格

資格名	人数
第 3 種電気主任技術者	2
第 1 種電気工事士	2
第 2 種電気工事士	5
1 級電気施工管理士	1
消防設備士特類・乙 6・7 類	1
消防設備士甲種 1 類～ 5 類	2
自衛消防業務	3
1 級ボイラー技士	1

資格名	人数
2 級ボイラー技士	4
ボイラー整備士	1
危険物取扱者乙 4 類	5
2 級管工事施工管理技士	1
2 級土木施工管理技士	1
第 2 種冷凍機械責任者	2

### 運営方針

安全管理と省エネに務める

### 理念

関係法令等を遵守し施設内を常に最良の状態に維持管理する。予防保全的業務を実施し、設備の耐用年数の延長を図り省エネルギーの達成に務める。

### 業務実績

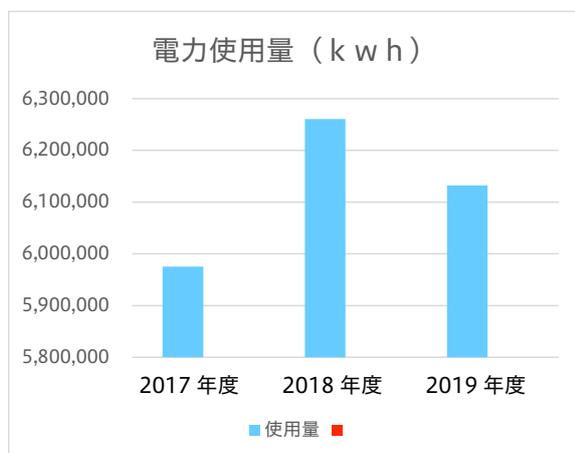
ハートライフ病院

総電力量 (単位 :kwh)

	2017 年度	2018 年度	2019 年度
kwh	5,975,220	6,260,290	6,132,230
対前年比	2.7% 減	2.6% 増	2.0% 減

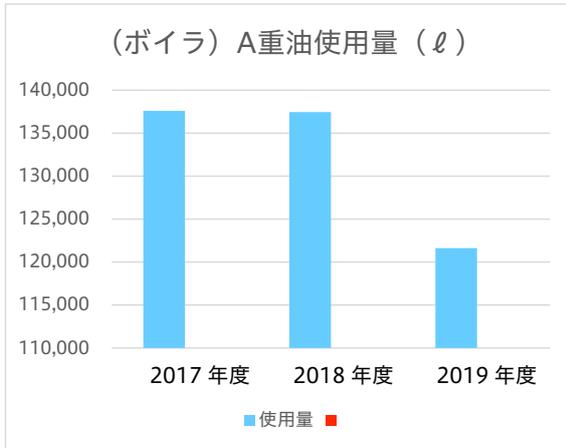
蓄熱電力量 (単位 :kwh)

	2017 年度	2018 年度	2019 年度
kwh	4,555,825	359,759	126,364
対前年比	14.6% 減	20.8% 減	65.0% 減



**A 重油使用量 (ボイラ) (単位:ℓ)**

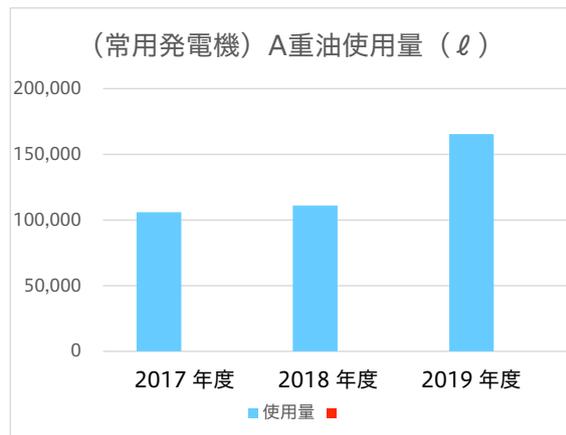
	2017年度	2018年度	2019年度
ℓ	137,607	137,472	12,1640
対前年比	1.3% 減	0.1% 減	11.5% 減

**LPG 使用量 (吸収式冷凍機) (単位:m³)**

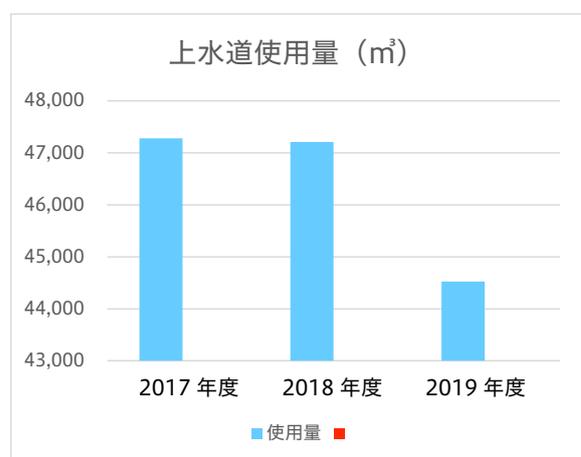
	2017年度	2018年度	2019年度
m³	23,229	40,067	0
対前年比	42.2% 減	72.5% 増	100% 減

**A 重油使用量 (常用発電機) (単位:ℓ)**

	2017年度	2018年度	2019年度
ℓ	105,909	111,112	165,335
対前年比	45.6% 増	4.9% 増	48.8% 増

**上水道使用量 (単位:m³)**

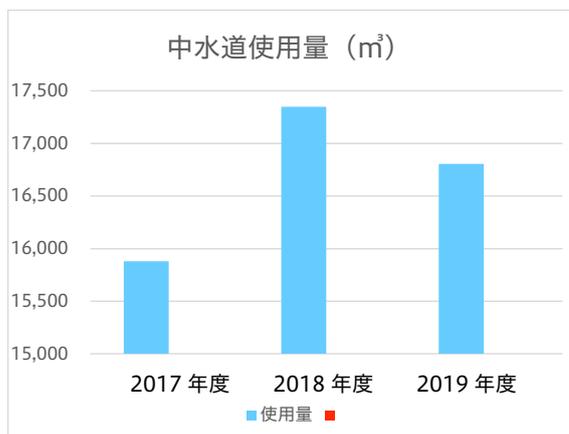
	2017年度	2018年度	2019年度
m³	47,280	47,212	44,523
対前年比	1% 増	0.1% 減	5.7% 減

**LPG 使用量 (厨房) (単位:m³)**

	2017年度	2018年度	2019年度
m³	9,917	8,165	8,514
対前年比	3.8% 減	17.6% 減	4.3% 減

**中水道使用量 (単位:m³)**

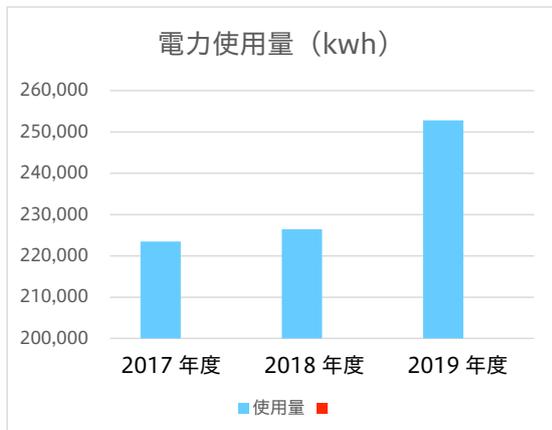
	2017年度	2018年度	2019年度
m³	15,811	17,348	16,806
対前年比	4.9% 増	9.2% 増	3.1% 減



### ハートライフクリニック

#### 総電力量 (単位 :kwh)

	2017年度	2018年度	2019年度
kwh	223446	226434	252,764
対前年比	5.9% 減	1.3% 増	11.6% 増



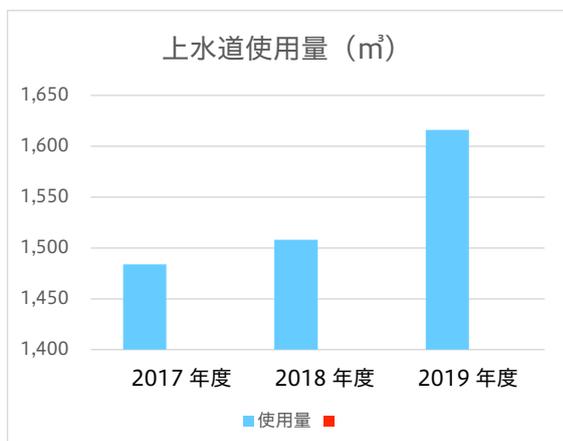
#### LPG 使用量 (単位 :m³)

	2017年度	2018年度	2019年度
m³	11,762	10,990	11,314
対前年比	4.5% 増	6.5% 減	2.8% 増



#### 上水道使用量 (単位 :m³)

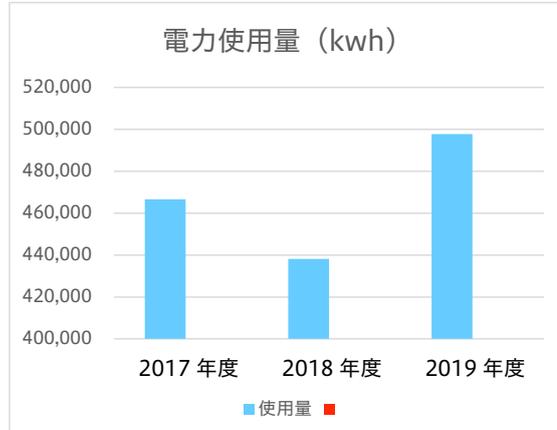
	2017年度	2018年度	2019年度
m³	1,484	1,507	1,616
対前年比	7.7% 増	1.5% 増	7.2% 増



### ハートライフ地域包括ケアセンター

#### 総電力量 (単位 :kwh)

	2017年度	2018年度	2019年度
千 kwh	466620	438118	497,719
対前年比	10.3% 増	6.1% 減	13.6% 増



#### LPG 使用量 (単位 :m³)

	2017年度	2018年度	2019年度
千 kwh	4829	4849	5,234
対前年比	11.3% 増	0.4% 増	7.9% 増



#### 上水道使用量 (単位 :m³)

	2017年度	2018年度	2019年度
千 kwh	8199	8429	9,580
対前年比	7.4% 増	2.8% 増	13.7% 増

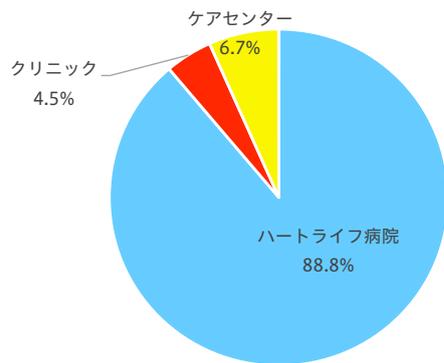


## 法人全体エネルギー原油換算量・対前年度比較

2018 年度法人各施設エネルギー原油換算量				2019 年度法人各施設エネルギー原油換算量			
	本院	クリニック	ケアセンター		本院	クリニック	ケアセンター
電力	1,610	58	113	電力	1,577	65	128
LPG	131	30	13	LPG	23	31	14
A重油	250	-	-	A重油	290	-	-
合計	1,991	88	126	合計	1,890	96	142
法人合計	2,205			法人合計	2,128		

2019 年度 エネルギー原油換算量 2,128KL 【前年度比 (3.5% 削減)】

2019年度法人全体エネルギー  
原油換算合計 (2,128KL)



2019 年度はハートライフ病院において対前年度比、電力が約 2%減、LPG が約 82%減少。理由として、病棟の空調更新による電力消費の減少と全館空調のガス吸収式冷凍機の故障停止が考えられます。

## 活動実績

## セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者名
省エネルギー講座	那覇市	令和元年 8 月	具志堅徳明
ボイラー水管理技術講習	浦添市	令和元年 9 月	高江洲和彦
ボイラー技士を対象とした安全・能力向上講習会	浦添市	令和元年 11 月	玉城一也
エネルギー管理資質向上講習	那覇市	令和 2 年 2 月	具志堅徳明

電気、水道、消防、建築、医療ガス等、各設備法定点検・検査及び定期自主点検の実施

年月日	名称
4月	エレベーター点検・ダムウェーター点検・常用発電機点検・第一種圧力容器検査(3号機)
	浄化槽設備点検(クリニック) GHP 空調機簡易点検・消防設備点検・浄化槽設備点検 (老人ホーム) 受変電設備定期点検・上水道タンク清掃
5月	消防設備点検・簡易専用水道検査・エレベーター点検・ダムウェーター点検
	常用発電機点検・浄化槽設備点検(クリニック) 受変電設備定期点検・簡易専用水道検査 (クリニック) 浄化槽設備点検・受変電設備定期点検(老人ホーム) 簡易専用水道検査・BEMS 定期点検
6月	エレベーター点検・エレベーター法定検査・ダムウェーター点検・害虫防除作業・浄化槽設備点検
	浄化槽第一原水槽バキューム清掃・常用発電機設備点検・東館空調、フィルター清掃 (クリニック) 浄化槽設備点検・GHP 空調機簡易点検・電話交換設備点検
	(老人ホーム) 消防設備点検・受変電設備定期点検・電話交換設備点検
7月	飲料水水質検査・特殊建築物・エレベーター点検・ダムウェーター点検・常用発電機点検・電話設備点検
	浄化槽設備点検・医療ガス設備(CE)点検・空調換気扇フィルター清掃・東館非常用発電機年次点検 (クリニック) 受変電設備年次点検・浄化槽設備点検(老人ホーム) 特殊建築物設備検査
8月	エレベーター点検・ダムウェーター点検・常用発電機設備点検・浄化槽設備点検
	OR HEPA、中性能フィルター取替(クリニック) GHP 空調機簡易点検・浄化槽設備点検 (老人ホーム) 受変電設備定期点検・BEMS 定期点検
9月	エレベーター点検・ダムウェーター点検・常用発電機設備点検・浄化槽設備点検
	害虫防除作業・医療ガス設備点検・第一種圧力容器法定検査(4号機) バイオ HEPA フィルター取替(クリニック) 受変電設備定期点検・浄化槽設備点検
10月	エレベーター点検・ダムウェーター点検・常用発電機設備点検・浄化槽設備点検
	東館空調、換気扇フィルター清掃(クリニック) 浄化槽設備点検・GHP 空調機簡易点検 (老人ホーム) 受変電設備定期点検
11月	エレベーター点検・ダムウェーター点検・常用発電機点検・本館空調換気扇フィルター清掃
	浄化槽設備点検・消防設備点検・本館、東館受変電設備年次点検・上水道タンク清掃・電話設備点検 (クリニック) 受変電設備定期点検・浄化槽設備点検・上水道タンク清掃・電話交換設備点検
	(老人ホーム) BEMS 定期点検・電話交換設備点検
12月	防火・防災対象物点検・本館非常用発電機年次点検・エレベーター点検・ダムウェーター点検
	常用発電機設備点検・浄化槽設備点検・害虫防除作業・ばい煙濃度測定 (クリニック) 浄化槽設備点検・GHP 空調機簡易点検(老人ホーム) 受変電設備定期点検・消防設備点検
1月	エレベーター点検・ダムウェーター点検・浄化槽設備点検・常用発電機設備点検
	(クリニック) 受変電設備定期点検・浄化槽設備点検
2月	エレベーター点検・ダムウェーター点検・ダムウェーター法定検査・浄化槽設備点検
	常用発電機設備点検・第一種圧力容器検査(2号機)・東館空調、換気扇フィルター清掃 (クリニック) 消防設備点検・非常用発電機設備年次点検・浄化槽設備点検・GHP 空調機簡易点検
	(老人ホーム) 受変電設備年次点検・非常用発電機設備年次点検
3月	エレベーター点検・ダムウェーター点検・浄化槽設備点検・常用発電機設備点検
	ばい煙濃度測定・本館、空調換気扇フィルター清掃・危険物設備点検・電話交換設備点検 (クリニック) 受変電設備定期点検・浄化槽設備点検(老人ホーム) BEMS 定期点検

※施設名表記の無いものはハートライフ病院

## 経営企画室

事務副部長 安里 竜

当課は、現在・過去・未来の3つのステージで法人運営の課題を発見し、それに取り組み、必要な準備を進める部署です。各種診療支援・経営支援の分析、事業計画の取りまとめ、医療制度に関する情報収集、新規事業の企画等を主な業務としています。経営企画室の配下に、IT・システム業務を行うための電算係と、内外への広報・広告を行うための広報係が包括され、業務の幅がとて広い特徴があります。

### 職員数

総数

8名

職種別

一般事務 8名

### 運営方針（平成30年4月1日更新）

#### 1. 新規事業への早期取組

- a. 新規事業の経営企画面での関与
- b. 診療体制の活性化
- c. 研究体制の活性化（臨床倫理・治験体制の強化）

#### 2. 診療支援・経営支援のための情報収集と分析

- a. 診療実績と収支構造の把握と分析
  - ① DPC データの積極活用
  - ② 原価計算・管理会計の導入
  - ③ ベンチマーク
- b. 診療マーケティング分析体制の構築
  - ① 事業拡大に向けた広報・地域医療連携への活用
- c. 医療制度改革の方向性の把握と分析
  - ① 診療報酬改定
  - ② 介護報酬改定
  - ③ 病床機能分化（病床機能報告制度・地域医療構想・地域包括ケア）
- d. 上記取組の現場と経営層への積極的なフィードバック

#### 3. 業務体制の強化

- a. 経営感覚と現場感覚の両立
- b. 配下部署の教育体制の強化

## 企画室の行動指針

1. 業務支援・経営支援のための情報収集・分析・提案  
単に情報をつめるだけでなく、分析し、戦略構築と企画提案につなげる。
2. 経営層と運営層への積極的なフィードバック  
情報を視える化し、適時のフィードバックを通して、時機を見逃さない。
3. 法人理念と事業計画を基軸にする  
いかなる場合でも過去・現在・未来を俯瞰し、法人理念と事業計画に沿って今やるべきことを判断し、ニーズの掘り起こしとそれに答える企画提案を実現することで、顧客に貢献する。
4. コスト意識を持つ  
1円を積み上げる努力（現場の汗）、1円を使う責任（重み）を忘れない。
5. 現場へ足を運び、現場力を身につけること  
経営活動の力点・支点・作用点はいずれもすべて現場に存在するので、現場へと積極的に足を運び、現場のニーズや課題を引き出すコミュニケーションを怠らない。
6. 企画室の顧客は「地域社会」と「法人（各施設、部署、職員、患者と利用者）」  
患者さんや利用者、その家族、地域住民、連携機関、行政はもちろんのこと、法人内の各施設、部署、職員もすべて「顧客」として接する。

## 活動報告

※企画室・経営企画室の主担当分のうち、一部実績を抜粋 ※配下部署はその項を参照

名称	開催地	開催時期
電子カルテユーザ会システム管理者部会役員会（参加）	山形県	2019年5月
事業計画説明会（主催）	ハートライフ病院	2019年5月
電子カルテ沖縄ユーザ会（参加）	沖縄県	2019年6月
電子カルテユーザ会システム管理者部会役員会（参加）	大阪府	2019年8月
電子カルテユーザ会（座長）	大阪府	2019年8月
電子カルテユーザ会システム管理者部会役員会（参加）	大阪府	2020年1月
令和2年度診療報酬改定 院内説明会（主催）	ハートライフ病院	2020年3月

## 学会・講習会・報告会等実績

名称	部門	開催時期
理事会事務局	共通	月1回定例
経営会議事務局	共通	月2回定例
運営委員会事務局	共通	月2回定例
事業継続計画マネジメント会議事務局	共通	通年
ICU・HCU 合同運営委員会事務局	ICU・HCU	年4回定例
足と傷のセンター委員会事務局	形成外科	通年
算定率向上ワーキンググループ（薬剤管理指導料）	薬局	月1回定例
算定率向上ワーキンググループ（入院食事指導料）	栄養科	月1回定例
算定率向上ワーキンググループ（救急医療管理加算）	救急外来	月1回定例
算定率向上ワーキンググループ（周術期口腔機能管理加算）	口腔ケア科	月1回定例
日本乳癌学会関連施設認定事務局	乳腺外科	通年
臍帯血移植施設認定事務局（更新）	血液内科	通年
非血縁者間骨髄移植・採取施設認定事務局（更新）	血液内科	通年
非血縁者間造血幹細胞移植施設・診療科認定事務局（更新）	血液内科	通年

名称	部門	開催時期
地域災害拠点病院設備整備事業事務局(補助事業)	共通	通年

## 年度総括

2019年度は、新たなプロジェクトとして難治性足病変の重症化防止の為に足と傷のセンター外来の開設、ハイケアユニットの開設に主に取り組みました。

5月には形成外科による「足と傷のセンター」外来を新規開設しました。沖縄県内では動脈硬化に起因する末梢動脈疾患(PAD)や生活習慣病のひとつである糖尿病による難治性の足病変の患者さんが増えていますが、足を専門的に診る医療機関がありません。形成外科部長の東盛貴光先生らと2016年から3年間かけて準備を進め、5月にセンターを開設しました。医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・医療事務・その他で構成される専門チームが、難治性の足病変の重症化の防止と下肢切断回避を目指し、患者さんのQOLとADLの維持向上に取り組んでいます。センター開設以降、新聞やTVニュースなどのメディアにも取り上げられ、今では多い日で半日で60名ほどの患者さんが診察を受けています。

6月にはハイケアユニット12床を開設しました。2月ごろから専門WGでベッドコントロール基準を協議したり、想定される問題・課題への取り組みに着手しました。これまで、手術直後や人工呼吸器管理が必要な患者さん等の重傷者は各病棟の観察室で診ていましたが、重症管理に必要な医療機器・スキルを集約したハイケアユニットを経由することで、患者さんへ提供する医療の質の向上、病棟でのリスク負担軽減が期待できます。一般病棟からハイケアユニット化するにあたって、様々な問題・課題に取り組んでくれた病棟医長の末吉脳神経外科部長、病棟師長の宮城師長、もろもろの総合調整をサポートしてくれた外間看護副部長、栗盛さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

年末まで災害拠点病院としての体制整備にも取り組みました。災害時に使うための備蓄品・備蓄食料・医療機器などに不足が生じないように、沖縄県に用意していただいた災害拠点病院設備整備事業の補助金を活用して、追加整備をかけました。また、大規模地震を想定した事業継続計画(BCP)に関するPDCAを継続的にマネジメントするための事業継続マネジメント委員会を立ち上げ、災害時を想定した体制方針の大枠を協議しています。

年末には、新病院長の佐久川院長のもと病院の経営幹部が一同に介して、これからのハートライフ病院の在り方に関する様々な課題について協議しました。その方針を元に、地域における当院の役割について、継続して取り組みます。

年が明けると、新型コロナウイルス感染症に関するニュースが世間をにぎわし、2月中旬には沖縄県で最初の感染者が発生しました。4月に最初のまん延期を迎え、病院も災害医療モードへシフトし、患者さんと職員を感染から守る観点から、延期できる診療などの制限を行いました。診療材料の物流が滞ったことで手術ができなくなるなどの危機的な状況も、一時期ありました。コロナ診療に関わることについては、三戸救急部長をトップとした診療対策本部、普天間副院長、秋元副院長をトップとした多職種連絡会議、病院運営全体に関わることについては、西原副院長をトップとした災害対策本部で、日々必要な対策に関する決意を進めておられました。周辺の医療機関の体制や諸々の地域の状況という要素もあり、自院の判断だけでプロセスを決定できないことも多々あるなか、診療に際した医師、看護師、コメディカル、事務職など、関与している職員のほとんどが会議の場で発言、協議し、物事を決めて取り組む姿は圧巻の一言で、本当に責任感と勇気のある方々だと思います。頭があがりません。

日本医師会・全日本病院協会・日本医療法人協会が合同で調査した病院経営状況緊急調査の速報によると、新型コロナウイルス拡大による病院収入は大幅に減少し、医業利益率はマイナス10%を超えています。

感染の第1波の経験を受けて、新興感染症の流行を想定したマニュアルや事業継続計画をアップデートする必要性を強く感じました。特に経営面で感じていることは、①職員安全（職員から感染者を出さない）、②患者安全（院内感染を出さない）、③分離体制（ある段階で安全下に新型コロナ診療と一般診療を共存させる）のバランスをどう取るか、混乱のなか、どう意志決定（遷移）するかをしっかりと体制づける重要性です。①と②を優先させて、新興感染症の診療体制と通常の診療・救急医療を両立させ、落ち着いてきたらその後の復旧体制へ戻るタイミングをどう取っていくか。その難しさを痛感しつつ、再び来るであろう感染の波に対して、どう整理がついた状況で臨めるか、そんなことを考えながらこの筆をとっています。

## 電算係

係長 宮城 克己

### 認定・資格

認定・資格名	認定・資格名
第二種情報処理技術者	日本商工会議所簿記検定試験 2 級
システムアドミニストレータ	Cisco certified network associate
第一級陸上特殊無線技士	Cisco certified network professional(BSCI)
デジタル第一種工事担当者	Cisco certified network professional(BCMSN)
ソフトウェア開発技術者	Microsoft certified professional(70-270)
医療情報技師	

### 運営方針

IT への理解力と応用力を身に着け、院内の IT 環境の充実に努める

院内ネットワークの有効活用

電子カルテ・部門システムの理解と磨き上げ

スキルの向上

- a) プログラミング、ドキュメント化技術の向上
- b) 病院業務への理解を深め、業務効率の向上に努める

### 活動報告

ネットワーク障害対応	クリニカルパス大会サポート
インターネットスポットのパスワード管理	情報系ネットワーク機器 (UTM 入替え)
電子カルテ用ウィルスチェックソフトのライセンス更新	緩和ケアサポート
電子カルテ定期サービスパック適用	産婦人科・周産期システム入替
平成 31( 令和 1 ) 年度医療改定、介護システム改定対応	IT 推進委員会の開催 ( 1 回 / 月 )
RDS を利用したおきなわ津梁ネットワーク閲覧	財務統計処理
院内カメラシステム構築	不要 IT 機器の買い取り業者への売却
患者待ち時間調査結果集計	IT 機器の自前修理による修理費用、買換え費用の削減
電子カルテサーバー保守契約更新	情報系ネットワーク機器入れ換え

### 年度総括

増改築に伴うネットワーク敷設や部署移動に伴う IT 機器の移動等の作業は一段落しましたが、4 月～10 月頃に発生した情報系ネットワークの遅延や電子カルテネットワーク機器の故障等のネットワーク関連のトラブルが目立った年度でした。

2020 年度は引き続き部門サーバーのリプレースの作業等が予定されていますので、更なるスキルアップと効率のよい対応を心がけて業務を遂行していきたいと考えております。

## 広報係

主任 知念 政治

### 活動目的

広報専任担当者2名で、病院・クリニック・地域包括ケアセンターの各種広報活動を行っております。中心業務は各施設の現状やPRポイント、新規業務などをホームページや広報誌、マスメディア等を通じ内外に発信する事ですが、その活動に関わる情報の収集から取材・撮影を行い、広報誌や公式サイト、デジタルサイネージコンテンツなどの作成を行ったり、報道機関向け資料の作成なども行います。また、定期的開催される「かりゆし会広報委員会」事務局を運営し、施設内における掲示物などに関する規定を作成・管理を行ったり、全体の広報方針や広告関連予算を審議し理事会への提案も行います。また、毎年度の年報作成についても「かりゆし会年報作成委員会」事務局を運営し作成業務にあたっております。

### 認定・資格

認定・資格名	人数
システムアドミニストレータ	1
サーティファイ webクリエイター能力検定試験 上級	1
サーティファイ Flashクリエイター能力認定試験 上級	1

認定・資格名	人数
ユニバーサルデザインコーディネーター	1
WEB解析士	1

### 主な報道・取材対応

区分	内容	掲載媒体	年月日
取材依頼・対応	足と傷のセンター開設	QAB Q プラス	2019年5月29日
取材対応	足と傷のセンター	RBC The News	2020年2月5日
取材対応	沖縄県の平均寿命低下の要因について(アルコール関連・肥満関連の肝疾患)	OTV 健康おきなわプロジェクト 2020	2020年3月28日

### 事務局運営

かりゆし会広報委員会

かりゆし会年報作成委員会

### 活動実績

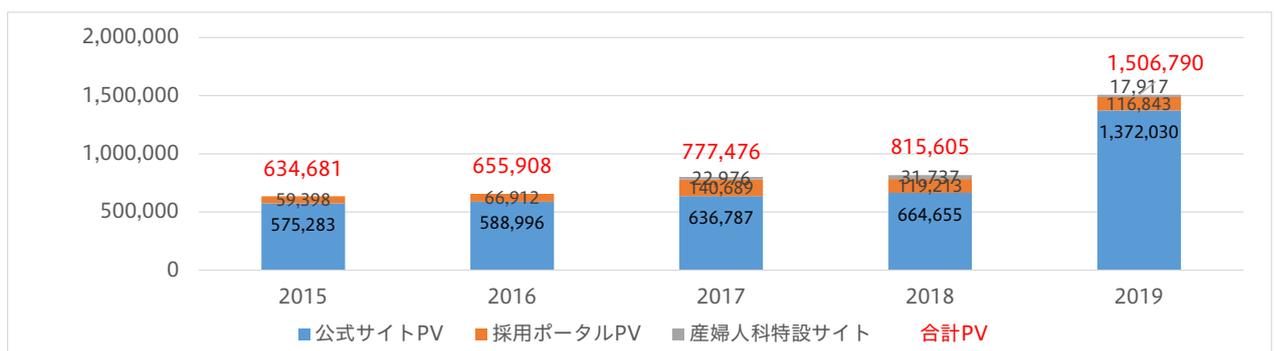
名称	開催地	年月日	参加者
コンプライアンス講習会「ソーシャルメディアの利用について」	当院	2019年4月1日	新入職員対象

### 公式サイト統計

ページ閲覧数 (PV) 推移

※ 産婦人科特設サイトは2017年9月1日より公開しました

※ 2019年12月26日に公式サイトリニューアルを実施し、産婦人科特設サイトを閉鎖しました



## 診療情報管理室

診療情報管理室課長 柳 学

### 職員数

総数

9名

職種別

診療情報管理士 8名（病歴担当5名、がん登録担当3名）

一般事務1名（病歴担当1名）

### 認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	8

### 事業計画・評価

項目	概要	達成率	評価
【業務（収入）計画】業務全般に対する取組みの内容及び、展望について	<ul style="list-style-type: none"> <li>●適切なDPCデータの作成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「部位不明・詳細不明コード」の使用割合10%未満の維持</li> <li>・DPCデータの様式間の記載矛盾のあるデータの件数が全体の1%未満の維持</li> <li>・様式1の未コード化傷病名である傷病名の割合の2%未満の維持</li> </ul> </li> </ul>	100%	保険診療係数はICD10コードの部位不明・詳細不明割合を全体の10%未満に抑えることができた。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●DPCの機能評価係数IIアップに向けて               <ul style="list-style-type: none"> <li>・①保険診療指数、②効率性指数、③複雑性指数、④カバー率指数、⑤救急医療指数、⑥地域医療指数の各指数アップへ向けてデータの分析力を学ぶ</li> </ul> </li> </ul>		②効率性係数の伸び率が他の係数に比べてよかった。病床利用率向上対策委員会でのDPC入院期間I・IIを意識した退院への取り組みの影響があったと思われる。しかし③複雑性係数、⑤救急医療係数が下がった。要因分析が課題。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●分析ツールの活用の充実(MEDI-ARROWS、EVE、MedicalCode、SSIScope)</li> </ul>	60%	担当によって分析ツールの得意、不得意があるので、勉強会等を通して全てのツールの基本的操作を習得し、すべての担当者が使いこなせるようにしたい。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●病院指標の作成と公開他</li> </ul>	100%	各診療科の部長等へ評価コメントを依頼し、期日までに自院ホームページへアップ、機能評価係数への評価が行われた
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●診療・研究・経営に役立つ統計・分析資料の作成</li> </ul>	50%	各部署や医師等から依頼された資料への対応は出来たが、当部署からの積極的な発信が出来ていない
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●診療録の監査(量的・質的)の実施の継続及び内容の充実を図る</li> </ul>	50%	診療録委員会にて2ヵ月毎(偶数月)に診療録の監査を実施しているが、監査項目の見直し等の検討が必要
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カルテ廃棄の作業(保管スペースの確保)</li> </ul>	0%	死亡退院後11年経過した退院カルテの廃棄作業に今年度も手を付けられなかった (※廃棄対象 H14.01-H20.12DC分)

項目	概要	達成率	評価
【要員計画】 計画を実行する為に必要な要員	●人員は現状の9名を維持 (病歴担当6名(診療情報管理士5名+契約1名)・がん登録担当3名(診療情報管理士3名))	100%	平成30年度の退院患者総数が9,211名で、退院患者2,000名に1名の診療情報管理担当者を配置すれば、診療録管理体制加算の基準はクリアするので、現状の人員を維持。
【教育研修計画】 年間スケジュールの作成	●診療情報管理士による全職員向けのDPC勉強会の開催	100%	DPC勉強会を基礎編と副傷病編、各2回の計4回開催。来年度も引き続き継続予定
	●DPC夏季セミナー等への参加	100%	1名参加(大城克枝)
	●がん登録研修等への参加	50%	がん登録担当が参加
●平成31年度「第27回院内研究発表会」へ演題発表	0%	発表出来ず	
【設備計画】 機器の更新・新規購入、修繕、備品(平成27年中に申請した物品も記載して下さい)	特になし		

## 活動実績

### 研修・勉強会などへの参加

題名・タイトル	目的	開催地	日時	参加者
第4回沖縄「医療の見える化」勉強会	データ活用の勉強及び県内他施設との情報交換のため	中頭病院	2019年5月17日	真栄平久美子、柳学、田河美智代
日本がん登録協議会・第28回学術集会	発表(宮平)・全国でのがん登録業務の取組みを情報収集、当院でのがん登録業務へ活用する	北海道・道民活動センターかでの2/7	2019年6月19～21日	宮平奈美子、雨宮絢
「EVE」活用レッスン in 沖縄	DPCデータ分析の方法等の習得	豊見城中央病院	2019年6月22日	真栄平久美子、我如古理咲子
2019年度院内がん登録実務中級認定者研修会	院内がん登録に関する高度で専門的な知識および技術を習得すること	東京・国立がん研究センター築地キャンパス	2019年7月2～3日	宮平奈美子
院内がん登録実務中級認定者研修会	院内がん登録実務に関わる知識・技術の向上	東京・国立がん研究センター築地キャンパス	2019年7月8～9日	兼濱亜紀
がん登録実務初級認定者研修	全国がん登録実務に関わる知識・技術の向上	東京・国立研究開発法人国立がん研究センター	2019年7月28～9日	雨宮絢
DPC夏季セミナー	DPC研究班の講演聴講・DPC分析演習及び情報交換	北九州・産業医科大学	2019年8月19～20日	大城克枝
全国がん登録医療機関実務担当者研修会へ参加	「全国がん登録届出マニュアル2016(2019年度改定版)」等の情報収集	沖縄県庁4階講堂	2019年8月21日	宮平奈美子、雨宮絢、兼濱亜紀
MDV 沖縄地区特別勉強会～算定率向上編～(全2回)	PDCAサイクルで算定率向上の取組みができる改善手法を学ぶ	大濱第一病院2階あめくふれあいセンター	2019年8月31日	我如古理咲子、真栄平久美子
第78回沖縄県外科学会(司会)	沖縄県における外科医医学、医療の研究をなし、医療の向上と会員相互の親睦を図る	沖縄県医師会館3階ホール	2019年9月1日	兼濱亜紀
「第5回医療の見える化勉強会」参加	診療情報管理士の能力向上、情報交換	大濱第一病院	2019年9月6日	我如古理咲子、真栄平久美子

題名・タイトル	目的	開催地	日時	参加者
第 45 回日本診療録管理学会学術大会 (発表)	学会発表 (我如古)、診療情報管理士の能力向上、情報収集	大阪府大阪市グランフロント大阪	2019 年 9 月 18 ~ 21 日	我如古理咲子、真栄平久美子
院内がん登録実務者中級研修	がん主要 5 部位以外の UICC、TNM 分類などの病期分類のコーディングを行うことができ、また各種癌取扱い規約の内容も理解できるレベルの実務者の育成	国立研究開発法人国立がん研究センター 築地キャンパス内	2019 年 9 月 30 ~ 10 月 4 日	雨宮絢
令和元年度 第 3 階 沖縄県がん診療連携協議会 傍聴	沖縄県の今後のがん対策について最新情報を収集するため	琉球大学 医学部附属病院 管理棟 3 階	2019 年 11 月 1 日	兼濱亜紀
日本診療情報管理学会「ICD-11 研修会」	診療情報管理士の能力向上、情報収集	東京都・日本工学院専門学校 蒲田校	2019 年 11 月 23 日	我如古理咲子
第 10 回日本マネジメント学会 沖縄県支部学術集会	クリティカルパスポスター発表 (真栄平)、診療情報管理士の能力向上、情報収集	医療法人 沖縄徳洲会 中部徳洲会病院	2020 年 1 月 18 日	真栄平久美子、我如古理咲子
令和元年度 院内がん登録研修会 参加	院内がん登録の新ルールの知識を習得し、他病院との情報交換の場とする	琉球大学 医学部 臨床講義棟 1 階 小講義室	2020 年 2 月 15 日	宮平奈美子、雨宮絢、兼濱亜紀

### 院内勉強会

演題名	勉強会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
DPC 勉強会 (基礎編)	DPC 勉強会	当院	2019 年 06 月 27 日	柳学
DPC 勉強会 (基礎編)	DPC 勉強会	当院	2019 年 07 月 25 日	大城克枝
DPC 勉強会 (副傷病名編)	DPC 勉強会	当院	2019 年 08 月 22 日	柳学
DPC 勉強会 (副傷病名編)	DPC 勉強会	当院	2019 年 09 月 26 日	田河美智代
令和 2 年度診療報酬改定の概要 (DPC/PDPS)	令和 2 年度診療報酬改定勉強会	当院	2020 年 03 月 24 日	柳学

## 総務課

総務課課長 吉川 忍

### 職員数

総数

19名

職種別

一般事務	7名	患者送迎サービス係	6名
秘書	3名	司書	1名
警備員	1名	屋外植栽管理	1名

### 運営方針

事務処理の迅速化を図る

各部署に対する支援強化を図る

職場環境の整備に努める

ワークライフバランスの推進

### 活動実績

#### 院内行事運営など

年月日	名称
2019年4月1日	2019年度入職式・新入職員オリエンテーション(1日目)
2019年4月1日	新入職者歓迎会
2019年4月2日	新入職員オリエンテーション(2日目)
2019年5月27日	院内合同慰霊祭
2019年5月29日	2019年度事業計画説明会<役職者対象>
2019年7月8日	院内献血
2019年7月9日	九州厚生局による適時調査
2019年8月22日	ハートライフ病院 開院31周年
2019年11月26日	医療監視(中部保健所による立入検査)
2019年12月30日	納会
2020年1月6日	かりゆし会成人式
2020年1月10日	新春もちつき大会
2020年1月17日	院内献血

## 事務部 年度総括



事務部長  
當銘 秀之

2019年度は、4月に病院長が奥島医師から佐久川医師に引継がれて、5月には平成から令和に年号変わり、新時代と共に病院も新体制になりました。

奥島前院長が築き上げてきた実績を基に、これからも佐久川新院長体制を事務部職員一丸となって、支えていきたいと存じます。

さて、2019年度は、ここ数年続いていた増改築工事は既に終了しており、また、記念イベントや診療報酬改定の年でもなく、病院機能評価も終了して、病院にとって大きなイベントはありませんでした。

そこで、2019年度はICT導入に力を注ぎ、診療費後払いシステム、データセンターバックアップシステムを導入しました。また、今日までは紙で行っていた物品購入に関する申請を、Web申請システムに変更し、まずは事務部から運用をスタートしました。今後は他部署および稟議書にも範囲を広げて行く予定です。更に、現在はWeb診療予約システムを導入中で、2020年上半期にはサービスインを迎える見込みです。ICTを導入することで事務作業の軽減、ストレス軽減、リスク軽減にもなりますので、今後も常に最新情報を得ながらICTの導入を行い、経営課題の解決に繋げていきたいと存じます。

当院規模の病院では通常設置されているHCUが、当院には設置されていませんでした。長年の課題であったHCU設置を職員皆さんの尽力によって6月に設置しました。HCUの設置が一要因となり、2019年度は過去最高の病院収入となりました。令和スタートの年に大変素晴らしい成果を出すことが出来たことを、職員の皆さんに感謝申し上げます。

事務部の多くの部署が配置されていた別館から、10月の人事課の引越しを皮切りに、総務課、財務・経理課、広報係が西館1階に引越しました。そのおかげで業務環境はかなり良くなり改善されましたが、事務部内には業務環境の改善の余地がある部署まだまだありますので、今後引き続き改善に努めてまいります。

令和2年度は診療報酬改定の年です。その忙しい時期に2月から新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、病院、職員にとって大変な年度開始となってしまいました。事務部門としては、様々な困難を例年通り「笑顔で親切」のスローガンの下、職員一丸となって乗り切っていく所存です。



# 委員会活動

### 医療安全管理委員会

委員会名	医療安全管理委員会	開催日	毎月第3金曜日
委員長名	久場良也	構成人数	26名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	安村公均
活動目的	1) 医療事故防止のための安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上を図る。 2) 医療事故やニアミスの情報を収集し、分析して具体的な事故防止対策に役立てる。		
今年度の主な活動内容	1) 医療事故防止対策の検討及び研究に関すること 2) 医療事故の原因調査に関すること 3) 医療事故発生に伴う対応策に関すること 4) 医療事故防止のために行う提言に関すること 5) 医療事故発生防止のための啓発、教育、広報及び出版に関すること 6) リスクマネージャーの養成に関すること 7) その他医療事故の防止に関すること		
備考			

### 医療ガス安全・管理委員会

委員会名	医療ガス安全・管理委員会	開催日	年1回(不定期)
委員長名	島袋 泰	構成人数	25名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	野原 剛
活動目的	医療ガス(診療に供給する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素をいう)設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	1. 医療ガス設備について実施責任者に保守点検を行わせること。監督責任者は、実施責任者による業務を指導、監督する。 2. 帳簿を備え、行った保守点検業務について記録を作成し保存する。 3. 医療ガス設備に係る新設及び増設工事・部分改造・修理等にあたっては臨床各部門にその旨周知徹底を図り、使用に先立って厳正な試験・検査を行い、安全を確保する。 4. 医療施設内の各部門に医療ガスにかかわる知識を普及し、啓発に努める。 5. その他医療ガスに関わる事項。		
備考	医療ガス安全管理委員長が久場良也より 島袋泰へ変更となりました。 災害拠点病院の要件は満たしています。(最小で5日～10日は持つ見込み)		

### 医療事故対策委員会

委員会名	医療事故対策委員会	開催日	適宜
委員長名	久場良也	構成人数	11名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	安村公均
活動目的	病院で発生する医療事故、訴訟問題に迅速に対応するとともに適切な対応を図るため。		
今年度の主な活動内容	1) 医療事故発生の実態及び経過の確認に関すること 2) 医療事故の分析及び再発防止策の検討に関すること 3) 医療事故発生に伴う対応策に関すること 4) 訴訟等の対応策に関すること		
備考			

## 医療廃棄物委員会

委員会名	医療廃棄物委員会	開催日	不定期開催
委員長名	佐久川 廣	構成人数	22 人
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	医療廃棄物の管理に関する基準を定め、医療廃棄物を適正に処理し、感染を防止する。		
今年度の主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の新人オリエンテーションにて、委員会活動報告と廃棄物処理の説明を行う。</li> <li>・感染性や非感染性廃棄物の廃棄不備などを写真にて記録し、関係部署へ注意喚起を行う。</li> <li>・電子マニフェスト化に向けて、説明会へ参加。次年度までに変更予定。</li> </ul>		
備考			

## 院内感染対策委員会

委員会名	院内感染対策委員会	開催日	毎月第3月曜日等
委員長名	普天間光彦	構成人数	16 名
事務局・担当部署	感染対策管理室	担当者名	城間克也
活動目的	ハートライフ病院の感染管理のため、院内感染に関する意思決定機関として関連事項の調査・審議を行う。		
今年度の主な活動内容	<p>1) 感染委員会の開催 月1回定例開催で12回の開催 緊急会議等2回開催（インフルエンザウイルス院内集団発生）</p> <p>2) 委員会における調査・報告内容</p> <p>ICT 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①サーベイランス（耐性菌 / 抗酸菌 / インフルエンザウイルス / CD / 針刺し・切創の発生報告）</li> <li>②手指衛生状況（アルコール製剤使用量、手指衛生遵守率）</li> <li>③耐性菌アウトブレイク監視（MRSA）</li> <li>④JANIS サーベイランス事業（全入院部門）</li> </ul> <p>AST 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①抗菌薬使用状況（総使用量、指定抗菌薬、使用届出）</li> <li>②AUD（抗菌薬使用密度）</li> <li>③血液培養分離</li> <li>④菌血症患者介入症例</li> <li>⑤血液培養の複数セット採取率と汚染率</li> </ul>		
備考			

## 安全衛生委員会

委員会名	安全衛生委員会	開催日	毎月第3金曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	14 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	吉川 忍・富里 等
活動目的	職員の健康保持及び、健康増進を図る 職員のメンタル不調の予防		
今年度の主な活動内容	<p>2019年4月 春季職員健診実施（健診後事後措置実施 5月～）</p> <p>2019年4月 職場巡視（1～3部署 / 月） 通年</p> <p>2019年9月 職員B型肝炎予防接種実施</p> <p>2019年10月 職員B型肝炎予防接種実施</p> <p>2019年10月 秋季職員健診実施</p> <p>2019年10月 職員インフルエンザワクチン予防接種実施</p> <p>2019年11月 ストレスチェック実施（フォローアップ 1月～）</p> <p>2019年12月 職員満足度調査（ワークライフバランス委員会と共同実施）</p> <p>2019年3月 職員B型肝炎予防接種実施</p>		
備考			

### NST・褥瘡対策・排泄ケア委員会

委員会名	NST・褥瘡対策・排泄ケア委員会	開催日	毎月第2月曜
委員長名	宮平工 (NST) / 東盛貴光 (褥瘡) / 嘉川春生 (排泄)	構成人数	58名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	宮平良太
活動目的	1. 入院患者の褥瘡発生を予防する 2. 褥瘡発生 (入院時より有する) 患者に対して適切なケアを実施する 3. 褥瘡ケアに対する質の向上 4. 低栄養にある患者のアセスメントを行い適切なアドバイスを行う 5. オムツ交換の手技だけではなく、患者さんにとって尊厳のある排泄ケアの実施 6. 排尿自立に向けた支援		
今年度の主な活動内容	毎週水曜日：褥瘡回診 毎週月曜日：NST 回診実施 毎週金曜日：排尿ケアラウンド 外科医師、形成外科医師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、褥瘡専従看護師、NST 専従管理栄養士にて回診を実施。医師による処置だけではなく、低栄養にある患者の場合は NST チームが介入し、ポジショニング指導等は理学療法士が介入し実施、指導を行なっている。 排尿ケア回診では、尿道留置カテーテル患者を対象に自立排尿ができるよう指導を実施。		
備考			

### エネルギー管理委員会

委員会名	エネルギー管理委員会	開催日	奇数月の第2金曜日
委員長名	西原 実	構成人数	7名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	・各事業所の光熱費などが適正に使用されているかを年間を通して管理する。 ・省エネ器具や補助金などを活用して、費用削減に努める。		
今年度の主な活動内容	1. 全居室の空調機が老朽化しているので、高効率型空調機への取替を計画し、予算化する。 2. 東館の照明器具をすべて LED で計画して、光熱費の削減を行った。 3. 立体駐車場の照明器具をすべて LED 化で計画して、光熱費の削減を行った。		
備考			

### 栄養管理委員会

委員会名	栄養管理委員会	開催日	毎月第3火曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	15人
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	真栄城 ゆかり
活動目的	・栄養管理の充実・向上とその適正な運営 (栄養管理、給食に関する問題点の改善及び対策)		
今年度の主な活動内容	・嗜好調査 (年4回) の報告 ・患者が薬を溶解する為に食器を使用、予洗いの協力願い ・食事変更、欠食等時間外オーダー件数報告と防止策検討 ・配膳遅れ、下膳催促について		
備考			

## 化学療法委員会

委員会名	化学療法委員会	開催日	毎月第1木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	12名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	大関秀和
活動目的	当院で実施するすべての化学療法の医学的、薬学的、安全性及び経済学的評価を行い、その選択、購入、配布、及び使用等に関する勧告を行う。		
今年度の主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロトコールシステムの整備</li> <li>・マニュアルの整備・改定</li> <li>・院内勉強会の開催（年2回：抗がん剤曝露対策について）</li> <li>・閉鎖式デバイスの導入</li> <li>・無菌調製処理料の算定（1271件/年）</li> <li>・外来化学療法加算の算定（1307件/年）</li> <li>・がん患者指導料の算定増加への取り組み</li> <li>・2020年度診療報酬改定に関わるHPの整備</li> <li>・免疫チェックポイント阻害薬導入に関する連携強化</li> </ul>		
備考			

## がん対策推進委員会

委員会名	がん対策推進委員会	開催日	毎月第3木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	10名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	宮平奈美子
活動目的	がん診療を行う医療機関として、県、他医療機関との連携を取りながら、より充実したがん医療の提供の推進を図る。		
今年度の主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. セカンドオピニオンの受け入れ、および他院への依頼</li> <li>2. 緩和ケア病院への紹介</li> <li>3. がん患者さんへの在宅退院支援</li> <li>4. 沖縄県緩和ケア研修会の運営開催 2020年1月18日（参加者30名：院内18名、院外12名）</li> <li>5. がん対策推進企業アクションからの情報紙（ニューズレター 2019vol.1～7）を正面玄関、各部署へ配布</li> <li>6. 患者さん向けがんの小冊子（14部位）を正面玄関に配布</li> <li>7. 2016年、2017年症例の沖縄県院内がん登録集計報告書10冊を関係部署、および患者用として関連診療科外来へ配布</li> <li>8. 2018年症例の全国がん登録、院内がん登録の提出（515件）</li> <li>9. 国立がん研究センター主催の院内がん登録予後調査支援事業への参加</li> <li>10. 協議会、研修会、セミナーへの参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県がん診療連携協議会傍聴参加 2019年8月、11月、2020年2月の計3回（外間・兼濱・國吉）</li> <li>・緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキンググループ参加 2019年5月8日（西原）</li> <li>・日本緩和医療学会第2回九州支部学術大会 2019年12月14日口頭発表（西原）</li> <li>・日本がん登録協議会学術集会 2019年6月21日ポスター発表（宮平・雨宮・西原）</li> </ul> </li> </ol>		
備考			

## 呼吸器ケア委員会

委員会名	呼吸器ケア委員会	開催日	毎週水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	28名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	弓濱義之
活動目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人工呼吸器からの離脱支援：ウィニング計画の立案と実施、コンサルテーション。</li> <li>2) 人工呼吸器装着患者の合併症予防のための支援。</li> <li>3) 呼吸器関連デバイスの更新や運用検討。</li> <li>4) 酸素療法や人工呼吸器使用に関する勉強会の定期的な開催。</li> <li>5) 毎月第2水曜日にミーティングを行い意見交換やケアに関する情報収集を行う。</li> </ol>		
今年度の主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 毎週水曜日に行う院内ラウンド【2019年度は年間307名に対してラウンド実施】 <ol style="list-style-type: none"> <li>①対象患者は人工呼吸器装着中で呼吸器から離脱を目標としている患者、もしくは離脱困難で長期間呼吸器管理が必要な患者や在宅人工呼吸器に移行する可能性のある患者への介入</li> <li>②病棟看護師やリハビリスタッフからの要請で酸素療法実施中の患者のデバイス選定やコンサルテーション</li> </ol> </li> <li>2) 人工呼吸器関連のデバイス変更や更新時の機器・デバイス選定への寄与</li> <li>3) 呼吸器ケアに関する勉強会の開催 2019年度実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>「2019年5月22日 フィジカルアセスメント～呼吸器編～」</li> <li>「2019年8月14日 酸素療法について」</li> <li>「2019年11月13日 NHFについて」</li> <li>「2020年2月12日 呼吸器使用中患者の口腔ケアについて」</li> </ul> </li> </ol>		
備考			

### 個人情報保護委員会

委員会名	個人情報保護委員会	開催日	年2回(5月・10月)
委員長名	仲地智俊(個人情報保護管理責任者)	構成人数	5名
事務局・担当部署	事務局	担当者名	仲地智俊
活動目的	社会医療法人かりゆし会において、個人情報保護計画を策定し、実施・評価・改善を行い、当法人職員に対して、個人情報保護を遵守する重要性を理解させ、実際に個人情報が適切に取り扱われることを活動目的とする。		
今年度の主な活動内容	1. 2019年年4月新職員オリエンテーション 新職員オリエンテーションにて個人情報保護に関する説明 2. 2020年1月委員会開催 ドクターカー出動時の撮影について ※顧問弁護士にも意見を伺った結果、原則として撮影するなら許可が必要とした。		
備考			

### 診療録管理委員会

委員会名	診療録管理委員会	開催日	毎月第4水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	16名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
活動目的	診療録管理委員会は、診療録帳票の検討、記載要領及び診療録の適切で効率的な利用、保管の為に必要な事項を調査、検討するため、また、診療情報の適用の可否を審議することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	委員会毎月1回定例とし、第4水曜日に開催することを原則とする。 1) 検査伝票、診療帳票等の新規作成、改定に関すること 2) 入院、外来診療録の整備と質的向上の為に諸条件に関すること 3) 診療に関する諸様式の整備改定に関すること 4) 診療情報管理室の効率的な管理運営に関すること 5) 診療録管理に関すること 6) 診療情報の提供に関すること 7) その他		
備考			

### 卒後臨床研修管理委員会

委員会名	卒後臨床研修管理委員会	開催日	年2回(6月・3月)
委員長名	佐久川 廣	構成人数	50名
事務局・担当部署	卒後臨床研修事務局	担当者名	新垣麻子
活動目的	本委員会は、当院研修プログラムの管理及び研修計画の円滑な実施や研修管理委員会に関する事項について連携し、より具体的な業務を行う。また、卒後臨床研修管理委員会の運営に関して必要な事項を審議するため、卒後臨床研修委員会運営協議会を設置している。		
今年度の主な活動内容	1. 2019年度採用初期研修医第16期生(7名)の紹介 2. 2019年度スケジュールの確認 3. 平成30年度採用初期研修医第15期生(5名)の修了判定(書面会議) 4. 研修医からの意見・要望等の取り入れ・検討		
備考			

## 地域医療支援病院運営委員会

委員会名	地域医療支援病院運営委員会	開催日	年1回(8月)
委員長名	佐久川 廣	構成人数	20名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	金城司・新垣りか・松原譲二
活動目的	ハートライフ病院が地域のかかりつけ医、かかりつけ歯科医などからの要請に適切に対応し、地域における医療の確保に必要な支援を行うため、ハートライフ病院地域医療支援病院運営委員会を設置する。		
今年度の主な活動内容	地域医療支援病院委員会を令和元年8月28日(水)に開催し、下記の(1)～(12)の平成30年度実績を報告した。 (1) 開設者 (2) 紹介率(紹介率・逆紹介率) (3) 共同利用 (4) 救急医療 (5) 研修 (6) 病床数 (7) 構造設備 (8) 諸記録 (9) 委員会 (10) 患者相談 (11) その他 (12) 居宅等		
備考	年度に1回以上委員会を開催する。		

## 治験審査委員会

委員会名	治験審査委員会	開催日	毎月第2火曜日
委員長名	嘉川春生	構成人数	11名
事務局・担当部署	治験管理センター、薬局	担当者名	田中健嗣
活動目的	治験を行う為に必要な第三者機関(院長の諮問機関)として、「GCP、臨床研究法」に従って、すべての被験者の人権の保護、安全の保持および福祉の向上を図ることを目的とする。治験を開始する前から終了後に至るまで、その責務は継続するものである。		
今年度の主な活動内容	稼働治験数:3件		
備考	稼働治験の増加に伴い、取引先(SMO)の追加を予定しています。		

## 薬事審議委員会

委員会名	薬事審議委員会	開催日	奇数月の第4金曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	12名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
活動目的	毎年、多くの医薬品が開発され、新たに薬価収載されている。この数多くの市販される医薬品の中から、患者個々の病態や経済性に考慮した医薬品を選定することは、薬物療法を適正に行うにあたって重要な事である。また、同種・同効の医薬品ならびに後発医薬品が多く薬価収載されており、これらの医薬品を無秩序に購入し使用することは、医学・薬学・経済面から見ても合理的であるとはいえない。さらに新規購入医薬品が増えることで、使用されなくなった既存の薬剤の整理を行わない限り、採用医薬品は増加し過剰在庫による経済的負担と、医薬品を管理する人的、スペース的負担を増加させる。従って薬物療法の適正化と、医薬品管理業務における、医薬品の流通を円滑に行う為に、薬事審議委員会を設置する。		
今年度の主な活動内容	<p>委員会の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用医薬品の採用</li> <li>・後発医薬品の採用方法</li> <li>・既採用医薬品の再評価の必要性</li> <li>・陳旧化した医薬品の取り扱い</li> <li>・同種・同効薬の再評価</li> <li>・院内製剤の採否の決定</li> <li>・医薬品の適正な使用方法の協議</li> <li>・医薬品の副作用及び感染症の協議</li> <li>・在庫医薬品の適切な管理と運用</li> <li>・病院医薬品集・医薬品情報等について</li> <li>・臨床試用医薬品の採否の決定</li> </ul> <p>その他の審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数規格が採用になっている薬剤で、使用量が極端に少ない製剤の統一化を図った</li> <li>・使用量上位の薬剤を中心に後発品への切り替えを行った。</li> <li>・フラジール軟膏の適応外使用の検討を行った。</li> <li>・一般名処方導入の検討を行った。</li> <li>・注射オーダーの技制限について検討を行った。</li> <li>・禁忌薬情報の処方箋記載の検討を行った。</li> <li>・院外薬局からの問い合わせ内容を整理し、薬局・病院間の取り決め事項を決め、医師への確認件数の削減を図った。</li> <li>・院内での使用量の少ない薬剤を抽出し、整理を行った。</li> </ul>		
備考			

### 輸血療法委員会

委員会名	輸血療法委員会	開催日	奇数月第1金曜日
委員長名	阿嘉 裕之	構成人数	8名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	蔵下 恒
活動目的	輸血療法の安全な実施及び血液製剤の適正使用を図ることを目的し、輸血療法に係る全般を議題、検討内容とする。		
今年度の主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液製剤使用状況の確認：製剤毎、医師毎の使用状況の集計を行い、大量使用症例は内容の検討を行いました。</li> <li>・廃棄血の発生状況を検討し対策をおこないました。</li> <li>・輸血後感染検査実施状況の検討を行いました。</li> <li>・血液製剤の保管、運搬についてのマニュアルを新たに作成し周知を行いました。</li> <li>・輸血管理料-Ⅱ(110点)の申請を行いました。</li> <li>※血液製剤(アルブミン製剤を含む)の使用患者に月1回を限度として算定される。</li> <li>・輸血適正加算-Ⅱ(60点)は、FFP、アルブミン製剤の使用量が基準値に満たず、申請できませんでした。</li> <li>・返却製剤の転用向上等、種々の対策を行い、廃棄血の抑制に努めました。</li> <li>※廃棄血液金額：2018年度(526,796円)⇒2019年度(566,986円)で増加している。</li> <li>・2019年度の議題は、25議題でした。</li> <li>・2020年度：輸血管理料-Ⅱ加算は申請可能です。輸血適正加算-Ⅱは、FFP・アルブミンの使用量により加算申請出来ませんでした。</li> <li>・廃棄血金額を50万円以下に抑えることを年度目標としています。</li> </ul>		
備考			

### 臨床検査適正委員会

委員会名	臨床検査適正委員会	開催日	不定期(3回/年)
委員長名	宮城 敬	構成人数	6名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	斎藤辰好
活動目的	臨床検査は診療の補助として行われるもので、疾病の診断・治療・予後を判断するための重要な情報を提供するものである。 質の高いデータを迅速に提供できるよう努力する事が大切である。 上記をサポートする事を目的とする。		
今年度の主な活動内容	委員会は基本年3回開催し、必要に応じ臨時に開催する 1) 臨床検査が関わる業務の範囲の検討 2) 検査精度管理、機器選定ならびに導入計画 3) 検査項目や、正常値の検討 4) 新規検査の導入や検査中止の検討 5) その他		
備考			

### 倫理委員会

委員会名	倫理委員会	開催日	不定期
委員長名	與座 一	構成人数	10名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
活動目的	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院(以下、「病院」という。)の職員が行う医療行為および医学研究(以下、「医療行為等」という。)において、「ヘルシンキ宣言」(2000年エジンバラ修正、2002年ワシントン総会で注釈追加)を尊重し、国内の倫理指針の趣旨にそって、倫理的配慮が図られているかどうかを審議することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医療にかかる法律の順守に関する事項</li> <li>2) 患者の権利に関する事項</li> <li>3) 医療行為等をめぐる生命倫理に関する事項</li> <li>4) 臓器移植および新治療法の採用に関する事項</li> <li>5) その他、病院長または委員長が必要と認めた事項</li> </ul> 議題数：24件		
備考	新法に則った、倫理委員会の体制作りに取り組んでおります。		

## DPC 委員会

委員会名	DPC 委員会	開催日	毎月第 2 金曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	14 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
活動目的	DPC 委員会は、DPC 対象病院として DPC 業務の適正な運用を図るために審議検討をすることを目的とする。		
今年度の主な活動内容	1) 適切なコーディネーションを行う体制に関する事。 2) 診断及び治療方法の適正化標準に関する事。 3) 院内で標準的な診断及び治療方法の周知徹底に関する事。 4) その他 DPC 業務に係る課題に関する事。		
備考			

## 緩和ケア委員会

委員会名	緩和ケア委員会	開催日	毎週第 1 月曜日
委員長名	花城直次	構成人数	26 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	本田由佳理
活動目的	患者及び家族の生活の質向上のために各部署の専門家が協働してチームを作り、がん治療の開始、または生命を脅かす病に関する問題を、精神的・身体的・社会的・スピリチュアルの面からケアを提供する。		
今年度の主な活動内容	1. 対象患者の拡大に非がん患者を含め、多職種チームで連携を介した情報共有 2. 外来・病棟での「病気に対する問診票」の活用継続と見直し 3. 緩和ケアチームの多職種から院内勉強会開催 4 回 / 年 4. 緩和ケア認定看護師の活動拡大 5. 緩和ケアに関するツールやパンフレットの作成と活用		
備考			

## 診療報酬対策委員会

委員会名	診療報酬対策委員会	開催日	毎月第 4 月曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	8 名
事務局・担当部署	医事課	担当者名	伊集 準
活動目的	当院目標査定率 0.14% の達成に努める		
今年度の主な活動内容	1) 保険診療に関する事 2) 請求漏れ、査定減の対策に関する事 3) 保険請求事務等の改善に関する事 4) レセプト作成、点検に関する事		
備考			

## IT 推進委員会

委員会名	IT 推進委員会	開催日	毎月第 3 水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	16 名
事務局・担当部署	経営企画室電算係	担当者名	宮城克己
活動目的	電子カルテ・オーダリングシステムをはじめとした院内情報システム（機器）の導入から開発、運営・保守に関する全般の検討を行い、院内 IT 環境の充足をはかる。		
今年度の主な活動内容	1) 医事・オーダリング・電子カルテなどの医業システムの運用方法の検討 2) グループウェアなどの情報サービス・業務システムの検討 3) 上記①②に係るネットワークの検討 4) IT 導入に伴うセキュリティ管理 5) 各部門システムの導入、運用検討、保守などの管理 6) 職員の IT 知識の向上		
備考			

### クリニカルパス委員会

委員会名	クリニカルパス委員会	開催日	毎月第2月曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	36名
事務局・担当部署	経営企画室電算係	担当者名	高橋慎二
活動目的	クリニカルパスを充実することで、医療の質の向上を図る 患者中心の安全な医療を提供する クリニカルパスを充実させ、業務の効率化を図るとともに、職員の業務負担軽減を図る 在院日数の短縮を図るとともに、コスト削減を担う パス大会の円滑な運用を図る		
今年度の 主な活動内容	パスの作成・運用、勉強会の開催、パス大会の開催、その他		
備考			

### 救急総合診療部委員会

委員会名	救急総合診療部委員会	開催日	毎月第2金曜日
委員長名	銘苅 正	構成人数	19名
事務局・担当部署	ER-Aide	担当者名	森元 一晟
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急総合診療部の体制（人材確保を含む）を整える。</li> <li>問題点の検討や改善など要望を早めに対応できるような正式なルートをつくる。</li> <li>救急総合診療部門の実績報告。</li> </ul>		
今年度の 主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急搬送患者、時間外救急患者の受入れに関する流れや問題点、救急総合診療部に関わるすべての職種の仕事ライフバランスを考えながら、話し合いをもち、解決策を考え、活動目的を達成する。</li> <li>救急総合診療部小委員会にて初期問題を検討する。重要事項に関しては、救急総合診療部委員会で再検討し、救急総合診療部委員会としての承認を得る。その後議事録は、翌月の運営委員会で報告する。</li> </ul>		
備考	救急総合診療部小委員会は、月に1回以上（第1金曜日）、救急総合診療部委員会は毎月（第2金曜日）1回開催とする。		

### 投書対策委員会・患者満足度向上委員会

委員会名	投書対策委員会・患者満足度向上委員会	開催日	毎月第3金曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	6名
事務局・担当部署	事務部・総務課	担当者名	富里 等
活動目的	患者さん等からのご意見を収集し、医療サービス向上に繋げること。		
今年度の 主な活動内容	<p>患者さん等に対する接遇とコミュニケーションの質並びに待ち時間短縮の向上に努めた。</p> <p>患者さん等からのご意見に対応。</p> <p>職員の接遇向上にむけた教育・研修・講演会等を企画。</p> <p>患者満足度調査実施。</p> <p>快適な療養環境に努めた。</p>		
備考			

### 健康増進委員会

委員会名	健康増進委員会	開催日	毎月第4木曜日
委員長名	奥島憲彦	構成人数	9名
事務局・担当部署	事務部・医療技術部・看護部	担当者名	金城信矢（事務部）
活動目的	職員の健康増進活動を支援する。		
今年度の 主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>健康増進企画会議（毎月1回）</li> <li>健康増進委員会全体会議（偶数月に1回）</li> <li>毎月朝礼時のワンポイント体操・ラジオ体操指導</li> <li>あすなろ誌面へストレッチ情報掲載（年4回）</li> <li>新入職員歓迎本島縦断駅伝大会（5/19）</li> <li>部署対抗卓球大会（7/16～7/18）</li> <li>部署交流ソフトバレーボール大会（10/26）</li> </ol>		
備考			

## 医療機器安全管理委員会

委員会名	医療機器安全管理委員会	開催日	不定期
委員長名	末吉 健次	構成人数	7名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	大城 安
活動目的	院内で使用される医療機器に係る安全管理体制を図る		
今年度の 主な活動内容	医療機器の安全使用のための研修 医療機器の保守管理 医療機器の保守点検に関する記録 医療機器の知識・情報の収集 医療機器を安全に使用できるような運用を検討する		
備考			

## 医療機器安全管理分科会

委員会名	医療機器安全管理分科会	開催日	不定期
委員長名	仲松 晋也	構成人数	9名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	仲松 晋也
活動目的	院内で使用される医療機器に係る医療機器安全使用のための具体的な方策などについて指針を示すことにより、適切な医療機器安全管理を推進、安全な医療の提供に資することを目的とする。		
今年度の 主な活動内容	医療機器の安全使用のための研修 医療機器の保守点検 医療機器の保守点検に関する記録の整理 医療機器の知識・情報の収集		
備考			

## 透析機器安全管理委員会

委員会名	透析機器安全管理委員会	開催日	3ヶ月毎、第2月曜日
委員長名	内里 司	構成人数	5名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	内里 司
活動目的	透析機器安全管理委員会は血液透析業務における医療設備、医療機器に関連した安全管理及び品質管理を目的とし設置する。		
今年度の 主な活動内容	(1) 透析教育修練カリキュラムの整備に関すること。 (2) 透析液管理マニュアル完備に関すること。 (3) 透析機器及び水処理装置の保守・点検等の管理計画の策定に関すること。 (4) 管理記録、測定記録、報告書の作成並びに保管、管理に関すること。 (5) 職員への適正使用のための研修実施に関すること。 (6) 関連医療情報の安全使用のために必要となる情報の収集、その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施に関すること。 (7) その他、透析液に関すること。		
備考	透析機器安全管理委員会会議は3ヶ月毎に1度実施する。有事の際は臨時会議を実施する。		

## 広報委員会

委員会名	広報委員会	開催日	5月、8月、11月、2月の第2木曜日
委員長名	久場良也	構成人数	7名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念政治
活動目的	1) 各施設の現状、新規業務などをホームページや広報誌、新聞等を通じて院外にPRする。 2) 各施設の情報を収集・審議し、広報方針を決定する。 3) 広報・広告関連予算を審議し、理事会へ提案する。 4) 各施設における掲示物などに関して、規定を作成する。		
今年度の 主な活動内容	企画室広報係より事業に関する広報・広告活動を提起し他職種で検討を行う。法律や条例、各評価機関の定めに従った情報提供。		
備考			

## 年報作成委員会

委員会名	年報作成委員会	開催日	毎月第3木曜日
委員長名	嘉川春生	構成人数	15名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	仲田尚正
活動目的	かりゆし会年報の企画・データ収集・作成およびそれらのデータ保全。		
今年度の主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>平成30年度かりゆし会年報(ハートライフ病院開院30周年記念特別号)の企画およびデータ収集、編集、製本(全334ページ)。</li> <li>平成30年度各科実績報告会の運営 平成31年6月4日(火)と5日(水)の2回開催した。</li> <li>2019年度年報の企画</li> </ol>		
備考	2019年度より委員長が奥島憲彦から嘉川春生へ交代		

## 手術室運営委員会

委員会名	手術室運営委員会	開催日	2ヶ月に1回 木曜日開催
委員長名	久場良也	構成人数	32名
事務局・担当部署	手術室	担当者名	東恩納小百合
活動目的	手術を安全に、確実に遂行していくためには手術室の円滑な運営が大切であり、病院の管理体制・職員・設備などをふまえ、効率よく管理運営される事を目的とする。		
今年度の主な活動内容	<p>問題や議案が発生した際に開催 ここでは手術スケジュールの調整に関する事、安全管理・感染管理に関する事、設備に関する事、機器の保守点検、新規購入等について協議し、その時々の問題解決機関となる。 議事録は別ファイル「手術室運営会議録」に保管する。</p> <p>【2019年4月4日】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>HCU入室対象症例について</li> <li>HCU入室申込み及び入室後指示について</li> <li>麻酔同意書の術式手入力について(再周知)</li> <li>アビテンシートの廃止について</li> </ol> <p>【2019年6月6日】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>SDSについて再周知</li> <li>手術部屋の稼働について</li> </ol> <p>【2019年9月5日】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>前年度手術件数と今年度同月手術件数比較と現状報告</li> <li>針刺しについて</li> <li>夜間医局通路利用について</li> </ol>		
備考			

## 台風対策委員会

委員会名	台風対策委員会	開催日	必要時(原則13時開催)
委員長名	久場良也	構成人数	16名(医局・看護部・医療技術部・事務局)
事務局・担当部署	事務局 総務課	担当者名	吉川 忍・富里 等
活動目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>コンディション発令(台風対策)の有無、病院診療及び、職員出勤の有無などを検討し決定する。</li> <li>コンディション解除の日時を検討し、病院診療時間および職員の出勤時間などを決定する。</li> </ol>		
今年度の主な活動内容	2019年9月 台風17号対策対応		
備考			

## ICU・HCU 合同運営委員会

委員会名	ICU・HCU 合同運営委員会	開催日	全体会議：第3火曜日 3ヵ月毎
委員長名	久場良也	構成人数	21名
事務局・担当部署	経営企画室	担当者名	安里 竜
活動目的	診療科間、多職種連携を密にし、より効率的なICU運営、HCU運営を目指す。 重症患者（救急・術後・外傷）診療の質の向上に向けた教育と業務の効率化を図る。		
今年度の 主な活動内容	1) 教育班 院内BLS・ICLS講習会の運営 急変時のシュミレーション 2) 入院調整班 重症度、医療・看護必要度実績の報告 重症度、医療・看護必要度を考慮したベッドコントロール HCU運用を考慮したベッドコントロール 3) 資機材班 救急カート運用の検討・整備 シュミレーションに伴う資料整備		
備考	ICU・東2階病棟合同運営委員会からICU・HCU合同運営委員会へ名称変更		

## 図書委員会

委員会名	図書委員会	開催日	年2回（5月・10月）
委員長名	宮平 工	構成人数	5名
事務局・担当部署	総務課・図書係	担当者名	宮城映子
活動目的	ハートライフ病院図書室の適正な管理運営を図るため、必要な事項等を審議検討することを目的とする。		
今年度の 主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署購入図書検討</li> <li>・年間雑誌購入検討</li> <li>・文献データベース利用検討</li> <li>・廃棄資料検討</li> <li>・文献複写依頼</li> <li>・蔵書点検</li> <li>・所蔵目録作成</li> </ul>		
備考			

## 人事検討委員会

委員会名	人事検討委員会	開催日	毎月第2月曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	6名
事務局・担当部署	法人事務局 人事課	担当者名	比嘉康文
活動目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療の質、向上に寄与するための人材確保</li> <li>2. 各部門の現状把握・分析をし、適正人員及び適正人件費を検討し、経営に寄与する。</li> <li>3. 職員の採用（増員・補充・異動・その他）は人事検討委員会を通して検討する。承認後は理事会調整会議にて再審議し、増員等新規に関しては理事会の承認を得る。</li> <li>4. 昇進・昇格人事を検討し、理事会へ提案する。</li> <li>5. 業務委託の検討</li> </ol>		
今年度の 主な活動内容	<p>2019年度（令和元年度）人事検討委員会開催数14回。承認された事案は理事会調整会議及び理事会で審議され決定される。主な審議内容は、①昇進昇格人事、②業務拡張に伴う増員、③退職・産休に伴う補充、④給与表・資格手当の見直しなどがある。</p> <p>2019年度（令和元年度）は、かりゆし会全体で、181名を採用した。（ハートライフ病院138名、ハートライフクリニック4名、地域包括ケアセンター26名、保育事業9名、附随附帯業務4名）</p>		
備考	人事検討委員会に提出する事案には、部署体制図を必ず添付するようお願いいたします。委員会は毎月第2月曜日に行われますので、稟議書等資料は、前週水曜日までに紙ベースにて人事課へ提出をお願いします。		

### 教育・研修管理委員会

委員会名	教育研修管理委員会	開催日	不定期 + 3月																																																				
委員長名	久場良也	構成人数	12名																																																				
事務局・担当部署	看護部	担当者名	仲地ますみ																																																				
活動目的	医療・看護・医療技術、組織管理・運営、患者接遇、医療連携(ネットワーク)、IT等に関する教育・研修を充実させ、人材の育成と医療レベルの標準化、向上に寄与する。 全職員対象及び委員会・部門別の教育、研修を一括管理し、年間計画を作成し職員へ通知する。																																																						
今年度の主な活動内容	1) 全職員対象の講演会、研修会の実施状況確認、実績まとめ 2) 各部門の学生実習受け入れ状況の確認と実績取りまとめ 3) 委員会のあり方検討 次年度へ向けて体制、運営の見直しを行った																																																						
備考	2019年度院内研修・講演会実績																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>実施件数</th> <th colspan="2">参加者(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全</td> <td>2</td> <td>542</td> <td></td> </tr> <tr> <td>院内感染対策</td> <td>4</td> <td>436</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教育</td> <td>24</td> <td>852</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発表・報告</td> <td>13</td> <td>983</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教養・その他</td> <td>16</td> <td>978</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>59</td> <td>3791</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			内 容	実施件数	参加者(人)		医療安全	2	542		院内感染対策	4	436		教育	24	852		発表・報告	13	983		教養・その他	16	978		計	59	3791																									
内 容	実施件数	参加者(人)																																																					
医療安全	2	542																																																					
院内感染対策	4	436																																																					
教育	24	852																																																					
発表・報告	13	983																																																					
教養・その他	16	978																																																					
計	59	3791																																																					
	2019年度実習・研修受け入れ実績																																																						
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医師卒後臨床研修</td> <td>初期研修</td> <td>21</td> <td rowspan="2">29</td> </tr> <tr> <td>後期研修</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">看護学生臨床実習</td> <td>沖縄看護専門学校</td> <td>157</td> <td rowspan="8">441</td> </tr> <tr> <td>ぐしかわ看護専門学校</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>名桜大学</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>北部看護学校</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>那覇看護専門学校</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>浦添看護学校</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>看護大学・別科助産</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>穴吹医療大学校(通信課程)</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">医療技術関連実習</td> <td>福岡看護専門学校(通信課程)</td> <td>40</td> <td rowspan="4">87</td> </tr> <tr> <td>医学生</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>リハビリ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>臨床検査</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">救急救命士臨床実習</td> <td>薬局</td> <td>1</td> <td rowspan="3">29</td> </tr> <tr> <td>事務系</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>中部地区MC</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>他消防</td> <td>27</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>学生</td> <td>4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			医師卒後臨床研修	初期研修	21	29	後期研修	8	看護学生臨床実習	沖縄看護専門学校	157	441	ぐしかわ看護専門学校	108	名桜大学	46	北部看護学校	16	那覇看護専門学校	12	浦添看護学校	7	看護大学・別科助産	3	穴吹医療大学校(通信課程)	52	医療技術関連実習	福岡看護専門学校(通信課程)	40	87	医学生	21	リハビリ	1	臨床検査	3	救急救命士臨床実習	薬局	1	29	事務系	1	中部地区MC	27			他消防	27				学生	4	
医師卒後臨床研修	初期研修	21	29																																																				
	後期研修	8																																																					
看護学生臨床実習	沖縄看護専門学校	157	441																																																				
	ぐしかわ看護専門学校	108																																																					
	名桜大学	46																																																					
	北部看護学校	16																																																					
	那覇看護専門学校	12																																																					
	浦添看護学校	7																																																					
	看護大学・別科助産	3																																																					
	穴吹医療大学校(通信課程)	52																																																					
医療技術関連実習	福岡看護専門学校(通信課程)	40	87																																																				
	医学生	21																																																					
	リハビリ	1																																																					
	臨床検査	3																																																					
救急救命士臨床実習	薬局	1	29																																																				
	事務系	1																																																					
	中部地区MC	27																																																					
		他消防	27																																																				
		学生	4																																																				

### 診療材料等管理検討委員会

委員会名	診療材料等管理検討委員会	開催日	不定期
委員長名	久場良也	構成人数	18名
事務局・担当部署	管財課用度係	担当者名	諸見里和也
活動目的	① 診療材料に関する方針及び、懸案事項を審議し調整する。 ② 診療材料等に係る方針に関する事。 ③ SPDシステムの運用に関する事。 ④ 購買管理、在庫管理、使用管理に関する事。 ⑤ 発注事務等の改善に関する事。 ⑥ 職員教育及び啓蒙に関する事。		
今年度の主な活動内容	審議採用案件 1. 手袋付吸引カテーテル / 用度 諸見里 2. PICC(末梢中心静脈カテーテル) / 血液内科・狩俣先生、総合内科・佐藤先生 3. 産婦人科キット(カイザーキット) / 手術室・東恩納師長 4. 混合調剤(NEO SHIELD) / 薬局・大関 5. PICO(創傷治療システム) / 形成外科・東盛部長 6. キャメルシート / 手術室・大城 7. 翼状片キット / 眼科・親川部長 8. 白内障キット / 眼科・親川部長		
備考			

## ワークライフバランス委員会

委員会名	ワークライフバランス委員会	開催日	毎月第4木曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	7名
事務局・担当部署	事務部・総務課	担当者名	富里 等
活動目的	全職員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進する		
今年度の 主な活動内容	医師の勤務負担軽減（医師勤務実績表を作成し当直明け休日を推進） タイムレコーダ打刻徹底周知（実労働時間の把握） 職員満足度調査（2019年12月実施）安全衛生委員会、人事課との共同 36協定の遵守 年5日の年次有給休暇管理		
備考			

## 患者サポート委員会

委員会名	患者サポート委員会	開催日	毎週木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	7名
事務局・担当部署	医事課	担当者名	桑江 高
活動目的	1. 医療従事者と患者等との円滑なコミュニケーションを図る。 2. 患者等の不安に寄り添い、入院生活を支援する。 3. 患者サポート相談窓口担当者及び各部門の担当者等が患者等からの相談を円滑に実施できるよう支援する。		
今年度の 主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度は計48回の委員会を開催。</li> <li>・患者サポートカンファレンスを開催し、現場にフィードバックすることで、当委員会への相談件数は年々減少傾向にある。</li> <li>・患者サポート案件52件について委員会にて協議・改善を図った。</li> <li>・毎週木曜日の委員会にてインシデント及び投書にて上がった事案について検討・対策を行った。</li> <li>・ICU待合室の電話器が聞きとりにくいとの事にて新品の電話器を設置。</li> <li>・薬等を飲用したい際の飲み水がないとの来院者の声に対し浄水器を設置。</li> <li>・産婦人科病棟への案内が分かりにくいとの声に対し案内表示を掲示。</li> <li>・車イス貸出し借用書の運用を開始。</li> </ul>		
備考			

## QI委員会

委員会名	QI委員会	開催日	毎月第4金曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	12名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
活動目的	当院は2012年度より引き続き日本病院会主催の「QIプロジェクト2019」に参加しております。QI（Quality Indicator）とは「医療の質の指標」を意味しています。		
今年度の 主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QIプロジェクト2019年度 40項目の臨床指標データの収集。</li> <li>・本誌の「医療の質 Quality Indicator (QI)」のページでデータをご覧いただけます。</li> </ul>		
備考			

## 物品購入検討委員会

委員会名	物品購入検討委員会	開催日	毎月第一金曜日
委員長名	西原 実	構成人数	13名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の年間予算内で、現場に必要な物品を検討し優先順位をつけて必要物品を購入すること。</li> <li>・年度内に購入が難しい物品などは、次年度の予算で購入するように調整する。</li> </ul>		
今年度の 主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30年度の物品購入委員会で審議し、理事会で承認を得た案件は53件で、総額約38,790万円の医療機器などを購入した。</li> <li>・今年度から施設設備や建物の維持の為に中長期計画を立てて、工事費用の予算化を図った。</li> </ul>		
備考			

### 災害対策委員会

委員会名	災害対策委員会	開催日	毎月第3月曜日
委員長名	久場良也	構成人数	10名
事務局・担当部署	事務局	担当者名	吉川 忍・富里 等
活動目的	災害発生時、来院する傷病者に対し、迅速・的確に対応し適切な災害医療を提供することを目的とする。火災発生時の初期消火・通報・避難誘導訓練の定期実施(2回/年度)		
今年度の主な活動内容	2019年4月 消火訓練(消化器の取扱い・消火用散水栓の取扱い) 2019年8月 初期消火・通報・避難誘導訓練(中城北中城消防本部立ち会い) 2020年3月 災害対策訓練(災害時対応研修及び机上訓練、化学防護服着脱訓練)		
備考			

### 増改築検討委員会

委員会名	増改築検討委員会	開催日	毎月第4水曜日
委員長名	奥島憲彦	構成人数	16名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	増改築計画の立案、および関連する業務・内容の検討・調整業務を行う。		
今年度の主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術室3室の増設工事が5月に竣工し、稼働。</li> <li>・救急外来改修・拡張工事が11月に竣工し、稼働。</li> <li>・予防医学センター改修工事が12月に竣工し、稼働。</li> <li>・内視鏡センター改修工事が1月に竣工し、稼働。</li> <li>・3月の理事会へ増改築工事費用の最終報告を行い、委員会は終了。</li> </ul>		
備考			

### 無料健康講座委員会

委員会名	無料健康講座委員会	開催日	毎月第3木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	5名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	金城 司
活動目的	地域に向けて医療に関する教育・啓蒙活動を行う。		
今年度の主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内にて7回の無料健康講座を実施(参加者108名)。</li> <li>・近隣の自治会にて12回の無料健康講座を実施(参加者278名)。</li> </ul>		
備考			

### 施設基準検討委員会

委員会名	施設基準検討委員会	開催日	毎月第2木曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	11名
事務局・担当部署	総務課 施設基準係	担当者名	佐和田 安彦
活動目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療法で定める医療機関の職員配置、健康保険法等での規定に基づく基本診療料・特掲診療料等に対し、施設基準の提案・検討・申請を積極的に行う。</li> <li>2. 多職種間の連携を図り、情報の共有・施設基準申請の促しを図っていき、医療機関の機能・設備・診療体制を定め、安全やサービス等の価値を高める。</li> </ol>		
今年度の主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入院基本料、特掲診療料等の施設基準状況の把握及び管理</li> <li>2. 新規施設基準項目の届出検討</li> <li>3. 算定率向上ワーキンググループ報告内容の共有</li> <li>4. 東館2階病棟ハイケアユニット入院管理料届出検討(2019年6月運用開始)</li> <li>5. 厚生局適時調査の対応(2019年7月)</li> <li>6. 厚労省病床機能報告の対応</li> <li>7. 東館4・5階病棟新生児室用途変更届出(2019年11月)</li> <li>8. 令和2年度診療報酬改定新設施設基準届出の検討、院内説明会の開催</li> </ol>		
備考			

# ハートライフクリニック 2019年度 年次報告

Annual report of Heartlife Clinic 2019

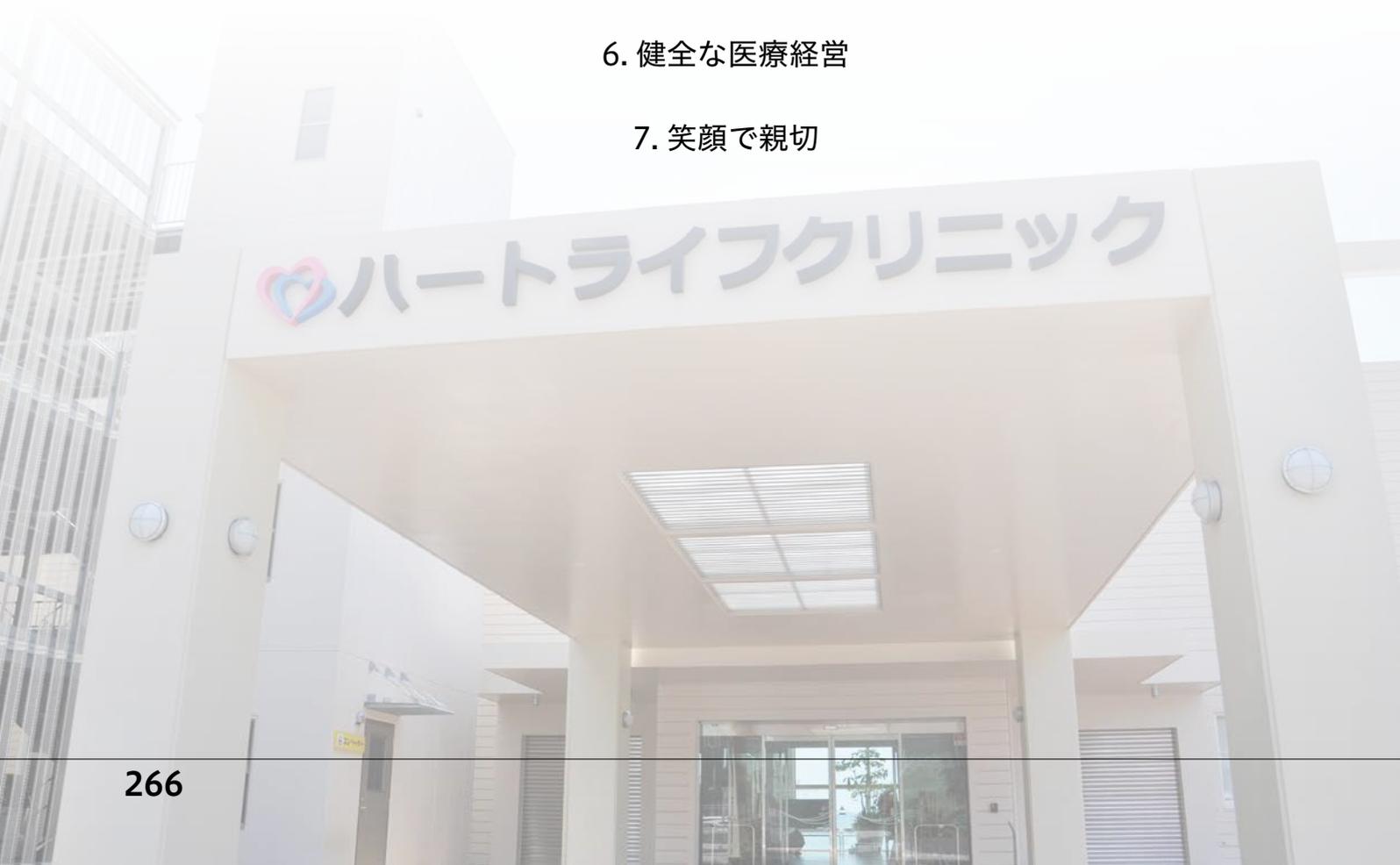


## 理念

わたしたちは心と心を結ぶ信頼される医療をめざします

## 基本方針

1. 生活習慣病の自立支援
2. 小児プライマリー（初期）医療
3. 地域循環型医療（かかりつけ医との連携）
4. 生活習慣病改善の指導で健康長寿を目指す
5. 研修教育クリニック（地域の医療関係者を含めて）
6. 健全な医療経営
7. 笑顔で親切



ハートライフクリニック

## 年報発刊によせての挨拶



2019年度の年報を発刊するにあたりハートライフクリニックの現状を報告いたします。クリニックの診療部門は、内科、糖尿病内科と小児科の3科で担当しています。診療内容と担当医について報告します。

内科は発熱など急性期疾患、高血圧や安定した循環器疾患、喘息などの呼吸器疾患を主に診療しています。担当医は、クリニック常勤の上地 華代子 医師、ハートライフ病院 循環器内科 統括部長の與座 一 医師、かりゆし会理事長でクリニック開設者の安里 哲好 医師、非常勤の玉寄 真紀 医師、崎原 みち代 医師、土曜日の診療は非常勤の高山 真一 医師が担当しました。

糖尿病内科は主に重症の糖尿病や合併症を持つ患者様とホルモン疾患の患者様を診療しています。担当医はわたくし山本 壽一と、非常勤で糖尿病専門医の山城 小百合 医師、崎原 みち代 医師、福地 万理 医師。琉球大学第2内科学教室から屋比久 賢光 医師、山城 清人 医師、照屋 太輝 医師に診療を担当して頂きました。

小児科は急性期疾患を主に診療しています。担当医は、ハートライフクリニック常勤の川満 豊 医師、非常勤の新里 亜紀 医師、琉球大学小児科学教室から浜田 有為子 医師、名嘉山 賀子 医師、大城 登喜子 医師、喜友名 しのぶ 医師、新垣 真弓 医師に診療を担当していただきました。

年報では、2019年度のハートライフクリニックの概要と各科診療実績を報告します。患者数に関してここ数年は停滞していることがわかります。これは施設の規模や診療にあたるスタッフの数、特に医師のマンパワーに影響を受けていると思われます。この点に関しては改善すべく努力しているところです。また、本年報では表現されていませんが、診療数ではなくて治療が奏功しているかの実績も検討することが今後の課題と思われます。今後とも皆様のハートライフクリニックへのお力添えをお願い申し上げます。

社会医療法人かりゆし会  
ハートライフクリニック  
院長 山本 壽一

# クリニック概要

(2019年4月1日現在 / データ作成 ハートライフクリニック 野村)

## 組織概要

### 施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフクリニック

### 所在地

〒903-0101 沖縄県中頭郡西原町字掛保久 288 番地

### 連絡先

電話 (098) 882-0810 (代表)

FAX (098) 882-0820

ホームページ <http://www.heartlife.or.jp/clinic/>

### 管理者一覧

理事長 安 里 哲 好

院長 山 本 壽 一

## 施設概要

### 敷地面積及び建物概要

敷地面積 5,866.90㎡ 建築面積 2,674.97㎡ 延べ床面積 5,959.94㎡

規模構造 鉄筋コンクリート造 地上 2 階建

### 職員数

総数 55 名

### 職種別

(2019年4月1日現在 / データ作成 総務課 中里)

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	3	クラーク	4	臨床心理士	1	その他	6
非常勤医師	15	保育士	1	管理栄養士	2		
看護師	11	臨床検査技師	2	理学療法士	1		
准看護師	2	放射線技師	1	一般事務	6		

## 指導医・専門医・認定医

(データ作成 企画室広報 仲田)

名称	人数
日本内科学会総合内科専門医	3
日本内科学会認定医	7
日本内科学会指導医	1
日本呼吸器学会専門医	1
日本糖尿病学会研修指導医	1
日本糖尿病学会専門医	4

名称	人数
日本内分泌学会指導医	1
日本内分泌学会専門医	2
日本循環器学会専門医	2
日本小児科学会専門医	3
日本透析医学会専門医	1
日本医師会認定産業医	1

## 指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 生活保護指定医療機関
3. 被爆者一般疾病医療機関
4. 特定疾患治療研究事業医療機関
5. 小児慢性特定疾患治療研究事業医療機関
6. 労災保険指定医療機関

## 診療体制

## 標榜診療科目

糖尿病内科・内科・小児科

## その他、専門外来など

- 禁煙外来

## 受付時間（診療科により異なります）

月曜日～金曜日 午前 7:45～11:30  
午後 13:00～16:30

土曜日(内科)  
午前 7:45～11:30

## 診療時間（診療科により異なります）

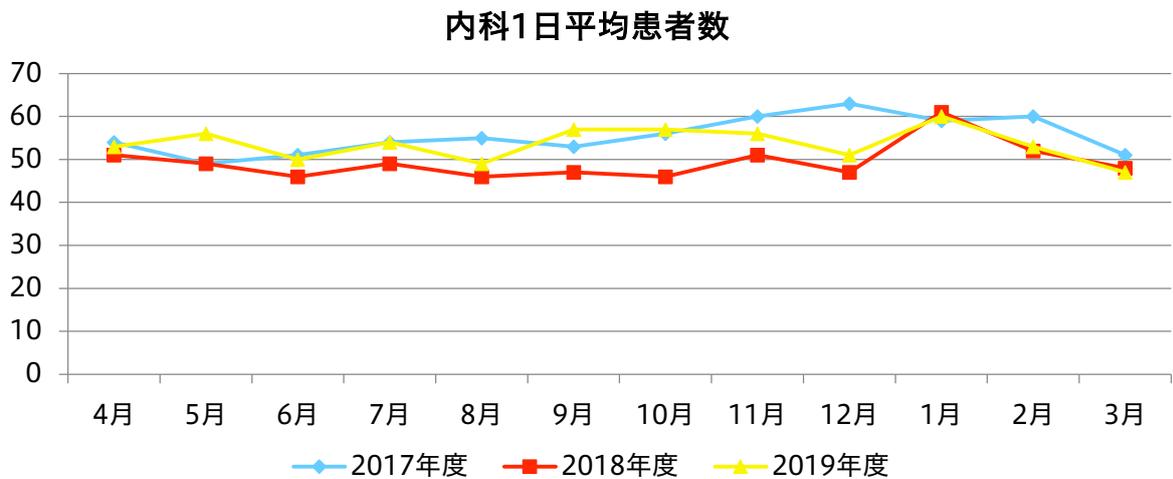
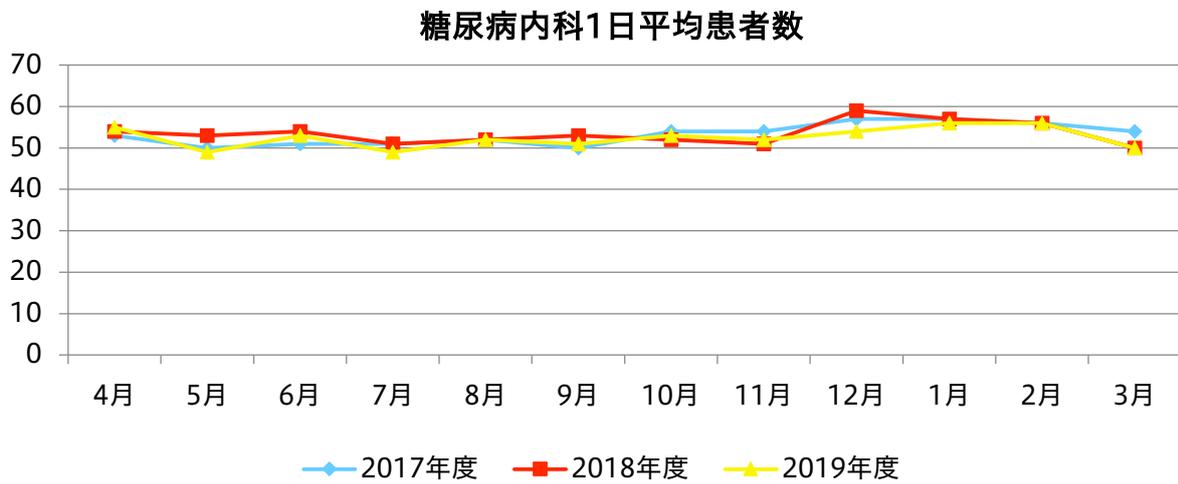
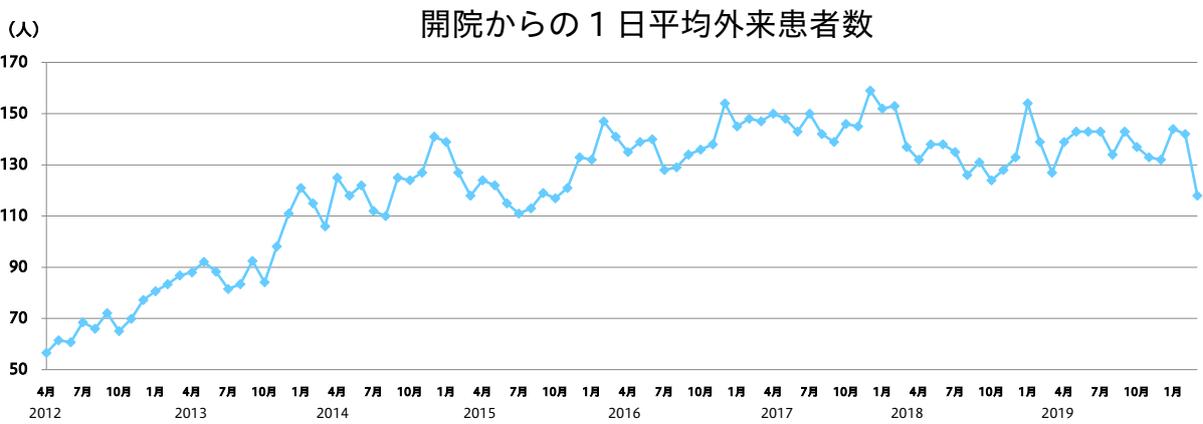
月曜日～金曜日 午前 9:00～12:00  
午後 14:00～17:30

土曜日(内科)  
午前 9:00～12:00

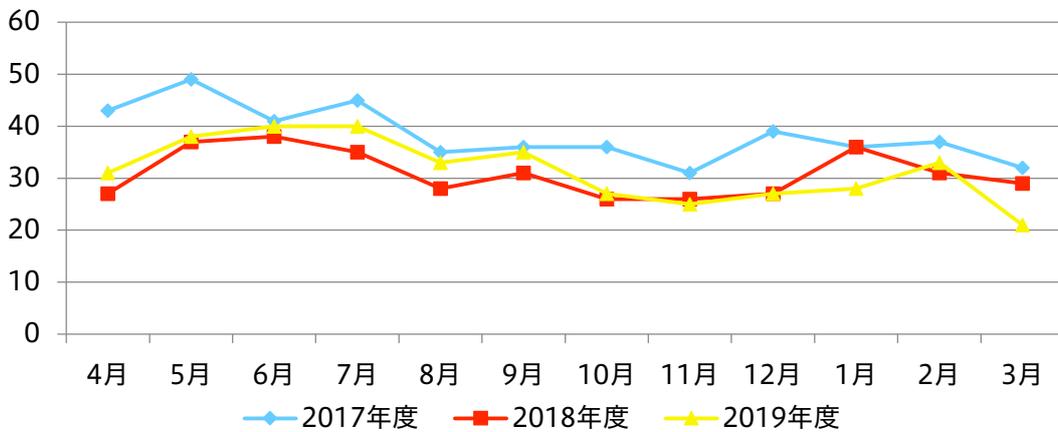
## 休診日

糖尿病内科/ 水曜日午後・土曜日・日曜日・祝祭日  
内科 / 土曜日午後・日曜日・祝祭日  
小児科 / 月曜日午後・水曜日午後・土曜日・日曜日・祝祭日

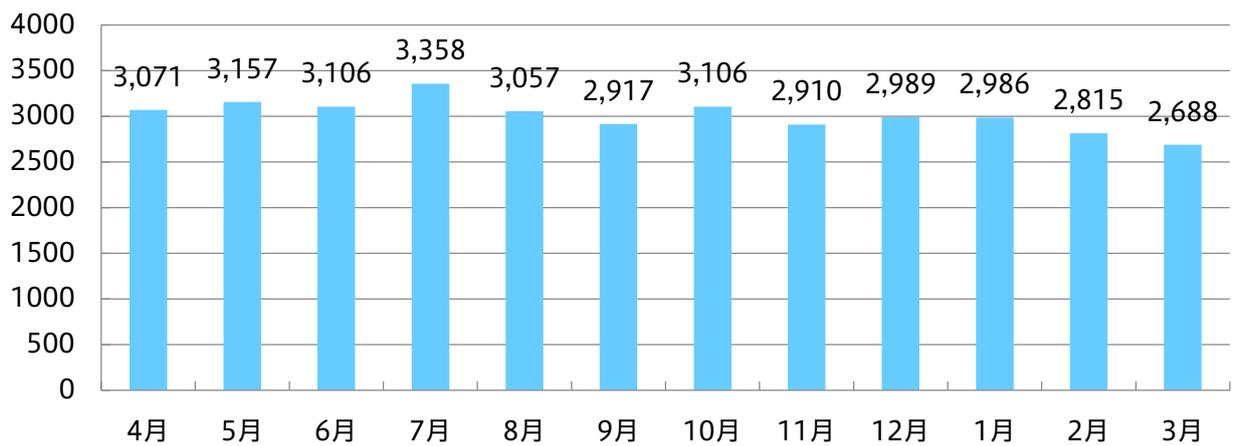
# 患者統計



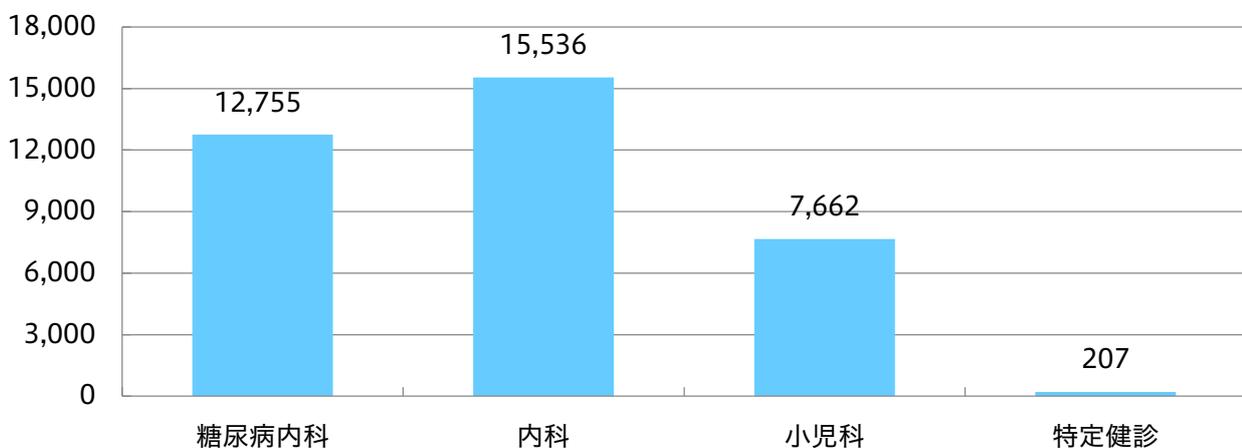
小児科1日平均患者数

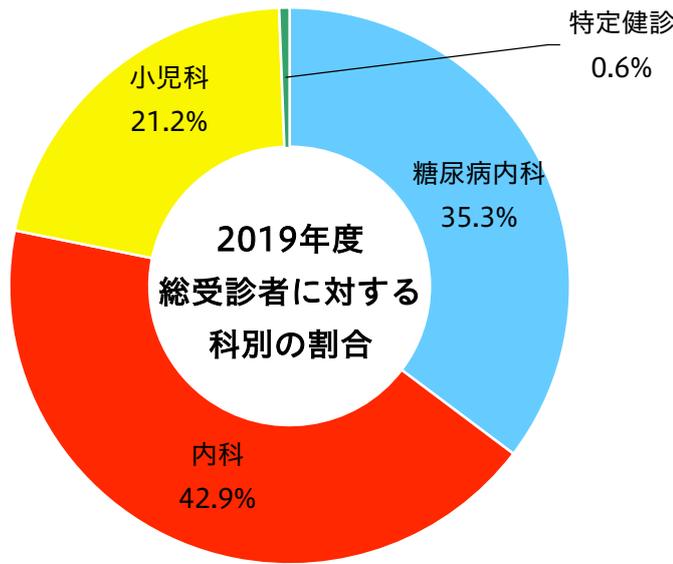


(人) 2019年度 ハートライフクリニック月別外来受診者数

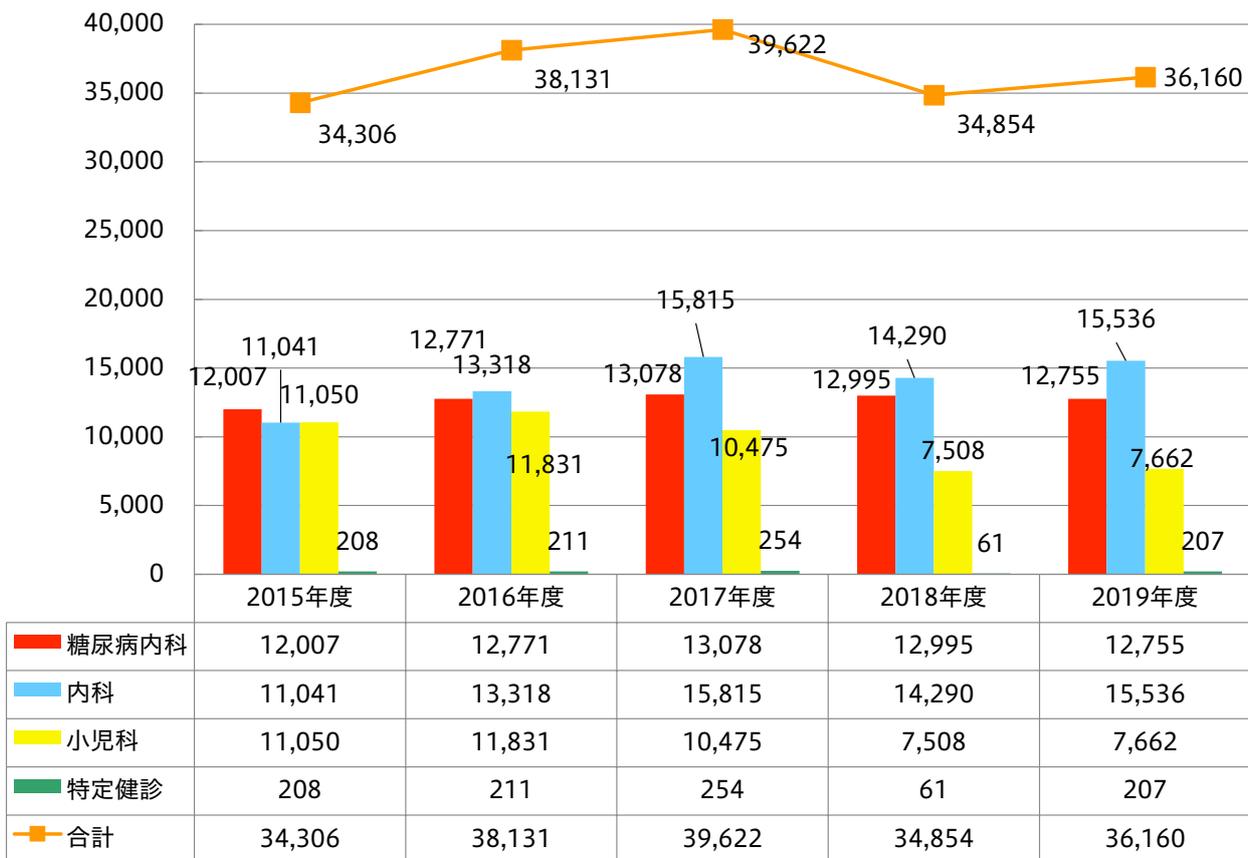


(人) 2019年度 科別受診者数

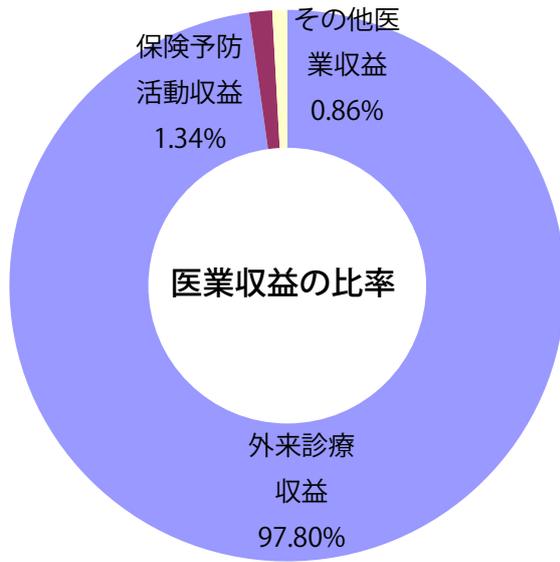




(人) 外来受診者数 年次推移 (2013年度～2018年度)



## 財務情報





# ハートライフクリニック 部門別業務実績

# 糖尿病内科

## 部門紹介

ハートライフクリニック糖尿病内科の役割は、患者さまの生活習慣や価値観を尊重しながら、患者さまが糖尿病と共によりよい人生目標を目指して、治療が続けられるようにサポートすることです。

糖尿病内科では、1型糖尿病患者さまへのインスリンポンプ療法やリアルタイム血糖皮下モニターrtCGMの導入。また、その両方がbluetoothでつながり、自動的に低血糖を回避するSAP療法なども導入しています。2型糖尿病患者さまにはインクレチン自己注射療法やインスリン強化療法などの治療を、また持続血糖皮下モニターCGMでの検査を外来ベースで導入しています。治療の難しい不安型の糖尿病患者さまや重度の合併症を持つ患者さまが多く通われています。

糖尿病内科スタッフの看護師、栄養士、検査技師、理学療法士、臨床心理士が糖尿病患者さまの療養指導を行います。日本糖尿病療養指導士の資格を持つスタッフは6名おり、透析予防のためのチーム医療、下肢の切断予防のためのフットケアなどの加算がとれる施設として厚生労働省から認定されています。糖尿病内科休診日である土曜日には外来教育コースや糖尿病患者会「ハッピーハート会」、1型糖尿病患者の交流会「ポパイの会」を定期的で開催しています。外来教育コースと健康講話には当クリニックに通院している患者さま以外の一般の方も参加されています。毎年11月14日の糖尿病デイに合わせてクイズなどの院内掲示により啓発活動にも協力しています。

## 職員数

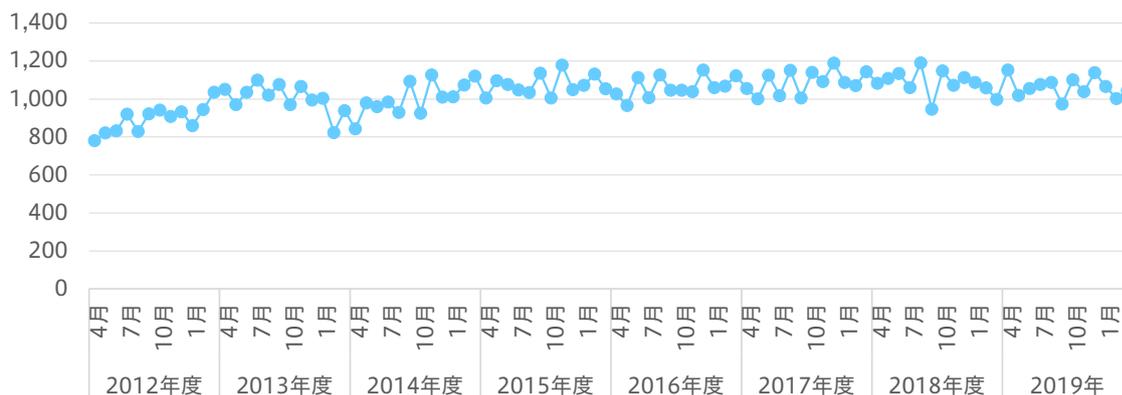
総数 21名

医師	6名（常勤1名、非常勤5名）	臨床心理士	1名
看護師	5名	メディカルクラーク	5名
管理栄養士	2名	クラーク	1名
検査技師	1名		

## 認定・資格

名称	人数	名称	人数
日本糖尿病療養指導士	6	沖縄県地域糖尿病療養指導士	4

## 開院からの受診者数推移



## 研究業績

### 学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
糖尿病を抱えて生きることの主観的体験に関する質的研究—糖尿病患者の語りと描画を手がかりに—	第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会	宮城県	2019 年 5 月 25 日	清重英矩、山崎基嗣、西珠美、野田実希、豊原響子、鎌田依里、西岡真由美、藤本航平、三田桂子、千葉友里香、皆藤草
いつでも取り組める食事療法	糖尿病食事療法 Team Management Fourmin Okinawa (TMFO)	沖縄県	2019 年 7 月 30 日	新垣優子
座長	第 6 回日本糖尿病医療学会	京都府	2019 年 10 月 13 日	山川正、西珠美
司会&コーディネーターシンポジウム③ 糖尿病医療学 - 聴く力、続ける力、待つ力	第 57 回日本糖尿病学会九州地方会	佐賀県	2019 年 10 月 25 日	山本壽一
外来糖尿病教室参加アップへの取り組み	第 57 回日本糖尿病学会九州地方会	佐賀県	2019 年 10 月 25 日	玉那覇美幸、島袋夕子、久高恵、新垣優子、山本壽一
クリニック併設カフェにおける低たんぱく質ランチ「ちゅらまーみランチ」の取り組み	第 57 回日本糖尿病学会九州地方会	佐賀県	2019 年 10 月 26 日	只野みね子、新垣優子、山本壽一
8年目を迎えたクリニック併設カフェのこれまでとこれから	法人研究発表会	院内	2019 年 11 月 8 日	只野みね子、新垣優子
発達の問題を主訴とする子どもの心理学的評価視点の検討	日本箱庭療法学会第 33 回大会	京都府	2019 年 11 月 16 日	松岡利規、粉川尚枝、畑中千紘、梅村高太郎、鈴木優佳、西珠美、山崎基嗣、大場有希子、豊原響子、文山知紗、長谷雄太、水野鮎子、平子侑里絵、山下環奈、河合俊雄、田中康裕
重症足病変を繰り返す若年 2 型糖尿病男性～作話の彼にどう付き合うか～	第 1 回糖尿病医療学研究会 in 沖縄	南風原町	2020 年 1 月 11 日	島袋夕子、伊保希望、玉那覇美幸、久高恵、西珠美、山本壽一
座長	糖尿病医療学会第 3 回関東地方会	神奈川県	2020 年 2 月 9 日	大橋健、西珠美、天門淳子

## 患者教育活動

### ポパイの会開催

1 型糖尿病患者さんご家族を対象に、勉強会や情報交換会を開催しています。目的：患者同士の交流により療養に対する問題解決や克服を図り、互いに励まし合うことで治療意欲を高めます。

開催日	テーマ	担当者	参加者数
2019 年 4 月 13 日 (土)	・懇親会 (コスタビスタ沖縄にて)	担当 久高 / 看護師	22 名
	・ちょこっとカーボレクチャー	担当 新垣 / 管理栄養士	
	・ゆんたく&食事	担当 伊保 玉那覇 只野	
	・クイズタイム	担当 西 堀江	
	・質問タイム	医師 山本 福地 山城	
2019 年 8 月 31 日 (土)	・夏あつまり	担当 久高 / 看護師	18 名
	・新情報 血糖測定器 新機種の紹介	担当 伊保 / 山本先生	
	・ゆんたくくちやで語られるとっておき情報	担当 仲里 / 検査技師	
	・ディスカッション	担当 西 新城	
	・質問タイム	医師 福地 山本 山城	



■懇親会 in コスタビスタ沖縄



■夏集まり 新情報&ゆんたく

## ハッピーハート会

ハッピーハート会は患者、スタッフで構成されており、糖尿病に対する意識を深めること、また患者さん同士の親睦を図ることを目的としています。

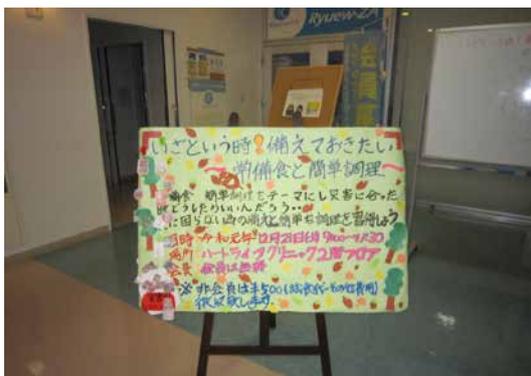
名称	担当	開催日	参加人数
平成30年度 総会・『頭も心もリフレッシュ』	スタッフ・会員	6月22日	会員8名 非会員3名 スタッフ7 計18名
～体験談～『糖尿病と診断されて』		9月7日	※台風接近にて延期
第12回 美ら海ウォーク大会	スタッフ・会員	10月27日	参加者6名 スタッフ6名 計12名
災害時の時の料理・ある物で調理する方法	栄養士・会員	12月7日	会員9名 非会員3名 スタッフ9名 計21名



■平成30年度 総会 頭も心もリフレッシュ！！



■第12回 美ら海ウォーク大会



■災害時の時の料理 ※ある物で調理する方法



## 糖尿病教室

糖尿病教室とは、看護師や理学療法士など様々な専門家の講話を通して、糖尿病のセルフケアに役立つ情報や知識を学んでいただいたり、糖尿病の患者さん同士で自分なりのセルフケアの工夫や苦労話を話し合う場を設けるなど、より良いセルフケアを目指そうとするものです。

開催日	テーマ	職種 / 名前	参加人数
4月6日	皆に知ってほしい糖尿病の基礎知識～知ってますか?覚えていますか? 糖尿病検査の総論	看護師 / 島袋 臨床検査技師 / 仲里	16名
5月11日	今更聞けない糖尿病食基本のき 糖尿病薬のあれこれ 口は体の入り口	管理栄養士 / 只野 薬剤師 / 仲村渠 歯科衛生士 / 幸喜	21名
6月8日	知っているようで知らなかった!糖尿病の運動療法～知識の整理整頓～ 糖尿病との付き合い方	理学療法士 / 長嶺 臨床心理士 / 西	22名
7月13日	これだけは知っておこう糖尿病の基本 糖尿病の薬あれこれ	看護師 / 玉那覇 薬剤師 / 津波古	12名
8月3日	糖尿病の基本の「き」～夏の高血糖対策を考えよう～ 口は体の入り口～糖尿病と健口～	管理栄養士 / 只野 歯科衛生士 / 幸喜	10名
9月14日	知っているようで知らなかった!糖尿病の運動療法～夏バージョン～ 糖尿病とのおつきあい～糖尿病とストレス～	健康運動指導士 / 平良 臨床心理士 / 西	24名
10月5日	糖尿病と診断～患者さんの疑問・悩みが多かった声を紹介～ 糖尿病の薬～あれこれ～	看護師 / 伊保 薬剤師 / 大関	9名
11月9日	年末の対策を考えよう 糖尿病と口の関係	管理栄養士 / 只野 歯科衛生士 / 幸喜	6名
12月14日	知っているようで知らなかった!糖尿病の運動療法 糖尿病と認知症	理学療法士 / 長嶺 臨床心理士 / 西	7名
2020年 1月18日	糖尿病との付き合い方 糖尿病の薬～あれこれ～	看護師 / 久高 薬剤師 / 大関	14名
2月8日	糖尿病食基本の「き」 口は全身とつながっている	管理栄養士 / 只野 歯科衛生士 / 野田	34名
3月14日	コロナウイルス発生にて3月の糖尿病教室中止		



■ 講義風景



■ 配布チラシ



■ 講義後の内容を掲示

## 糖尿病月間



■ブルーサークル願い事・資料展示



■スタンプラリー

11月14日は「世界糖尿病デー」です。  
 ハートライフクリニックではインスリンの発見者フレデリック・バンディング博士の誕生日に制定された11月14日の「世界糖尿病デー」と関連させて11月1日～30日を「糖尿病月間」とし来院者や地域の方々に向けて糖尿病に関する啓蒙活動をおこないイベントは大盛況に終わることが出来ました。

### ～イベント内容～

1. ブルーライトアップ&ブルーサークル願い事
2. パネル展示（患者会・外来教室・看護師・心理士・理学療法士・栄養士・医師）
3. 糖尿病関連の資料展示
4. 自己血糖測定体験
5. InBody 体験・運動相談
6. 試食コーナー
7. スタンプラリー



■自己血糖測定

### その他の活動実績

名称	担当	開催日	参加人数
臨床栄養実習Ⅰ	琉球大学農学部亜熱帯生物資源科学科	2019年6月～7月	新垣優子

## 心理相談室

ハートライフクリニック 2F の糖尿病内科には「心理相談室」があります。全国でもめずらしい糖尿病内科内の相談室です。常勤心理士 1 名が在籍しており、来院される方の「こころ」と「からだ」、「毎日の暮らし」をトータルでサポート出来るようにと開室しています。

### ◎支援内容◎

《患者様向け》

#### カウンセリング

糖尿病の話だけに限らず、心にひっかかっていることや日々のことを、時間をゆっくり取ってお伺いしています。

(2019 年度実績 108 件、うち 1 件は患者様ご家族へのカウンセリング)

#### 心理アセスメント

性格傾向や抑うつ感などを評価することで、具体的に療養計画につなげていくことができます。

#### 認知機能アセスメント

認知機能の傾向を知ることで、患者様ご自身の得意・不得意を知って、より主体的に生活を送ること、家族が日常生活で支援できるポイントを知ること、医療スタッフの治療方針の検討を手助けします。(2019 年度実績 11 件)

#### 外来教室

糖尿病の方がご自身の工夫で療養生活を送っていただくために必要な知識のうち、心理に関することを講義しています。(2019 年度は年 3 回実施)

#### 糖尿病患者会 (ハッピーハート会)

糖尿病を抱える方同士で支え合う仲間の集まりである患者会のイベントの手伝いや、病気という繊細な話に触れる際のフォローアップをしています。

《スタッフ向け》

#### シェアリング

よりきめ細やかなケアのために、医療スタッフ間で患者様の情報を共有する会をコーディネートしています (週 1 回)。

#### カンファレンス

症例を通して、「からだ」と「こころ」両面からのケアを考えるためのカンファレンスをコーディネートしています (月 1 回)。

# 内科

内科 上地 華代子

## 部門紹介

平成30年より常勤は呼吸器内科医1名に加え非常勤医も加わり、平日は午前・午後どちらでも呼吸器内科の診療を行うことができました。

また、循環器内科の與座医師が平日月曜日から金曜日まで診療しており定期患者が増加しております。また、午後を中心に禁煙外来を行っており、初診は木曜午後ですが、2回目以降は平日の午前午後どちらでも診療可能です。日時は相談可能ですのでお問い合わせいただきますようお願い致します。

## 職員数

総数 10名

医師 8名 (常勤1名 非常勤7名)

メディカルクラーク 1名

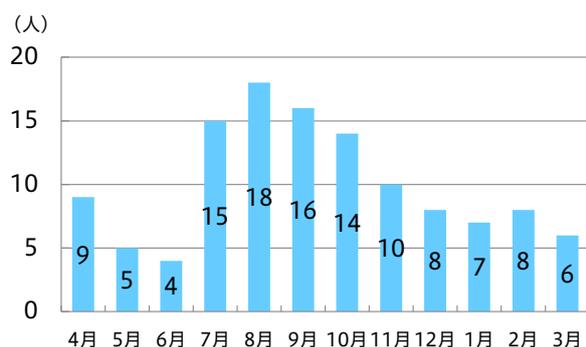
看護師 4名

クラーク 1名

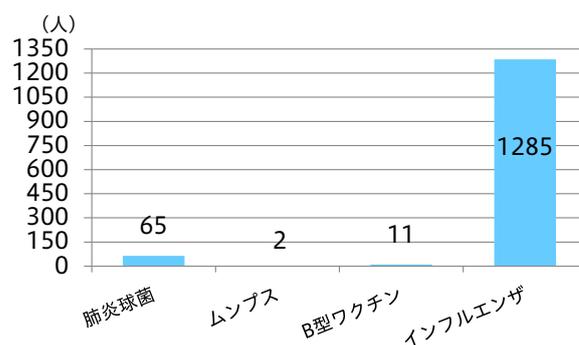
## 業務実績



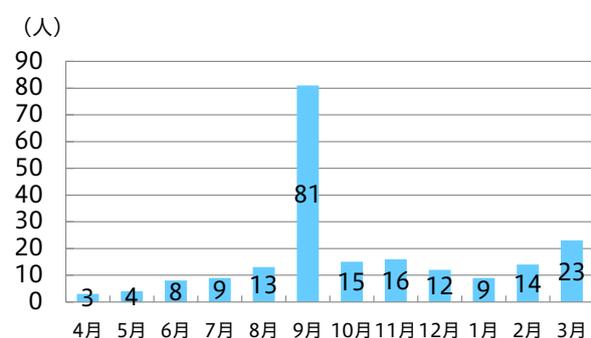
## 禁煙外来受診者数



## 予防接種・ワクチン接種実施数



## 特定健診受診者数



## 禁煙外来実績

コロナウイルス感染症による受診制限もあり総数は前年度と比較して減少しました。成功率は58%で、5回の禁煙治療を終了した者は全て成功しました。

本管理料を算定した患者数 (期間：平成31年4月～令和2年3月)	① 36名
①のうち、当該期間後の6月末日までに12週間にわたる計5回の禁煙治療を終了した者	② 16名
②のうち、禁煙に成功した者	③ 16名
5回の指導を最後まで行わずに治療を中止した者(①ー②)のうち、中止時に禁煙していた者	④ 5名
ニコチン依存症管理料の初回の治療の年間の算定回数 (前年4月1日から当年3月末日までの1年間)	⑤ 36名
ニコチン依存症管理料の年間の延べ算定回数 (前年4月1日から当年3月末日までの1年間における初回から5回目までの治療を含む)	⑥ 128回
喫煙を止めたものの割合 = (③+④) / ①	58%
治療の平均継続回数 = ⑥ / ⑤	3.6回

# 小児科

## ハートライフクリニック小児科 川満 豊

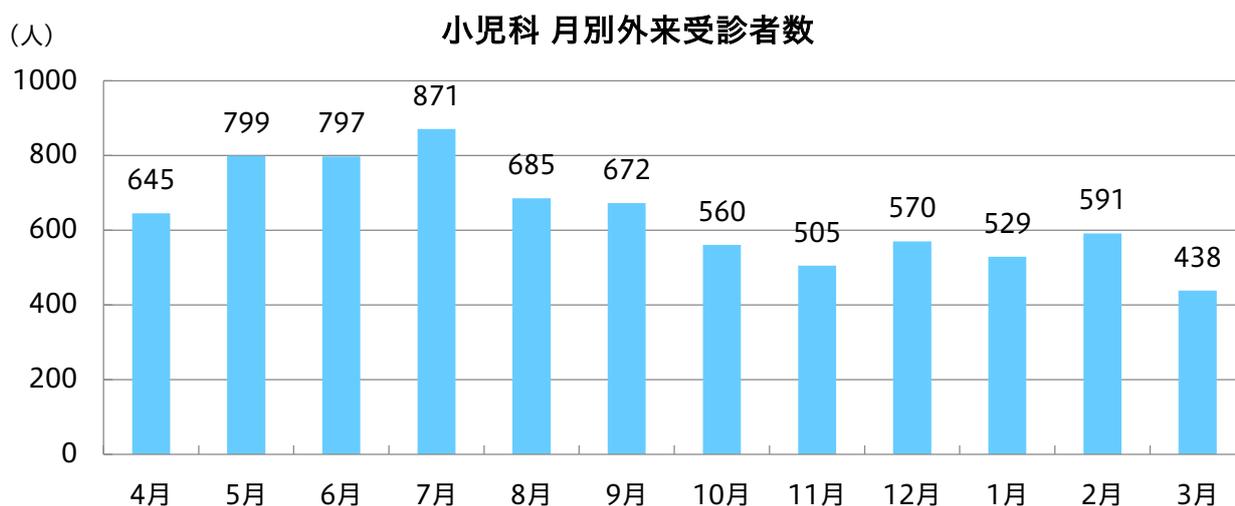
### 部門紹介

小児科では小児一般外来を行っております。ハートライフクリニックの医師と主に琉球大学附属病院小児科医局から派遣していただいている非常勤医師で診療にあたっています。

当クリニックの小児科内は、プレイルームを広めにとっており、お子さんが安心して怖がらずに来院できるように工夫しています。

対応が困難な検査や入院が必要となる専門的な治療は、他の医療機関やハートライフ病院などと連携して治療を行います。

### 業務実績



## 附属施設

### 疾病予防運動施設リューザ

疾病予防運動施設 リューザ 長嶺 敦司

#### 部門紹介

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）はハートライフクリニックと併設しているため、医師による運動処方箋をもとに医学的視点を加味し、安心して効果的な運動による疾病予防が可能です。

リューザでは、理学療法士が常駐しており、また、健康運動指導士といった運動の専門家が一人ひとりの身体の状態に合った運動プログラムを作成し、健康づくりを全面的にサポートします。

#### 職員数

総数 4名（外部指導者含む）

理学療法士 2名

健康運動指導士 2名

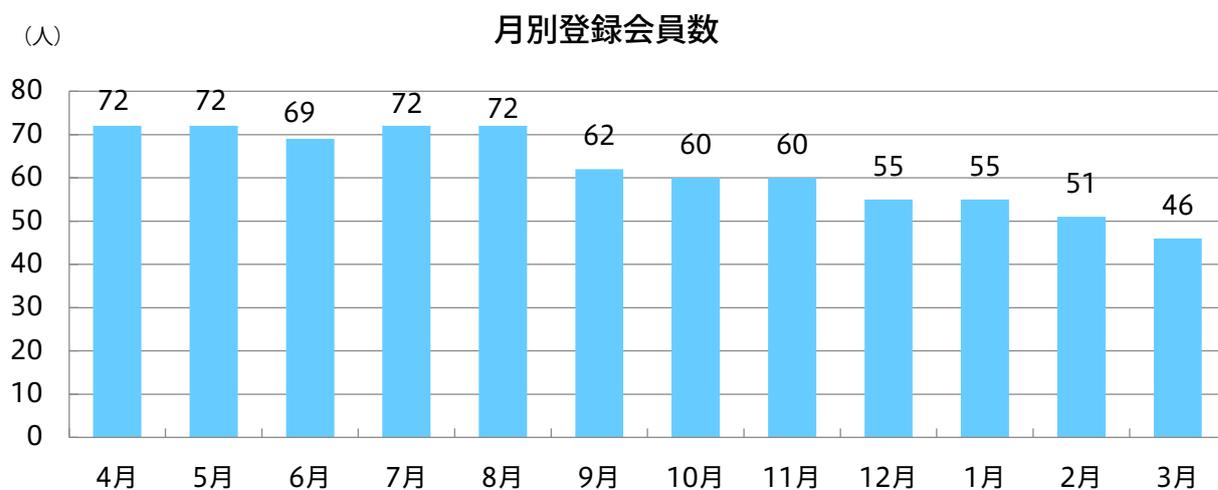
#### 資格・認定

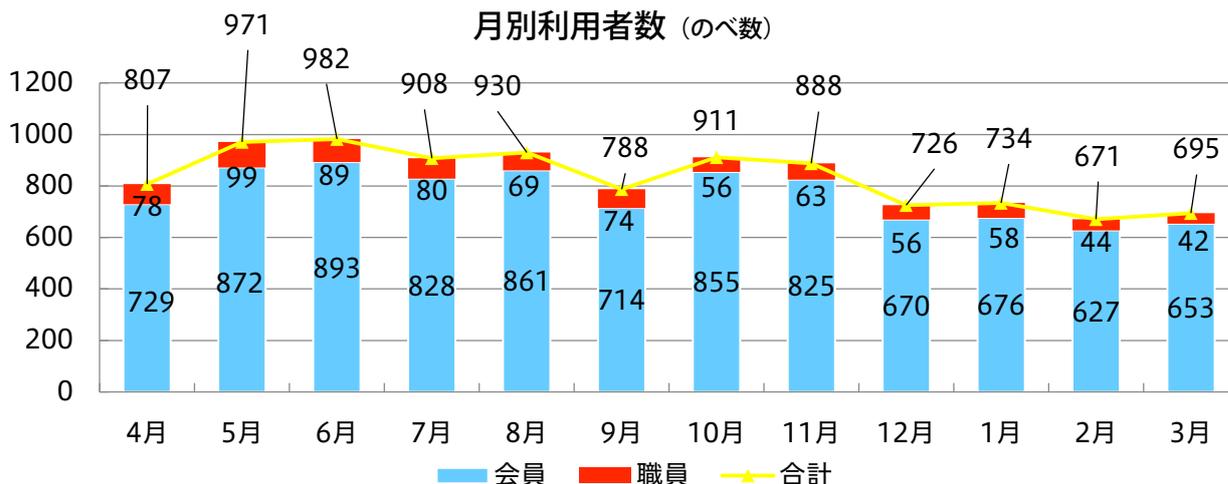
日本糖尿病療養指導士

沖縄県地域糖尿病療養指導士

健康運動実践指導者

#### 業務実績





## 活動実績

### 講演会発表

名称	開催地	年月日	講師
糖尿病の運動療法	沖縄リハビリテーション福祉学院	2019年12月12日、12月19日	長嶺敦司

### 講座

名称	年月日	場所	担当
簡単ヘアゴム エクササイズ	2019年6月20日	西原台団地自治会	理学療法士 長嶺敦司
簡単ヘアゴム エクササイズ	2019年6月26日	西原町いいあんべー家	理学療法士 長嶺敦司
簡単ヘアゴム エクササイズ	2019年8月8日	西原南小学校 体育館	理学療法士 長嶺敦司
認知症の予防について	2019年8月28日	西原町いいあんべー家	理学療法士 長嶺敦司
簡単ヘアゴム エクササイズ	2019年9月19日	中城村伊集自治会	理学療法士 長嶺敦司
簡単ヘアゴム エクササイズ	2019年10月29日	中城村北上原自治会	理学療法士 長嶺敦司
簡単ヘアゴム エクササイズ	2019年11月7日	中城村新垣自治会	理学療法士 長嶺敦司
認知症予防のための運動	2019年11月8日	西原町小波津自治会	理学療法士 長嶺敦司
認知症予防に効果的な運動	2020年1月23日	宜野湾市保健相談センター	理学療法士 長嶺敦司
簡単ヘアゴム エクササイズ	2020年2月17日	西原町森川自治会	理学療法士 長嶺敦司
認知症予防に効果的な運動	2020年2月20日	中城村伊集自治会	理学療法士 長嶺敦司

### 広報誌あすなろへの寄稿

タイトル	号	監修
みんなでお手軽エクササイズ 「座り姿勢で固まった体をほぐそう! その2 股関節・上半身! 捻じってク〜ルクル」	No.97 春号	長嶺敦司
健康ライフに役立つ健康豆知識 第1弾	No.98 夏号	長嶺敦司
健康ライフに役立つ健康豆知識 第2弾	No.99 秋号	長嶺敦司
みんなでお手軽エクササイズ「閉眼片足立ち(左右1分)」「タオルキャッチチャレンジ」	No.100 新年号	長嶺敦司

## ヘルシーカフェ ohana

ヘルシーカフェ ohana 新垣 優子

### 部門紹介

クリニック内に健康管理のサポートを目的とした管理栄養士が運営するヘルシーカフェ・オハナが併設されており、7年目を迎えます。利用者層は、主に外来受診患者とその家族、職員が多いです。カフェでは、ヘルシーランチや日替わりバランス弁当などを提供しています。

沖縄の文化的特徴として肉料理や揚げ物が振る舞われる行事が多く、糖質、脂質、塩分の過剰摂取が繰り返されます。そこで、カフェから揚げ物や脂質、塩分を控えた料理を提供することで食習慣の改善を促しています。

### 職員数

総数 5名

調理師 1名

フロア（配膳） 1名

調理補助 3名



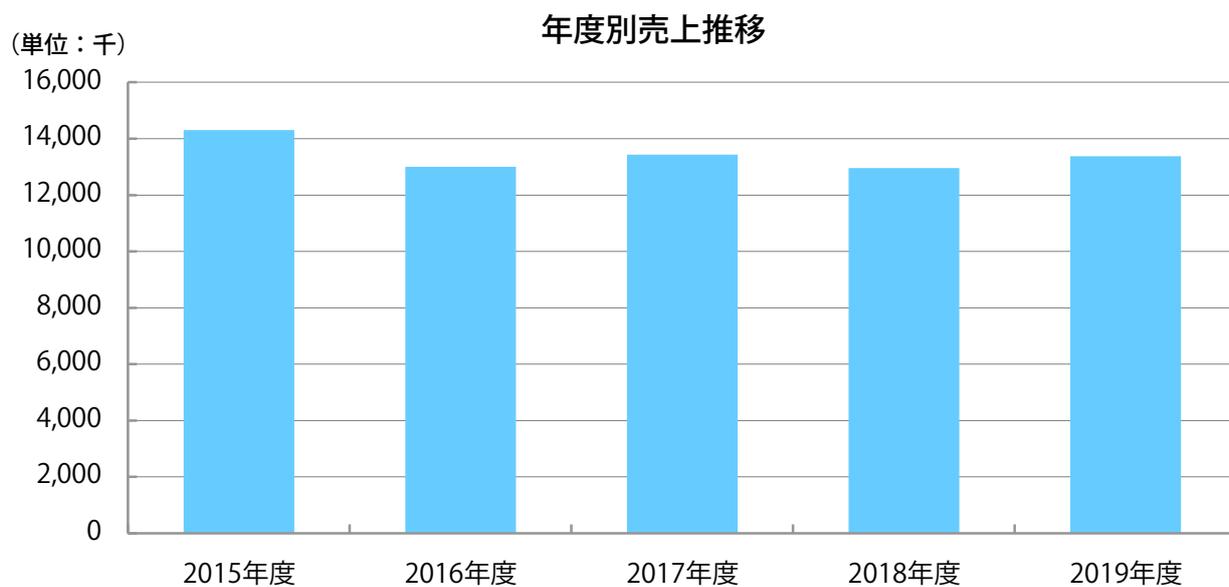
ヘルシー日替わりランチ



新メニュー ポークストロガノフ

月替わりヘルシー弁当

## 業務実績



# ハートライフ地域包括ケアセンター 2019年度 年次報告

Annual report of Heartlife area comprehensive care center 2019



## 理念

わたしたちは、心と心をつなぐ信頼される、医療と介護をめざします

## 運営方針

1. 自分や自分の家族がして欲しいと思うケアを提供します。
2. いつでも笑顔で親切なケアを提供します。
3. 利用者の方の個性や楽しみを尊重し、その人らしく笑顔で日常生活を送れるように優しさや温かみのあるケアを提供します。
4. 医療と介護の連携により、切れ目のない支援を提供します。
5. 職員がやりがいと誇りを持って、働ける環境を作ります。



# 年報発刊によせての挨拶



## 1、はじめに

当ケアセンターは、2015年7月の開所から5年目を迎えております。展開している各種サービスの利用者数は伸びてきており、2020年度は目標値にかなり近づけると予測しております。特にこれまで一度も月の平均で90名を超えることができなかった平均入居者数は、2019年度12月以降90名を超えることができました。しかし、インフルエンザの流行や元々定数に達していない中で介護職員の離職等により、現場の運用が厳しく入居受け入れのスピードを調整せざるを得ない状況があり、目標の収益増には至りませんでした。

インフルエンザの流行は入居者様及び御家族の皆様に不安な思いをさせてしまった事や、デイサービスの利用停止など大変ご迷惑をおかけしました。そのような中、ご理解とご協力を賜ると同時に「感染対策をしっかりとらせて感謝します」との励ましのお言葉を頂戴し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。また、本院の感染対策室の協力もあり、勉強会を実施するなど全職員の意識向上が図れたと考えます。

当センターの強みは法人としてハートライフ病院と直結していることで、緊急時の対応や入院治療が必要な場合はハートライフ病院と直に連携が取れることです。入居者様や入居相談の殆どがそれを理由に挙げています。入居者様の健康管理を目的に一昨年度に看護体制を変更し訪問看護師が定期的に関わることも強みと言えます。入居者様の健康管理が適切に行われているかを確認する際の指標の一つに、全入居者数における医療機関への1カ月間の延べ入院患者数があります。2016年は全入居者数47名(1か月平均)に対して1カ月間の延べ入院患者数の平均は187名でした。それが2019年度は全入居者数90名(1か月平均)に対して1カ月間の延べ入院患者数の平均は143名と、1カ月の平均入居者数は43名増えていますが、延べ入院者数は44名減っています。当センターの訪問看護が、ハートライフ病院・ハートライフクリニック、そして訪問診療の先生方と良好な連携が取れている結果と考えます。

介護職員の離職率については、上半期に数名の離職者がおり新規入居者の受け入れが出来ない等、現場運用がかなり厳しい状況にありましたが、部門管理者が現職員の声に耳を傾け業務を遂行したことや、新入職者の現場教育を細やかに実施した事で、2019年度の離職率は16%へ減少し、県内平均の30%を下回る結果となりました。また、シーツ交換や入力業務等を介護助手に移譲することで、介護職の負担軽減が図られた事も離職率低減の大きな要因と考えます。

## 2、2019年度の目標と振り返り

### ①安全・安心な生活空間の提供

- ・センターの安全管理委員会に法人の安全管理者の参画が実現しました。

- ・法人の感染対策室と協働しセンター独自のマニュアルが完成しました。

②離職率20%の維持

- ・16%に減少しました。

③WLBの推進、残業時間低減

- ・有給休暇消化及び連休取得がスムーズに実施できました。
- ・人員不足の為残業の低減は出来ませんでした。

④サービスの質向上

- ・月1回の必須研修会を定例で開催しました。
- ・デイサービスにて初の運動会を開催することができました。
- ・主任、副主任がリーダーシップに関する外部研修への参加ができました。
- ・喀痰吸引の研修へ2名が参加し資格取得が実現しました。

⑤訪問事業の拡大（看護・介護）

- ・訪問看護の実績は前年比で1.5倍に増加しました。
- ・訪問介護は目標達成できませんでした。

### 3、2020年度へ向けて

介護事業の最重要課題である「人員確保と定着」に取り組んできました。今後は、①リーダー育成、②安全・感染対策の職場風土醸成、③職員の負担軽減ではノーリフトケアの推進と、ITシステム等の導入で労働環境改善に取り組み、④介護助手への介護業務移譲を進め有資格者による訪問系業務の生産性向上と居住環境整備を行い、入居者様のサービス質の向上に尽力する所存です。

当センターは、法人内外との連携を密に「入居者様の健康管理」をはじめ、「安全管理」「感染管理」を強化し安心・安全な生活空間を提供し地域の皆様や職員からも選ばれる施設を目指します。

ハートライフ病院、クリニックの皆様にはこれまで同様に医療連携、施設設備面の管理、スタッフの人事労務管理等、ご支援くださいますよう宜しくお願い致します。

社会医療法人かりゆし会  
ハートライフ地域包括ケアセンター  
センター長 宮平 典子

## 施設概要

### 組織概要

#### 施設名

ハートライフ地域包括ケアセンターを総称として、5事業所で構成される。

1. 住宅型有料老人ホームはーとらいふ
2. デイサービスはーとらいふ
3. ヘルパーステーションはーとらいふ
4. 訪問看護ステーションはーとらいふ
5. ケアプランセンターはーとらいふ

#### 所在地

〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇 1606 番地

#### 連絡先

電話 (098)944-3300 (代表)

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/care/>

#### 管理者一覧

理事長	安里 哲好
センター長	宮平 典子
事務長	仲地 智俊
副センター長	比嘉 藤子

## 職員数

### 総数

78名

### 内訳

センター長	1名
事務長（法人事務局部長）	1名
副センター長 （訪問看護管理者兼務）	1名
事務係長	1名

### ●有料老人ホーム

看護師	12名（訪問看護兼務）
介護職員	26名
相談員	1名

### ●デイサービス

看護師	2名
介護職員	20名
柔道整復師	3名
相談員	1名

### ●訪問看護

看護師	12名
-----	-----

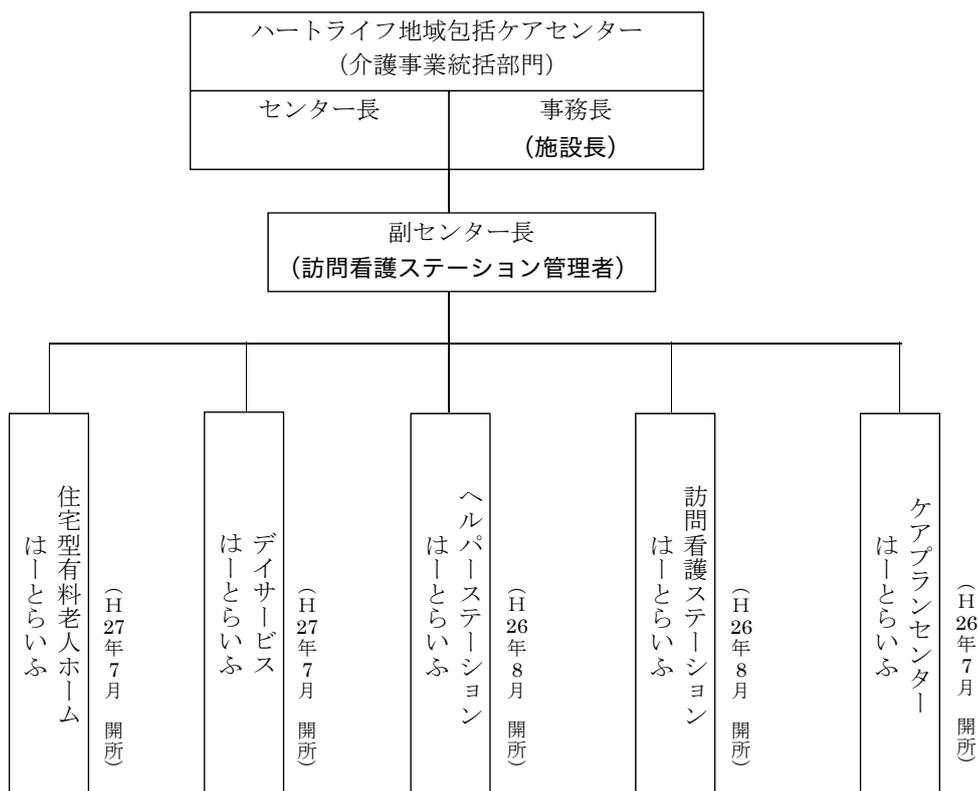
### ●訪問介護

介護職員	7名
------	----

### ●ケアプランセンター

ケアマネージャー	5名
----------	----

## 組織図



## 2019年度 利用者実績

## 住宅型有料老人ホーム はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規入居者数	3	2	2	2	3	3	5	3	4	3	4	3	37	3.1
短期入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
月末入居者数	89	91	90	88	88	90	88	89	92	93	94	94	1,086	90.5
退去者数	2	0	3	4	3	1	7	2	1	2	3	3	31	2.6
内：死亡者数	2 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (0)	2 (1)	1 (1)	4 (2)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	2 (1)	19(9)	1.6 (0.8)
看取者数	1	0	0	2	1	0	2	1	0	0	1	1	9	0.8
入院者数	100	174	201	174	177	127	142	113	107	34	151	225	1,725	143.8
訪問診療利用者数	24	24	24	23	20	20	23	20	21	22	23	24	268	22.3
平均介護度	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.2	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2

※死亡者数の ( ) は入院先で亡くなった方。

## デイサービス はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	2	2	2	1	2	2	4	2	4	3	4	3	31	2.6
利用実人数	86	86	86	84	85	85	91	87	91	93	91	88	1,053	87.8
利用延べ人数	1,419	1,052	1,331	1,377	1,363	1,276	1,386	1,314	1,404	1,339	1,289	1,383	15,933	1,327.8
稼働日数	26日	20日	25日	27日	27日	25日	27日	26日	26日	24日	25日	26日	-	25日
一日平均数	54.6	52.6	53.2	51.0	50.5	51.0	51.3	50.5	54.0	55.8	51.6	53.2	52.4	52.4
平均介護度	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.2	3.1	3.1	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2

## ヘルパーステーション はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	6	5	1	3	3	3	2	1	5	11	7	1	48	4.0
利用実人数	41	44	37	38	37	34	35	34	39	47	45	37	468	39.0
延べ人数	352	393	369	370	383	380	374	365	397	447	461	381	4,672	389.3
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	-	31日
一日平均数	11.7	12.7	12.3	11.9	12.4	12.7	12.1	12.2	12.8	14.4	15.9	12.3	12.8	12.8
平均介護度	3.6	3.4	3.6	3.6	3.6	3.7	3.5	3.3	3.5	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5

## 訪問看護ステーション はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	8	2	3	4	3	3	8	4	7	5	6	4	57	4.8
利用実人数	73	69	71	72	73	74	82	79	85	86	90	87	941	78.4
延べ人数	441	524	452	477	465	434	477	461	551	569	597	565	6,013	501.1
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	-	31日
一日平均数	14.7	16.9	15.1	15.4	15.0	14.5	15.4	15.4	17.8	18.4	20.6	18.2	16.5	16.5
平均介護度	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.4	3.2	3.1	3.2	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3

## ケアプランセンター はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	2	2	0	2	2	2	5	3	1	3	1	1	24	2.0
利用実人数	102	100	98	99	100	98	105	106	109	107	107	103	1,234	102.8



# はーとらいふ保育園 2019年度 年次報告

Annual report of Heartlife area comprehensive care center 2019



## 理念

私たちは心と心をつなぐ親子の絆を深める保育を目指します。

## 保育方針

保育園の特質を生かし、家庭や地域と連携を取りながら乳幼児期に必要な  
心身共にすこやかな成長を保育方針とします

## 保育目標

よくあそぶ子

好奇心豊かな子

表現豊かな子

## 年報発刊によせての挨拶



2019年度は設立3年目となります。ご利用して下さる保護者のご理解をはじめ、保育園を運用するにあたり、携わっている多くのかりゆし会の職員の皆様に支えられている事に厚く感謝申し上げます。

今年度は全園児数20名(4月)からスタートし、25名の園児をお預かり致しました。例年同様に0歳児(定員9名)の入園希望が多く、残念ながら入所希望が叶わなかった方もおられ0歳児の競争率の高さを感じています。受入れ年齢は未満児(0~2歳児)対象としていますが、人間形成で最も重要な時期です。入園から当園を巣立っていく期間はわずかではありますが、卒園した数年後先を見据えて、かりゆし会職員として繋がり絆を深めていく保育をモットーに保育に努めています。

今年度の取り組みの中で、保育士のみならず、子育て支援員も保育園の環境作りに積極的にアイデアを出し合い、身近にある材料からストロー花で季節時期ごとに玄関を華やかに飾り、保育室の装飾、手作り遊具製作などが盛んな1年でした。また、クリスマスには子育て支援員から全園児へ手作りのパーランクーをサプライズでプレゼントし、各ご家庭にも大変喜ばれました。

かりゆし会各施設の職員(作業療法士・救急外来・感染対策室・地域包括ケアセンター)にご協力を頂き大変支えられています。保育士の保育向上に向け、「緊急時の対応」研修を強化しており、救急外来より「AED講習指導」、感染対策室城間さんより「感染予防対策のチェック、指導」、作業療法士大見謝さんより「心肺蘇生の実践指導や子どもの成長に繋がるアドバイス」等の研修を定期的に行い2年間継続しています。楽しく実践で学ぶ事ができるので、保育士から引き続き学びたいと要望が多くあります。また、地域包括ケアセンターとの交流会は初年度より3年間継続しています。地域包括ケアセンター職員の力添えもあり園児達も行事に参加させて頂いています。他の部署との繋がりを引き続き大事にしていき、当園ならではの楽しさや充実した保育に繋げていきたいと考えております。

お預かりしております、お子様と保護者と共に楽しんで成長出来るように、感謝の気持ちを忘れず、はーとらいふ保育園職員一同、今後も尽力していきます。

社会医療法人かりゆし会  
はーとらいふ保育園

園長 宮城 和香子

## 施設概要

当園は、社会医療法人かりゆし会の職員のお子さまを対象に、お預かりする保育園（企業主導型保育事業）です。育児中のかりゆし会職員が「仕事と育児の両立と充実」を提供できるように平成 29 年 4 月より設立しました。

## 組織概要

### 施設名

はーとらいふ保育園

### 所在地

〒 901-2417 沖縄県中頭郡中城村字伊集 159 番地

### 連絡先

電話 098-987-6543

FAX 098-987-6544

### 管理者一覧

理事長 安里 哲好

園長 宮城 和香子

### 職員数

#### 総数

#### 職種別

園長 1名

保育補助 2名

保育士 9名

事務主任（連携推進担当） 1名

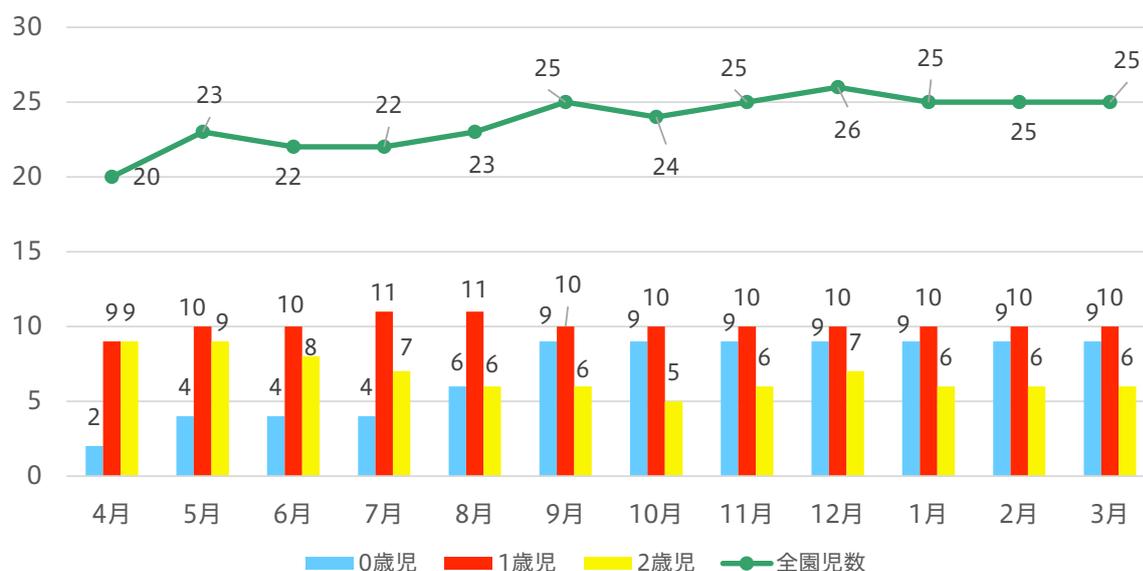
保育士配置基準	定員
0 歳児	9 名
1 歳児	12 名
2 歳児	9 名

保育料金	
0 歳児	25,100 円
1・2 歳児	25,000 円

※兄弟割引：二人目（双子以上を含む）

延長保育
時間：18 時 15 分～19 時 14 分
※ 1 回あたり 200 円頂戴します

## 園児在籍数（各月 1 日付）



## はーとらいふ保育園平成 30 年度行事・活動

4月	新年度
5月	内科健診
6月	尿検査 歯科健診
7月	七夕・水あそび
8月	水あそび・プール 総合避難訓練 沖縄こども専門学校 1日体験
9月	運動あそび
10月	ハロウィン ハートライフ包括ケアセンター交流会 尿検査
11月	第3回 親子運動会・内科健診
12月	クリスマス会・歯科健診
1月	正月あそび
2月	節分豆まき・
3月	ひな祭り 年度保育終了

毎月行事	誕生会・避難訓練・個人面談
------	---------------

## 研修・勉強会実施報告

名称	日時	参加者
AED 使用方法・講習会 指導者：社会医療法人かりゆし会救急外来	2020年4月3日	全職員参加
救命処置・心肺蘇生 指導講師：社会医療法人かりゆし会作業療法士 大見謝勝人	2019年5月28日～30日	全職員参加
作業療法士フェア	2019年9月30日	宮城和香子
食育・アレルギー対応研修会キャリアアップ研修	2019年10月2日～4日	渡久地悦子、宮里米子
令和元年度 認可外保育施設職員研修	2019年10月26日	宮城奈々
子育て支援員受講 第1回講座～第6講座受講 保育園実習地域保育コース		屋良智子、外間奈都
令和元年度 企業主導型保育事業 保育安全研修会	2019年1月30日	池原梨美、渡久地悦子
令和元年度 保育所等マネジメント研修～必須：施設長対象	2019年2月12日～14日	宮城和香子
令和元年度 中城村要保護児童対策地域協議会	2019年2月21日	宮城和香子

## 次年度の計画・方針

1. 職員の定着
2. 職員の連携 ～皆で取り組もう～
3. 感染症対策の強化
4. 安全な保育環境の改善、整備
5. 畑（食育） 楽しく五感を使った体験を通しての保育

# かりゆし会の1年

# 写真 かり

## 2019年

2019年4月1日

佐久川 廣がハートライフ病院 院長に就任

2019年4月1日

前任の奥島憲彦がハートライフ病院 名誉院長に就任

2019年4月1日

2019年度 入職式・新入職員オリエンテーション(1日目)

2019年4月1日

新入職者歓迎会

2019年4月2日

春季 職員健診(35歳未満:4/1~11、35歳以上:4/1~30)

2019年4月12日

新入職員オリエンテーション(2日目)

2019年4月19日

勉強会「入退院支援センターの取り組み」

講師:照屋りつ子(那覇市立病院 副看護部長)

勉強会「これからの在宅医療の方向について」

講師:中村哲生(医療法人社団 永生会 特別顧問)

2019年5月8日

勉強会「足と傷のセンターの概要、センターにおける看護師の役割」

講師:形成外科 東盛貴光 先生

2019年5月19日

新入職員歓迎 沖縄本島縦断駅伝大会

2019年5月27日

院内合同慰霊祭

2019年5月29日

2019年度 事業計画説明会<役職者対象>

2019年5月29日

足と傷のセンターを開設

2019年6月1日

ハイケアユニット開設(東館2階病棟12床からHCU12床へ転換)

2019年6月4日

2019年度 科別実績報告会(1日目)

2019年6月5日

2019年度 科別実績報告会(2日目)

2019年6月20日

乳がん講演会「がん研乳腺外科の研修について」・「乳がんの診断と治療の進歩」

講師:照屋なつき先生(がん研有明病院 乳腺センター副医長)

講師:上野貴之 先生(がん研有明病院 乳腺センター副医長)

2019年6月24日

勉強会「食道アカラシアの類縁疾患の診断と治療」

講師:塩飽 洋生 先生(福岡大学病院 消化器外科 医局長)

2019年7月4日

講演会「緩和救急 ～緩和なのに救急とは?…いかに?～」

講師:林 寛之 先生(福井大学医学部附属病院 総合診療部教授)

2019年7月8日

院内献血

2019年7月9日

九州厚生局による適時調査

2019年7月16日

職員交流 卓球大会(1日目)

2019年7月17日

職員交流 卓球大会(2日目)

2019年7月18日

職員交流 卓球大会(3日目)

2019年7月20日

新人(2018年度・2019年度入職者)歓迎 ボウリング大会

2019年7月26日

クリニカルパス大会 特別講演「四国がんセンター パス活動の紹介と電子パスの今後」

講師:河村 進 先生(四国がんセンター 特命副院長・病院情報管理部長・

クリニカルパス管理委員会委員長・日本クリニカルパス学会理事)

2019年8月7日

2019年度 火災避難訓練

2019年8月7日

感染対策講演会「知ろう 守ろう 抗菌薬」

講師:総合内科 佐藤 直行 先生

2019年8月20日

中部合同カンファレンス

2019年8月22日

ハートライフ病院 開院31周年



佐久川 廣がハートライフ病院 院長に就任



入職式



市民公開講座(変形性膝関節症に対する治療戦略)



足と傷のセンターを開設



科別実績報告会



卓球大会



クリニカルバス大会



火災訓練

2019年9月4日	医療安全講演会「医療安全の現状と対応」 講師: 久場 良也 副院長 「医療安全におけるAIの必要性」 講師: 高良 誠 放射線科部長
2019年9月9日	副院長の久場良也が令和元年度救急医療功労者知事表彰を受賞
2019年9月13日	講演会「意外に知らない 胸壁症候群」 講師: 上田 剛士 先生(洛和会丸太町病院 救急・総合診療科部長)
2019年10月10日	第16回「地域医療連携懇談会」 エリスリーナ西原ヒルズガーデン
2019年10月15日	院内研究発表会 事務部予選会
2019年10月16日	院内研究発表会 医療技術部予選会
2019年10月18日	院内研究発表会 看護部予選会
2019年10月26日	かりゆし会スポーツレクレーション「部署交流ソフトバレーボール大会」 西原町民体育館
2019年11月8日	かりゆし会 研究発表会 本選
2019年11月11日	メンタルヘルス研修会(全職員対象)
2019年11月12日	メンタルヘルス研修会(全職員対象)
2019年11月13日	メンタルヘルス研修会(全職員対象)
2019年11月22日	講演会「ドクターカーで劇的救命」 講師: 今 明秀 先生(八戸市立市民病院 院長)
2019年11月26日	医療監視(中部保健所による立入検査)
2019年12月10日	講演会「当院における中心静脈カテーテル感染の現状について」 講師: 薬局 山下 翔一
2019年12月14日	「かりゆし会互助会 忘年会」 ダブルツリーbyヒルトン那覇
2019年12月16日	「認定看護師 実践報告会」
2019年12月17日	「2020年度 診療報酬改定WEBセミナー」
2019年12月19日	医療費あと払いシステム導入説明会
2019年12月27日	講演会「安全な中心静脈カテーテル留置のための基礎と実践:べし・べからず!」 講師: 徳嶺 讓芳 先生(杏林大学医学部麻酔科教授)
2019年12月28日	セミナー「超音波中心静脈穿刺:初心者からエキスパートへ!」 講師: 徳嶺 讓芳 先生(杏林大学医学部麻酔科教授)
2019年12月30日	納会
2020年1月6日	かりゆし会成人式
2020年1月6日	医療費あと払いサービスを開始
2020年1月10日	新春もちつき大会
2020年1月17日	院内献血
2020年1月17日	講演会 『人生100年』令和新時代を健康に生き抜くための変形性膝関節症に対する新しい治療戦略 講師: 中村 立一 先生(医療法人博俊会 春江病院 整形外科センター長)
2020年1月22日	講習会「ポリファーマシーって何? メリットは?」 講師: 総合内科 佐藤直行 先生、薬局 田中泉
2020年1月31日	「知って得する看護の掟 ~最新の針刺しトラブル解決法~」 講師: 皆川 洋至 先生 城東整形外科 副院長
2020年2月1日	エコーセミナー「脊椎疾患に対する超音波ガイド下ハイドロリリース」 講師: 皆川 洋至 先生 城東整形外科 副院長
2020年2月10日	感染対策講演会「薬剤耐性菌よもやま話 ~耐性菌誕生秘話~」 講師: 呼吸器内科 仲吉 博亮 先生
2020年3月2日	人間ドック機能評価更新 <訪問審査>
2020年3月24日	「2020年度 診療報酬改定説明会」
2020年3月25日	医療安全研修会「カルテ記載と情報共有の重要性 -今後 重要となるケア移行について学ぼう-」 講師: 総合内科 佐藤直行 先生
2020年3月27日	2019年度 災害対策研修・対応訓練(NBC災害化学防護服着脱訓練)



永年勤続者表彰



講演会「意外に知らない 胸壁症候群」



令和元年度救急医療功労者知事表彰を受賞



地域医療連携懇談会



第1回かりゆし会研究発表会



無料健康講座 食品と健康-がん予防の食品と生活習慣について-



新春餅つき大会



卒後臨床研修終了式

# 2019年度 第1回 かりゆし会研究発表会

## 多職種連携と協働・コミュニケーション ～これまでの取り組みとこれからの未来～

去る11月8日(金)にかりゆし会として初めての開催となる「第1回かりゆし会研究発表会」が行われました。ハートライフ病院から12題とハートライフクリニックから1題の計13題で本選が行われました。

3時間弱の発表、質疑が行われ見事入賞を果たした参加者は以下の通りです。



1位



1位 栄養科 当真 結子

「チームで栄養改善」



2位



2位 看護部 予防医学センター 安次富 道代

「予防医学センターにおける急変時対応体制の取り組み

～院内医療安全チームとともに～」



3位



3位 事務部 経営企画室 広報係 仲田 尚正

「リクルートポータルサイトのアクセス解析」



# 沖縄県医師会 令和元年度 永年勤続医療従事者表彰(20年勤続)

令和元年11月27日(水) ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城



令和元年11月27日(水)にダブルツリーbyヒルトン那覇首里城で沖縄県医師会  
令和元年度 永年勤続医療従事者表彰式が行われました。

これは医療機関及び医師会に20年間勤続した医療従事者に対して表彰する  
ものです。

かりゆし会からは10名の職員が表彰されました。

## ハートライフ病院

医事課	伊集 準	臨床検査科	島袋 泰彦
医事課	翁長 良篤	放射線科	津波 麻利子
リハビリテーション科	神里 祥子	看護部 外来	仲宗根 香織
患者総合支援センター	金城 司	看護部 外来	仲田 ひろ子
臨床検査科	蔵下 恒	リハビリテーション科	波平 静香



## 編集後記

かりゆし会は1988年8月22日にハートライフ病院として産声をあげ、2018年にはハートライフ病院が30周年を迎える事ができました。医師数3人から77人、職員数134人から1,094人へと成長し、社会医療法人として地域医療に貢献してきました。そして2019年31年目を踏み出しました。約1,094名の職員それぞれの持ち場で活躍した証として、また、職員の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、2019年かりゆし会年報を記したいと思います。ありがとうございました。

年報作成委員会委員長 嘉川 春生

データ収集にご協力頂いた、各部署の皆様ありがとうございました。

年報作成委員会の皆様お疲れ様でした。

### ◇年報作成委員会◇

委員長	嘉川 春生 (泌尿器科部長)
委員	菅野 善一郎 (心療内科副部長)
	仲地 ますみ (看護副部長)
	安里 竜 (事務部副部長)
	斎藤 辰好 (臨床検査科技師長)
	仲松 晋也 (臨床工学科副技師長)
	石新 紘也 (ハートライフ地域包括ケアセンター係長)
	新垣 優子 (ヘルシーカフェ ohana 主任)
	仲松 泉 (メディカルクラーク主任)
	知念 政治 (経営企画室広報係主任)
	大城 真澄 (メディカルクラーク副主任)
	内間 善一 (総務課)
	田河 美智代 (診療情報管理室)
	宮城 映子 (総務課図書係)
企画調整・編集	仲田 尚正 (経営企画室広報係副主任)

社会医療法人かりゆし会 年報  
第 26 巻 2019 年度年報 2020 年 10 月

編集発行人 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院  
年報作成委員会

〒 901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地  
電話 . (098) 895-3255 (代) FAX. (098) 895-2534  
URL. <https://www.heartlife.or.jp/>